C9P9 V6 650

ナビゲーション&オーディオブック

NAVIGATION & AUDIO BOOK

目次 2ページ

はじめに
基本操作
ナビゲーション基本操作
検索
ルート
登録・編集
設定
調整・補正
情報
オーディオ基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
ミュージックサーバー
メモリーメディア
iPodを使う
Bluetooth Audioを使う
AUXを使う
音質の設定・調整
その他の機能
その他の機器
通信
困ったときは
付録

目次

はじめに

本書の見かた..... 13
本書の表記のしかた.....13

基本操作

基本操作..... 16
タッチパネルで操作する 16
ボタンで操作する.....16
画面の切り換えかた.....16
AV画面への割り込みを設定する.....16
画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）...17
リスト画面の操作.....17
基本的なリストの操作.....17
50音タブの操作.....17
チェックリストの操作.....18
インジケーター付きリストの操作 18
ポップアップメニューの操作.....18
サイドマップリストの操作.....18

メニューの操作 19
センターメニューの操作 19
NAVI menu.....19
AV menu 19
携帯電話メニュー 20
ビューメニュー 20
情報メニュー 20
設定・編集メニュー.....21
ルートメニュー 21
ショートカットメニューの操作.....21

文字の入力操作 22
入力パレットを切り換える 22
文字の入力操作の流れ 22
文字の種類を切り換える 22
全角・半角を切り換える.....22
大文字・小文字を切り換える 23
濁点、半濁点、大文字・小文字を切り換える...23
文字を入力する.....23
キーボード方式で入力する.....23
携帯電話方式で入力する.....23
カーソルの位置を動かす 23
スペースを空ける 24
文字を挿入する 24
改行する.....24
文字を削除する 24
ひらがなをそのまま入力する 24
予測変換、漢字変換を行う.....25
文字入力を終了する.....25
URLの入力について 25
かな漢字変換できる記号 25
学術記号.....25
ギリシア文字 26
括弧.....26
記号・マーク 26
単位.....26
点 27
矢印.....27
その他.....27

ナビゲーション基本操作

地図画面の操作 30
現在地画面を表示する 30
画面下部に表示される情報.....30
現在地画面の見かた.....31
地図に関する設定をする 31
地図色切換を設定する.....31
走行軌跡表示を設定する.....32
エコ運転課題表示を設定する 32
地図を動かす.....33
近隣情報表示について.....33
スクロール画面の見かた.....34
スクロール時のビューモードを設定する...34
地図のスケールを変える 35
地図の表示方法を変える 35
地図の表示方法に関する設定をする...36
ツインビュー左画面アングルを設定する...36
ハイウェイサイドマップを設定する....36
ハイウェイモードサイドマップアングルを設定する.....37
ドライバーズビューサイドマップアングルを設定する.....37
AVサイドビューアングルを設定する .37
シティマップを設定する.....38
スカイシティマップを設定する 38
シティマップ境界表示を設定する 38
オートアングルチェンジを設定する....39
ターゲットマップを設定する 39
地図の向きを変える.....40
100 mスケールで
一方通行マークを表示する 40
ロゴマークを選んで地図上に表示する...40
ロゴマーク表示スケールを設定する....41
地図スケールを登録する 42
サイドマップについて 43
ハイウェイモード 43
リスト画面.....43
候補表示画面 43
情報画面.....43

走行中の地図画面について..... 44
走行中の音声案内.....44
有料道注意地点・県境案内を設定する...44
踏切案内を設定する.....44
右左折専用レーン案内を設定する.....45
リフレッシュ案内を設定する.....45
ライト点灯案内を設定する.....45
駐車場に入ると.....46
交差点に近づくと.....46
方面案内表示を設定する.....46
有料道を走行すると.....46
オートハイウェイモードを設定する....47
ボトルネック踏切表示について.....47
ボトルネック踏切マーク表示を設定する...47
情報ウィンドウの操作.....48
現在地情報表示を設定する.....48
ECO関連情報表示について.....49
AV情報表示について 49
駐車場監視情報表示について 50
駐車場監視を設定する.....50
アイドリングカウンターを表示する...50
アイドリングカウンターを設定する....51
eスタートカウンターを表示する.....51
eスタートカウンターを設定する.....51
ハイウェイモードについて 53
ハイウェイモードの現在地画面の見かた...53
出口情報を表示する.....54
先の施設情報を見る.....54
分岐施設の分岐先の情報を見るには....54
サービスエリアや
パーキングエリアで表示される情報...55
施設のイラスト表示について 55
VICS情報表示について 55

検索

場所を探す..... 58
地図で探す 58
マルチワード検索で探す 58
マルチワード検索の基本的な操作方法...58
入力したキーワードを変更するときは...60
住所で探す 60
電話番号で探す.....61
ジャンルで探す.....61
検索できるジャンル.....61
周辺施設を探す.....63
周辺検索により表示された
ロゴマークを消す.....64
検索履歴・登録地から探す 65
詳細情報を見る 66
詳細情報を表示する.....66
マップクリップ(2次元バーコード)...67
マップクリップに変換する 67

ルート

ルート探索と案内 70
ルート案内のはじめかた 70
案内開始画面の見かた.....71
ルート案内中の現在地画面 72
一般道の案内画面の見かた.....73
有料道の案内画面の見かた.....74
ガイドサイレンスについて 74
ルート案内中の機能について 74
ルートから外れたときに
自動的にルートを再探索する 74
進行方向の案内 75
都市高速道路の入口に近づくと 75
有料道の分岐に近づくと.....75
ETCレーン案内表示について 76
ETCレーン案内表示を設定する.....76
有料道の出口や料金所を通過すると....76
ルート案内の中止 77
ルートを消去して案内を中止させる...77
ルート探索条件の設定..... 78
ルート探索の基準を設定する 78
有料道の考慮方法を設定する 78
フェリー航路の考慮方法を設定する...78
学習したルートの考慮方法を設定する...79
渋滞の考慮方法を設定する 79
時間規制の考慮方法を設定する.....80
スマートICの考慮方法を設定する...80
ルート案内時の設定 82
到着予測時刻表示を設定する 82
到着予想時刻の
算出車速(一般道)を設定する.....82
到着予想時刻の
算出車速(有料道)を設定する.....83
エコ指数について.....83
案内地に近づくと.....84
交差点案内時の表示ビューを設定する...84
オートフリーズームを設定する.....85
エコ運転評価案内を設定する 85
料金案内を設定する.....86
信号機ジャスト案内を設定する.....86
一般道シンプルガイドを設定する....86
オートガイドサイレンスを設定する...87
ガイドサイレンスアングルを設定する...87
オートリルート案内を設定する.....88

オートリルート
案内自動決定ルートを設定する....89
リクエスト案内を設定する 89
オートパーキングメモリー
（駐車場履歴）について 90
右左折考慮オートパーキング
メモリーについて.....90
左折のみで進入したことがある
施設を目的地にした場合.....90
右折のみまたは右左折の両方で
進入したことがある施設の場合 90
オートパーキングメモリーを設定する..91

ルート情報..... 92
ルートスクロールを使う 92
ルートプロフィールを使う 92
デモ走行を使う.....93
デモ走行を終了する.....93
ルート地図を使う.....93
6ルート地図を使う.....94
6ルートリストを使う.....95

ルート編集..... 96
案内中のルートに
別の探索条件を設定する 96
案内中のルートとは
別のルートを探索する 96
ルートに立寄地を追加する 97
立寄地の順番を並べ替える 98
立寄地を削除する.....98
目的地や立寄地、
出発地の情報を確認する 99
立寄地の滞在時間を設定する 99
出発地を指定する.....99
日時を指定する.....100
乗降IC(インターチェンジ)を指定する...101
乗降IC指定を解除する.....102
立寄地をキャンセルする 102

マップクリエイター.....103
マップクリエイターを設定する.....103
マップクリエイター道路の
利用方法を設定する 104
マップクリエイター道路を削除する ..105

ドライブプラン 106
ドライブプランの作成について.....106
ドライブプランとして登録できる条件...106
ドライブプランを実行する 106
ドライブプラン指定時刻になると 106
ドライブプランを確認する 107
ドライブプランを編集する 107
ドライブプランを消去する 108

登録・編集

場所（地点）の登録 110
自宅を登録する.....110
場所を登録する.....110

登録した場所の編集 111
登録した場所の名称を変更する.....111
登録した場所のヨミを編集する.....111
登録した場所の電話番号を設定する ...112
登録した場所の2Dマークを設定する ...113
登録地マーク簡易表示を設定する 113
登録した場所の名称を
地図上に表示させる 114
登録した場所の3Dマークを設定する ...115
登録した場所の効果音を設定する...116
登録した場所のグループを編集する ...116
登録した場所のグループ名を編集する ...117
登録した場所の位置を修正する.....118
登録した場所を個別に消去する.....118
登録した場所をまとめて消去する...119

**オートパーキングメモリー
（駐車場履歴）の編集 120**
入口を指定する.....120
駐車場データを消去する 120

その他のデータ編集 122
オートリルート履歴を消去する.....122
検索履歴を消去する 122
ルートの学習内容を消去する 123
走行軌跡を消去する 123
走行軌跡自動消去を設定する 123

設定

イルミネーションカラー設定 ...126
イルミネーションカラーを変更する ...126
ECOに設定したとき 126
イルミネーションカラーを
詳細に設定する.....126

オープニング画像設定.....128
本機に収録された画像から
選んで設定する.....128
SDカード経由で読み込んだ
画像から選んで設定する 128

イージーセットアップ.....130
イージーセットアップを行う 130
イージーセットアップを開始する...130
音量の調整.....130
自宅の設定.....131
燃費推定/車両情報の設定 131
ETC取付状態の設定.....132
Bluetooth接続設定 133
プローブ情報送信設定.....133
イージーセットアップを終了する 133

燃費・車両設定 134
燃費推定機能を使って燃費を設定する ...134
燃費推定機能を使わずに燃費を設定する ...136
その他車両情報を設定する 137

通信接続設定.....139
通信機器を準備する.....139
Bluetooth機器を使用する場合.....139
通信機器使用上のご注意.....139
Bluetooth機器を登録する.....139
Bluetooth機器を切り換える.....141
登録したBluetooth機器を削除する...142
使用するプロバイダを変更する.....142
使用するプロバイダを手動で設定する ...143
自機名称を設定する.....144
パスキーを変更する.....144
電波発射をON/OFFする.....145

設定初期化.....146
各種設定を初期化する 146

機能設定.....147
設定を変更する.....147
設定内容の詳細.....147
地図表示.....147
ルート・案内.....149
渋滞情報.....153

調整・補正

ナビゲーションの補正・調整 ...156
音量設定をする.....156
消音設定をする.....156
ガイド/ハンズフリーSP設定をする ...157
自車位置を修正する.....158
一般道または有料道へ
自車位置を修正する 158

画質調整.....159
画質を調整する.....159

タッチパネル調整 160
タッチパネルのタッチ位置を調整する ...160

情報

渋滞情報の利用 162
VICS情報を利用する 163
VICS情報の表示形態 163
地図上でVICS情報を見る 164
VICSマークの種類.....165
VICS情報マークの詳細を見る.....165
緊急情報の自動表示.....166
VICS情報の表示を設定する.....166
渋滞情報表示対象道路を設定する 166
渋滞情報表示を設定する.....166
順調表示を設定する.....166
点滅表示を設定する.....167
規制表示を設定する.....167
駐車場情報マーク表示を設定する 167
区間旅行時間表示を設定する 168
ビーコン情報の自動表示 168
ビーコン即時表示の表示内容を設定する ...168
ビーコン即時表示の表示時間を設定する ...169
ルート上の渋滞情報を自動で案内させる.170
渋滞オートガイドを設定する 170
ルート上の渋滞情報を手動で案内させる ...170
VICSの文字・図形情報を見る.....170
FM多重VICSの図形情報を表示する...171
FM多重VICSの文字情報を表示する...171
FM多重VICSの
センター情報を表示する 172
ビーコン情報を表示・再生する 172
放送局を選ぶ.....173
放送局の受信感度を確認する 173

各種情報の利用 174
エコステータス詳細情報を見る.....174
エコステータスの表示色について 174
シリアルナンバーと
デバイスナンバーを確認する.....174
センサー学習の状況を確認する.....174
トリップ/パルス数/速度 175
センサー学習 175
前後G/回転速度計.....175
傾斜計.....175
距離/方位/傾斜(3D)の学習度.....175
接続状態を確認する 175
車速パルス.....176
電源電圧.....176
イルミネーション 176
バック信号.....176
パーキングブレーキ.....176

GPSアンテナ....176
測位状態....176
取付位置....176
Bluetooth機器1・Bluetooth機器2....176
ETC・DSRCユニット....176
車載器管理番号....176
カード有効期限....176
ビーコンユニット....176
HDD・SDカード情報を確認する....176
バージョン情報を確認する....177
プログラムバージョン(ナビゲーション)....177
地図データ....177
検索データ....177

オーディオ基本操作

オーディオ基本操作....180
AVソースを切り換える....180
AVソースプレートの表示について....180
AVソースをOFFにする....180
映像画面の時計表示を設定する....181

放送受信

ラジオを聞く....184
ラジオを受信する....184
ユーザープリセットと
エリアプリセットを切り換える....184
バンドを切り換える....184
放送局を自動で登録する....185
放送局を手動で登録する....185
交通情報を聞く....186
交通情報を受信する....186
テレビを見る....187
テレビを見る....187
アイコン一覧....187
プリセットの種類を切り換える....187
放送局を手動で登録する....188
チャンネルを切り換える....189
プリセット済みのチャンネルを切り換える....189
3桁チャンネルを切り換える....189
番組表の操作のしかた....189
番組表の日付を切り換える....189
番組表の時間を切り換える....190
番組表の表示方法を切り換える....190
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ....190
視聴予約をする....191
番組内容を表示する....192
予約済み番組を確認/編集する....193
番組の予約を消去する....193
番組情報を取得する....194
放送局を自動で登録する
(チャンネルスキャン)....194
受信可能な中継局を探す....195
データ放送画面の操作のしかた....195
パネルタッチキーの操作....195
データ放送を見る....196
字幕を切り換える....196
音声を切り換える....197
映像を切り換える....197
音声多重を切り換える....197
バンドを切り換える....198
ワイドモードを設定する....198
お知らせメッセージを表示する....200
バージョン情報を表示する....200
サービスリストを表示する....201
サービスを切り換える....201
TVの機能設定を行う....202
設定内容の詳細....202

音楽ディスク

音楽CDを聴く....206
音楽CDを再生する....206
トラックを切り換える....206
リストから曲を選んで再生する....206
再生経過時間を指定して再生する....206
リピート再生する....207
ランダム再生する....207
早戻し/早送りする....208
再生を一時停止する....208
ROM-Audioを聴く....209
ROM-Audioを再生する....209
トラックを切り換える....209
フォルダーを切り換える....209
リストから曲を選んで再生する....209
再生経過時間を指定して再生する....210
リピート再生する....210
ランダム再生する....211
早戻し/早送りする....211
再生を一時停止する....211

映像ディスク

DVDビデオを見る....214
DVDビデオを再生する....214
チャプターを切り換える....214

タイトルを切り換える 214
再生経過時間を指定して再生する...214
リピート再生する.....215
ディスクメニューを
ダイレクトタッチで操作する.....215
ディスクメニューを
ディスクメニュー操作キーで操作する...216
CMなどを飛ばして再生する 216
コマ送り再生する.....217
スロー再生する.....217
早戻し/早送りする 218
再生を一時停止する.....218
ダイレクトタッチ画面を表示する...218
再生を停止する.....219
字幕言語を切り換える 219
音声言語を切り換える 219
指定位置まで戻って再生する 220
ワイドモードに切り換える 220
アングルを切り換える 221
音声出力を切り換える 222
見たい場面を指定して再生する.....222
ブックマークを登録する 223
DVDビデオの初期設定を行う.....223
基本字幕を設定する.....223
基本音声を設定する.....224
メニュー言語を設定する.....225
マルチアングルを設定する.....225
テレビアスペクトを設定する.....226
視聴制限を設定する.....226
オートプレイを設定する.....227
言語コード表.....228

DVD-VRを見る 229

DVD-VRを再生する.....229
チャプターを切り換える 229
タイトルを切り換える 229
リストからタイトルを選んで再生する ...229
再生経過時間を指定して再生する...230
リピート再生する.....230
見たい場面を指定して再生する.....231
CMなどを飛ばして再生する 231
コマ送り再生する.....232
スロー再生する.....232
早戻し/早送りする 233
再生を一時停止する.....233
再生を停止する.....234
字幕言語を切り換える 234
音声言語を切り換える 234
音声多重を切り換える 235
ワイドモードに切り換える 235
DVD-VRの初期設定を行う 237
テレビアスペクトを設定する.....237

ROM-Videoを見る 238

ROM-Videoを再生する 238
ファイルを切り換える 238
フォルダーを切り換える 238
リストからタイトルを選んで再生する ...238
再生経過時間を指定して再生する...239
リピート再生する.....239
早戻し/早送りする 240
再生を一時停止する.....240
再生を停止する.....240
ワイドモードに切り換える 241
ROM-Videoの初期設定を行う 242
映像出力設定をする.....242
テレビアスペクト 242

ミュージックサーバー

音楽用CDを録音する 246

CDから録音するには 246
録音を停止する.....246
録音についてのご注意 246
CD録音の制限について 246
タイトル表示について 247
MSVの録音設定をする 247
オート録音モードを設定する 247
録音音質を設定する.....248

MSVを聴く.....249

グループ、プレイリスト、
トラックについて.....249
グループの種類について.....249
MSVを再生する.....249
トラックを切り換える 249
プレイリストを切り換える 249
リストからトラックを選んで再生する ...250
再生経過時間を指定して再生する...250
リピート再生する.....251
ランダム再生する.....251
ボーカルモード再生する 252
ボーカルモードフェード設定をする ...252
マイミックスにトラックを追加する ..253
早戻し/早送りする 253
再生を一時停止する.....253
フィーリングプレイで再生する.....254
フィーリングプレイについて 254
曲調を選んで再生する.....254
再生曲が選択した曲調と
合わないと感じた場合.....254

フィーリング対象外設定.....255
学習クリア.....255
お好み再生で再生する.....256
プレイリスト/トラックの編集..257
オリジナルグループの
プレイリストを編集する.....257
プレイリストの消去.....257
トラックを選んで消去する.....257
その他のプレイリストを消去する....258
プレイリストの画像を変更する.....259
その他のプレイリストの画像を変更する...260
その他の詳細情報を表示する.....261
マイミックスのトラックを消去する...261
プレイリストの詳細情報を表示する...262
トラックを編集する.....263
トラックを消去する.....263
タイトル情報の取得.....264
タイトル情報について.....264
取得できる情報.....264
No Title表示について.....264
タイトル情報を取得する.....264
トラックの詳細画面から取得する....264
プレイリストの詳細情報画面から取得する....265
MSV設定画面から取得する.....266
No Titleリストのタイトル情報を取得する...266

メモリーメディア

SD/USBを使う.....268
音楽ファイルや
映像ファイルを再生する.....268
フォルダーを切り換える.....268
リストからファイルを選んで再生する.269
再生経過時間を指定して再生する...269
リピート再生する.....269
ランダム再生する.....270
再生モードを切り換える.....270
早戻し/早送りする.....271
再生を一時停止する.....271
ワイドモードに切り換える.....272
SDの初期設定を行う.....273
映像出力を設定する.....273
テレビアスペクトを設定する.....273

iPodを使う

iPodを使う.....276
iPodを再生する.....276
iPodミュージックと
iPodビデオを切り換える.....276
チャプターまたは
ソング/ファイルを切り換える...276
聴きたい曲や見たい映像を探す.....277
リピート再生する.....277
シャッフル再生する.....278
早戻し/早送りする.....278
再生を一時停止する.....279
ワイドモードに切り換える.....279
コントロール/アプリモードを設定する...280
iPodの初期設定を行う.....281

Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioを使う.....284
Bluetooth Audio機器の登録.....284
Bluetooth Audioを再生する.....284
トラックを切り換える.....285
グループを切り換える.....285
聴きたい曲を探す.....285
リピート再生する.....286
ランダム再生する.....286
早戻し/早送りする.....287
再生を一時停止する.....287
手動で再生する.....287
Bluetooth Audio機器を接続する...288
Bluetooth Audio機器を切り換える...288

AUXを使う

AUX(外部機器)を使う.....292
AUX設定をする.....292
AUXを再生する.....292
ワイドモードに切り換える.....292

音質の設定・調整

オーディオ設定.....296
車形を選択する.....296
セッティング共通設定を行う.....297
フェーダー/バランス.....297
ソースレベルアジャスター.....297
ASL(オート・サウンド・レベライザー)...298
ダイナミックレンジコントロール....298
サウンドフィールドコントロール....299
サウンドレトリバー.....300
セッティング別詳細設定を行う.....300
リスニングポジション.....301

グラフィックイコライザー.....301
タイムアライメント.....303
スピーカー設定.....304
スピーカー出力レベル.....305
カットオフ.....306
設定したセッティングをコピーする...307
セッティングパターンを切り換える..308
デジタルアッテネーター.....308
Bose®サウンドシステム設定.....309
フェーダー/バランス.....309
ソースレベルアジャスター.....310

その他の機能

音声操作機能.....312
発話を正しく認識させるには.....312
オーディオの音量を設定する.....312
音声認識語を正しく発音する.....312
はっきりと明瞭に発話する.....312
自動車の窓は閉めておく.....312
音声案内中は発話しない.....312
基本的な音声操作のしかた.....312
操作をはじめるとき.....312
直前の操作を取り消したいとき.....312
操作を途中でやめたいとき.....312
複数の候補があるとき.....312
発声の特徴を学習させる.....312
音声認識話者学習を設定する.....312
発話できる言葉がわからないとき...313
ボイスヘルプを設定する.....313
類似コマンド表示機能について.....314
類似コマンド表示を設定する.....314
ナビゲーションの音声操作.....314
名称で探す.....314
住所で探す.....315
電話番号で探す.....315
検索履歴から探す.....315
登録地から探す.....316
周辺で探す.....316
自宅へ帰るルートを探索する.....316
自宅へ立ち寄るルートを探索する....316
カーソル位置を目的地にする.....316
カーソル位置に立ち寄る.....316
場所を探したあとの音声操作.....317
現在地を表示する.....318
目的地の地図を表示する.....318
自宅の地図を見る.....318
地図スケールを変更する.....318
地図の表示方法を変更する.....318
地図方位を変更する.....318
ターゲットマップを設定する.....318
100mスケール一方通行を
表示/非表示にする.....318
ボトルネック踏切マークを
表示/非表示する.....319
登録したスケールにする.....319
現在地またはカーソル位置を登録する...319
条件を変えてルートを再探索する....319
ルートを確認する.....319
立寄地を先送りする.....319
次の案内地を確認する.....319
ルートを消去する.....319
乗降ICの指定を解除する.....320
一般道または有料道に自車位置を修正する....320
VICS情報を見る.....320
VICS放送局を変更する.....320
渋滞情報を確認する.....320
渋滞情報を取得する.....320
電話をかける.....320
カスタム操作をする.....321
オーディオの音声操作.....322
AVソースを切り換える.....322
AVソースをOFFにする.....322
画面の切り換えを行う.....322
地上デジタルテレビの操作.....322
ラジオの操作.....322
DVDビデオの操作.....322
ROMの操作.....322
CDの操作.....322
ミュージックサーバーの操作.....323
Bluetooth Audioの操作.....323
iPodの操作.....323
SDの操作.....323
USBの操作.....323
カスタム機能.....324
カスタムボタンを使う.....324
カスタムボタンダイレクトを使う....324
カスタムボタンリストを使う.....324
カスタムボタンダイレクトを設定する...324
カスタムボタンリストを設定する...325
**カスタム設定できる
機能(コマンド)一覧.....325**
ショートカットコマンド.....325
設定コマンド.....326
カスタム専用コマンド.....326
**フロントカメラ・
サイドカメラを使う場合.....326**

その他の機器

DSRCユニット.....328
5.8 GHzVICSサービスについて...328
安全運転支援情報.....328
道路交通情報
(ダイナミックルートガイダンス)328

5.8 GHzVICS情報を受信したとき...328
案内情報を受信したとき.....328
渋滞情報を受信したとき.....329
情報接続サービス
（地域観光情報など）について....329
コントロールパネルを表示する.....329
情報ページの利用を終了する.....330
履歴を表示する.....330
履歴を消去する.....331
ブックマークに登録する.....331
ブックマークを表示する.....332
ブックマークを編集する.....332
ブックマークを消去する.....333
ページメモに保存する.....333
ページメモを表示する.....334
ページメモを編集する.....334
ページメモを消去する.....335
ページ内検索をする.....335
ページ情報を表示する.....336
サーバー証明書を表示する.....336
文字サイズを変更する.....336
文字コードを変更する.....337
表示設定を変更する.....337
Cookieを消去する.....338
ルート証明書を表示する.....339
ETCサービスの利用について.....339
アップリンク機能を設定する.....339

ETCユニット.....340
ETC関連の情報案内について.....340
ETCカード・エラー関連音声案内....340
ETCカード有効期限切れ関連音声案内...340
予告ビーコン通過時音声案内.....340
ETCレーン通過時音声案内.....340
料金所通過時音声案内.....340
ETC利用履歴を確認する.....340
ETC起動時音声案内を設定する....341
ETCカード有効期限切れ通知について...341
通常時の例.....341
有効期限切れが当月の場合の例.....341
有効期限がすでに切れている場合の例...341

携帯電話（ハンズフリー）.....342
ハンズフリー通話ご使用時について...342
ハンズフリー通話でエコー
（残響音）が気になるときは.....342
電話を受ける.....342
電話のかけかた.....343
電話番号を入力して電話をかける....343
メモリダイヤルを
呼び出して電話をかける.....343
発着信履歴から電話をかける.....343
地図に登録された
電話番号に電話をかける.....344
通話中メニューの操作.....344
メモリダイヤルを読み込む.....344
メモリダイヤル読み込み済みの場合...345
メモリダイヤルを消去する.....345
発着信履歴を消去する.....346

フォトリモ@ナビ対応携帯電話...347
フォトリモ@ナビの
メール送信機能を操作する.....347
メールを送信する.....347
メールを再送信する.....349
リストを登録・編集する.....349
送信先を登録・編集する.....349
送信先を削除する.....350
タイトルを登録・編集する.....350
タイトルを削除する.....351
本文を登録・編集する.....351
本文を削除する.....352
フォトリモ@ナビ
地点情報送信機能を使う.....353
目的地に設定されているとき.....353
登録地に設定されているとき.....353

フロントカメラを使う.....354
フロントカメラの入力設定をする...354
フロントカメラ映像を表示する.....354
フロントカメラの画質を調整する...355

サイドカメラを使う.....356
サイドカメラの入力設定をする.....356
サイドカメラ映像を表示する.....356
サイドカメラの画質を調整する.....357

バックカメラ.....358
バックカメラの入力設定をする.....358
カメラガイド表示を設定する.....358
カメラガイドを調整する.....359
擬似バンパーラインを表示する.....360
バックカメラ映像を表示する.....361
バックカメラの画質を調整する.....361

リアモニター.....363
リアモニター出力設定をする.....363
リアモニターに表示される
映像について.....363
リアモニターの設置場所について....363
著作権保護された番組を
視聴する際のご注意.....363

通信

通信で渋滞情報を取得する.....366
オンデマンドVICSについて.....366
リアルタイムプローブと
リアルタイムプローブ
渋滞情報について.....366
リアルタイムプローブの設定をする...367
初期登録をする.....367
プローブ情報送信設定を行う.....367
渋滞情報取得開始設定をする.....368
渋滞情報連続取得設定をする.....368
取得タイミングと
連続取得の取得動作について.....369
渋滞情報を手動で取得する.....369
渋滞情報を自動で取得する.....369
通信で取得した渋滞情報の
地図表示について.....370
通信で受信した渋滞情報の
提供時刻を確認する.....370

お好みワード検索.....372
お好みワードで検索する.....372

特集.....373
特集された情報を取得する.....373

テレビdeみ〜た.....374
テレビで紹介されたスポットを探す...374

駐車場満空情報.....375
駐車場満空情報を取得する.....375

ガススタ価格情報.....376
ガススタ価格情報を取得する.....376

天気予報.....377
気象情報を取得する.....377
天気予報を表示する.....377
週間天気予報情報を見る.....378
アメダス情報を見る.....378

セキュリティロック.....379
セキュリティロックを設定する.....379
セキュリティロックが働いた場合の操作...379

困ったときは

故障かな？と思ったら.....382

メッセージと対処方法.....390

付録

センサー学習について.....396
センサー学習状態の
リセットが必要な場合.....396
オールリセットが必要な場合.....396
距離学習リセットが必要な場合.....396
センサー学習状態のリセットのしかた...396

再生できるディスクの種類.....397
再生できるディスクの種類とマーク...397
ハイビジョン画質（AVCHD
/AVCREC規格）で記録された
ディスクについて.....398
「DualDisc」の再生について.....398
DVDに表示されているマークの意味...398
ディスクの操作について.....398

ディスクの構成について.....399
DVDビデオ.....399
映画など.....399
カラオケディスク.....399
CD.....399

再生できるファイルとメディアの種類...400
音声コーデックについて.....401
映像コーデックについて.....401
音声コーデックと映像コーデックの
組み合わせについて.....402

ナビゲーションのしくみ.....403
現在地がわかるしくみ.....403
GPSによる測位.....403
自立航法による測位.....403
測位の精度を高めるためのしくみ...403
3Dハイブリッドセンサーの役割.....403
マップマッチング.....403
誤差について.....404
GPS測位不可による誤差.....404
GPS衛星自体による誤差.....404
有料・高架道路での誤差について....404
低速時の自車位置精度について.....404
駐車場マップについて.....404
その他の誤差について.....405

その他の情報.....407
検索におけるデータベースについて...407
タウンページデータについて.....407
自然物に関するデータについて.....407
季節の味覚スポット検索のデータについて....407
電話番号検索のデータについて.....407
ロゴマーク表示について.....407
営業時間考慮周辺検索について.....407

ルートに関する注意事項 407
ルート探索の仕様 407
ルート探索のしかた.....408
ルートの道塗りについて.....408
音声案内について 408
交差点拡大図について.....408
ルート候補選択画面での
有料料金について.....408
オートリルートについて.....408
VICS情報に関する注意事項.....408
FM多重放送について 408
ビーコンについて 408
VICSセンターのお問い合わせ先.....409
シティマップ(詳細市街地図)収録エリア...409
整備面積95% 以上(466 都市) 409
整備面積80% 以上(64 都市) 410
整備面積50% 以上(158 都市) 410
整備面積50% 未満(646 都市) 410
阪神高速道路株式会社からのご連絡 ...411
収録データベースについて 411
地図データについて.....411
交通規制データについて.....414
有料道料金データについて.....414
VICSサービスエリアについて.....414
放送局リストのデータについて 414
訪問宅(個人宅)
電話番号データについて.....414
渋滞予測データについて.....414
ボトルネック踏切データについて 414
その他情報提供元 414

索引 415

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
❗	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
📝	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明しています。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
メニュー	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：メニューを押す
◀/▶	ナビゲーション本体についている早戻し/早送りどちらかのボタンを押すことを表します。
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：*→「場所を探す」*
長く押す/長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける/タッチし続ける	押している（タッチしている）間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

基本操作

基本操作

本機の基本操作について説明します。

本機の操作は、タッチパネル操作、ボタン操作で行います。

メモ

- ステアリングスイッチ装備車では、ステアリングスイッチで一部のオーディオ操作を行うこともできます。詳しくは、スタートブックをご覧ください。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作します。



終了	現在開いているメニューなどを終了して、元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面から、1つ前の画面に戻ります。

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。

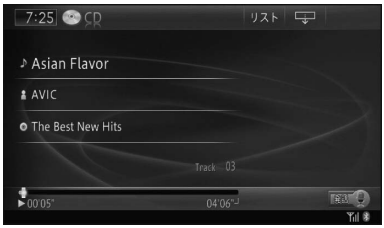
画面の切り換えかた

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 AVソースがONのときに、ナビゲーション画面でAVを押す

▼

AVソース画面が表示されます。



2 AVソース画面でNAVIを押す

▼

ナビゲーション画面が表示されます。



メモ

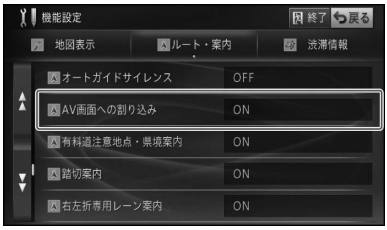
- AVソースがOFFのときに、AVを押した場合は、センターメニューが表示されます。→*P19の「センターメニューの操作」*
- 情報ウィンドウのマルチAV表示機能を使うと、ナビゲーション画面表示中でも、AVソースの情報（曲のタイトル名など）を表示することができます。→*P48の「情報ウィンドウの操作」*

AV画面への割り込みを設定する

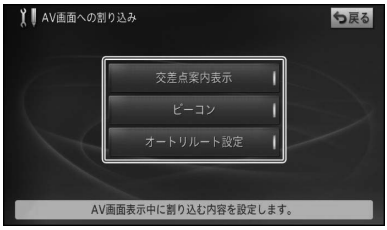
AVソース画面表示中に、各種ナビゲーション情報を一時的に割り込み表示させることができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 AV画面への割り込みにタッチする



3 割り込み表示させる項目にタッチする



交差点案内表示	交差点案内表示を割り込み表示します。
ビーコン	ビーコン情報を割り込み表示します。
オートリルート設定	オートリルート案内の情報を割り込み表示します。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- 割り込み表示させる項目は、複数選択できます。項目を何も選択しなかった場合は、OFFとなります。工場出荷時は、すべて選択状態となっています。
- OFFに設定していても、緊急情報やデータ更新メッセージなどが割り込み表示される場合があります。
- ビーコンは、別売のビーコンユニットまたはDSRCユニットを接続した場合に操作できます。

画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 NAVIを長く押す

▼

画面が一時的に消えます。

メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチするか、NAVI、AV、メニューを押すと、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- ナビスタンバイ中に以下の機能が働いた場合は、一時的にナビスタンバイを解除します。
  - バックカメラ映像表示
  - C（カスタム）を押したことによるフロント/サイドカメラ映像表示
  - 電話着信時
- バックカメラ映像表示の場合のみ、機能解除後は自動的にナビスタンバイモードに戻ります。

リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



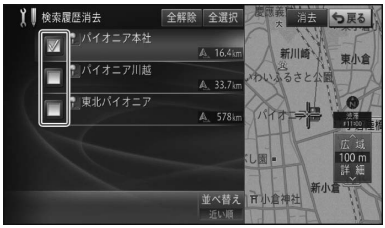
ページ送り 1画面ずつ移動します。	▲、▼にタッチする
タブ選択 タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。	タブ（例：ルート・案内）にタッチする

50音タブの操作



行選択 リストの先頭に表示する行を選択することができます。	タブ(あ~わ)にタッチする
音送り リストを音送りすることができます。	タブ(例:あ)に繰り返しタッチする(例:あ→い→う→え→お)

チェックリストの操作



チェックリストでは、リスト左側のチェックボックスにタッチすると☑(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度チェックボックスにタッチすると☑が消え、選択が解除されます。項目自体にタッチすると、表示される地図の内容が選んだ項目の内容に切り換わります。

インジケーター付きリストの操作



インジケーター付リストでは、項目にタッチするとリスト右側のインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度同じ項目にタッチするとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

ポップアップメニューの操作



リスト画面によっては、項目にタッチすると、ポップアップメニューが表示される場合があります。表示されたポップアップメニューから機能を選んでタッチすることができます。

サイドマップリストの操作

サイドマップリストでは、項目にタッチするとタッチした地点や施設を中心としたサイドマップが表示されます。

サイドマップ選択項目の送り操作



リスト項目の選択状態を切り換えることができます。	▲前の施設、▼次の施設にタッチする

サイドマップ50音タブの操作



あかさたな送りリストを次ページに送ることができます。	▶▶にタッチする (例:あかさたな→はまやらわ)

メモ

- 前ページのリストに戻るには、◀◀にタッチします。
- **地図**にタッチするか、同じリスト項目に再度タッチすると、選択中の地点や施設の地図を全画面表示します。
- **情報**にタッチすると、選択中の地点や施設に情報がある場合に限り詳細情報画面を表示します。
- サイドマップについて、詳しくは→*P43の「サイドマップについて」*をご覧ください。

メニューの操作

本機のメニューについて、基本となる操作方法を説明します。

センターメニューの操作

センターメニューとは、本機の各種メニューが集められたメニューです。各種機能をご利用になるには、センターメニューの表示が基本となります。

1 (メニュー)を押す

▼

センターメニューが表示されます。



NAVI menu	NAVI menuに切り換えます。
AV menu	AV menuに切り換えます。
AV OFF	AVソースをOFFにします。
携帯電話	携帯電話メニューを表示します。
ビュー	ビューメニューを表示します。
情報	情報メニューを表示します。
設定・編集	設定･編集メニューを表示します。
ルート	ルートメニューを表示します。

メモ

- (メニュー)を押すことで、NAVI menuとAV menuの表示を入れ換えることもできます。

NAVI menu

場所や行き先を探すメニューです。



マルチワード検索	探したい地点や施設のキーワードを入力して検索します。
住所	住所を入力して検索します。
電話番号	電話番号から検索します。
ジャンル	探したい地点や施設のジャンルを指定して検索します。
周辺施設	現在地周辺またはスクロール地点やルート周辺から特定の施設を検索します。
履歴・登録地	登録した地点や過去に検索した地点のリストから検索します。
通信コンテンツ	通信機能を利用して専用サーバーに接続し、通信による各種検索を行います。
自宅	自宅までのルートを探索します。

AV menu

音楽や映像を楽しむメニューです。



DISC	挿入されているディスク（DVD、CD、ROMなど）を再生します。
MSV	ミュージックサーバーを再生します。
FM	FMを受信します。
AM	AMを受信します。
DTV	地上デジタルテレビ放送を受信します。
SD	SDカード内の音楽・映像データを再生します。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audio機器の音楽データを再生します。
iPod	iPodの音楽・映像データを再生します。
USB	USBメモリー内の楽曲データを再生します。
AUX	本機に接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生します。
交通情報	AMの交通情報を受信します。

メモ

- 以下の場合、センターメニューはAV menuの状態で表示されます。
  - AVソース再生中に(AV)を長く押す
  - AVソースOFFの状態で、ナビゲーション画面で(AV)を押す

携帯電話メニュー

携帯電話を接続し、ハンズフリー通話やメール送信などを行うメニューです。



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。
メモリダイヤル	本機に読み込まれたメモリダイヤルのリストを表示します。
発着信履歴	発着信の履歴のリストを表示します。
メール	地点情報や到着予想時間などの情報をメールで送信できます。
編集・消去	メモリダイヤルのデータや発着信の履歴、送信したメールなどを編集・消去できます。

メモ

・メール機能は、フォトリモ@ナビ対応携帯電話をお使いの場合のみ利用できます。

ビューメニュー

地図の表示方法や地図の向きなど、地図の表示に関する設定を行うメニューです。



ノーマルビュー	平面の地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます（シティマップ）。
スカイビュー	上空から見ているような地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます（スカイシティマップ）。
ドライバーズビュー	ドライバーの目線のような地図を表示します。小画面には平面の地図が表示されます（サイドマップ）。サイドマップの地図は、スケール変更やスクロールができます。ルート案内中は、オートアングルチェンジ機能により、視点が自動的に変化します。
ツインビュー	地図画面を2分割で表示します。地図のスケールを変更できます。右画面の地図に現在地を表示したまま、左画面で地図のスクロール操作をすることができます。
AVサイドビュー	地図画面とAVソース画面を同時に表示します。AVソース画面にタッチすると、AVソースの操作画面に切り換わります。
ハイウェイモード	有料道専用画面を表示します。前方の有料道施設までの距離や料金、予想到着（通過）時刻、分岐方面看板などが表示されます。有料道走行時のみ有効です。
通常表示	通常の地図が表示されます。
文字拡大	文字情報を拡大した地図が表示されます。
道路重視	道路情報を強調した地図が表示されます。
地図方位	地図の向きを設定します。
100mスケール一方通行表示	100 mスケール時の一方通行マークの表示を設定します。
ロゴマーク表示設定	地図上に表示するロゴマークを設定します。
その他設定	スケールの登録の設定を行えます。
周辺検索結果消去	周辺検索によって表示されたロゴマークを消します。

情報メニュー

ルート情報、VICS情報など、本機で利用できる各種情報の表示を行うメニューです。



ルート情報	現在案内中のルートを確認・編集します。
渋滞情報	受信している渋滞情報を表示したり、リアルタイムプローブの取得状態を設定します。

天気予報	天気情報を表示したり、取得状態を設定します。
エコステータス詳細	平均燃費やアイドリング率などのエコに関わる情報をグラフや指数でわかりやすく表示します。
システム情報	センサー学習の状況や接続した機器の状態、HDDやSDカードの状況を確認します。
バージョン情報	本機に収録された地図データのバージョン情報を表示します。
マップクリップ	選んだ地点のマップクリップ（2次元バーコード）を表示します。
ETC利用履歴	挿入されているETCカードの利用履歴を表示します。
DSRC情報接続サービス	高速道路サービスエリアのITSスポットなどのDSRC情報接続サービス提供エリア内で通信可能な状態であれば、施設から提供されるさまざまな情報を表示して利用することができます。

設定・編集メニュー

ナビゲーションやオーディオの各種設定、編集を行うメニューです。



データ編集	登録地や各履歴、ドライブプランなどのデータを編集します。
ルート編集	現在案内中のルートを確認・編集します。
オーディオ設定	オーディオの音質や出力のスピーカーなどを設定します。
ソース別設定	各AVソース特有の設定項目を設定します。
機能設定	ナビゲーション機能を設定します。
プローブ設定	リアルタイムプローブを利用するための設定を行います。
燃費・車両設定	燃費計算や駐車場利用・有料道路料金、エコ関連機能に使用する車両情報を設定します。
調整・補正	音量や自車位置などを調整します。
システム設定	Bluetoothやカスタムボタン、セキュリティなどの各機能を設定します。
案内・ハンズフリー音量設定	ナビゲーションの案内音量、ハンズフリーの音量などを設定します。
イージーセットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行います。

ルートメニュー

探索されたルートや案内中のルートの変更や消去を行うメニューです。



再探索	ルートを再探索します。
別ルート	別ルートを探索します。
消去	案内中のルートを消去します。
立寄地送り	次の立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直します。

ショートカットメニューの操作

地図を動かしたり場所を探したあとに表示されるメニューです。ルート探索や地点登録、周辺施設の検索などが行えます。



周辺施設を探す	カーソル位置周辺の施設を、ジャンルを選んで検索します。
マップクリップ	カーソル位置をマップクリップ(2次元バーコード)で表示します。
ここを登録する	カーソル位置を本機に登録します。
ここへ行く	カーソル位置を目的地として、ルートを探索します。

文字の入力操作

検索時や編集時などに必要な、文字の入力操作について説明します。

本機では、英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号、URLが入力できます。

メモ

- 入力項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。
- 本機は、文字入力変換システムに株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

入力パレットを切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法（キーボード方式、携帯電話方式）から選んで行うことができます。

1 または にタッチする

▼

選んだ入力方法に切り換わります。

キーボード方式



携帯電話方式



文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える→文字を入力する→無変換、変換を行う→文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 文字の種類にタッチする



▼

文字の種類が切り換わります



全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は、全角・半角を切り換えることができます。

1 全角または半角にタッチする



▼

タッチするごとに全角と半角が切り換わります。

大文字・小文字を切り換える

英字の場合は、大文字・小文字を切り換えることができます。

1 a/Aにタッチする



▼

タッチするごとに大文字と小文字が切り換わります。

濁点、半濁点、大文字・小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 小文字にタッチする



▼

タッチするごとにカーソル左側の文字が以下のように切り換わります。
小文字 →濁点→半濁点→元の文字に戻る
例1：ツ→ッ→ヅ→ツ
例2：ハ→バ→パ→ハ

文字を入力する

キーボード方式で入力する

1 入力したい文字にタッチする



携帯電話方式で入力する

1 入力したい文字が表示されるまで、キーを繰り返しタッチする



カーソルの位置を動かす

1 画面右上の←・→にタッチする



▼

タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。

メモ

- タッチし続けている間、カーソルを移動することができます。
- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- 一部の文字入力画面では、←・→でカーソルを移動させることができない場合があります。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、スペースにタッチする



▼

タッチした分だけスペースが挿入されます。

メモ

- 入力した文字が変換中の場合は、スペースを挿入することはできません。変換または無変換を確定してから、スペースを挿入してください。

文字を挿入する

1 ←・→にタッチして、文字を挿入したい位置の右側にカーソルを移動させる



▼

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

メモ

- マルチワード検索のキーワード入力では、入力された文字部分を直接タッチしてもカーソルを移動することができます。
- マルチワード検索のキーワード入力時、入力欄を超えてキーワードが入力された場合は、入力部をタッチしてそのまま左右にドラッグ操作することで、すばやく入力箇所を表示できます。

改行する

1 改行にタッチする



▼

カーソルの位置で改行することができます。

文字を削除する

1 ←・→にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、削除にタッチする



▼

タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右隣の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- 削除に長くタッチすると、すべての文字を一括で削除することができます。

ひらがなをそのまま入力する

1 ひらがなで文字を入力し、無変換にタッチする



▼

入力した文字がひらがなで確定されます。

予測変換、漢字変換を行う

本機では、予測変換機能を使うことができます。入力した文字に応じて表示される変換候補から選択することができます。

1 ひらがなを入力する



▼

入力された文字に応じた変換候補が表示されます。

2 変換候補を選んでタッチする



▼

文字が入力されます。

メモ

- **次候補**にタッチして候補を切り換えることができます。
- 最後の変換候補が表示された状態で、**次候補**にタッチすると、候補一覧が表示されます。
- 表示された変換候補に該当する文字がない場合は、**一覧**にタッチすると変換候補の一覧を表示して選ぶことができます。一覧を閉じるには**閉じる**にタッチしてください。

文字入力を終了する

1 入力終了にタッチする



▼

文字入力を終了することができます。

URLの入力について

URLの入力が必要な場合は、自動的にURL入力画面が表示されます。
URL入力画面は2ページあり、**次ページ**/**前ページ**で切り換えます。

1ページ目



2ページ目



かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	＝
ごうどう	≡
だいなり	＞
しょうなり	＜
ばつ	×
ふとうごう	≠、＜、＞、≦、≧、≪、≫
ぷらす/たす	＋
まいなす/ひく	－
ぷらすまいなす	±
むげん/むげんだい	∞
なぜならば	∵
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ/あるふぁー	A、α
いーた	H、η
いおた	I 、ι
いぷしろん	E、ε
うぷしろん	Y、υ
おーむ/おめが	Ω、ω
おみくろん	O、ο
かい/きー	X、χ
かっぱ	K、κ
がんま/がんまー	Γ、γ
くしー/ぐざい	Ξ、ξ
しーた	Θ、θ
じーた	Z、ζ
しぐま	Σ、σ
たう	T、τ
でるた	Δ、δ
にゅー	N、ν
ぱい/ぴー	Π、π
ふぁい/ふぃー	Φ、φ
ぷさい/ぷしー	Ψ、ψ
べーた	B、β
みゅー	M、μ
らむだ	Λ、λ
ろー	P、ρ

括弧

読み	記号
かっこ	‘’、“”、( )、〔〕、[]、{}、〈〉、《》、「」、『』、【】

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△、▲、▽、▼
しかく	◇、◆、□、■
ずけい	☆、★、○、●、◎、◇、◆、□、■、△、▲、▽、▼
まる	○、●、◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇、◆
ほし	☆、★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	°、′、″、℃、¥、$、¢、£、%
ど	°、℃
どる	$
ぱーせんと	%
ぱーみる	‰
びょう	″
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	゛
てん	、､､、…、‥
はんだくてん	゜
まる	。､.

矢印

読み	記号
やじるし	→、←、↑、↓

その他

読み	記号
あすたりすく/あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぷ	♪
から/ないし	〜
こめ/ほし	※
しゃーぷ	♯
しゃせん	／、＼
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	♭

ナビゲーション基本操作

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

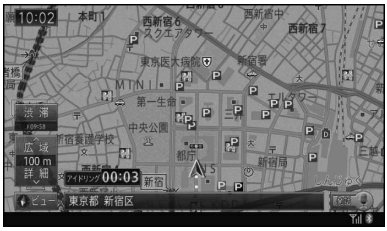
現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 NAVIを押す

▼

現在地の地図が表示されます。



メモ

- 現在地画面を表示している状態でNAVIを押すと、登録してある地図のスケールに切り換わります（登録スケールで表示している場合は動作しません）。→*P42の「地図スケールを登録する」*

画面下部に表示される情報

本機をお使いの状況に応じて、画面下部には各種アイコンが表示されます。

アイコン例	表示条件
Silent	ガイドサイレンスでルート案内中に表示されます。
	本機に挿入されたSDカードを認識している場合に表示されます。
更新完了	地図データ等の更新時に表示されます。更新中は、進捗状況が%で表示されます。
REC CD→MSV	音楽CDからMSV（ミュージックサーバー）へ録音中に表示されます。
	フォトリモ@ナビ対応携帯電話接続時で、不在着信があった場合に表示されます。
	フォトリモ@ナビ対応携帯電話接続時で、未読メールがある場合に表示されます。
50% 7℃	天気予報（気象情報や予想気温、降水確率）を取得している場合に表示されます。また、取得した天気予報の予報時刻を表示します。ルート設定時は目的地付近、ルート設定がない時は現在地付近の予報を表示します。（予報の右の自車マークが現在地付近を示します。目的地付近の場合はチェッカーフラッグとなります。）
ETC	別売のETCユニットやDSRCユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合に表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、アイコンの上に赤い斜線が表示されます。
DTC	別売のDSRCユニットが接続されていて、ICカードが挿入されている場合に表示されます。
	Bluetooth機器がハンズフリー接続されているときに表示され、基地局とBluetooth機器間の電波強度を示します。
	Bluetooth機器が接続されているときは青色で表示され、未接続の場合は灰色で表示されます。電波発射がOFFに設定されている場合および音声案内がOFFの場合は表示されません。
	音声案内をOFFにした場合に表示されます。

メモ

- 同種のアイコンなどは、一度に1種類しか表示されないものもあります。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー



方位マークの赤い三角が北を示します。

メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約1 000 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 情報ウィンドウには、現在地情報やECO関連情報、AV情報、駐車場監視情報などを表示することができます。→*P48の「情報ウィンドウの操作」*
- エコ運転課題表示は本機の起動時にメッセージが表示されます。
- eスタートカウンターは、停車時からの発進5秒後までをカウントし、その結果を30秒間表示します。→*P51の「eスタートカウンターを表示する」*
- アイドリングカウンターは、停車中の秒数が表示されます。→*P50の「アイドリングカウンターを表示する」*
- 現在の時刻は、GPS衛星の情報に基づいて表示されます。時刻の変更はできません。

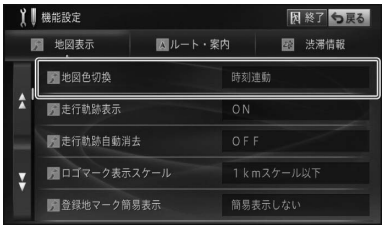
地図に関する設定をする

地図色切換を設定する

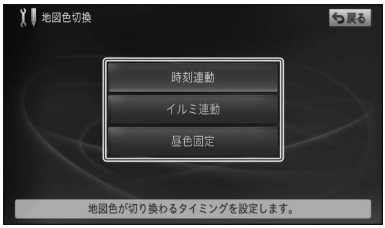
地図色が切り換わるタイミングを設定します。
工場出荷時は「時刻連動」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 地図色切換にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



時刻連動	日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
イルミ連動	スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
昼色固定	常に昼画面のままです。

▼

設定内容が変更されます。

走行軌跡表示を設定する

走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。

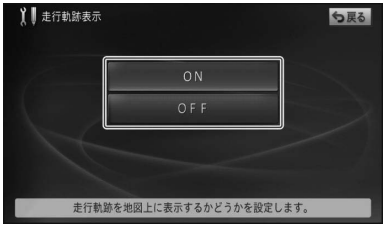
工場出荷時は「ON」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 走行軌跡表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	走行軌跡が表示されます。
OFF	走行軌跡は表示されません。

▼

設定内容が変更されます。

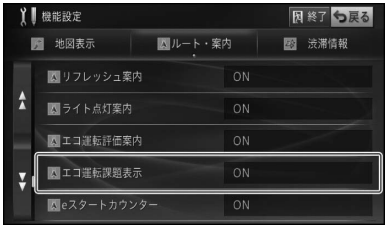
エコ運転課題表示を設定する

ナビ起動時に前回のエコ運転の課題を表示するか設定します。

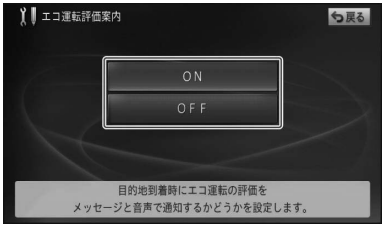
工場出荷時は「ON」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 エコ運転課題表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。

地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします（スクロール）。

1 地図上の見たい方向にタッチする

▼

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



2 位置を微調整したい場合は、微調整にタッチしてから、微調整したい方向の矢印（8方向）にタッチする



▼



矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

もう一度微調整にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。

近隣情報表示について

地図をスクロールさせたり、検索をした結果の地図で［⊡］が表示され、スクロール地点周辺に存在するマークや施設情報を自動的に画面に表示します。（近隣情報表示）



表示対象となるのは、以下のマークや情報です。

- VICSの規制マーク
- ロゴマーク
- 目的地や立寄地などの誘導マーク
- 施設情報
- 登録地

メモ

- スクロールした地点を目的地にセットしたい場合は、［の場所］にタッチしてください。
- 周辺または同一家形内に複数の対象情報がある場合は、［一覧］にタッチするとリスト表示され、選択できます。

スクロール画面の見かた

スクロール画面は、地図を動かしたときに表示されます。

ノーマルビュー



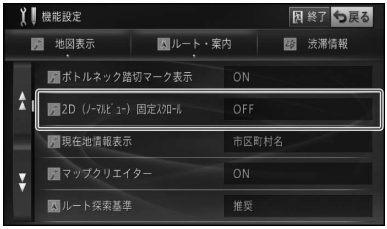
スクロール時のビューモードを設定する

スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。

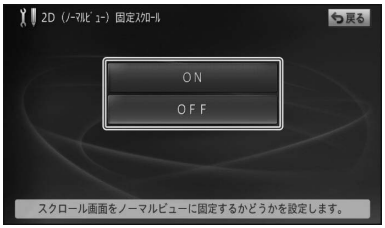
工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 2D（ノーマルビュー）固定スクロールにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
OFF	スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

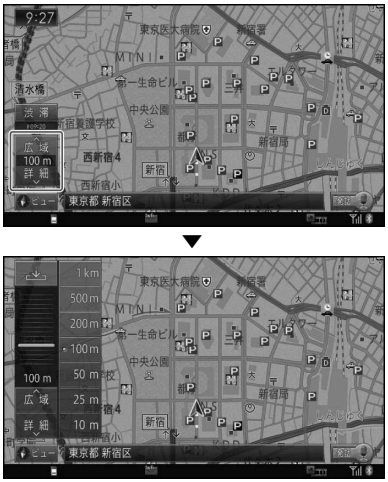
▼

設定内容が変更されます。

地図のスケールを変える

10 m ～ 500 kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細または広域にタッチする



▼

詳細	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
広域	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。
ダイレクトスケールキー（例：100 m）	広域/詳細にタッチすると表示され、タッチしたスケールで地図を表示することができます。
	ダイレクトスケールキーおよびスケールゲージを消します。

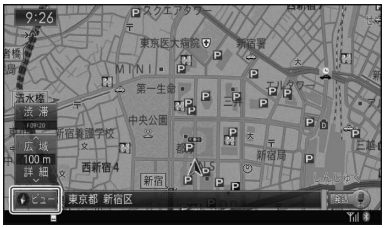
メモ

- タッチするごとに、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 kmとスケール表示が変わります。
- 詳細や広域にタッチし続けると、スケールが段階的に変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- 地図を2画面（ツインビュー）で表示している場合、左画面のスケール表示を選ぶと、左画面のスケールのみ変わります。右画面のスケールを変えたいときは、右画面内のスケール表示を選んでから操作します。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビューにタッチする



2 表示方法を選んでタッチする



ノーマルビュー	平面の地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます（シティマップ）。
スカイビュー	上空から見ているような地図を表示します。詳細市街地図収録エリアでは、10 m～50 mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます（スカイシティマップ）。
ドライバーズビュー	ドライバーの目線のような地図を表示します。小画面には平面の地図が表示されます（サイドマップ）。サイドマップの地図は、スケール変更やスクロールができます。ルート案内中は、オートアングルチェンジ機能により、視点が自動的に変化します。
ツインビュー	地図画面を2分割で表示します。地図のスケールを変更できます。右画面の地図に現在地を表示したまま、左画面で地図のスクロール操作をすることができます。
AVサイドビュー	地図画面とAVソース画面を同時に表示します。AVソース画面にタッチすると、AVソースの操作画面に切り換わります。

ハイウェイモード	有料道専用画面を表示します。前方の有料道施設までの距離や料金、予想到着（通過）時刻、分岐方面看板などが表示されます。有料道走行時のみ有効です。

メモ

- スカイシティマップではスケールが50 mまで、スカイビューでは200 mまで登録地点に設定した立体ランドマーク（3Dマーク）が表示されます。
- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界線付近ではシティマップのみ表示され、境界線の外側は何も表示されません。
- ドライバーズビューでは、エリア・天気予報・時刻に応じて空のイメージが変化します。ただし、実際の風景とは異なります。
- ドライバーズビューでは、マップクリエイターで作成された道路は表示されません。
- マップクリエイターで作成された道路を走行中はハイウェイモードにはなりません。

地図の表示方法に関する設定をする

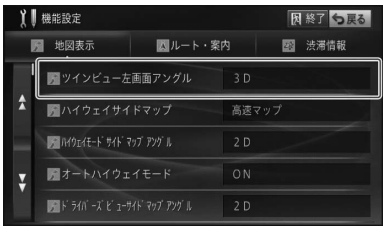
ツインビュー左画面アングルを設定する

ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。

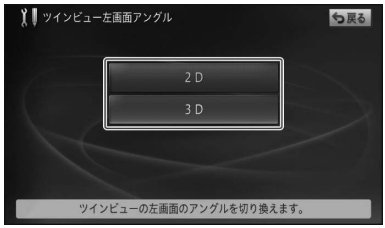
工場出荷時は「3D」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ツインビュー左画面アングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	左画面をノーマルビューで表示します。
3D	左画面をスカイビューで表示します。

▼

設定内容が変更されます。

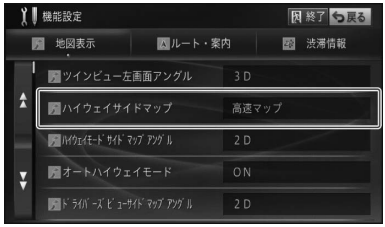
ハイウェイサイドマップを設定する

ハイウェイモードのサイドマップの表示を設定します。

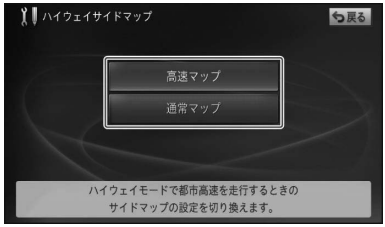
工場出荷時は「高速マップ」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ハイウェイサイドマップにタッチする



3 高速マップまたは通常マップにタッチする



高速マップ	高速マップが表示されます。
通常マップ	通常マップが表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

ハイウェイモードサイドマップアングルを設定する

ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。

工場出荷時は「2D」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ハイウェイモードサイドマップアングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

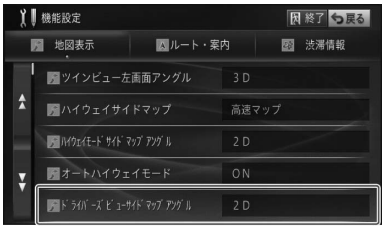
ドライバーズビューサイドマップアングルを設定する

ドライバーズビューのサイドマップのアングルを設定します。

工場出荷時は「2D」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ドライバーズビューサイドマップアングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

AVサイドビューアングルを設定する

AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。

工場出荷時は「2D」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 AVサイドビューアングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

シティマップを設定する

シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。

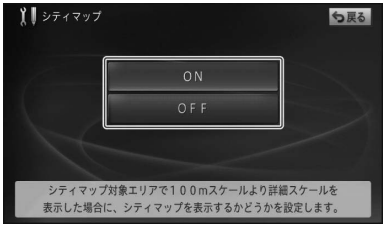
工場出荷時は「ON」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 シティマップにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	市街地図が表示されます。
OFF	通常の地図が表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

スカイシティマップを設定する

シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。

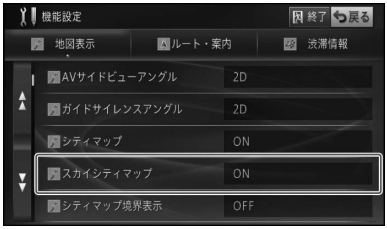
工場出荷時は「ON」です。

メモ

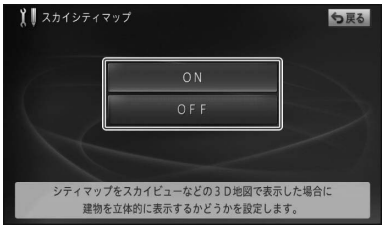
・シティマップ設定が「ON」のときに操作できます。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 スカイシティマップにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	市街地図の建物が立体的に表示されます。
OFF	市街地図の建物が平面的に表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

シティマップ境界表示を設定する

シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

・シティマップ設定が「ON」のときに操作できます。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 シティマップ境界表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	シティマップの境界が画面に表示されます。
OFF	シティマップの境界を画面に表示せず、通常地図に切り換えます。

▼

設定内容が変更されます。

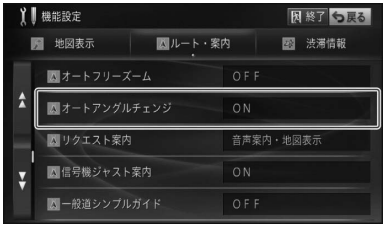
オートアングルチェンジを設定する

案内地点でのドライバーズビューの視点変更を行うかを設定します。

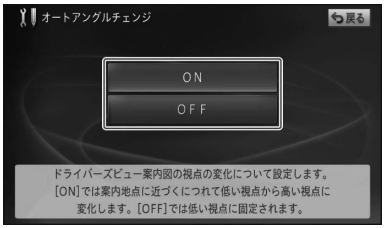
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートアングルチェンジにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	ドライバーズビューの視点を自動的に高くします。
OFF	ドライバーズビューの視点を自動的に変更しません。

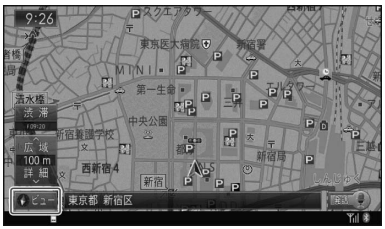
▼

設定内容が変更されます。

ターゲットマップを設定する

ターゲットマップとは、地図に表示されているさまざまな情報のうち、特定の情報を強調して表示する機能です。それぞれの表示方法で、お好みに応じて表示モードを設定することができます。

1 ビューにタッチする



2 文字拡大または道路重視にタッチする



文字拡大	地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

道路重視	地図画面上の道路に関する情報を重視して表示します。

▼

地図画面が選んだ表示モードになります。

メモ

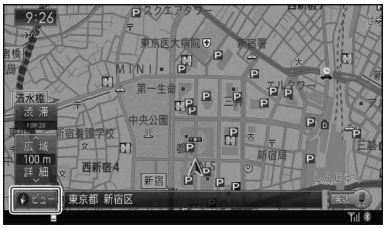
- 文字拡大は20 kmスケール以下、道路重視は1 kmスケール以下で表示されます。

地図の向きを変える

ノーマルビューでは、2種類の地図の向き（地図方位）から選ぶことができます。

（ヘディングアップ）	進行方向が常に上になるように、地図が自動的に回転します。
（ノースアップ）	北が常に上になるように表示されます。

1 ビューにタッチする



2 地図方位にタッチする



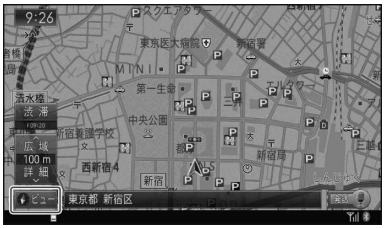
▼

ヘディングアップまたはノースアップに切り換わります。

100 mスケールで一方通行マークを表示する

シティマップ（10 m～50 mスケール）で自動的に表示される一方通行マークを、100 mスケールでも表示させることができます。

1 ビューにタッチする



2 100mスケール一方通行表示にタッチする



▼

ON/OFFが切り換わります。
ハイウェイモードのサイドマップの場合は表示できません。

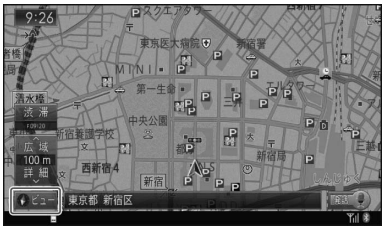
メモ

- 地図のスケールを100 m以外に設定している場合、本機能をONにすると自動的に100 mスケールに切り換わります。

ロゴマークを選んで地図上に表示する

さまざまな施設（コンビニなど）のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 ビューにタッチする



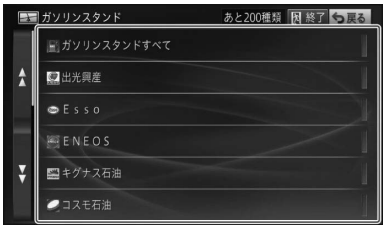
2 ロゴマーク表示設定にタッチする



3 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする



4 施設を選んでタッチする



選択した施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。
再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。

5 戻るにタッチする

6 ONにタッチし、終了にタッチする

▼

選んだジャンルや施設のロゴマークが地図上に表示されます。
地図画面へのロゴマーク表示を一括でやめたい場合は、手順6でOFFにタッチしてください。

メモ

- 他の施設を選ぶには、手順3・4を繰り返してください。
- 選択したジャンルに施設のデータがない場合は、ジャンルのインジケーターが点灯します。このときONにタッチすると、選択したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。

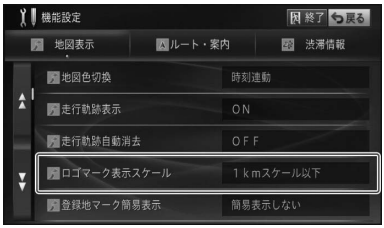
ロゴマーク表示スケールを設定する

ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。

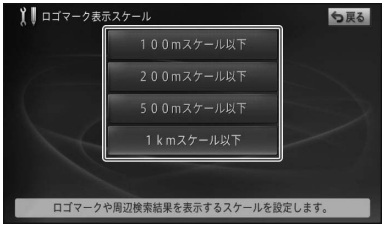
工場出荷時は「1 kmスケール以下」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ロゴマーク表示スケールにタッチする



3 設定したい項目にタッチする



100mスケール以下	100 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
200mスケール以下	200 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
500mスケール以下	500 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
1 kmスケール以下	1 km以下のスケールでロゴマークが表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

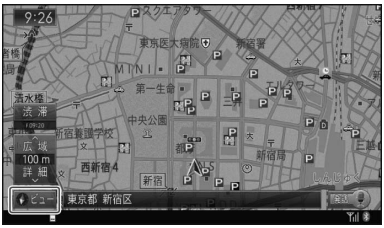
地図スケールを登録する

NAVIを押したときに地図画面で表示されるスケールを、それぞれの地図の表示方法ごとに登録することができます。

- ツインビューでは、左画面のスケール登録ができます。
- ドライバーズビューやAVサイドビュー、ハイウェイモードでは、サイドマップのスケール登録ができます。

1 登録したいスケールで地図を表示する

2 ビューにタッチする



3 その他設定にタッチする



4 スケール登録にタッチする



5 登録にタッチする



▼

登録したスケールで地図画面に戻ります。

メモ

- ノーマルビューまたはスカイビューの状態で本操作を行うと、**ハイウェイモードスケール登録**が表示されます。ノーマルビューまたはスカイビューで有料道を走行している場合は、**ハイウェイモードスケール登録**にタッチすることで、ハイウェイモードのサイドマップに対するスケール登録を行うことができます。

サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。

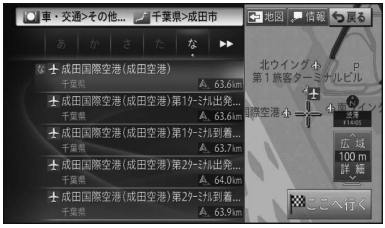


メモ

・サイドマップ内に地図や情報が表示された場合、タッチすると全画面地図や選択中の施設の詳細情報を表示することができます。

リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設周辺の地図がサイドマップに表示されます。



候補表示画面

周辺検索時の候補表示画面などでは、選択されている施設に矢印マークが付きます。



情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



走行中の地図画面について

走行中は、いろいろな音声案内や地図表示が行われます。それぞれお好みにあわせて設定することもできます。

走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います（セーフティインフォメーション）。

有料道注意地点、県境案内	ここからおよそ○キロ先までは、十分運転に注意してください。この先、合流があります（右からの合流があります）（左からの合流があります）、ご注意ください。○○県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	およそ300 m先、右折専用レーンがあります（左折専用レーンがあります）。ご注意ください。およそ300 m先、右折専用、及び左折専用レーンがあります。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 右左折専用レーン案内は、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。ルート案内中でなくても案内されます。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- 日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。

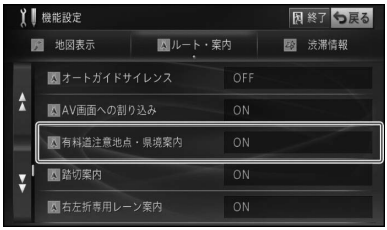
有料道注意地点・県境案内を設定する

有料道走行時に、注意地点と県境を案内するか設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 有料道注意地点・県境案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。

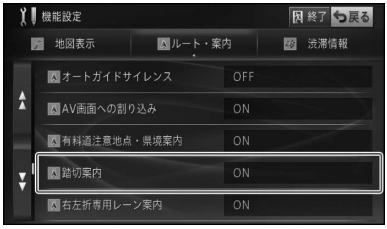
踏切案内を設定する

前方に踏切がある場合に案内をするか設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 踏切案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。

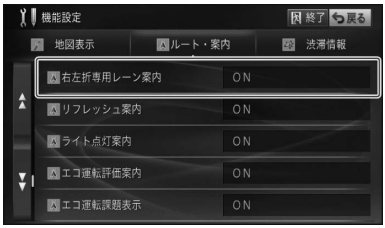
右左折専用レーン案内を設定する

前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。

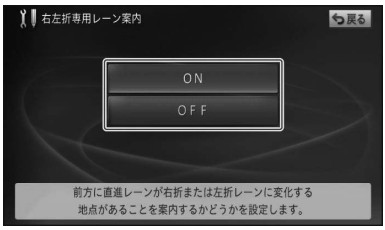
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 右左折専用レーン案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。

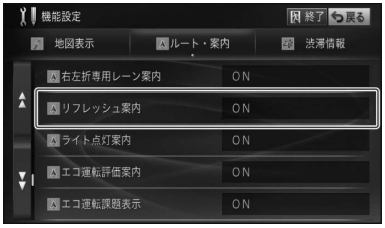
リフレッシュ案内を設定する

2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 リフレッシュ案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。

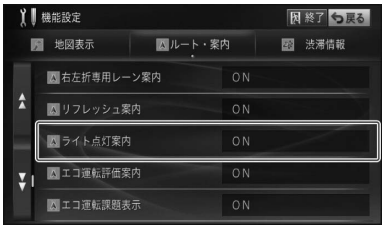
ライト点灯案内を設定する

日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。

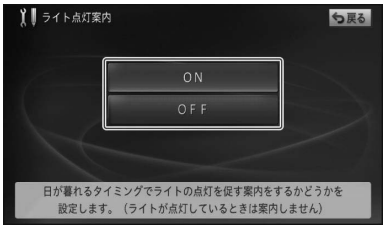
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ライト点灯案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



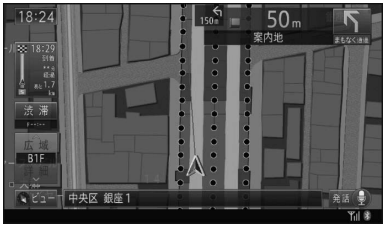
ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。

駐車場に入ると

データが収録されている大規模駐車場に入ると、階数や入口、出口、エレベーターの位置などがわかる駐車場マップが表示されます。



メモ

・駐車場マップの表示スケールは、6 m固定となります。

交差点に近づくと

交差点の手前約300 mに近づくと、場所によって通過する交差点名、レーン情報、方面案内、信号機のマークなどが表示されます。



方面案内表示を設定する

一般道走行時に方面案内看板を表示するか設定します。

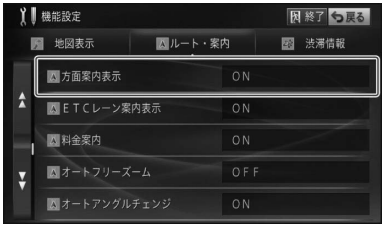
工場出荷時は「ON」です。

メモ

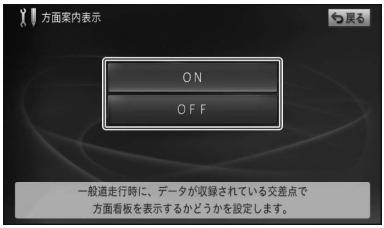
・データ収録されている交差点のみ、表示されます。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 方面案内表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	交差点で方面案内が表示されます。
OFF	方面案内は表示されません。

▼

設定内容が変更されます。

有料道を走行すると

有料道を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります（ オートハイウェイモード）。



メモ

・一部表示対象外の有料道もあります。

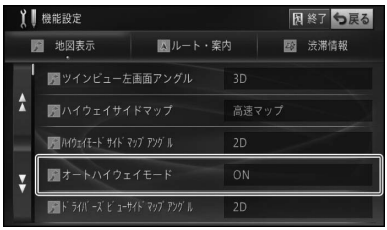
オートハイウェイモードを設定する

有料道に入ったとき、自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。

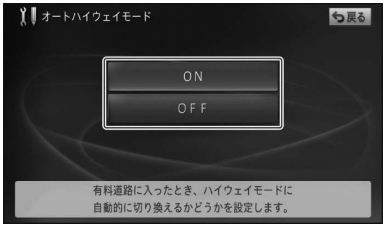
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートハイウェイモードにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



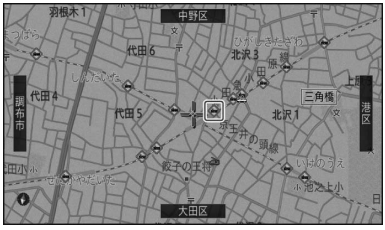
ON	ハイウェイモードに切り換えます。
OFF	ハイウェイモードに切り換えません。

▼

設定内容が変更されます。

ボトルネック踏切表示について

10 m～100 mスケールでは、「ボトルネック踏切」および「開かずの踏切」がマークで表示されます。



メモ

- ボトルネック踏切とは、踏切交通遮断量（自動車1日あたりの交通量×1日あたりの踏切遮断時間）が5万台時/日以上の踏切のことを言います。
- 開かずの踏切とは、ボトルネック踏切のうち、ピーク1時間あたりの遮断時間が40分以上の踏切のことを言います。
- 開かずの踏切は、赤枠で表示されます。

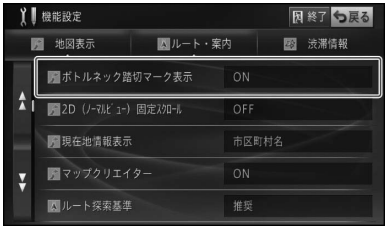
ボトルネック踏切マーク表示を設定する

ボトルネック踏切マークを地図上に表示するか設定します。

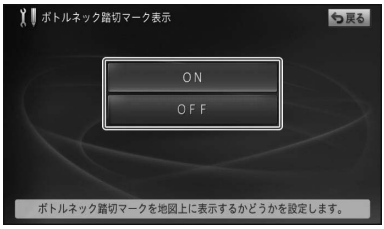
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ボトルネック踏切マーク表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	ボトルネック踏切のマークが表示されます。
OFF	ボトルネック踏切のマークは表示されません。

▼

設定内容が変更されます。

情報ウィンドウの操作

情報ウィンドウは、タッチするごとに以下のように切り換わります。必要に応じて詳細表示することも可能です。

現在地情報表示
市区町村名などの現在地情報が表示されます。



▼

エコステータス
燃費などECOに関する情報が表示されます。



▼

AV情報
操作中のAVソースや曲のタイトル名、アーティスト名などが表示されます。



▼

駐車場監視情報
目的地に設定した駐車場の情報が表示されます。



▼

現在地情報に戻る

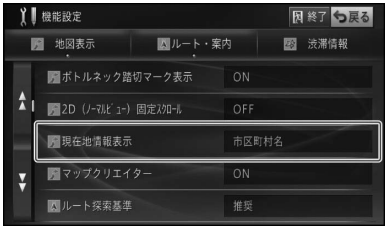
現在地情報表示を設定する

地図画面に表示される現在地情報の内容を設定します。

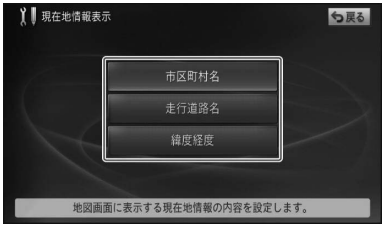
工場出荷時は「市区町村名」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 現在地情報表示にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



市区町村名	現在地が市区町村名で表示されます。
走行道路名	現在地が走行道路名で表示されます。（道路名がない場合は市区町村名が表示されます。）
緯度経度	現在地が緯度経度で表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- 市区町村名は、地図スケール表示が100 m～1 kmのときに表示されます。2 km以上の場合は表示されません。また場所によっては表示されないところもあります。

ECO関連情報表示について

情報ウィンドウの詳細表示キーをタッチすることで、ECO関連情報の詳細表示ができます。

1 にタッチする





メモ

- AVソースがONの場合は、**切換**にタッチすると、AV情報の詳細表示に切り換わります。
- にタッチすると、ECO関連情報の詳細表示を解除します。

燃費インジケーター

累計平均燃費と直近平均燃費を比較して、イルミネーション表示します。

平均燃費

過去の平均燃費と、今回のドライブの平均燃費を表示します。

エコ指数

ルート案内中にエコ指数をゲージで表示します。→*P83の「エコ指数について」*

推定燃料費

ドライブの燃料消費量と燃料単価から算出して金額を表示します。

推定CO2排出量

前回までのドライブと燃費を比較して、今回のドライブのCO2排出量の増減をリアルタイムで表示します。

メモ

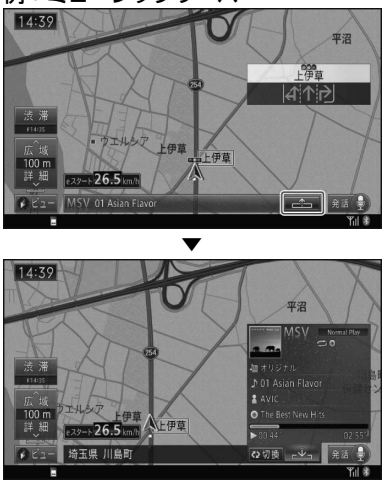
- 以下の場合、平均燃費は表示されません。
  - センサー学習が完了していない場合
  - 簡易ハイブリッドモードの場合
  - センサー学習がリセットされた場合
- 燃費表示は、車両形式やエンジン形式、過給器の有無、アイドリングストップ機能の有無、使用燃料などの条件により、正しく表示されない場合があります。
- エコ指数、CO2削減率、燃費インジケーターは、ゲージが上へ行くほど良い値を示します。
- 総合燃費は、エンジンをかけてから現在まで（ルート案内中は、ルート案内終了まで）の平均燃費を過去の累計平均燃費を中心に相対表示します。
- 一般道/有料道ごとに過去の累計平均燃費の平均値を中心に、直近約90秒間の平均燃費を相対表示します。

AV情報表示について

情報ウィンドウの詳細表示キーをタッチすることで、AV情報の詳細表示ができます。

1 にタッチする

例：ミュージックサーバー

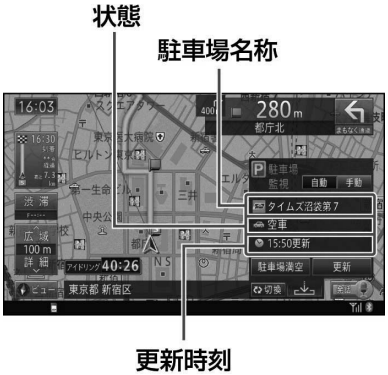


メモ

- **切換**にタッチすると、より詳しいECO関連情報表示または駐車場監視情報（駐車場監視使用時）に切り換わります。
- にタッチすると、AV情報の詳細表示を解除します。

駐車場監視情報表示について

「駐車場満空情報」で検索した駐車場を目的地にすると、その駐車場の満空情報をリアルタイムで取得し、表示させることができます。
駐車場満空情報を利用する場合は、本機が通信可能な状態になっている必要があります。
→*P375の「駐車場満空情報」*



自動	満空情報の更新を「自動」に設定します。自動更新のタイミングは、本機が通信機器の接続を確認した時点から、約5分間隔で行われます。
手動	満空情報の更新を「手動」に設定します。
駐車場満空	目的地周辺の駐車場満空情報を再検索します。
更新	満空情報の更新を行います。

駐車場名称
駐車場満空情報から目的地に設定した駐車場の名称を表示します。

状態
取得している情報から駐車場の満空状態を表示します。

更新時刻
満空情報の提供時刻を表示します。

メモ

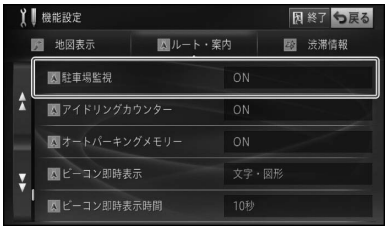
- 本機能は、満空情報なしの駐車場は対象外となります。
- 目的地の消去または目的地を変更すると、駐車場監視は終了します。
- 「自動」に設定していても、**更新**にタッチするとその時点で満空情報の更新を行います。この場合、次に自動更新が行われるタイミングは前回自動更新が行われてから約5分後となります。
- **切換**にタッチすると、ECO関連情報の詳細表示に切り換わります。
- にタッチすると、簡易表示にすることができます。

駐車場監視を設定する

駐車場監視を使用するかを設定します。
工場出荷時は「ON」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 駐車場監視にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする

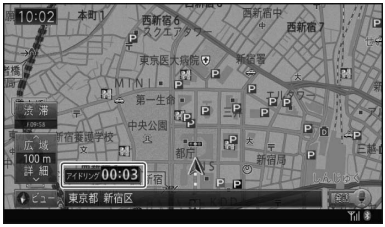


ON	駐車場監視を使用します。
OFF	駐車場監視を使用しません。

▼
設定内容が変更されます。

アイドリングカウンターを表示する

停車中の秒数を表示します。
カウンターを目安にし、無駄なアイドリングをしないよう心がけましょう。



メモ

- 表示は、画面にタッチすると消すことができます。
- 走行を開始すると、約30秒で消えます。
- eスタートカウンターがON に設定されている場合は、走行を開始すると、eスタートカウンターの表示に切り換わります。
- エコ運転課題表示が行われている場合は、表示されません。

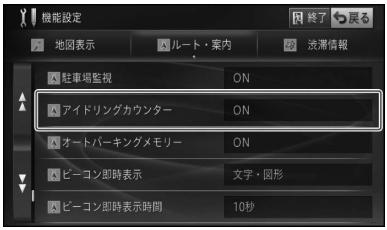
アイドリングカウンターを設定する

アイドリングカウンターを表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 アイドリングカウンターにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	表示されます。
OFF	表示されません。

▼

設定内容が変更されます。

eスタートカウンターを表示する

停車時からの発進5秒後までをカウントし、その時点の速度をeスタート率に当てはめて色分けして、約30秒間表示します。
色分けは、下記の条件を満たした場合に行われます。

- 道路にマップマッチングしている
- 発進開始から約5秒後の地点まで、減速しなかった場合

また、色分けの区別は以下の通りです。

- 0 km/h以上～ 11 km/h未満または 26 km/h以上
- 11 km/h以上～ 15 km/h未満
- 15 km/h以上～ 26 km/h未満



メモ

- 表示は、画面にタッチすると消すことができます。
- エコ運転課題表示が行われている場合は、表示されません。

eスタートカウンターを設定する

eスタートカウンターを表示するかを設定します。

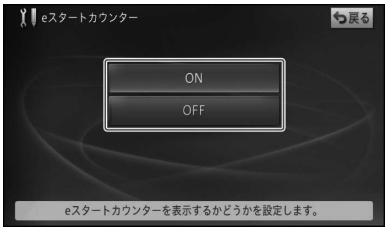
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 eスタートカウンターにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	表示されます。
OFF	表示されません。

▼

設定内容が変更されます。

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモードの現在地画面の見かた

サイドマップ表示
現在地や選んだ施設の位置などが、地図表示されます。

各施設までの残り距離と通過予想時刻

SA/PA送り
サービスエリアやパーキングエリアだけを順に送ります。

施設送りタッチキー
情報を表示したい施設を選択します。



施設名称表示
施設の名称や店舗情報などが表示されます。タッチすると施設周辺の地図や分岐情報などを見ることができます。

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC）と施設名が表示されます。
- 現在地からの距離と予想到着（通過）時刻が表示されます。渋滞予測と渋滞情報を考慮して表示させることもできます。→*P79の「渋滞の考慮方法を設定する」*
- 次の施設には、施設のサービス情報と料金（IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合）が表示されます。
- **次の施設**にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示させることができます。
- 次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設を選択すると、イラストが表示されます。
- 次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択することができます。
- 次の施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、次の施設を選択すると、どちらかを選択する画面が表示されます。
- VICS情報を取得している場合は、故障車や車線規制などのVICS情報がマークで表示されます。→*P165の「VICSマークの種類」*
- ルート案内中は、有料道出口のおよそ1 km手前になると有料道出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- 有料道上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道です。
- 各種ETC 割引料金については対応していません。

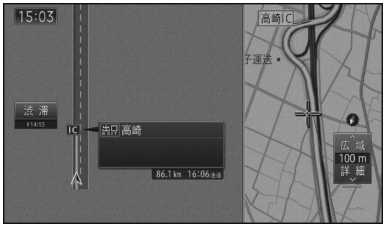
出口情報を表示する

ルート案内中は、出口の施設情報（料金や距離、予想到着（通過）時刻）を表示することができます。

1 出口施設にタッチする



▼



メモ

- 出口情報の表示にタッチすると出口周辺の地図を表示させることができます。
- 有料道上に目的地を設定した場合と、ルートのない場合には、出口施設を表示することができません。
- 出口施設情報で表示される到着予想時刻は、ルートプロフィールの到着予想時刻と異なる場合があります。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード表示中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 次の施設にタッチして表示したい施設を選ぶ



メモ

- 先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。

- サイドマップには選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ルート案内中は、ルート上の施設を順に送ります。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。
- 選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- 100施設先まで見ることができます。
- **SA/PA 送り**にタッチすると、SA/PAだけを順に送ることができます。
- 選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。
- 選んだ施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- **NAVI**を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

分岐施設の分岐先の情報を見るには

ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中に分岐施設がある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 分岐施設を選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



地図にタッチすると、分岐施設がある地点の地図を表示します。確認後、**戻る**にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

▼

分岐先の路線が表示されます。



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設（例：）と利用できない施設（例：）が区別されて表示されます。（営業時間考慮表示）
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。

施設のイラスト表示について

SAやPAにイラスト情報が収録されている場合は、施設にタッチすると表示されます。

1 SAまたはPA施設にタッチする



▼



メモ

- **地図表示**にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

VICS情報表示について

VICS情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報が近い順に3件まで表示されます。



メモ

- 規制区間の規制情報とサイドマップ上の規制情報は異なる場合があります。

検索

場所を探す

ナビゲーションの操作は、場所（行き先、立寄地などの目的地）を探すことからはじまります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

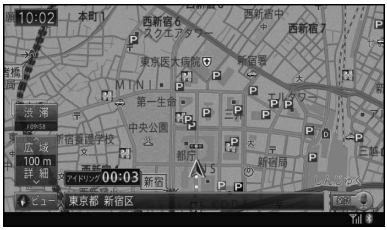
メモ

- 場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴に300件まで保存されます。
- 本機に通信機器が接続され、通信可能な状態にある場合は、通信による検索を行うこともできます。詳しくは→*P372の「お好みワード検索」*以降をご覧ください。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 場所（施設など）を検索したときに、十字カーソルから少し離れた場所に旗のマークが表示されることがあります。そのような施設では、スクロールせずにそのまま目的地に設定すると、表示されている旗のマークの場所が目的地に設定されます。（駐車場ポイントリンク）

地図で探す

地図を動かして、場所・地点・施設を探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる



▼



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

マルチワード検索で探す

探したい場所の手がかりとなるキーワードを入力（最大3ワード）し、キーワードに指定されたカテゴリー（名称、ヨミ、ジャンル）を手がかりに、各種施設を探すことができます。

メモ

- 入力されたキーワードによっては、選択できないカテゴリーがあります。（例：キーワードに“山”と入力した場合、カテゴリーで“ヨミ”を選ぶことはできません。）
- マルチワード検索では、通信機能の設定や通信機器の接続が完了している場合に、通信機能を利用して専用サーバーの情報を検索（シームレス検索）することもできます。

マルチワード検索の基本的な操作方法

1 メニューを押し、マルチワード検索にタッチする

2 キーワードを入力し、キーワード追加にタッチする



3 2つ目のキーワードを入力し、キーワード追加にタッチする



4 3つ目のキーワードを入力し、検索にタッチする



5 ジャンルを絞り込む



6 目的の施設を選んでタッチする



通信で検索にタッチすると、専用サーバーに接続し、本機に収録されていないオープンしたばかりの店舗や施設などの情報をオンライン検索することができます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 予測変換機能の候補や一覧から入力することができます。→*P25の「予測変換、漢字変換を行う」*
- 検索結果によっては、施設のリスト画面に絞り込みが表示され、エリアやジャンルによる絞り込みを行うこともできます。
- 属性がジャンルのキーワードを一つだけ入力して検索を行った場合は、エリア指定が表示され、エリアによる絞り込みを行うこともできます。
- 並べ替えにタッチすると、リスト項目を一致順、近い順で並べ替えることができます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、P入口が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- ▲前の施設、▼次の施設にタッチすると、施設を送ることができます。
- 一致順は、「名称」「ヨミ」を含む検索で、結果が1 000件未満の場合に選択できます。
- 近い順の場合は、自車位置周辺の半径約10 kmまたは30 kmの範囲から検索を行い、表示します。
- 道のり順の場合は、道のり前方約30 kmの範囲、かつ道のりの両側約200 m以内で検索を行い、最大50件表示します。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例:）と利用できない施設（例:）が区別されて表示されます。（営業時間考慮検索）
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます（選んだ検索種別（タブ）や施設によっては、アイコンが表示されない場合もあります）。
  - 駐車場あり：P
  - ATMあり：ATM
  - お酒の取り扱い（コンビニ）：酒
  - タバコの取り扱い（コンビニ）：タバコ
  - ドライブスルー（ファストフード）：
  - 距離情報（現在地からの距離、スクロール位置からの距離、自車位置からの距離など）
  - ルートに対して施設が右側か左側に位置するかのマーク（ルート案内中のみ）

- 駐車場マークは、お客様からご提供いただいたプローブ情報を集計した駐車場混雑予測情報をもとに、混雑状況と待ち時間を色分けして表示します。
  - 青：空車（待ち時間なし）
  - 橙：混雑（3 ～ 10分程度の待ち時間）
  - 赤：満車（15 ～ 30分程度または30分以上の待ち時間）
  - 黒：不明（収録情報なし）
- 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限（車種）」、「駐車制限（車両寸法）」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は🅿と表示されます。（実際の車両設定と異なる場合があります）
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。

入力したキーワードを変更するときは

入力したキーワードでの検索がうまくいかないときは、属性やキーワードを変更してみてください。

1 属性を変更したいキーワードの属性マークにタッチする



2 変更したい属性のマークにタッチする



3 変更したいキーワードにタッチする



キーワードは、変更したい位置を直接タッチして削除・入力することができます。
キーワード表示欄に表示しきれない文字数の場合は、キーワード表示欄にタッチしたまま左右にドラッグすることで、隠れていた部分を表示させることができます。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1 メニューを押し、住所にタッチする

2 都道府県、市区町村名、（大字、小字）、丁目を指定する



3 番地、号を指定する



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 主要部にタッチすると、選んだ地域の代表地点が地図に表示されます。

- 番地入力にタッチすると、番地を入力することができます。
- 探した施設の情報が複数収録されている場合は、情報が表示されます。一覧にタッチすると、施設情報をリストで表示することができます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、P入口が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1 メニューを押し、電話番号にタッチする

2 電話番号を入力する



▼

電話番号を全桁入力すると自動的に検索をはじめます。
自動的に検索を開始しない場合は、入力終了にタッチします。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます（090、080、070、050ではじまる電話番号は11桁まで入力できます）。
- ダイヤルQ2（0990-○○）、携帯電話、短縮ダイヤルは対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。
- 登録地点に登録された電話番号でも、0以外からはじまる電話番号や#の入った短縮ダイヤルは検索されません。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村の代表地点が表示されます。

- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例:）と利用できない施設（例:）が区別されて表示されます。（営業時間考慮検索）
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます（選んだ検索種別（タブ）や施設によっては、アイコンが表示されない場合もあります）。
  - 駐車場あり：P
  - ATMあり：ATM
  - お酒の取り扱い（コンビニ）：酒
  - タバコの取り扱い（コンビニ）：タバコ
  - ドライブスルー（ファストフード）：
  - 距離情報（現在地からの距離、スクロール位置からの距離、自車位置からの距離など）
- 駐車場マークは、お客様からご提供いただいたプローブ情報を集計した駐車場混雑予測情報をもとに、混雑状況と待ち時間を色分けして表示します。
  - 青：空車（待ち時間なし）
  - 橙：混雑（3 ～ 10分程度の待ち時間）
  - 赤：満車（15 ～ 30分程度または30分以上の待ち時間）
  - 黒：不明（収録情報なし）
- 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限（車種）」、「駐車制限（車両寸法）」を考慮して検索されます。利用できない駐車場はPと表示されます。（実際の車両設定と異なる場合があります）

ジャンルで探す

ジャンルのリストから各種施設を探すことができます。

検索できるジャンル

1 メニューを押し、ジャンルにタッチする

2 探している施設のジャンル（大分類）にタッチする



車・交通（タブ）	ガソリンスタンド、急速・普通充電スポット、急速充電スポット、普通充電スポット、カーディーラー、カー用品店、自動車修理・整備、駐車場、レンタカー、駅、バイク販売店、その他　車・交通
買う（タブ）	コンビニエンスストア、ショッピングモール、スーパーマーケット、ディスカウントストア、デパート、衣料品店、おもちゃ屋、ベビー用品店、家電店、携帯電話販売店、スポーツ用品店、ホームセンター、家具・インテリア店、リサイクルショップ、薬局、その他 買う
生活（タブ）	病院、学校、郵便局、ATM、都市銀行、地方銀行、第2地方銀行、その他　金融機関、トイレ、その他 生活
遊ぶ・泊まる（タブ）	観光スポット、宿泊施設、身障者用トイレのある宿泊施設、サウナ・健康ランド、ゴルフ場、ゴルフ練習場、キャンプ場、公園、水族館、動物園、遊園地、映画館、ボウリング場、体育館・アリーナ、トレーニングセンター、ペットと楽しむ施設、味覚狩り、巡礼、その他 遊ぶ・泊まる
食べる（タブ）	ファストフード、ファミリーレストラン、.身障者用トイレのあるレストラン、寿司屋、回転寿司店、うどん・そば店、パスタ店、ラーメン店、カレー店、中華料理店、焼肉・韓国料理店、喫茶店・カフェ、その他 食べる
新規スポット（タブ）	追加データ

3 探している施設のジャンル（中分類）にタッチする



4 探している施設のジャンル（小分類）にタッチする



5 付近で探すまたは都道府県を指定して探すにタッチする



ジャンルで駅などを選択した場合は、**路線順で探す**が表示されます。

6 目的の施設にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 追加データには、NAVI OFFICEで地図データの更新を行ったときに、弊社が整備した新規スポットデータ（駐車場入口情報を除く）が追加されます。
- リスト項目先頭に表示される“**○○○すべて**（例：**コンビニエンスストアすべて**）”を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- **付近で探す**にタッチすると現在地付近またはスクロール先付近で、**路線順で探す**または**都道府県を指定して探す**にタッチするとそれぞれのリストから検索の条件を指定することができます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例:）と利用できない施設（例:）が区別されて表示されます。（営業時間考慮検索）
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます（選んだ検索種別（タブ）や施設によっては、アイコンが表示されない場合もあります）。
  - 駐車場あり：**P**
  - ATMあり：**ATM**
  - お酒の取り扱い（コンビニ）：**酒**
  - タバコの取り扱い（コンビニ）：**タバコ**
  - ドライブスルー（ファストフード）：
  - 距離情報（現在地からの距離、スクロール位置からの距離、自車位置からの距離など）
  - ルートに対して施設が右側か左側に位置するかのマーク（ルート案内中のみ）
- 駐車場マークは、お客様からご提供いただいたプローブ情報を集計した駐車場混雑予測情報をもとに、混雑状況と待ち時間を色分けして表示します。
  - 青：空車（待ち時間なし）
  - 橙：混雑（3 ～ 10分程度の待ち時間）
  - 赤：満車（15 ～ 30分程度または30分以上の待ち時間）
  - 黒：不明（収録情報なし）
- 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限（車種）」、「駐車制限（車両寸法）」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は**P**と表示されます。（実際の車両設定と異なる場合があります）
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大50件まで探すことができます。

1 （メニュー）を押し、周辺施設にタッチする

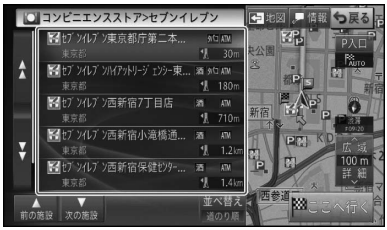
2 ジャンルを指定する



3 ジャンルを絞り込む



4 目的の施設にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- リスト項目先頭に表示される“**○○○すべて**（例：**コンビニエンスストアすべて**）”を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- **並べ替え**にタッチすると、道のり順または近い順で並べ替えることができます。

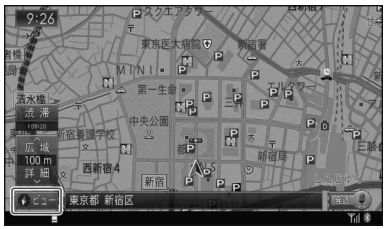
検索

- 道のり順の場合は、道のり前方約30 kmの範囲、かつ道のりの両側約200 m以内で検索を行い、最大50件表示します。
- 近い順の場合は、自車位置周辺の半径約10 kmまたは30 kmの範囲から検索を行い、表示します。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- **▲前の施設**、**▼次の施設**にタッチすると、施設を送ることができます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例:  ）と利用できない施設（例:  ）が区別されて表示されます。（営業時間考慮検索）
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます（選んだ検索種別（タブ）や施設によっては、アイコンが表示されない場合もあります）。
  - 駐車場あり：P
  - ATMあり：ATM
  - お酒の取り扱い（コンビニ）：酒
  - タバコの取り扱い（コンビニ）：タバコ
  - ドライブスルー（ファストフード）： 
  - 距離情報（現在地からの距離、スクロール位置からの距離、自車位置からの距離など）
  - ルートに対して施設が右側か左側に位置するかのマーク（ルート案内中のみ）
- 駐車場マークは、お客様からご提供いただいたプローブ情報を集計した駐車場混雑予測情報をもとに、混雑状況と待ち時間を色分けして表示します。
  - 青：空車（待ち時間なし）
  - 橙：混雑（3 ～ 10分程度の待ち時間）
  - 赤：満車（15 ～ 30分程度または30分以上の待ち時間）
  - 黒：不明（収録情報なし）
- 駐車場は、「燃費・車両情報の設定を行う」の「駐車制限（車種）」、「駐車制限（車両寸法）」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は  と表示されます。（実際の車両設定と異なる場合があります）
- ルート案内中に検索したときは、前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。ルート案内中でないとき、またはスクロール位置で検索したときは、自車位置または十字カーソル位置の半径約10 kmまたは約30 kmの範囲から検索されます。

周辺検索により表示されたロゴマークを消す

周辺施設を探すと、探したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。ロゴマークを消したい場合は、以下のように操作します。

1 ビューにタッチする



2 周辺検索結果消去にタッチする



▼

ロゴマークが消えます。

メモ

- センターメニューから、**周辺施設**－**結果消去**と操作することもできます。
- 車のエンジンスイッチをOFF にしても、ロゴマークを消去できます。

検索履歴・登録地から探す

すでに登録されている場所や過去に検索したり目的地とした場所から探すことができます。

1 メニューを押し、履歴・登録地にタッチする

2 検索履歴（タブ）または登録地（タブ）にタッチする



3 目的の履歴または登録地にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

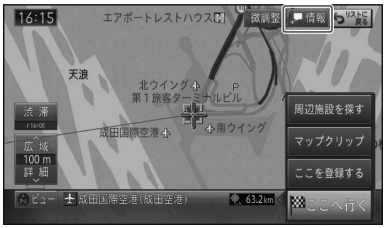
- **グループ名**にタッチすると、そのグループに属する登録地のリストを表示します。
- **並べ替え**にタッチすると、日時順、平日・土日祝日順（検索履歴のみ）、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。
- 近い順の場合は、範囲を限定せず、全ての登録地を自車から近い順に並べます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、**P入口**が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます（選んだ検索種別（タブ）や施設によっては、アイコンが表示されない場合もあります）。
  - 駐車場あり：P
  - ATMあり：ATM
  - お酒の取り扱い（コンビニ）：酒
  - タバコの取り扱い（コンビニ）：タバコ
  - ドライブスルー（ファストフード）：
  - 距離情報（現在地からの距離、スクロール位置からの距離、自車位置からの距離など）
- 駐車場マークは、お客様からご提供いただいたプローブ情報を集計した駐車場混雑予測情報をもとに、混雑状況と待ち時間を色分けして表示します。
  - 青：空車（待ち時間なし）
  - 橙：混雑（3 ～ 10分程度の待ち時間）
  - 赤：満車（15 ～ 30分程度または30分以上の待ち時間）
  - 黒：不明（収録情報なし）
- 検索履歴（タブ）のリスト項目には、検索した日時や現在地またはスクロール先からの距離が表示されます。

詳細情報を見る

検索した場所や、地図上の施設や地点の詳細情報を見ることができます。また目的地や立寄地を選ぶと、ルート情報を表示することができます。

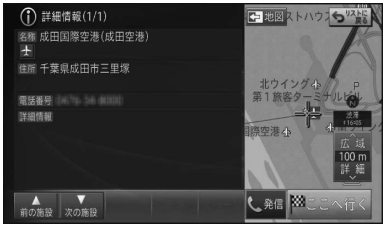
詳細情報を表示する

1 場所を探して情報にタッチする



▼

詳細情報が表示されます。



メモ

- 詳細情報が複数ページある場合は、**次ページ**にタッチして表示を切り換えます。
- **▲前の施設**、**▼次の施設**にタッチすると、施設を送ることができます。
- 電話番号データを収録している場合は、**発信**にタッチすると電話をかけることができます。
- 情報に画像が含まれている場合は、**画像**にタッチして画像を表示することができます。
- **地図**にタッチすると、全画面の地図を表示することができます。
- 駐車場満空情報またはガススタ価格情報の詳細情報を表示させると、通信が開始され、今現在の詳細情報が表示されます。
- NAVI menuの検索機能を使って表示させた地点の場合、以下の情報も表示されます。
  - 駐車場やATMなどのマーク
  - 混雑予測情報のテキスト情報
  - 例）12：00～　混雑　3分程度
  - 駐車場（P）マークの色分け

マップクリップ(2次元バーコード)

現在地やスクロール地点の情報を、マップクリップ(2次元バーコード)に変換し、バーコードリーダー対応携帯電話で読み取って利用することができます。また、ルート案内中の場合は、現在地と目的地などを選択して、ルート情報としてマップクリップに変換することもできます。例えば、駐車場から目的地までの距離が少し離れている場合にこの機能を使って地図を持ち出せば、携帯電話に表示されている地図を見ながら行きたい場所までスムーズに行くことができます。

メモ

- 最大2地点の情報をマップクリップに変換することができます。
- センターメニューを表示し、情報→マップクリップと操作することもできます。
- ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。2次元バーコードの読み取りに対応していない機種もあります。
- 2次元バーコードの読み取り方法は、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- 2次元バーコードで読み取った地図1画面のみの閲覧は無料です。(通信費はお客様負担となります。)
- 有料会員の方は、地図の縮尺変更や移動ができます。
- NTTドコモ:iMapFan(アイマップファン)月額315円(税込)※地図1画面の閲覧は無料
- au/ソフトバンク:ケータイ地図MapFan 月額315円(税込)※地図1画面の閲覧は無料
- iMapFan(iMapFan)、MapFan(ケータイ地図MapFan)とは、携帯電話で利用できる、地図検索サイトです。簡単な操作で、日本全国の詳細な地図をすぐに見ることができます。住所や駅名から検索したり、レストランやコンビニ、公共施設、トイレ、駐車場など、「この近くで探したい」場所を検索できます。※iモード、EZweb、Yahoo!ケータイの公式メニュー内に登録されています。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更・中断・中止される場合があります。

マップクリップに変換する

1 場所を探してマップクリップにタッチする



2 、、にタッチして作成するマップクリップの範囲を指定する

選択したタッチキーは、インジケーターが点灯します。



	現在地を示します。
	スクロール地点を示します。
	目的地/立寄地を示します。

2地点を選択した場合は、携帯電話で2地点間の徒歩ルートが表示されます。また、以下の組み合わせ以外は選択できません。

- 現在地とスクロール地点
- 現在地と直近の立寄地(ルート有り時のみ)
- 現在地と目的地(ルート有り時のみ)

3 大、中、小にタッチして大きさを決める



4 携帯電話で2次元バーコードを読み取る



ルート

ルート探索と案内

探した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートを探すことができます。ルート探索結果は、一定の設定条件に基づき探索されたものです。探索条件の設定については→*P78の「ルート探索条件の設定」*

ルート案内のはじめかた

1 場所を探して**ここへ行く**にタッチする



探した場所の近くに有料道があるときは、一般道または有料道のどちらに面しているか確認する画面が表示される場合があります。すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかを選択する画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのままで、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

▼

ルートの探索が終了すると、案内開始画面が表示されます。

2 **案内開始**にタッチする



▼

走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内を行います。目的地に近づくとルート案内は終了します。
案内開始にタッチせずに走行を開始しても、ルート案内は行われます。

メモ

- 探索したルートをキャンセルしたい場合は、案内開始画面で**戻る**→**はい**にタッチします。

案内開始画面の見かた

距離
選ばれているルートの総距離が表示されます。

所要時間
目的地までの予想所要時間が表示されます。

料金
利用する有料道の料金が表示されます。

推定燃料費
使用する燃料費が推定で表示されます。

推定CO2排出量
渋滞を考慮しないルートと比較した場合のCO2排出量の増減率が推定で表示されます。

IC(インターチェンジ)表示
利用する有料道の最初のICと最後のICが表示されます。

探索条件

ルート表示

凡例表示
ルート上の渋滞・混雑などの表示例を説明しています。



エコなルート

メニュー表示

メモ

- 案内開始画面は、ノースアップ固定となります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。
- 表示される料金は、ETC利用による各種料金割引サービスおよび首都高速・阪神高速のETC車料金には対応しておりません。また、本機で表示される距離とNEXCO各社が料金割引サービスの基準としている距離が異なることがあります。詳しくはNEXCO各社にお問い合わせください。
- 推定燃料費は、燃費・車両情報で車両情報の各項目と、燃料単価が設定されている場合のみ表示されます。ただし、燃料単価のみ設定されている場合は、平均的な車両情報に基づいて算出します。*→P134の「燃費・車両設定」*
- エコなルートは、6本のルート探索が行われ選んだルートの燃料消費量が最少だった場合に表示され、推定燃料費、推定CO2排出量が強調表示されます。
- 通常のルート探索では、渋滞予測情報を考慮して複数のルートを探索します(渋滞考慮ルート探索)。渋滞考慮ルート探索は、考慮するデータを選択することができます。*→P79の「渋滞の考慮方法を設定する」*
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」、「有料道路使用条件」、「フェリー航路使用条件」の探索条件に従ったルートになります。
- 料金表示は、あらかじめ設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。*→P137の「その他車両情報を設定する」*

ルート確認	ルートをスクロールさせたり、ルートのプロフィールを見たりして確認・選択できます。
6ルート地図	目的地までのルートを最大6本、地図上で確認・選択できます。
6ルートリスト	目的地までのルートを最大6本、距離や所要時間、料金などで確認・選択できます。
詳細設定	目的地までのルート上に、立寄地、出発地、日時、乗降ICなどを指定・選択できます。

ルート確認機能および詳細設定機能は、ルート案内開始後にも操作することができます。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- 案内中のルートは、一般道は緑色で有料道は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻に表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。また、渋滞予測と渋滞情報を考慮させた時刻で表示することもできます。→*P79の「渋滞の考慮方法を設定する」*
- 立寄地に滞在時間を設定している場合、目的地までの到着予想時刻は、未通過の立寄地の滞在時間が考慮された時刻で表示されます。
- ルートの進捗は、到着予想時刻に対しての経過時間の進捗を表しています。
- ルート案内中にデモ走行を行うと、ルートの進捗や経過時間は、リセットされます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向、通過予想時刻、および交差点名が表示されます。また、左側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が“案内地”と表示される場合があります。
- 次に通過する交差点のレーン情報、方面看板がルートインフォメーション下に表示されます。交差点によっては情報が表示されない場合があります。
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが一般道は緑色、有料道は青色で表示されます。推奨の誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。方面看板表示は、誘導中の進行方向が緑色で表示されます。
- 距離・到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えることができます。
- 経過時間は、99時間59分まで表示されます。
- 案内中の案内音声や表示内容を、必要最小限にすることができます。→*P74の「ガイドサイレンスについて」*
- 案内中の案内音声をシンプルにすることができます。→*P82の「ルート案内時の設定」*
- エコステータスを表示するには、「パラメーター設定」が必要になります。→*P134の「燃費・車両設定」*

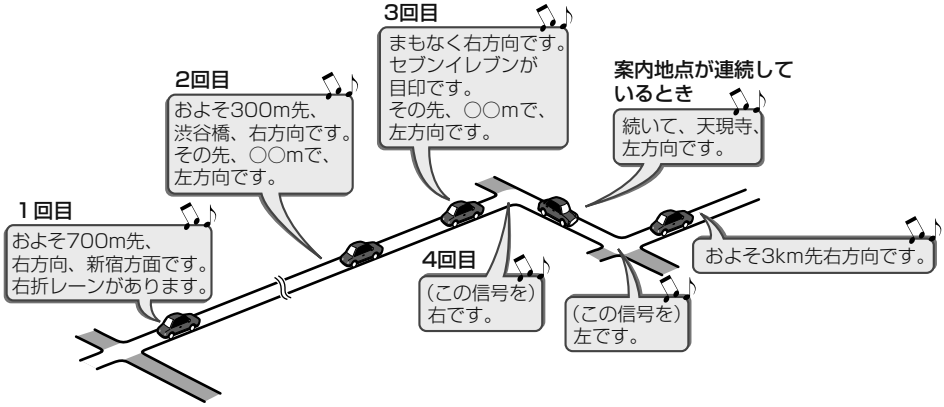
一般道の案内画面の見かた

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

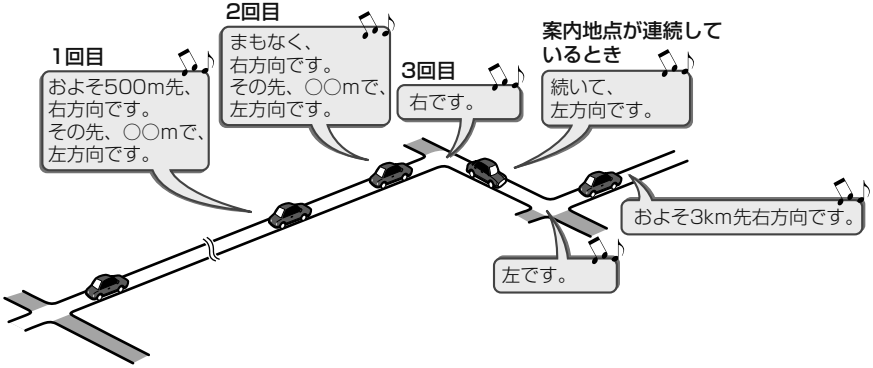
メモ

- シンプルガイド時は、案内地点の交差点名や目印になる施設名は案内されません。→*P86の「一般道シンプルガイドを設定する」*
- 音声案内のポイントで、マップクリエイターにより作成されたマップクリエイター道路が関係する場合は、マップクリエイター道路用の案内が行われます。→*P103の「マップクリエイター」*

通常時



シンプルガイド時



有料道の案内画面の見かた

ルート上の有料道分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

メモ

- 料金表示は、車両設定により中型車、普通車、軽自動車に切り換えることができます。→*P137の「その他車両情報を設定する」*
- 料金案内では、有料道に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。

出口施設タッチキー
出口の情報(料金や距離、予想到着(通過)時刻)を表示することができます。

案内中のルート
有料道は、明るい青色で表示されます。



渋滞マーク
自車位置に最も近い混雑状況(渋滞または混雑)が表示されます。

規制マーク
自車位置に最も近い規制情報が表示されます。

ガイドサイレンスについて

ガイドサイレンスとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。



ガイドサイレンスをお使いになるには、ルート探索前に設定を行う必要があります。→*P87の「オートガイドサイレンスを設定する」*

メモ

- ガイドサイレンスで誘導中は、画面下部にSilent-Guideが表示されます。
- 情報ウィンドウにECO関連情報を表示している場合でも、ガイドサイレンスで案内中は、現在地情報が表示されます。
- ガイドサイレンスの地図画面は、2D(ノーマルビュー)と3D(スカイビュー)で選ぶことができます。
- ガイドサイレンス中でも別ルートへの案内(オートリルート案内)やオートリルート、駐車場マップやビーコン割り込み情報(VICS用ビーコンユニット接続時)の表示は行われます。

ルート案内中の機能について

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

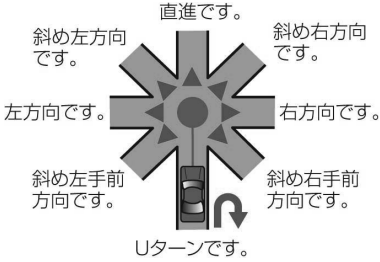
案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。
- オートリルートが働くと、探索されたルートはオートリルート履歴に保存され（最大300件）、オートリルート案内で使用されます。300件を超えた場合は、使用されていない履歴から順番に消去されます。
- ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみの案内となります。 確認 にタッチしてください。

進行方向の案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。進行方向(8方向)は、以下のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ○○m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ○○m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、○○円です。
方面案内	およそ○○m先、左方向、練馬方面です。
有料道入口・出口案内	およそ○○m先、左方向、入口です。
有料道料金所案内	およそ○○km先、料金所です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。○○が目印です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

メモ

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機のETC情報案内機能を利用するには、本機に別売のETCユニットまたはDSRCユニットを接続する必要があります。

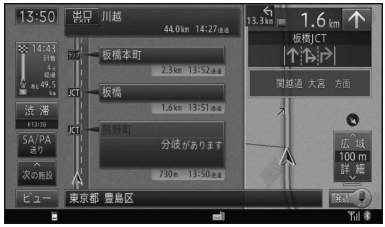
都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づくと、イラストが表示されます。



有料道の分岐に近づくと

ルート上の有料道分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



また、都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。



メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。
- 分岐方面看板は、サイドマップ（右画面）に表示されます。

ETCレーン案内表示について

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- 別売のETCユニットやDSRCユニットを接続している場合は、料金表示などを行うことができます。→*P340の「ETCユニット」*
- ETCレーン案内表示は、ETCユニットまたはDSRCユニットが接続されていなくても表示されます。
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

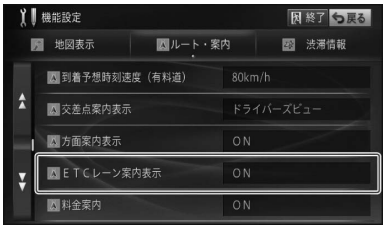
ETCレーン案内表示を設定する

有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。

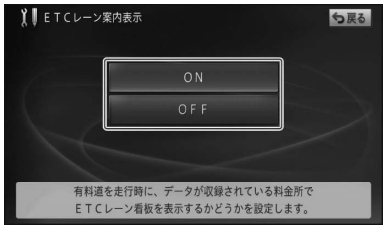
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ETCレーン案内表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	有料道の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
OFF	ETCレーン案内は表示されません。

▼

設定内容が変更されます。

有料道の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。

メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

ルート案内の中止

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

ルートを消去して案内を中止させる

1 メニューを押し、ルートにタッチする



2 消去ーはいにタッチする



▼

案内中のルートが消去されます。

メモ

- ルート編集メニューまたはルート情報メニューからも操作できます。
- 消去されたルートは復活できません。

ルート探索条件の設定

本機がルートを探す際に、どんな条件を考慮して探索するかを設定できます。

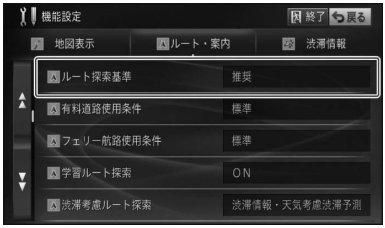
ルート探索の基準を設定する

ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。

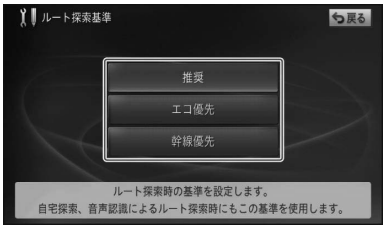
工場出荷時は「推奨」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ルート探索基準にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



推奨	信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
エコ優先	推定燃料費が少なくなるようなルートが探索されます。
幹線優先	幹線道路を優先してルートが探索されます。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- 幹線優先時の高速道路の使用は、「有料道路使用条件」の設定が「標準」の場合に行われます。
- エコ優先は、燃費・車両情報設定の各情報から、推定消費燃料を考慮してルート探索を行います。車両情報が登録されていない場合は、標準的な車両を想定して算出されます。
→P134の「燃費・車両設定」

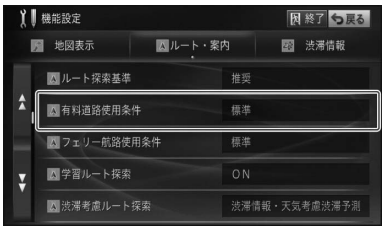
有料道の考慮方法を設定する

ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。

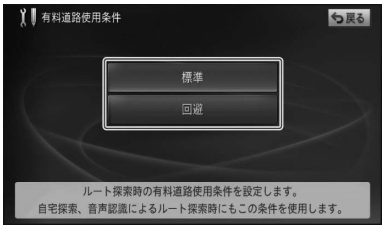
工場出荷時は「標準」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 有料道路使用条件にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



標準	有料道が標準的な基準でルート探索されます。
回避	有料道を回避したルートが探索されます。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- 有料道路使用条件を「回避」に設定しても、有料道を利用する探索結果を表示する場合があります。

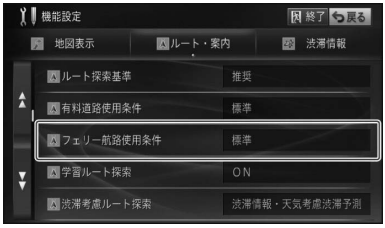
フェリー航路の考慮方法を設定する

ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。

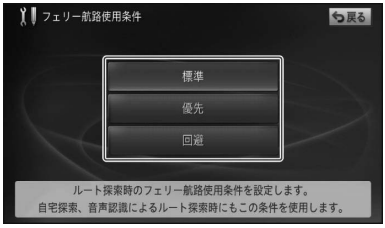
工場出荷時は「標準」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 フェリー航路使用条件にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



標準	フェリー航路を標準的な基準で使うルートが探索されます。
優先	フェリー航路を優先的に使うルートが探索されます。
回避	フェリー航路を回避したルートが探索されます。

▼

設定内容が変更されます。

学習したルートの考慮方法を設定する

本機は自動的に、よく使う道を、過去に通った曜日別（平日、土日祝日の別）に記憶します。この学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。

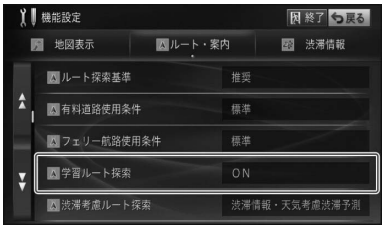
工場出荷時は「ON」です。

メモ

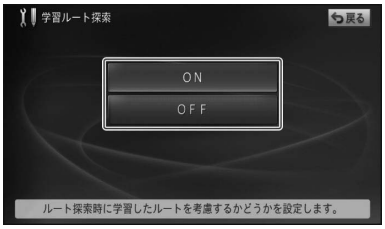
・学習した道が必ず使われるとは限りません。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 学習ルート探索にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	学習したルートを考慮します。
OFF	学習したルートを考慮しません。

▼

設定内容が変更されます。

渋滞の考慮方法を設定する

渋滞情報が取得できているときは、その情報を考慮してルート探索ができます。

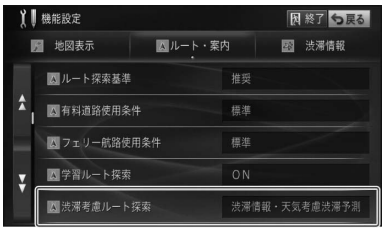
工場出荷時は「渋滞情報・天気考慮渋滞予測」です。

メモ

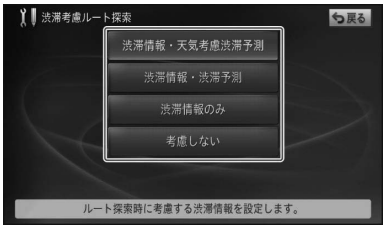
・FM多重放送の渋滞情報のみ取得しているときは、規制情報のみが考慮されます。
・必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 渋滞考慮ルート探索にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



渋滞情報・天気考慮渋滞予測	渋滞情報と天気予報に応じた渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
渋滞情報・渋滞予測	渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
渋滞情報のみ	渋滞情報のみを考慮してルートが探索されます。
考慮しない	各情報を考慮しないでルートが探索されます。

▼

設定内容が変更されます。

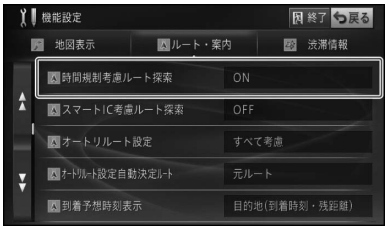
時間規制の考慮方法を設定する

日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。

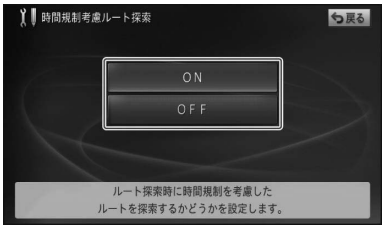
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 時間規制考慮ルート探索にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	時間規制の情報を考慮してルートが探索されます。
OFF	時間規制の情報を考慮しません。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- 時間規制は出発時刻を元に考慮します。

スマートICの考慮方法を設定する

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことを言います。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

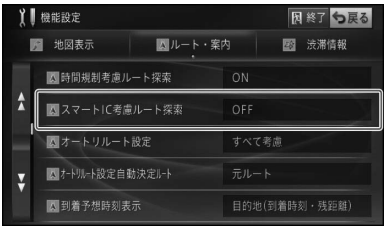
工場出荷時は「OFF」です。

メモ

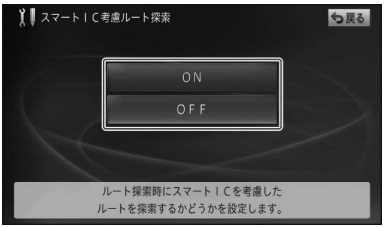
- イージーセットアップの「ETC取付状態設定」で「車に取り付けている」を選択した場合、スマートIC考慮ルート探索の設定は、自動的に「ON」になります。
- スマートIC考慮ルート探索では、ルート探索を行った時点での時刻を基準にしているため、実際にスマートICを通過するときには営業時間外であったり、通過時には営業していてもルート探索時には対象外となる場合があります。その場合は実際のスマートICの状況に従ってください。
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 スマートIC考慮ルート探索にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	スマートICを考慮してルートが探索されます。
OFF	スマートICを考慮しません。

▼

設定内容が変更されます。

ルート案内時の設定

ルート案内中の画面や音声に関する設定、操作を行うことができます。

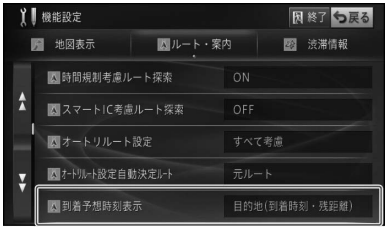
到着予測時刻表示を設定する

ルート案内時の到着予測時刻表示を、目的地（立寄地）までの距離・予想到着時刻にするか、出発時刻・経過時間にするかを設定します。

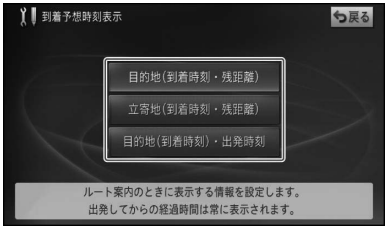
工場出荷時は「目的地（到着時刻・残距離）」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 到着予想時刻表示にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



目的地（到着時刻・残距離）	目的地までの距離と進捗度、現在までの経過時間、そして到着予想時刻が表示されます。
立寄地（到着時刻・残距離）	次の立寄地までの距離と進捗度、現在までの経過時間、そして到着予想時刻が表示されます。
目的地（到着時刻）・出発時刻	出発時刻および進捗度と現在までの経過時間、そして到着予想時刻が表示されます。

▼

設定内容が変更されます。
地図画面に表示されている[ルート情報]にタッチすることで、表示を「目的地（到着時刻・残距離）」→「立寄地（到着時刻・残距離）」→「目的地（到着時刻）・出発時刻」の順に一時的に切り換えることもできます。



メモ

- 目的地に到着すると、到着予想時刻は出発時刻と到着までの経過時間を表示します。
- 到着予想時刻は、ルート案内を開始する際、はじめに表示される内容を設定することができます。ただし、ルート案内中に設定を変更した場合、変更した内容が反映されるのは次にルート探索を行ったときからとなります。

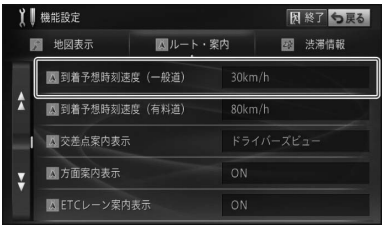
到着予想時刻の算出車速（一般道）を設定する

渋滞考慮ルート探索の設定を「渋滞情報のみ」または「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

工場出荷時は「30 km/h」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 到着予想時刻速度（一般道）にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



20 km/h	平均速度20 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
30 km/h	平均速度30 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
40 km/h	平均速度40 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
50 km/h	平均速度50 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
60 km/h	平均速度60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

▼

設定内容が変更されます。

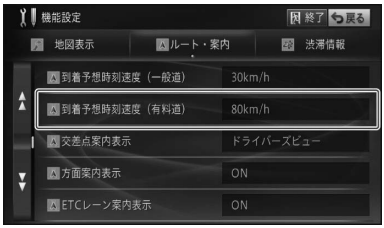
到着予想時刻の算出車速（有料道）を設定する

渋滞考慮ルート探索の設定を「渋滞情報のみ」または「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

工場出荷時は「80 km/h」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 到着予想時刻速度（有料道）にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



60 km/h	平均速度60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
80 km/h	平均速度80 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
100 km/h	平均速度100 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

▼

設定内容が変更されます。

エコ指数について

ルート案内中に、情報ウィンドウのエコステータスに表示することができます。エコ指数とは、現在と過去の平均燃費を比較し、案内中のルート全体での燃費や運転方法から総合的に判断したもので、エコ運転度合いをゲージで表示します。

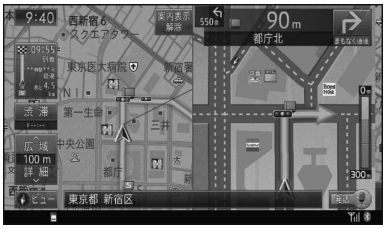
メモ

- 表示は5分間隔で更新されます。
- エコステータスを表示するには、「パラメーター設定」が必要になります。*→P134の「燃費・車両設定」*
- 情報ウィンドウのエコ指数表示は、マルチECO情報表示に切り換えることができます。*→P48の「情報ウィンドウの操作」*

案内地に近づくと

案内地の手前約300 m（シンプルガイド時は約500 m）に近づくと、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

拡大図



アローガイド



ドライバーズビュー



メモ

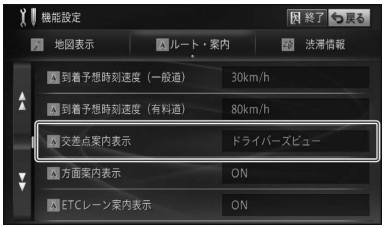
- 「拡大図」に設定されている場合、目印になる施設がある場合は、ランドマークが強調表示されます。「アローガイド」の場合は、強調表示されませんが、目印であることを知らせる表示が出ます。
- 進行方向に立体交差になる側道がある場合、交差点拡大図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示される場合があります。
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークやランドマークが表示されます。
- 交差点案内表示中は**案内表示解除**が表示され、タッチすると交差点案内を消すことができます。再度交差点案内を表示したいときは、**案内表示**にタッチします。
- ガイドサイレンスで案内中は、交差点案内表示は表示されません。→*P87の「オートガイドサイレンスを設定する」*
- 都市高速道路の入口手前約300 mに近づくと、イラストが表示されます。

交差点案内時の表示ビューを設定する

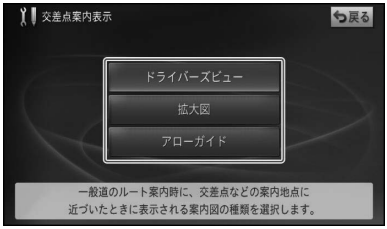
一般道のルート案内時に表示される交差点案内の種類を設定します。
工場出荷時は「ドライバーズビュー」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 交差点案内表示にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



ドライバーズビュー	交差点付近をドライバーズビューで表示します。
拡大図	平面的な交差点拡大図で表示します。
アローガイド	進行方向を見やすい矢印で表示します。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- ここでの設定に関わらず、マップクリエイターで作成した道路の場合は、拡大図で表示します。

オートフリーズームを設定する

オートフリーズームとは、ルート案内中に次の案内地点が地図に表示されるよう、現在地と次の案内地の距離を考慮して地図スケールを自動的に変化させる機能です。

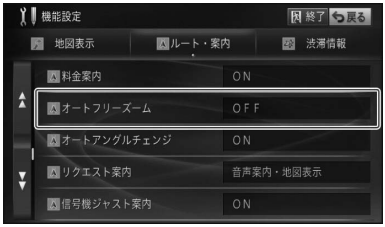
工場出荷時は「OFF」です。

メモ

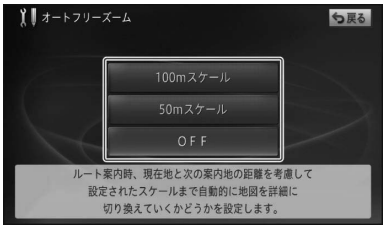
- 次の案内地点が遠い場合は、スケールが変更されないことがあります。案内地点に近づくと、適切なスケールに変更されます。
- オートフリーズーム中にスケール変更の操作をすると、オートフリーズームは一時停止します。案内地点が近づいた場合、または現在地画面で(NAVI)を押すと、オートフリーズームが再開します。
- 目的地付近で本機の電源を入れ直す（エンジンをかけ直す）と、地図は登録されたスケールで表示されます。
- ドライバーズビュー、ガイドサイレンスのときは動作しません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートフリーズームにタッチする



3 設定したい項目にタッチする



100 mスケール	自動的に100 mスケールまで地図スケールを切り換えます。
50 mスケール	自動的に50 mスケールまで地図スケールを切り換えます。
OFF	オートフリーズームを行いません。

▼

設定内容が変更されます。

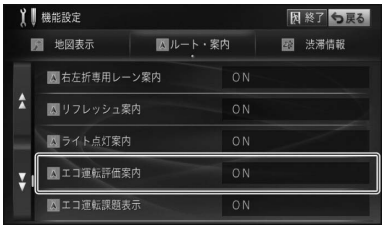
エコ運転評価案内を設定する

エコ運転評価案内とは、目的地に到着して案内が終了すると、ルート案内中の運転操作から前回と今回のeスタート率、一定速度率、アイドリング率を比較したエコ運転評価の結果を表示させる機能です。

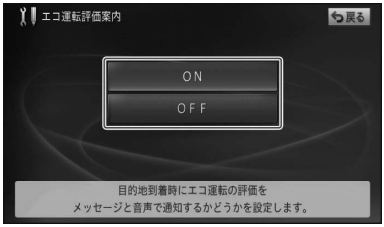
工場出荷時は「ON」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 エコ運転評価案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	案内されます。
OFF	案内されません。

▼

設定内容が変更されます。
結果は以下のように表示されます。



詳細	エコステータス詳細画面を表示します。
終了	エコ運転評価案内を終了します。

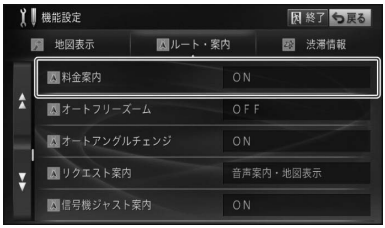
料金案内を設定する

ルート案内時に、音声を使った料金に関する案内を設定します。

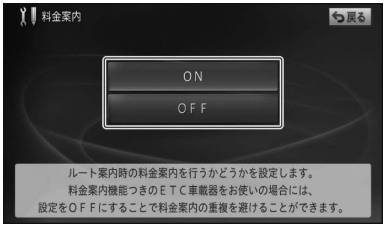
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 料金案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を案内します。
OFF	料金を案内しません。

▼

設定内容が変更されます。

信号機ジャスト案内を設定する

信号機ジャスト案内とは、ルート案内中、信号機にさしかかる直前に音声を使って案内を行う機能です。→*P75の「進行方向の案内」*

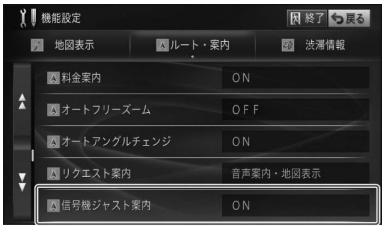
工場出荷時は「ON」です。

メモ

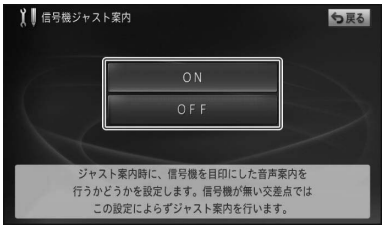
- 一般道シンプルガイドの設定が「OFF」のときに操作できます。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 信号機ジャスト案内にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	音声案内を行います。
OFF	音声案内を行いません。

▼

設定内容が変更されます。

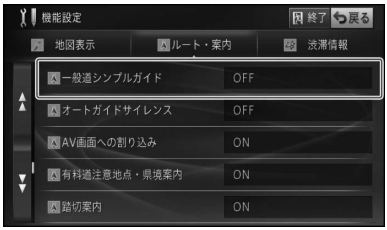
一般道シンプルガイドを設定する

一般道シンプルガイドとは、通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行う機能です。

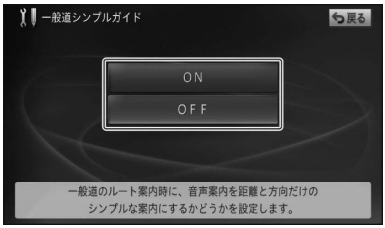
工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 一般道シンプルガイドにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
OFF	シンプルガイドを行いません。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- シンプルガイド時は、案内地点の交差点名や目印になる施設名は案内されません。
- 音声案内のポイントで、マップクリエイターにより作成されたマップクリエイター道路が関係する場合は、マップクリエイター道路用の案内が行われます。→*P103の「マップクリエイター」*

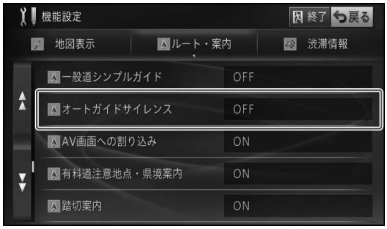
オートガイドサイレンスを設定する

ルート案内を開始した時点で、自動的にガイドサイレンス（→*P74の「ガイドサイレンスについて」*）で案内を行うかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートガイドサイレンスにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	次回新規ルート探索もしくは再探索時に、自動的にガイドサイレンスを開始します。
OFF	次回新規ルート探索もしくは再探索時に、ガイドサイレンスを開始しません。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- ガイドサイレンス中は、ハイウェイモード、ETCレーン案内、交差点案内などの各表示は行われません。またオートフリーズームや地図の設定も行えません。
- ガイドサイレンス中に次の案内地点を確認したい場合は、ルートインフォメーションの矢印にタッチすると、音声や画面表示で案内されます。→*P72の「ルート案内中の現在地画面」*
- Ⓒ（カスタム）に「ガイドサイレンスをON/OFFする」機能を割り当てておくことで、ルート案内中にガイドサイレンスをON/OFFすることができます。
- オートガイドサイレンスがOFFの状態でルート探索（オートリルートを除く）を行うと、ガイドサイレンスはOFFになります。

ガイドサイレンスアングルを設定する

ガイドサイレンスのアングルを設定します。

工場出荷時は「2D」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ガイドサイレンスアングルにタッチする



3 2Dまたは3Dにタッチする



2D	ガイドサイレンスの地図画面がノーマルビューで表示されます。
3D	ガイドサイレンスの地図画面がスカイビューで表示されます。

▼

設定内容が変更されます。

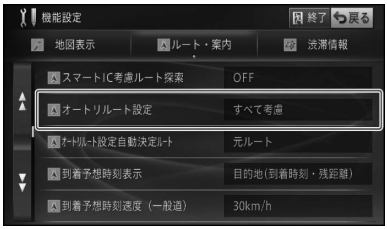
オートリルート案内を設定する

オートリルート案内とは、ルート案内中に渋滞（交通）情報やリルート履歴を考慮して、新しい候補ルートを提供する機能です。新しいルートが見つかると、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新ルートと元ルートをタッチして選択できるようになります。新しい候補ルートを提供する際に、どんな情報を考慮するかを設定します。

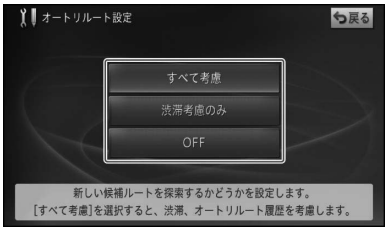
工場出荷時は「すべて考慮」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートリルート設定にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



すべて考慮	渋滞情報と過去のリルート履歴を考慮してオートリルートを行います。
渋滞考慮のみ	渋滞情報のみを考慮してオートリルートを行います。
OFF	オートリルート案内は働きません。

▼

設定内容が変更されます。

メモ

- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかが有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 別の候補ルートがない場合は、新ルートと元ルートの選択画面は表示されません。
- 渋滞情報が取得できているときは、取得した渋滞情報を考慮します（渋滞考慮）。FM多重放送の渋滞情報のみ取得しているときは、規制情報のみが考慮されます。
- 新ルートと元ルートの選択画面で、どちらもタッチしなかった場合は、設定した項目を自動的に選択します。*→P89の「オートリルート案内自動決定ルートを設定する」*
- オートリルート案内は、ルート上に次のような情報があった場合に提案されます。
  - オートリルート履歴が見つかった場合
  - VICS情報やリアルタイムプローブ渋滞情報により、渋滞情報や規制情報が見つかった場合（渋滞考慮）
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、働かないことがあります。

- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- 渋滞情報や規制情報の更新によるオートリルート案内は、「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れますが、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

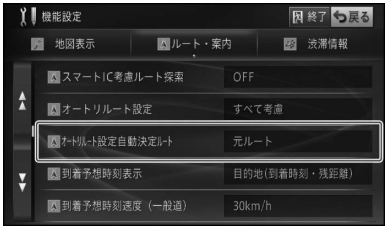
オートリルート案内自動決定ルートを設定する

オートリルート案内が機能して新ルートと元ルートの選択画面になった際、どちらも選ばなかった場合に自動的に決定するルートを設定します。

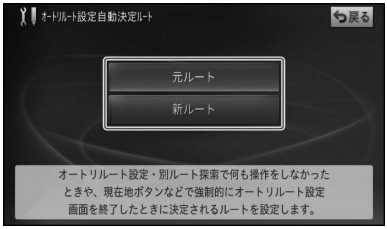
工場出荷時は「元ルート」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートリルート設定自動決定ルートにタッチする



3 元ルートまたは新ルートにタッチする



元ルート	元ルートを選択します。
新ルート	新ルートを選択します。

▼

設定内容が変更されます。

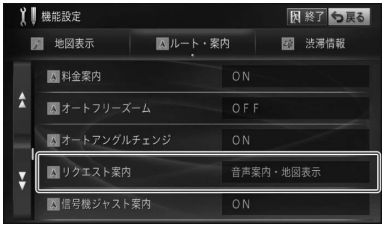
リクエスト案内を設定する

リクエスト案内とは、ルート案内中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地（最大5地点まで）の音声案内と地図表示を行う機能です。リクエスト案内時の案内方法は、音声のみ、または音声と地図表示のどちらかを選択できます。

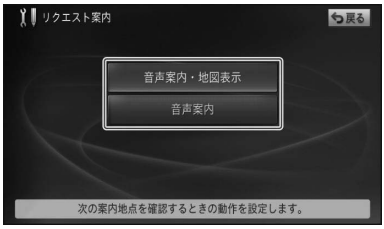
工場出荷時は「音声案内・地図表示」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 リクエスト案内にタッチする



3 音声案内・地図表示または音声案内にタッチする



音声案内・地図表示	音声と地図を使い次の地点を案内します。
音声案内	音声のみで次の地点を案内します。

▼

設定内容が変更されます。

オートパーキングメモリー（駐車場履歴）について

オートパーキングメモリーは、目的地や立寄地の付近でエンジンを停止したときに、その地点をその施設の駐車場として認識し、自動的に記録する機能です。次回、同じ場所にルートを探索した場合、その地点までルート探索を行います。

メモ

- 目的地や立寄地付近でエンジンを停止させなかった場合や、エンジンを停止する前にルートを消去した場合は保存されません。
- 駐車場履歴は、999件まで保存され、1つの施設につき最大8カ所の入口情報が登録されます。新しい履歴が発生した場合は一番古い物から順に置き換えられます。
- すでに8カ所が登録されていて、そのすべてを不使用に指定した場合、新しい履歴を登録することはできません。
- 条件により、交差点近くの駐車場の場合や、駐車場内で35 km/h以上の速度で走行した場合などでは、履歴として保存されない場合があります。
- 目的地や立寄地付近にある別の施設でエンジンを停止させると意図しない場所が駐車場として記録される場合があります。
- 駐車場履歴は、複数の入口からルート探索に使用する入口を指定したり、使わない入口のデータを不使用にすることができます。*→P120の「オートパーキングメモリー（駐車場履歴）の編集」*

右左折考慮オートパーキングメモリーについて

オートパーキングメモリーに記憶される情報は、以下の3種類があります。

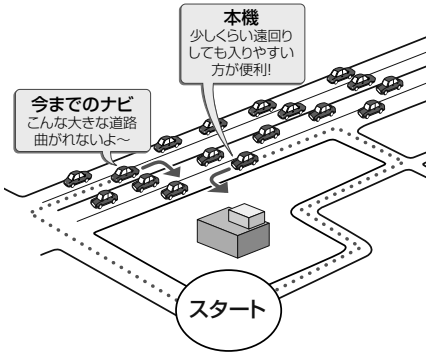
●左折でのみ進入した施設

●右折でのみ進入した施設

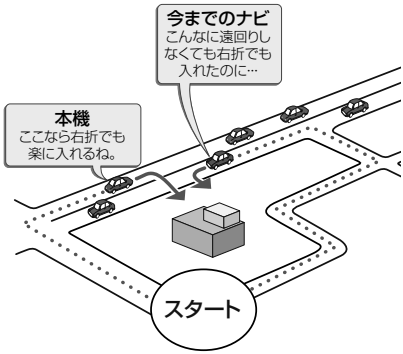
●右折、左折の両方で進入した施設

本機は、これらの情報をもとに施設へ最もかんたんに進入できるルートを探索します。そのため、出発地から目的の施設までの道路条件や位置関係によっては遠回りのルートになる場合があります。

左折のみで進入したことがある施設を目的地にした場合



右折のみまたは右左折の両方で進入したことがある施設の場合



メモ

- 1つの施設に登録された最大8カ所の入口情報すべてに対して、右折のみ、左折のみまたは右左折両方で進入したか記憶することができます。
- リアルタイムプローブによる右左折の情報が収録されている場合は、その情報も考慮したルート案内を行います。

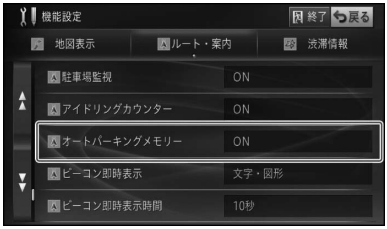
オートパーキングメモリーを設定する

自動的に認識した駐車場入口データを保存し、次回同じ場所にルート探索を行った場合、その保存データを利用して、ルート探索を行うかの設定をします。

工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 オートパーキングメモリーにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	オートパーキングメモリーを使用します。
OFF	オートパーキングメモリーを使用しません。

▼

設定内容が変更されます。

ルート情報

案内中のルートは、いろいろな方法で確認することができます。確認内容によっては、センターメニューの**ルート**やルート編集メニューからも操作できるものがあります。また、ルート案内開始画面から、あらかじめ確認することもできます。

ルートスクロールを使う

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、ルートを確認できます。

1 (メニュー)を押し、情報ールート情報にタッチする

2 ルート確認ールートスクロールにタッチする



3 ルートをスクロールさせて確認する



⏮	1つ前の立寄地（出発地）や乗降ICを表示します。
◀	後方へ自動スクロールします。
■	自動スクロールを停止します。
▶	前方へ自動スクロールします。
⏭	1つ先の立寄地（目的地）や乗降ICを表示します。

自動スクロール中に走行を開始すると、一定区間自動スクロールを行ったあと自動スクロールを停止します。

メモ

- 案内開始画面からルートスクロールで確認した場合は、**案内開始**が表示され、タッチするとルート案内を開始することができます。また、ルート探索した時点より30分以上後の出発時刻指定（または日時指定）を行ったルートを確認した場合は、プラン登録が表示され、タッチすることでドライブプランとしてプランリストに登録されます。→*P106の「ドライブプラン」*

ルートプロフィールを使う

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道を使用する場合の料金などを確認できます。

1 (メニュー)を押し、情報ールート情報にタッチする

2 ルート確認ールートプロフィールにタッチする



3 ルートプロフィールを確認する



メモ

- 案内開始画面からルートプロフィールを確認した場合は、**案内開始**が表示され、タッチするとルート案内を開始することができます。また、ルート探索した時点より30分以上後の出発時刻指定（または日時指定）を行ったルートを確認した場合は、プラン登録が表示され、タッチすることでドライブプランとしてプランリストに登録されます。→*P106の「ドライブプラン」*

デモ走行を使う

設定したルートをナビ画面上で擬似走行させて、ルートを確認できます。

メモ

- デモ走行は終了操作を行うまで繰り返し走行します。ただし、実際の走行を開始した場合は、デモ走行を終了します。

1 メニューを押し、情報ールート情報にタッチする

2 ルート確認ーデモ走行にタッチする



▼

地図画面に戻り、デモ走行が開始されます。



デモ走行を終了する

1 デモ走行中に、デモ中にタッチする



2 はいにタッチする



▼

デモ走行を終了します。

ルート地図を使う

立寄地を指定した場合など、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。ルート地図画面では、地図をスクロールしたり、スケールを変更しながらルートを確認することができます。

1 場所を探してここへ行くー立寄地にタッチする

2 ルート地図にタッチする



▼

ルート地図画面が表示されます。

メモ

- **道塗り切換**にタッチすると、平均速度目安の道塗りを表示/非表示にすることができます。
- **戻る**にタッチすると、案内開始画面に戻ります。

6ルート地図を使う

現在のルートとは異なる探索条件のルートを6ルート地図から選ぶことができます。

メモ

- 立寄地や乗降ICが指定されていた場合、探索されるルートは1本のみとなり、6ルート地図での確認はできません。また、ルート再探索で時間最優先、またはエコ最優先の探索を行った場合も、6ルート地図での確認はできません。これらの場合は、ルート地図での確認になります。→*P93の「ルート地図を使う」*
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 最大6本の候補ルート中から選ぶことができます（候補ルートが同じになる場合もあります）。
- 探索されたルートによっては、それぞれ以下のマークが表示される場合があります。
  - 短：最も距離が短いルート
  - 早：最も所要時間の短いルート
  - ¥安：最も料金の安いルート
  - eco：最もecoなルート
  - ¥0：料金がかからないルート
- ecoルートについては、車両情報や燃料単価の情報が登録されているなどの表示条件が整った場合に表示されます。

1 場所を探して**ここへ行く**にタッチする

2 **6ルート地図**にタッチする



3 1～6の番号にタッチする



▼

地図上でルートが切り換わり、それぞれの距離や料金などの情報も表示されます。

地図操作にタッチすると、スケール変更やスクロールをしてルートを確認することができます。



また、**候補切換**にタッチするごとにルートが切り換わり、**戻る**にタッチすると選んだルートに設定します。



メモ

- **案内開始**にタッチすると、選んだルートで案内を開始します。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- **道塗り切換**にタッチすると、平均速度目安の道塗りを表示/非表示にすることができます。

6ルートリストを使う

現在のルートとは異なる探索条件のルートを6ルートリストから選ぶことができます。

メモ

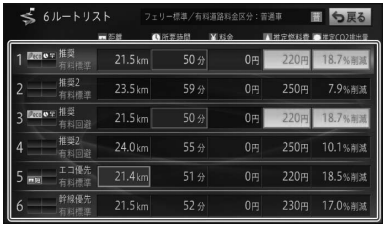
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 最大6本の候補ルート中から選ぶことができます（候補ルートが同じになる場合もあります）。
- 探索されたルートによっては、それぞれ以下のマークが表示される場合があります。
  - 短：最も距離が短いルート
  - 早：最も所要時間の短いルート
  - ¥安：最も料金の安いルート
  - eco：最もecoなルート
  - ¥0：料金がかからないルート
- ecoルートについては、車両情報や燃料単価の情報が登録されているなどの表示条件が整った場合に表示されます。

1 場所を探して[ここへ行く]にタッチする

2 [6ルートリスト]にタッチする



3 [1]～[6]の番号にタッチする



▼

ルートごとに距離や時間、料金が表示され、ルートの内容を比較することができます。
[戻る]にタッチすると、案内開始画面に戻ります。

メモ

- 距離、所要時間、料金、推定燃料費、推定CO2排出量がそれぞれ最小になるルートの項目が色分けされて強調表示されます。

ルート編集

確認内容によっては、センターメニューの**ルート**やルート情報メニューからも操作できるものがあります。また、ルート案内開始画面から、あらかじめ編集できるものもあります。

案内中のルートに別の探索条件を設定する

案内中のルートに、一時的に別の探索条件を付加し、再探索することができます。

メモ

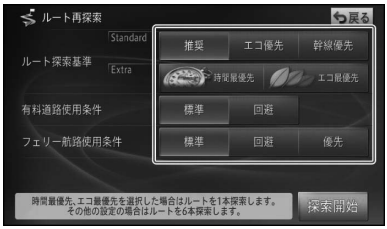
- すでに通過した立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

1 メニューを押し、設定・編集ールート編集にタッチする

2 ルート再探索にタッチする



3 変更したい探索条件にタッチする



ルート探索基準Standard	**推奨**、**エコ優先**、**幹線優先**から選択します。
ルート探索基準Extra	**時間最優先**、**エコ最優先**から選択します。
有料道路使用条件	**標準**、**回避**から選択します。
フェリー航路使用条件	**標準**、**回避**、**優先**から選択します。

4 探索開始にタッチする

▼

ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- **時間最優先**にタッチすると、「推奨」よりもさらに時間を優先したルート探索を行います。
- **エコ最優先**にタッチすると、「エコ優先」よりもさらにエコの条件を優先したルート探索を行います。
- 「時間最優先」または「エコ最優先」によるルート探索の本数は、1本のみとなります。
- 探索条件に関しては、案内開始画面表示時の記載を参照してください。→*P78の「ルート探索条件の設定」*

案内中のルートとは別のルートを探索する

案内中のルート（元ルート）とは異なるルート（新ルート）を探索することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ールート編集にタッチする

2 別ルートにタッチする



3 新ルートまたは元ルートにタッチする



▼

選んだルートで案内が開始されます。
料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかが有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
別の候補ルートがない場合は、ルートの探索はできません。
別ルートの探索後、何も操作しないでしばらく走行するか、何らかの操作で別な画面に切り換わった場合は、機能設定に従ったルートが選ばれます。→*P89の「オートリルート案内自動決定ルートを設定する」*
ただし、割り込みが行われた場合は「元ルート」に戻ります。

ルートに立寄地を追加する

立寄地を追加して、その場所を経由するルートを探索することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ールート編集にタッチする

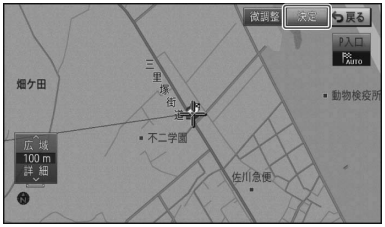
2 詳細設定にタッチする



3 立寄地指定ー追加にタッチする



4 立寄地の場所を探して、決定にタッチする



5 探索開始にタッチする



▼

指定した立寄地を経由するルートが1本だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

メモ

- 立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。
- 立寄地を追加するときは、手順3、手順4を繰り返します。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみとなります。

立寄地の順番を並べ替える

経由する立寄地の順番を、条件を設定して並べ替えることができます。

1 メニューを押し、設定・編集ールート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 立寄地指定ー並べ替えにタッチする



4 並べ替える条件を選んでタッチする



距離順(立寄地のみ)	地点間ごとの直線距離を算出し、その合計が最小となる順番に並べ替えます。
距離順(すべて)	目的地を含め、地点間ごとの直線距離を算出し、その合計が最小となる順番に並べ替えます。
マニュアル	経由する順番を指定して、並べ替えます。

メモ

- すでに通過済みの立寄地は並べ替えできません。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみとなります。

立寄地を削除する

1 メニューを押し、設定・編集ールート編集にタッチする

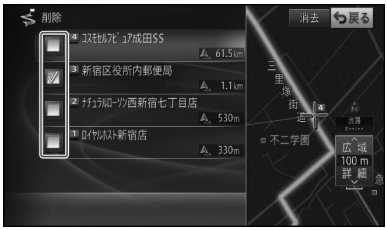
2 詳細設定にタッチする



3 立寄地指定ー削除にタッチする



4 削除する立寄地を選んでタッチする



選んだ立寄地には☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

5 消去ーはいにタッチする

▼

選んだ立寄地が消去されます。

メモ

- すでに通過済みの立寄地は削除できません。
- 目的地のみを消去したい場合は、立寄地の順番をマニュアルで入れ替えてから削除してください。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみとなります。ただし、立寄地が1つもない場合は、ルートは6本になります。

目的地や立寄地、出発地の情報を確認する

目的地や立寄地、出発地に詳細情報がある場合は、選んだ地点の詳細情報を表示することができます。

メモ

・電話番号データを収録している場合は、**発信**にタッチすると電話をかけることができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 リスト項目（立寄地や目的地、出発地）にタッチし、情報にタッチする



▼

選んだ地点の詳細情報が表示されます。

立寄地の滞在時間を設定する

目的地、立寄地の滞在時間を設定することができます。

メモ

・目的地、立寄地を編集すると、ドライブプランとしてプランリストに登録される場合があります。

1 メニューを押し、設定・編集ー ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 リスト項目（立寄地や目的地）にタッチし、滞在時間にタッチする



4 滞在時間を入力し、入力終了にタッチする



▼

選んだ目的地、立寄地に滞在時間が設定され、詳細設定画面に戻ります。

メモ

・リスト右側には、滞在時間が設定されたことを示すマーク滞在と滞在時間が表示されます。
・滞在時間の設定を解除するには、滞在時間を「00時間00分」と入力します。
・探索されるルートの本数は1本のみとなります。

出発地を指定する

自車位置ではなく、指定した出発地からルートを探索することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 出発地指定にタッチする



4 出発地の場所を探して、決定にタッチする



5 探索開始にタッチする



▼

案内開始画面が表示されます。

メモ

- 出発地の指定を解除するには、詳細設定画面の**出発地指定解除**ー**はい**にタッチします。
- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、立寄地が設定されている場合、探索されるルートの本数は1本のみとなります(ドライブプランの条件となった場合も、探索されるルートの本数は1本のみとなります)。

日時を指定する

探索したルートで走行する日時を指定することができます。日時を指定すると、ドライブプランとしてプランリストに登録されます。→*P106の「ドライブプラン」*

メモ

- 指定した出発時刻が現在の時刻から30分以内の場合、通常のルート探索と同様となり、すぐに案内が開始されます。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ールート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 日時指定ー編集にタッチする



4 日にちを指定する



<<前月、**次月>>**	カレンダーを月送りします。
今月	カレンダーを今月にします。
今日	作成日当日を指定します。

5 出発時刻または到着時刻にタッチする



6 時刻を入力し、入力終了にタッチする



7 探索開始にタッチする



▼

ドライブプラン時刻候補選択画面が表示されます。プランを確認し、**決定**にタッチすると案内開始画面が表示されます。

メモ

- 日時の指定を解除するには、詳細設定画面の**日時指定**ー**解除**ー**はい**にタッチします。
- 探索されるルートの本数は1本のみとなります。

乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道を使うルートを設定した場合は、入口と出口のICを指定することができます。

メモ

- 指定できるICは、最初の入口ICと最後の出口ICのみで、途中で乗り降りするICは指定できません。

1 メニューを押し、設定・編集ールート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



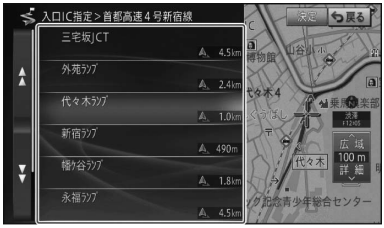
3 乗降IC指定にタッチする



4 入口IC指定または出口IC指定にタッチする



5 指定するICにタッチする



▼

指定したICを通るルートが探索されます。

メモ

- ジャンクション(JCT)を選ぶと、分岐できる路線名称が表示されます。
- スマートIC考慮ルート探索の設定がOFFの場合、スマートICは表示されません。

- スマートICを乗降ICに指定したドライブプランを実行または編集しようとした場合、スマートIC考慮ルート探索の設定をOFFにしていると乗降IC指定が解除されます。→*P106 の「ドライブプラン」*
- 探索されるルートの本数は1本のみとなります。

乗降IC指定を解除する

1 メニューを押し、設定・編集ー ルート編集にタッチする

2 詳細設定にタッチする



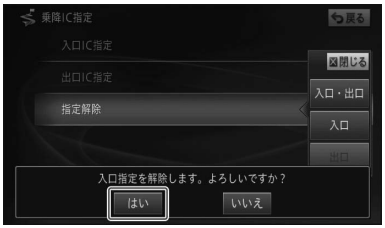
3 乗降IC指定にタッチする



4 指定解除にタッチする



5 入口・出口/入口/出口を選んでタッチし、はいにタッチする



▼

選んだ乗降ICの指定が解除されます。

立寄地をキャンセルする

次に登録された立寄地に立ち寄る必要がなくなった場合など、立寄地を通過済みとしてルートを再探索できます。

1 メニューを押し、設定・編集ー ルート編集にタッチする

2 立寄地送りにタッチする



▼

次の立寄地を通過済みとして、ルートが再探索されます。

メモ

- この設定を行うと、乗降IC指定が解除されます。また、探索されるルートの本数は1本のみとなります。

マップクリエイター

本機の地図データに収録されていない道路(新規に開通した道路やインターチェンジ)を走行すると、走行軌跡をもとにマップクリエイター道路として最大100本まで保存します。保存されたマップクリエイター道路は地図上に道路として表示され(100 m～5 kmスケールの間)、マップクリエイター道路を使用したルート案内ができるようになります。(ただし、マップクリエイター道路はすべて一般道として扱われます。また、マップクリエイター道路を使用すると遠回りのルートになることがあります。)

メモ

- 以下の場合は、マップクリエイター道路となりません。
  - ACC ONから3分以内または500 m以内に走行した道路
  - ACC OFF直前の1.5 km以内に走行した道路
  - 走行軌跡が地図上の商業施設内(ショッピングモールなど)を通過した場合
  - 単独の短い道路(100 m以下)
  - 走行速度が20 km/h以下の場合
  - GPS感度が低い状態で走行した道路(トンネル、地下道を含む)
  - データ更新中に走行した道路(ナビゲーションやAVソースの各種機能を使用しながら、全データ更新を行った場合は除く)
  - 100本を超える道路
- また、上記以外でも作成条件が整わない場合は、マップクリエイター道路にならないことがあります。
- ビューモードがドライバーズビューの場合は、マップクリエイター道路は表示されません。
- マップクリエイター道路走行中は、交差点案内が拡大図のみとなります。また、ハイウェイモードへの切り換えはできません。
- マップクリエイター道路と有料道の両方を含むルートの場合は、有料道の料金計算ができません。

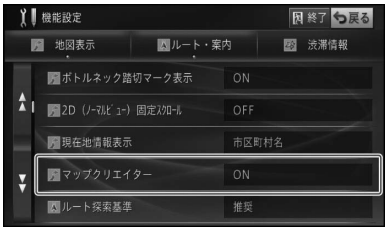
マップクリエイターを設定する

地図上にない道路を走行時に、次回からルート探索などに使用できるマップクリエイター道路として自動的に作成するかを設定します。

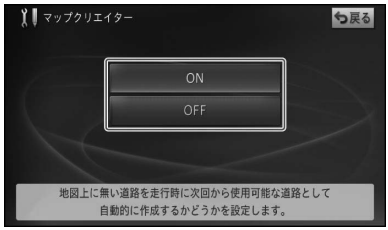
工場出荷時は「ON」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 マップクリエイターにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	マップクリエイター道路が自動作成されます。
OFF	マップクリエイター道路は自動作成されません。

▼

設定内容が変更されます。

マップクリエイター道路の利用方法を設定する

保存されたマップクリエイター道路をリストで表示し、地図表示やルート探索に使用するかどうかを設定します。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

2 マップクリエイターにタッチする



3 編集にタッチする

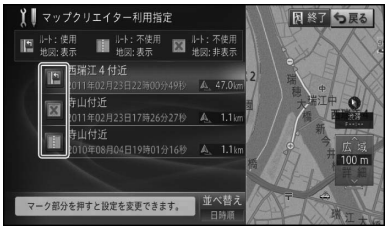


4 使用設定を行うマップクリエイター道路にタッチする



サイドマップに該当のマップクリエイター道路が表示されます。

5 マーク部分にタッチして、使用/不使用を設定する



▼

タッチするごとに、以下のように切り換わり、マークが表示されます。
(ルート探索と地図表示に使用)→(地図表示のみに使用)→(不使用)→に戻る

6 終了にタッチする



▼

設定した条件で、マップクリエイター道路のデータが次回起動時から使用できます。

メモ

- サイドマップには、マップクリエイター道路の入口⊕、出口⊖や流入方向◀、流出方向▶を示すアイコンが表示されます。
- 並べ替えにタッチすると、リストを日時順か近い順で並べ替えることができます。
- マップクリエイター道路の付近では、以下のような音声案内が行われます。
  - 「およそ700 m先、マップクリエイター案内地点です。」
  - 「およそ300 m先、マップクリエイター案内地点です。進行方向をご確認ください。」
  - 「まもなく、案内地点です。ご注意ください。」
- 保存されたマップクリエイター道路の本数が多い場合は、次回起動時に編集/消去設定の反映に時間がかかることがあります。

マップクリエイター道路を削除する

保存されたマップクリエイター道路のデータを削除することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

2 マップクリエイターにタッチする



3 消去にタッチする



4 消去するマップクリエイター道路にタッチする



選んだマップクリエイター道路には☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択にタッチしてすべて選択することができます。全解除にタッチすると、選択が解除されます。

5 消去ーはいにタッチする

▼

選んだマップクリエイター道路が次回起動時に削除されます。

ドライブプラン

ドライブの計画（出発日時、目的地、立寄地、滞在時間など）を、事前に作成しておくことができます。目的地に向かうための出発時刻の目安を知ることができます。

ドライブプランの作成について

ルート作成時、ドライブプランとしての条件を設定すると、探索したルートがドライブプランとして作成でき、プランリストに登録できます。

ドライブプランとして登録できる条件

以下のいずれかの条件に当てはまる場合、ドライブプランとなります。

- 出発時刻または到着時刻が設定されている
- 立寄地または目的地の滞在時間が設定されている

メモ

- 出発・到着時刻の設定や滞在時間の設定は、ルートを編集して行います。→*P96の「ルート編集」*
- ドライブプランとして登録できる条件を満たしていても、出発地から目的地までの全行程が24時間以上かかる場合は登録できません。
- プランリストに登録されたドライブプランは、あとから編集することができます。
- 設定した出発時刻が作成時点より30分以内の場合は、**プラン登録**ではなく**案内開始**となり、すぐに実行されます。
- 到着時刻の指定（→*P100の「日時を指定する」*）を行っている場合は、指定した時刻に対して到着または滞在できない場合に、以下のマークが表示されます。
  - 指定時刻後到着見込み：遅
- 営業時間情報のある施設で、営業時間に対して早く到着する場合や到着または滞在できない場合に、それぞれ以下のマークが表示されます。
  - 営業時間前到着見込み：
  - 営業時間外到着見込み：
- ドライブプラン登録後に地図データの更新を行うと、ドライブプランの目的地や立寄地の画像情報が失われる場合があります。

ドライブプランを実行する

出発時刻・到着時刻を指定して作成したドライブプランは、指定した出発時刻から30分以内であれば通常のルート探索と同様に実行されますが、指定した出発時刻から6時間以内の場合は、プランリストから実行することができます。

メモ

- 指定した出発時刻から6時間経過しても未実行のプランは、過去プランリストに保存されます。

1 メニューを押し、設定・編集→データ編集にタッチする

2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストにタッチする



4 実行するプランにタッチし、実行にタッチする



5 はいにタッチする

▼

ドライブプランが実行されます。

ドライブプラン指定時刻になると

本機使用中に指定時刻になるか、指定時刻の前後3時間以内に本機を起動した場合、ドライブプラン実行確認のメッセージが表示されます。

1 はいにタッチする



▼

ドライブプランが実行されます。

メモ

- ルートが設定されている場合は、そのルートを消去してドライブプランが実行されます。
- **いいえ**にタッチしても、出発時刻の前後6時間以内であればプランリストから実行させることもできます。
- ナビ画面が走行画面以外のときはメッセージは表示されません（走行画面に戻ったときに表示されます）。

ドライブプランを確認する

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストまたは過去プランリストにタッチする



4 確認するプランにタッチし、確認にタッチする



▼



メモ

- リスト項目にタッチすると、タッチした地点を地図表示することができます。
- プランリストの場合、ここで表示されるルートは参考ルートです。プラン実行時に探索されるルートとは異なることがあります。

ドライブプランを編集する

未実行のプランは編集することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

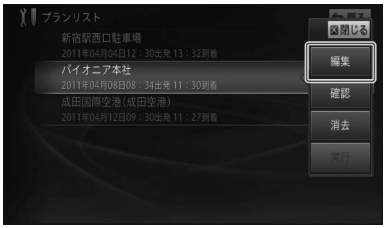
2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストにタッチする



4 編集するプランにタッチし、編集にタッチする



5 編集したい項目にタッチして、それぞれを編集し、探索開始にタッチする



6 プラン登録にタッチする



▼

編集したプランが登録されます。

メモ

- リスト項目にタッチすると、タッチした地点を地図表示することができます。
- 編集したプランが、ドライブプランの条件ではなくなった場合や、出発時刻が30分以内の場合は、プラン登録ではなく案内開始が表示されます。

ドライブプランを消去する

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

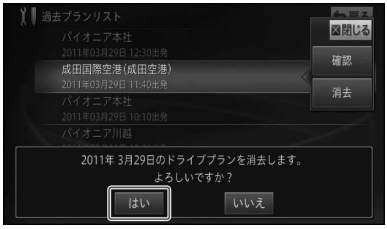
2 ドライブプランにタッチする



3 プランリストまたは過去プランリストにタッチする



4 消去するプランにタッチして、消去ーはいにタッチする



▼

選んだプランが消去されます。

登録・編集

場所（地点）の登録

自宅や友人宅などのようによく行く場所や、旅先など景色がきれいで覚えておきたい場所を登録しておくことができます。登録した情報は、目的地を設定する際などに利用することができます。

メモ

・自宅を含め1 001地点まで登録できます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、住所などを指定して探すよりも少ない操作で自宅までのルートを探索することができます。

1 自宅に車を停め、メニューを押す

2 自宅にタッチする



3 はいにタッチする



▼

自宅が登録されます。
イージーセットアップで自宅を登録することもできます。→*P130の「イージーセットアップ」*

メモ

・上記の操作で自宅を登録すると「自宅」という名前と自宅マーク、ヨミとして「ジタク」が自動的に登録されます。
・自宅以外の場所で自宅を登録するときは、地図で自宅の場所を探して地点登録してください。→*P58の「場所を探す」*
・すでに自宅が登録してある場合は、登録済みの自宅データを削除してから操作してください。→*P118の「登録した場所を個別に消去する」*
・自宅の位置は変更することができます。→*P111の「登録した場所の編集」*

場所を登録する

登録した場所へは、電話をかけたり、近づくと自動的に音を鳴らしたり、画像や立体ランドマークを登録することができます。

1 ここを登録するにタッチする



2 終了にタッチする



▼

場所が登録されます。
各項目を選ぶと、項目の内容を編集することができます。→*P111の「登録した場所の編集」*
登録する場所の名称には、施設名や周辺の地域などの代表地名が自動的に入力されます。施設名や周辺の地域などの代表地名がない場合は、登録した日時が自動的に入力されます。

メモ

・ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
・探した施設にヨミが登録されている場合は、そのヨミも自動的に登録されます。

登録した場所の編集

登録した場所に関する情報を編集したり、登録した場所を消去したりすることができます。

メモ

- 自宅として登録された登録地は、「ヨミ」、「グループ」は変更できません。また、他の登録地への変更もできません。
- 登録した場所に関する情報として、名称、ヨミ、電話番号、マーク、効果音、方向指定、グループ、位置が編集できます。

登録した場所の名称を変更する

変更したい名称は20文字以内で入力してください。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

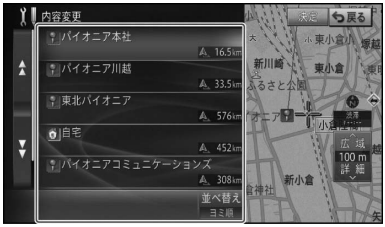
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 名称を変更したい地点にタッチする



5 名称にタッチする



6 名称を入力し、入力終了にタッチする



▼

名称が変更されます。

登録した場所のヨミを編集する

音声操作やマルチワード検索、並べ替えなどに使用する「ヨミ」を入力します。ヨミは全角20文字以内で入力してください。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

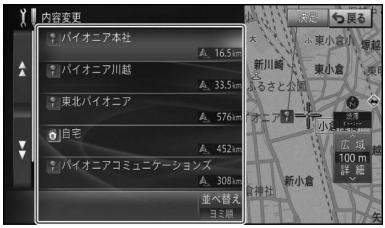
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 ヨミを編集したい地点にタッチする



5 ヨミにタッチする



6 ヨミを入力し、入力終了にタッチする



▼

ヨミが編集されます。

登録した場所の電話番号を設定する

電話番号を設定しておくと、その場所を電話番号検索で探せるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけることができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

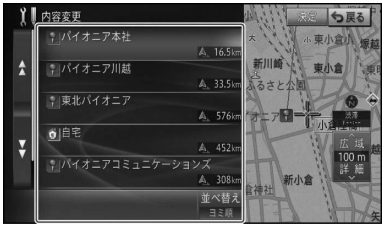
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 電話番号を編集したい地点にタッチする



5 電話番号にタッチする



6 電話番号を入力し、入力終了にタッチする



▼

電話番号が設定されます。

登録した場所の2Dマークを設定する

お好みの2Dマークを設定しておくと、地図上に表示することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

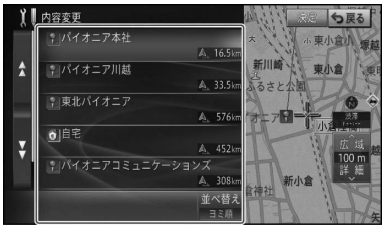
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 2Dマークを設定したい地点にタッチする



5 2Dマークにタッチする



6 2Dマークを選んでタッチする



▼

2Dマークが設定されます。

登録地マーク簡易表示を設定する

スケールによって、登録した2Dマークを地図上で簡易的な表示( )にすることができます。

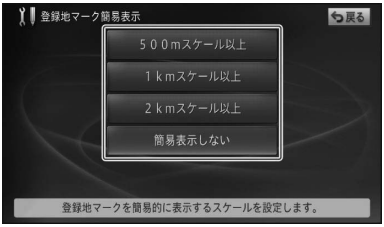
工場出荷時は「簡易表示しない」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 登録地マーク簡易表示にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



500mスケール以上	500 m以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
1 kmスケール以上	1 km以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
2 kmスケール以上	2 km以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
簡易表示しない	登録地マークを簡易表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の●マークを選ぶと、マークに加え、登録した場所の名称も地図上に表示させることができます（プライベートマッピング）。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

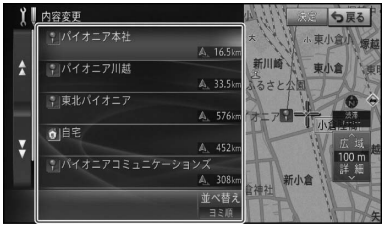
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 プライベートマッピングを設定したい地点にタッチする



5 2Dマークにタッチする



6 にタッチする



▼

プライベートマッピングが設定されます。

登録した場所の3Dマークを設定する

登録した場所の3Dマークを設定します。設定した3Dマークは、地図の表示方法をスカイビューなどの3D表示に設定し、地図スケールを200 m以下にしたときに表示させることができます。

1 メニューを押し、設定・編集→データ編集にタッチする

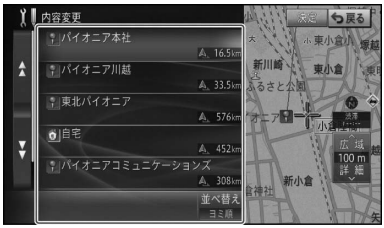
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



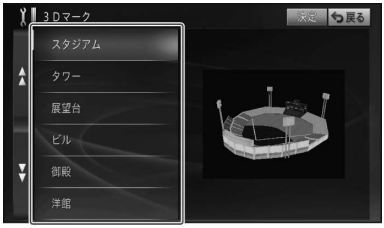
4 3Dマークを設定したい地点にタッチする



5 3Dマークにタッチする



6 3Dマークを選んでタッチする



7 拡大、縮小、左回転、右回転にタッチして3Dマークの大きさと向きを設定し、決定にタッチする



▼

3Dマークが設定されます。

登録した場所の効果音を設定する

登録した場所に近づいたときに、設定した効果音を鳴らすことができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

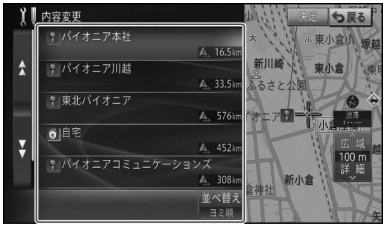
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 効果音を設定したい地点にタッチする



5 効果音にタッチする



6 効果音を選んでタッチする



7 設定にタッチする



確認にタッチすると、効果音が鳴り確認することができます。

▼

効果音が設定されます。

メモ

- 自車が登録した場所から約500 m以内に近づくと効果音が再生されます。
- 自車から約500 m以内に登録した場所が複数ある場合は、近いものから再生されます。
- 登録した場所の効果音よりも、ETC、ルート、VICS の音声案内が優先されます。

登録した場所のグループを編集する

登録した場所をグループ分けします。登録した場所が多いときの整理に便利です。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

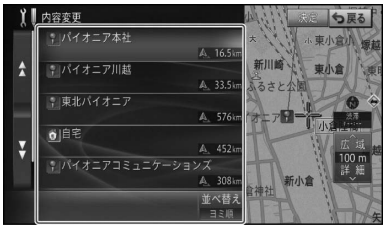
2 登録地にタッチする



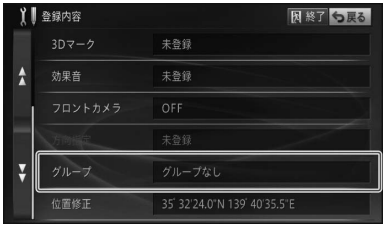
3 編集にタッチする



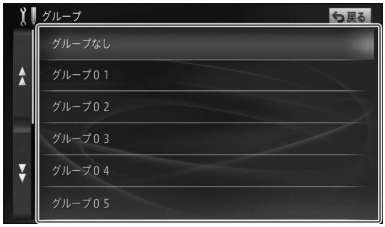
4 グループ設定したい地点にタッチする



5 グループにタッチする



6 所属するグループにタッチする



▼

グループが設定されます。

登録した場所のグループ名を編集する

「友人宅」や「○○スポット」など、わかりやすいグループ名にしておくと、登録地を見つけやすくなります。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

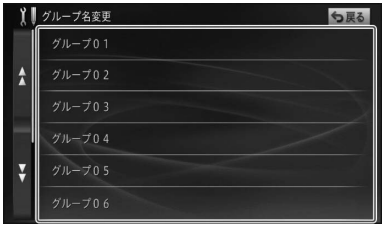
2 登録地にタッチする



3 グループ名にタッチする



4 編集したいグループにタッチする



5 グループ名を入力し、入力終了にタッチする



▼

グループ名が変更されます。

登録した場所の位置を修正する

登録した場所の位置をより正確に合わせたい場合などに行います。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

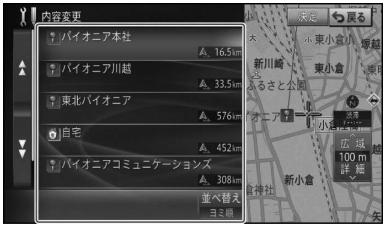
2 登録地にタッチする



3 編集にタッチする



4 位置を修正したい地点にタッチする



5 位置修正にタッチする



6 位置を修正し、決定にタッチする



▼

位置が修正されます。

登録した場所を個別に消去する

閉店してしまった店舗など、登録した場所として不要になったデータを消去することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

2 登録地にタッチする



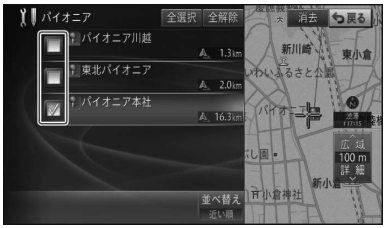
3 消去にタッチする



4 グループ名にタッチする

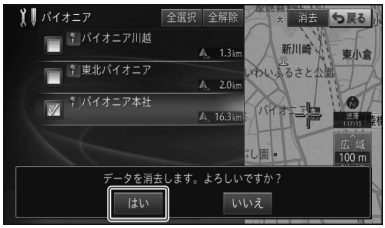


5 消去する地点にタッチする



チェックボックスにタッチすると☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

6 消去ーはいにタッチする



▼

選んだ場所が消去されます。
登録地がグループ分けされていない場合は、グループ選択の画面は表示されません。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

メモ

- グループ分けされていない登録地を消去するときは、グループなしにタッチしてください。
- 自宅はグループなしに振り分けられています。

登録した場所をまとめて消去する

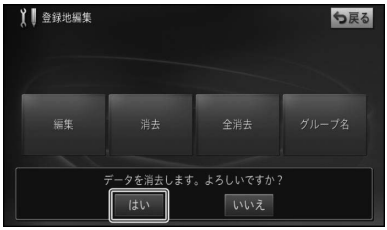
登録した場所の全データをまとめて消去することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

2 登録地にタッチする



3 全消去ーはいにタッチする



▼

登録した場所がすべて消去されます。

オートパーキングメモリー（駐車場履歴）の編集

施設に関連のある複数の駐車場入口ポイントから、ルート探索に使用する入口ポイントを指定したり、不要になった施設関連の駐車場データを消去したりできます。

入口を指定する

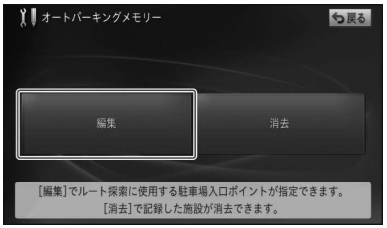
入口を指定するには、使用する入口以外のデータをルート探索に使用しないように指定して行います。

1 メニューを押し、設定・編集→データ編集にタッチする

2 オートパーキングメモリーにタッチする



3 編集にタッチする



4 編集したい駐車場の施設にタッチし、決定にタッチする



並べ替えにタッチすると、日時順もしくは近い順で並べ替えることができます。

5 使用しない入口にタッチする



タッチすると、×マークが表示され、ルート探索に使用されなくなります。
×マークは、再度タッチすると消えます。

駐車場データを消去する

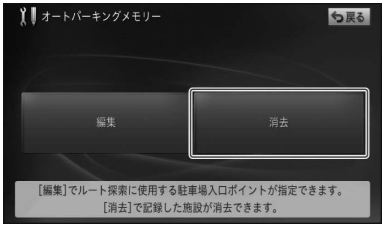
施設を選んで、その施設の持つ駐車場ポイントのデータを一括で消去します。

1 メニューを押し、設定・編集→データ編集にタッチする

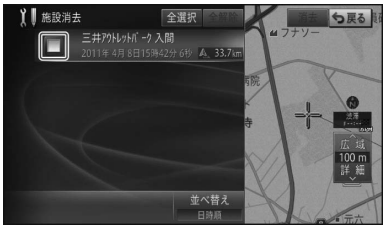
2 オートパーキングメモリーにタッチする



3 消去にタッチする

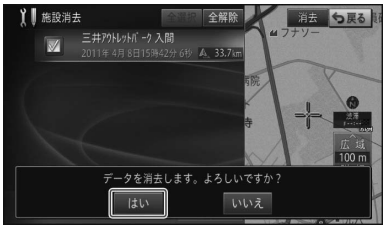


4 消去する施設にタッチする



選んだ施設には☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。
並べ替えにタッチすると、日時順もしくは近い順で並べ替えることができます。

5 消去ー**はい**にタッチする



▼

選んだ施設の駐車場ポイントが消去されます。

その他のデータ編集

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

オートリルート履歴を消去する

オートリルート案内で使用したくないオートリルート履歴を消去することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

2 オートリルート履歴消去にタッチする



3 消去する履歴にタッチする



選んだ履歴には☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

4 消去ーはいにタッチする



▼

選んだ履歴が消去されます。

検索履歴を消去する

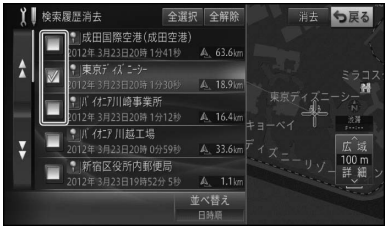
検索履歴は自動で保存されますが、保存件数が300件に達すると、以降は利用頻度の低い順に履歴が削除され、新しい履歴が保存されます。不要な検索履歴はあらかじめ消去してください。

1 メニューを押し、設定・編集ーデータ編集にタッチする

2 検索履歴消去にタッチする



3 消去する履歴にタッチする

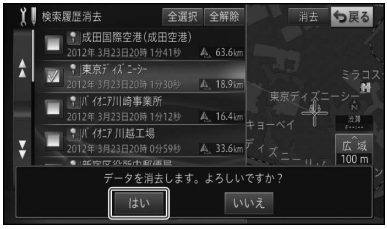


選んだ履歴には☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

並べ替えにタッチすると、リストを日時順、平日・土日祝日順、ヨミ順、近い順で並べ替えることができます。

4 消去ーはいにタッチする



▼

選んだ履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、曜日別によく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します（学習ルート探索）。よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

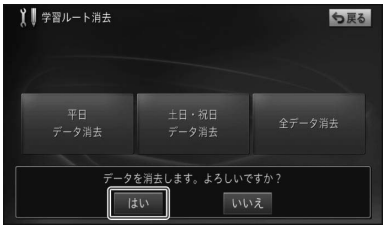
2 学習ルート消去にタッチする



3 消去するデータを選んでタッチする



4 はいにタッチする



▼

選んだデータが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー データ編集にタッチする

2 走行軌跡消去にタッチする



3 はいにタッチする



▼

走行軌跡が消去されます。

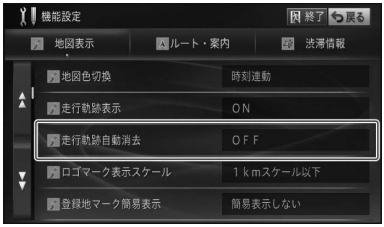
走行軌跡自動消去を設定する

走行軌跡を自動的に消去させることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー 機能設定にタッチする

2 走行軌跡自動消去にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



自宅付近	自宅（登録済）から約100 m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
電源OFF時	本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
OFF	走行軌跡は自動消去しません。

▼

設定内容が変更されます。

設定

イルミネーションカラー設定

本体のボタンのイルミネーションカラーを、お好みで変更することができます。また、それぞれの色調と明るさを調整することもできます。

イルミネーションカラーを変更する

基本カラー（WHITE/UMBER RED/ORANGE/BLUE/GREEN）と、RAINBOW、ECOの合計7色から選んで設定することができます。

1 **メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする**

2 **イルミネーションカラー設定にタッチする**



3 **お好みの色にタッチする**



WHITE、UMBER RED、ORANGE、BLUE、GREEN	選んだ色に設定されます。
RAINBOW	WHITE→UMBER RED→ORANGE→BLUE→GREEN→WHITE→・・・の順に、繰り返し色を切り換えます。
ECO	過去平均燃費と直近の燃費を比較して、良悪の結果をイルミネーションに連動させます。

メモ

- ECOは、「燃費・車両設定」にて燃費推定機能を使わない設定にしている場合、選択できません。→*P134の「燃費・車両設定」*

ECOに設定したとき

WHITEを中心として、燃費が向上した場合は段階的（4段階）にGREENになり、燃費が悪化した場合は段階的（4段階）にUMBER REDになります。燃費の良悪は約3秒間隔で更新されます。

イルミネーションカラーを詳細に設定する

基本カラー（WHITE/UMBER RED/ORANGE/BLUE/GREEN）に限り、色調を微調整することができます。

1 **メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする**

2 **イルミネーションカラー設定にタッチする**



3 **基本カラーから、詳細設定する色にタッチする**

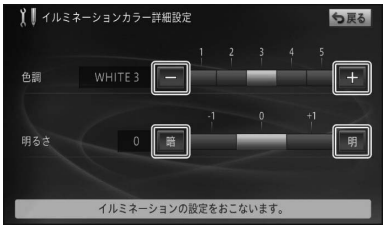


4 詳細設定にタッチする



RAINBOWおよびECOが選択されている場合、詳細設定は選択できません。

5 色調の＋または－、明るさの明または暗にタッチする



メモ

・色調は5段階、明るさは3段階で調整することができます。

オープニング画像設定

本機の起動画面に表示される画像を設定します。画像は、あらかじめ本機に収録されているものか、SDカード経由で読み込んだものから選ぶことができます。

メモ

- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE Image Importer」を使用すると、パソコン内に保存されている画像をオープニング画像用に編集してSDカードに保存することができます。
- オープニング画像設定中や、画像読み込み中に本機の電源をOFFすると、画像データが読み込めなくなる場合があります。

本機に収録された画像から選んで設定する

あらかじめ本機に収録されている画像を、オープニング画像として設定することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 その他設定にタッチする



3 オープニング画像設定にタッチする



4 画像を選んで決定にタッチする



確認にタッチすると、選んだ画像を全画面で表示して確認することができます。確認したら画面にタッチして全画面表示を解除してください。

▼

選んだ画像がオープニング画像として設定されます。

SDカード経由で読み込んだ画像から選んで設定する

NAVI OFFICE Image Importerで編集した画像をSDカード経由で本機に読み込み、オープニング画像として設定することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 その他設定にタッチする



3 オープニング画像設定にタッチする



4 画像読み込み－はいにタッチする



▼

画像が読み込まれ、リストから選択できるようになります。

5 画像を選んで決定にタッチする



確認にタッチすると、選んだ画像を全画面で表示して確認することができます。確認したら画面にタッチして全画面表示を解除してください。

▼

選んだ画像がオープニング画像として設定されます。

イージーセットアップ

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。

イージーセットアップを行う

画面の指示に従って各設定をかんたんに行うことができます。

イージーセットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

①音量設定	ナビの案内音量、受話音量、着信音量と操作音を設定できます。
②自宅設定	自宅の登録や変更ができます。
③燃費推定/車両情報設定	車の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定できます。一般道路と高速道路での燃費設定ができます。
④ETC取付状態設定	ETC車載器またはDSRCユニットが車に取り付けられているかどうか設定します。
⑤Bluetooth設定	Bluetooth対応の携帯電話を本機に登録できます。
⑥プローブ情報送信設定	プローブ情報を送信するかどうかを設定します。

イージーセットアップを開始する

メモ

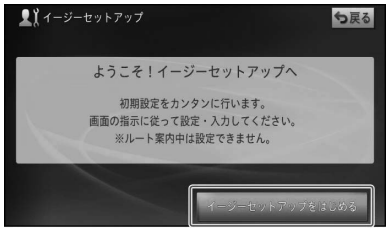
- ルート案内中は、イージーセットアップを行うことはできません。

1 メニューを押し、設定・編集にタッチする

2 イージーセットアップにタッチする



3 イージーセットアップをはじめるにタッチする



メモ

- イージーセットアップ設定中は、次へにタッチすると次の設定へ、前へにタッチすると前の設定に移ることができます。
- 終了にタッチすると、その時点までの設定を保存してイージーセットアップ終了画面に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定することができます。

音量の調整

1 それぞれの項目で＋または－、ONまたはOFFにタッチして調整する



案内音量	ナビの音声案内の音量を調整します。
受話音量	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
着信音量	電話の着信音量を調整します。
操作音	本機の操作音のON/OFFを設定します。

2 次へにタッチする

自宅の設定

1 自宅登録にタッチする



すでに自宅が登録済みの場合は、登録変更が表示され、タッチすると場所を探すための検索画面が表示されます。自宅の場所を探して上書きしてください。

2 場所を探して、決定にタッチする

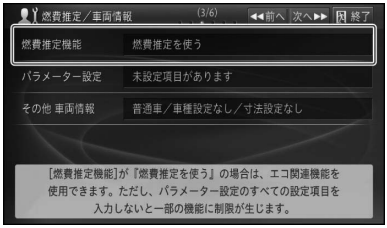


3 次へにタッチする

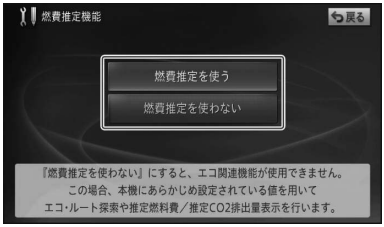
燃費推定/車両情報の設定

燃費推定機能を設定する

1 燃費推定機能にタッチする



2 燃費推定を使うまたは燃費推定を使わないにタッチする

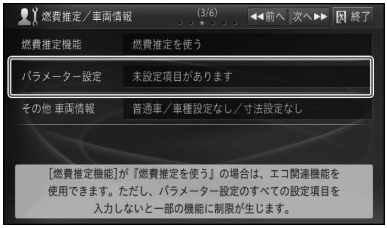


メモ

- エコ関連機能を使用するためには、「燃費推定を使う」に設定してください。なお、下記の車種では、燃費推定の機能が正常に動作しないことがあります。「燃費推定を使わない」に設定してください。
  - ハイブリッド車
  - 電気自動車（燃料電池車を含む）
  - ロータリー車
  - ターボ車
  - ディーゼル車
  - LPG車
  - バイオエタノール車
  - アイドリングストップ車など

パラメーターを設定する

1 パラメーター設定にタッチする

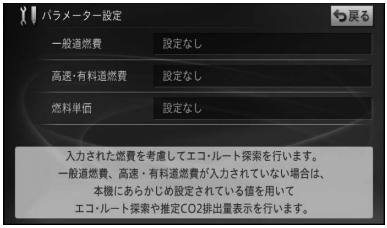


2 それぞれの項目を設定し、戻るにタッチする

燃費推定機能を使う場合のパラメーター設定



燃費推定機能を使わない場合のパラメーター設定



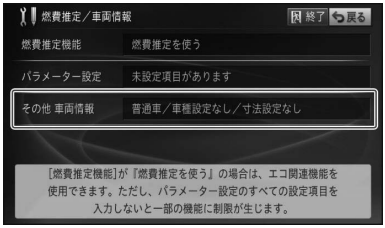
▼

数値入力画面例：燃料単価



車両情報を設定する

1 その他 車両情報にタッチする



2 それぞれの項目を設定し、戻るにタッチする



3 次へにタッチする

ETC取付状態の設定

1 車に取り付けているまたは車に取り付けていないにタッチする



「車に取り付けている」に設定すると、機能設定の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。

2 次へにタッチする

Bluetooth接続設定

1 機器登録にタッチする



2 接続する機器名にタッチする



接続する機器がリストにない場合は、**再検索**にタッチしてください。それでもリストに表示されない場合は、**相手機器から登録する**にタッチしてBluetooth機器より登録してください。→*P139の「Bluetooth機器を登録する」*

▼

選んだ機器と接続されるとメッセージが表示されます。

3 確認にタッチする

4 次へにタッチする

プローブ情報送信設定

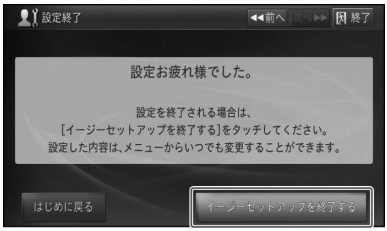
1 ONまたはOFFにタッチする



2 次へにタッチする

イージーセットアップを終了する

1 イージーセットアップを終了するにタッチする



燃費・車両設定

燃費の算出に使用する情報の設定と、車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さなど車両情報を設定します。ここで設定された内容が、各燃費計算やエコ指数、エコなルートなどのエコ関連機能および駐車場や有料道の料金案内などに反映されます。

燃費推定機能を使って燃費を設定する

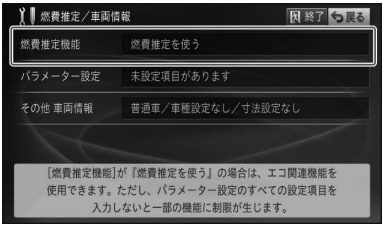
エコ関連機能を使用する場合は、燃費推定機能を使ってください。

メモ

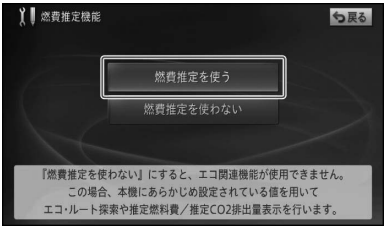
- 下記の車種では、燃費推定の機能が正常に動作しないことがあります。「燃費推定を使わない」に設定してください。→*P136の「燃費推定機能を使わずに燃費を設定する」*
  - ハイブリッド車
  - 電気自動車（燃料電池車を含む）
  - ロータリー車
  - ターボ車
  - ディーゼル車
  - LPG車
  - バイオエタノール車
  - アイドリングストップ車など

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**燃費・車両設定**にタッチする

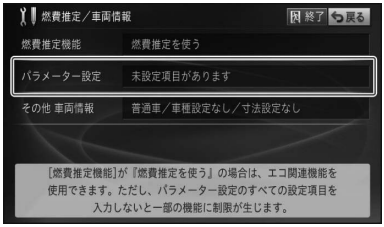
2 **燃費推定機能**にタッチする



3 **燃費推定を使う**にタッチする



4 **パラメーター設定**にタッチする



5 **車両重量**にタッチする



6 **車両重量を入力し、入力終了**にタッチする



100～9 999 kgの範囲で、1 kg単位で入力できます。

7 **総排気量**にタッチする



8 総排気量を入力し、入力終了にタッチする



0.1 ～ 9.99 Lの範囲で、0.01 L単位で入力できます。

9 車両寸法：高さ（H）にタッチする



10 車両の高さを入力し、入力終了にタッチする



100 ～ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

11 車両寸法：幅（W）にタッチする



12 幅を入力し、入力終了にタッチする



100 ～ 999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

13 パラメーター補正にタッチする



14 それぞれの項目で＋または－にタッチして設定し、戻るにタッチする



15 燃料単価にタッチする



16 燃料単価を入力し、入力終了にタッチする



10～999円の範囲で、1円単位で入力できます。

17 終了にタッチする

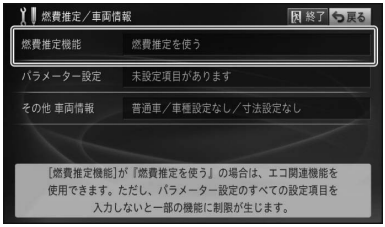
メモ

- パラメーター補正は、表示される燃費の数値を補正する場合に変更してください。「高速・有料道用」は主に高速走行時の燃費の数値が補正されます。値を1段階変更すると、燃費の表示結果が約1%変化します。値をプラス（正）側に変更すると、燃費の数値が大きくなります。
- パラメーター補正は、センサー学習が完了していないと設定できません。→*P174の「センサー学習の状況を確認する」*

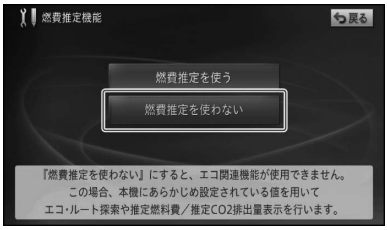
燃費推定機能を使わずに燃費を設定する

1 メニューを押し、設定・編集ー燃費・車両設定にタッチする

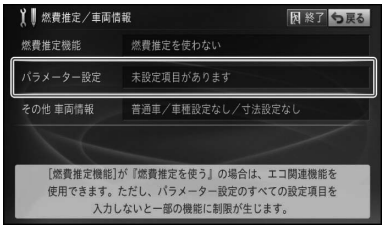
2 燃費推定機能にタッチする



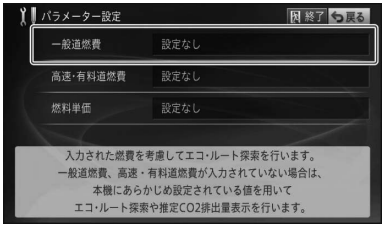
3 燃費推定を使わないにタッチする



4 パラメーター設定にタッチする



5 一般道燃費にタッチする

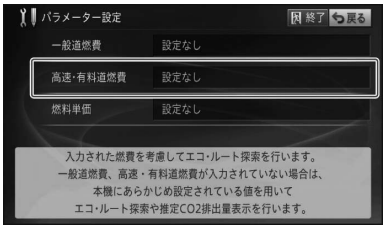


6 燃費を入力し、入力終了にタッチする



0.01～99.99 km/Lの範囲で、0.01 km/L単位で入力できます。

7 高速・有料道燃費にタッチする

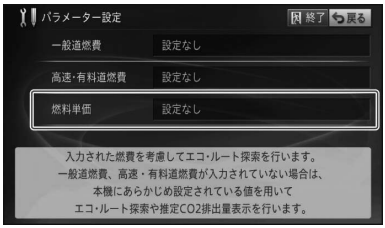


8 燃費を入力し、入力終了にタッチする



0.01～99.99 km/Lの範囲で、0.01 km/L単位で入力できます。

9 燃料単価にタッチする



10 燃料単価を入力し、入力終了にタッチする



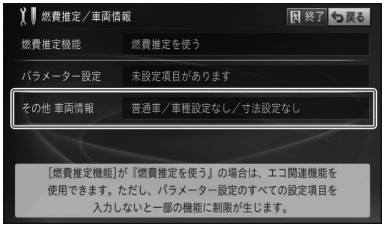
10～999円の範囲で、1円単位で入力できます。

11 終了にタッチする

その他車両情報を設定する

1 メニューを押し、設定・編集ー燃費・車両設定にタッチする

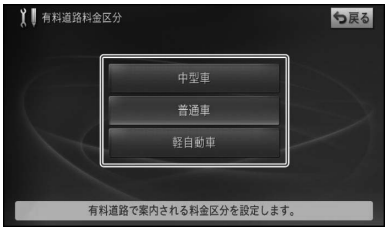
2 その他 車両情報にタッチする



3 有料道路料金区分にタッチする



4 区分を選んでタッチする



5 駐車制限（車種）にタッチする



6 車種を選んでタッチし、戻るにタッチする



7 駐車制限(車両寸法)ー長さにタッチする



8 長さを入力し、入力終了にタッチする



100～999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

9 駐車制限(車両寸法)ー幅にタッチする



10 幅を入力し、入力終了にタッチする



100～999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

11 駐車制限(車両寸法)ー高さにタッチする



12 高さを入力し、入力終了にタッチする



100～999 cmの範囲で、1 cm単位で入力できます。

13 終了にタッチする

通信接続設定

本機に接続する通信機器の登録や各種設定を行うことで、通信機能をご利用いただけます。（一部、通信接続設定以外の登録や設定を行わないとご利用いただけない通信機能もあります。）

通信機器を準備する

Bluetooth機器を使用する場合

Bluetooth対応の携帯電話をご準備ください。携帯電話接続ケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。

対応するBluetoothプロファイルについて

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

- HFP:（HandsFreeProfile）
- OPP:（ObjectPushProfile）
- PBAP:（PhoneBookAccessProfile）
- DUN:（DialupNetworkingProfile）
- SPP:（SirialPortProfile）
- A2DP :（AdvancedAudioDistributionProfile）
- AVRCP :（Audio/Visual Remote Control Profile）

メモ

- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。本機と接続可能なBluetooth機器の機種情報などについては、お買い上げの販売店にご確認ください。
- Bluetooth Audioをお使いになる場合も、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。

通信機器使用上のご注意

- 通信接続設定が完了すると、通信機能によっては自動的にデータ通信を開始する場合があります。
- 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信機能使用中は、約10分間以上通信が行われなかった場合、自動的に回線が切れます。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- お使いの携帯電話によっては、データ通信中に電話を着信した場合、データ通信が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に再接続してください。
- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFFにし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。
- 現在販売されているスマートフォンには、ダイヤルアップネットワーク（DUN）に対応していないものがほとんどで、その場合、ナビゲーションと接続してのデータ通信ができません。お使い、もしくは購入予定のスマートフォンがBluetoothのダイヤルアップネットワーク（DUN）に対応しているかどうかは、製造メーカーもしくは加入携帯電話会社までお問い合わせください。

Bluetooth機器を登録する

メモ

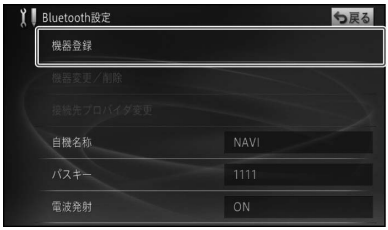
- 登録できるBluetooth機器は、5台までです。
- すでに5台登録していて、新たなBluetooth機器を登録する場合は、登録済みのBluetooth機器を削除してください。*→P142の「登録したBluetooth機器を削除する」*

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 機器登録にタッチする



周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は約20秒間行われ、10機器まで発見できます。
検索終了後にBluetooth機能をONにした機器がある場合は、**再検索**にタッチするともう一度検索することができます。
お使いのBluetooth機器によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

▼

Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。

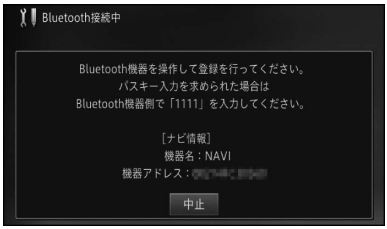
4 登録するBluetooth機器にタッチする



Bluetooth機器の種別によって、以下のアイコンが表示されます。

	携帯電話
	Bluetooth Audio機器
	ディスプレイ機器
?	その他の機器

5 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う

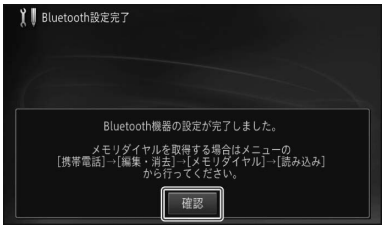


Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手を特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
Bluetooth機器に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

▼

登録完了のメッセージが表示されます。

6 確認にタッチする



▼

登録したBluetooth機器のプロファイルによっては以下の設定が続けて行えます。

プロバイダ設定
登録したBluetooth機器でデータ通信する際に使用するプロバイダを設定します。

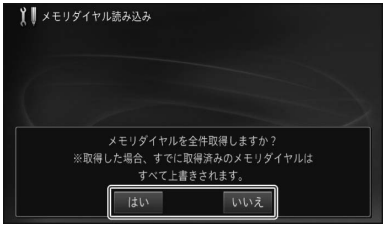


「NTT docomo（FOMAパケット）」を選択して通信接続する場合は、NTT ドコモが提供する有料インターネットサービスプロバイダ「mopera U」のご契約が必要です。詳しくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。

Bluetooth Audio使用確認
登録したBluetooth機器でBluetooth Audio機能を使用するかしないかを選びます。



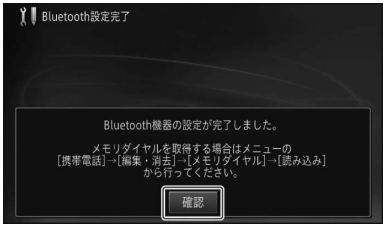
メモリダイヤル読み込み
登録したBluetooth機器のメモリダイヤルを本機に読み込むことができます。



▼

設定完了のメッセージが表示されます。

7 確認にタッチする



Bluetooth機器を切り換える

Bluetooth機器を複数登録した場合に、ハンズフリー機能、メモリダイヤル転送機能、ダイヤルアップ通信機能、フォトリモ@ナビ機能に使用するBluetooth機器を切り換えることができます。また、何らかの原因により機器と通信が切断された場合に再接続することができます。

メモ

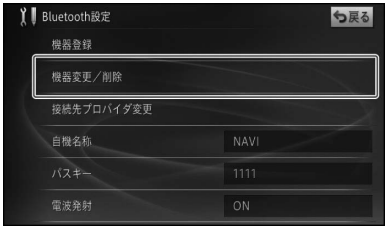
- 選んだBluetooth機器が動作中（ハンズフリー/データ通信）の場合は切り換えできません。動作終了後に操作してください。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 機器変更/削除にタッチする



4 切り換えるBluetooth機器にタッチする



5 接続方法を選んでタッチする



ハンズフリー/Bluetooth Audio	ハンズフリー機能とBluetooth Audio機器として使用します。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audio機器のみとして使用します。
ハンズフリー	ハンズフリー電話機能のみとして使用します。

6 **確認**にタッチする

▼

接続の切り換えが完了します。

メモ

- ハンズフリー /Bluetooth Audioに設定した場合は、Bluetooth Audioに設定した場合は、ハンズフリーに設定した場合は、のアイコンが表示されます。
- Bluetooth Audioに設定した場合は、確認のメッセージで**はい**にタッチしてください。

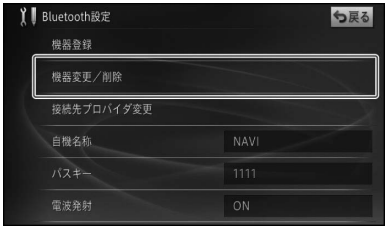
登録したBluetooth機器を削除する

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**システム設定**にタッチする

2 **Bluetooth設定**にタッチする



3 **機器変更/削除**にタッチする



4 削除するBluetooth機器にタッチする



5 **削除**ー**はい**にタッチする



▼

選んだBluetooth機器の登録が削除されます。

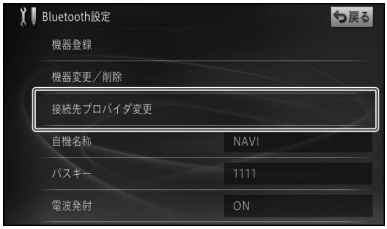
使用するプロバイダを変更する

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**システム設定**にタッチする

2 **Bluetooth設定**にタッチする



3 **接続先プロバイダ変更**にタッチする



4 接続するプロバイダにタッチする



「NTT docomo（FOMAパケット）」を選択して通信接続する場合は、NTT ドコモが提供する有料インターネットサービスプロバイダ「mopera U」のご契約が必要です。詳しくは、ドコモインフォメーションセンターへお問い合わせください。

▼

接続先プロバイダが変更されます。

使用するプロバイダを手動で設定する

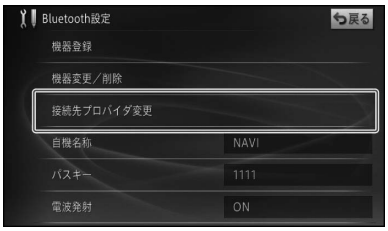
ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 接続先プロバイダ変更にタッチする



4 その他のプロバイダにタッチする



5 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する



設定できる項目と内容は以下の通りです。

項目	設定内容
接続先名称	プロバイダの名称
接続先電話番号	アクセスポイントの電話番号
ID	プロバイダ入会時に発行された接続ID
パスワード	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
プライマリDNS	プライマリDNSのIPアドレス
セカンダリDNS	セカンダリDNSのIPアドレス
Proxyサーバー	「使う」、「使わない」
Proxyサーバー名	Proxy サーバーの名称
ポート番号	Proxy サーバーのポート番号

6 終了にタッチする

▼

設定が終了します。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
- 例：192.168.2.255の場合は、「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。

- Proxy(プロキシ)サーバーを使用する場合は、使うを選択してください。
- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。
  例：192.168.2.255の場合は、「192.168.2.255」と入力する。

自機名称を設定する

本機の自機名称を設定することができます。

工場出荷時は「NAVI」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 自機名称にタッチする



4 名称を入力し、入力終了にタッチする



▼

名称が設定されます。

パスキーを変更する

本機のパスキーを設定することができます。

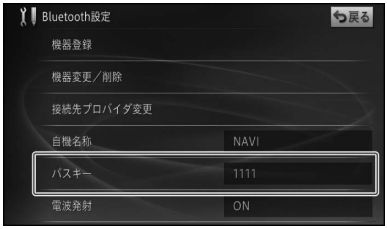
工場出荷時は「1111」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 パスキーにタッチする



4 パスキーを入力し、入力終了にタッチする



▼

パスキーが変更されます。

電波発射をON/OFFする

本機からの電波発射ON/OFFを設定することができます。

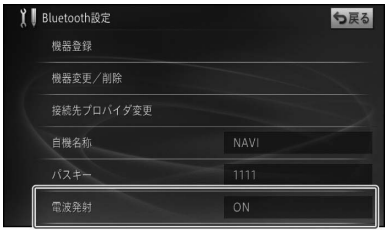
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 Bluetooth設定にタッチする



3 電波発射にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	電波発射を行います。
OFF	電波発射は行いません。

メモ

- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

設定初期化

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

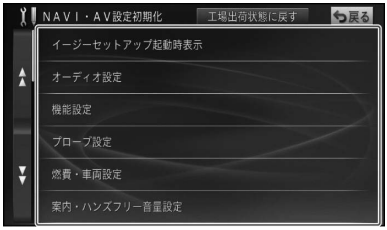
各種設定を初期化する

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 NAVI・AV設定初期化にタッチする



3 初期化したい項目にタッチする



4 はいにタッチする

▼

選んだ項目が工場出荷時の状態に戻ります。
引き続き他の項目を選ぶことができます。
終了する場合は、戻るにタッチします。

メモ

- 「燃費・車両設定」を初期化すると、すべてのパラメーターが初期化され、エコ関連機能が使用できなくなります。使用する場合は再設定をしてください。→*P134の「燃費・車両設定」*
- 「NAVI連携携帯情報（すべて）」「NAVI連携携帯情報（メールのみ）」は、本機とフォトリモ@ナビ対応携帯電話を接続したことがある場合に表示されます。
- 「機能設定」および「燃費・車両設定」は、案内中のルートが無い場合に操作できます。
- 「セキュリティロック設定」は、他の設定項目と異なり、通信接続を利用して専用サーバー上でさらに設定を行う必要があります。よって、手順4以降の操作方法が異なります。
  - 以降の操作手順は、*P379の「セキュリティロックを設定する」*の手順3から行ってください。
- センサー学習については、別途リセット操作を行ってください。→*P396の「センサー学習状態のリセットのしかた」*
- 工場出荷状態に戻すにタッチすると、各項目の初期化に加え、ミュージックサーバーに録音した楽曲データおよび登録地のデータなどもすべて消去することができます（セキュリティロック設定とDTV（地上デジタルTV）設定、センサー学習を除く）。

機能設定

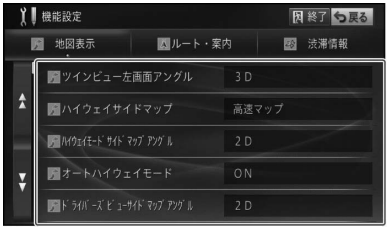
用途やお好みに応じて設定を変更することで、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

設定を変更する

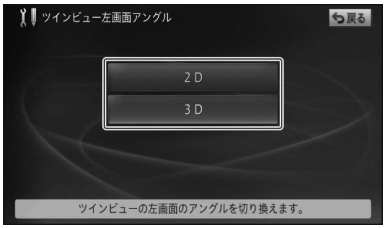
1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする



2 設定したい項目にタッチする



3 設定内容にタッチする



▼

設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

メモ

- 地図表示、ルート・案内、渋滞情報のタブにタッチすると、それぞれ分類された設定項目をすばやく表示することができます。
- 設定を終了する場合は、終了にタッチします。

設定内容の詳細

地図表示

＊は工場出荷時の設定です。

ツインビュー左画面アングル

ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。

2D	左画面をノーマルビューで表示します。
3D＊	左画面をスカイビューで表示します。

ハイウェイサイドマップ

ハイウェイモードのサイドマップの表示を設定します。

高速マップ＊	高速マップが表示されます。
通常マップ	通常マップが表示されます。

ハイウェイモードサイドマップアングル

ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。

2D＊	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

オートハイウェイモード

有料道路走行時にビューモードを自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。

ON＊	ハイウェイモードに切り換えます。
OFF	ハイウェイモードに切り換えません。

ドライバーズビューサイドマップアングル

ドライバーズビューのサイドマップのアングルを設定します。

2D＊	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

AVサイドビューアングル
AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。

2D＊	サイドマップがノーマルビューで表示されます。
3D	サイドマップがスカイビューで表示されます。

ガイドサイレンスアングル
ガイドサイレンスのアングルを設定します。

2D＊	ガイドサイレンスの地図画面がノーマルビューで表示されます。
3D	ガイドサイレンスの地図画面がスカイビューで表示されます。

シティマップ
シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。

ON＊	市街地図が表示されます。
OFF	通常の地図が表示されます。

スカイシティマップ
シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。

ON＊	市街地図の建物が立体的に表示されます。
OFF	市街地図の建物が平面的に表示されます。

メモ
- シティマップ設定が「OFF」の場合は、設定できません。

シティマップ境界表示
シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。

ON	シティマップの境界が画面に表示されます。
OFF＊	シティマップの境界を画面に表示せず、通常地図に切り換えます。

メモ
- シティマップ設定が「OFF」の場合は、設定できません。

地図色切換
地図色が切り換わるタイミングを設定します。

時刻連動＊	日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
イルミ連動	スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
昼色固定	常に昼画面のままです。

走行軌跡表示
走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。

ON＊	走行軌跡が表示されます。
OFF	走行軌跡は表示されません。

走行軌跡自動消去
走行軌跡を自動的に消去させることができます。

自宅付近	自宅（登録済）から約100 m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
電源OFF時	本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
OFF＊	走行軌跡は自動消去しません。

ロゴマーク表示スケール
ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。

100 mスケール以下	100 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
200 mスケール以下	200 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
500 mスケール以下	500 m以下のスケールでロゴマークが表示されます。
1 kmスケール以下＊	1 km以下のスケールでロゴマークが表示されます。

登録地マーク簡易表示
登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。

500 mスケール以上	500 m以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
1 kmスケール以上	1 km以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
2 kmスケール以上	2 km以上のスケールで登録地マークが簡易表示されます。
簡易表示しない＊	登録地マークを簡易表示しません。

ボトルネック踏切マーク表示
ボトルネック踏切マークを地図上に表示するか設定します。

ON＊	ボトルネック踏切のマークが表示されます。
OFF	ボトルネック踏切のマークは表示されません。

2D（ノーマルビュー）固定スクロール
スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。

ON	スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
OFF＊	スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

現在地情報表示
地図画面に表示される現在地情報の内容を設定します。

市区町村名＊	現在地が市区町村名で表示されます。
走行道路名	現在地が走行道路名で表示されます。（道路名がない場合は市区町村名が表示されます。）
緯度経度	現在地が緯度経度で表示されます。

マップクリエイター
マップクリエイター道路を自動作成するかを設定します。

ON＊	マップクリエイター道路が自動作成されます。
OFF	マップクリエイター道路は自動作成されません。

ルート・案内

＊は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準
ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。

推奨＊	信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
エコ優先	推定燃料費が少なくなるようなルートが探索されます。
幹線優先	幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件
ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。

標準＊	有料道が標準的な基準でルート探索されます。
回避	有料道を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件
ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。

標準＊	フェリー航路を標準的な基準で使うルートが探索されます。
優先	フェリー航路を優先的に使うルートが探索されます。
回避	フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索
学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。

ON＊	学習したルートを考慮します。
OFF	学習したルートを考慮しません。

渋滞考慮ルート探索
渋滞情報が取得できているときは、その情報を考慮してルート探索ができます。

渋滞情報・天気考慮渋滞予測＊	渋滞情報と天気予報に応じた渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
渋滞情報・渋滞予測	渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
渋滞情報のみ	渋滞情報のみを考慮してルートが探索されます。
考慮しない	各情報を考慮しないでルートが探索されます。

時間規制考慮ルート探索
日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。

ON＊	時間規制の情報を考慮してルートが探索されます。
OFF	時間規制の情報を考慮しません。

スマートIC考慮ルート探索

スマートICを乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。

ON	スマートICを考慮してルートが探索されます。
OFF＊	スマートICを考慮しません。

メモ

- イージーセットアップの「ETC取付状態設定」で「車に取り付けている」を選択した場合、スマートIC考慮ルート探索の設定は、自動的に「ON」になります。
- ルート案内中は設定できません。

オートリルート設定

新しい候補ルートを案内する際、どの情報を考慮するかを設定します。

すべて考慮＊	渋滞情報と過去のリルート履歴を考慮してオートリルートを行います。
渋滞考慮のみ	渋滞情報のみを考慮してオートリルートを行います。
OFF	オートリルート案内は働きません。

オートリルート設定自動決定ルート

オートリルート案内が機能して新ルートと元ルートの選択画面になった際、どちらも選ばなかった場合、自動的に決定するルートを設定します。

元ルート＊	元ルートを選択します。
新ルート	新ルートを選択します。

到着予測時刻表示

ルート案内時の到着予測時刻表示の表示対象を設定します。

目的地（到着時刻・残距離）＊	目的地までの距離と進捗度、現在までの経過時間、そして到着予想時刻が表示されます。
立寄地（到着時刻・残距離）	次の立寄地までの距離と進捗度、現在までの経過時間、そして到着予想時刻が表示されます。
目的地（到着時刻）・出発時刻	出発時刻および進捗度と現在までの経過時間、そして到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度（一般道）

渋滞考慮ルート探索設定で渋滞予測を「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

20 km/h	平均速度20 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
30 km/h＊	平均速度30 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
40 km/h	平均速度40 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
50 km/h	平均速度50 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
60 km/h	平均速度60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度（有料道）

渋滞考慮ルート探索設定で渋滞予測を「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。

60 km/h	平均速度60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
80 km/h＊	平均速度80 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
100 km/h	平均速度100 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

一般道のルート案内時に表示される交差点案内表示を設定します。

ドライバーズビュー＊	交差点付近をドライバーズビューで表示します。
拡大図	平面的な交差点拡大図で表示します。
アローガイド	進行方向を見やすい矢印で表示します。

方面案内表示

一般道走行時に方面案内看板を表示するか設定します。

ON＊	交差点で方面案内が表示されます。
OFF	方面案内は表示されません。

ETCレーン案内表示

有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。

ON＊	有料道の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
OFF	ETCレーン案内は表示されません。

料金案内
ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。

ON＊	料金案内を行います。
OFF	料金案内を行いません。

オートフリーズーム
オートフリーズーム（現在地と直近の案内地との距離を考慮して地図スケールを自動的に変化させる機能）のスケール範囲の設定をします。

100 mスケール	自動的に100 mスケールまで地図スケールを切り換えます。
50 mスケール	自動的に50 mスケールまで地図スケールを切り換えます。
OFF＊	オートフリーズームを行いません。

オートアングルチェンジ
案内地点でのドライバーズビューの視点変更を行うかを設定します。

ON＊	ドライバーズビューの視点を自動的に高くします。
OFF	ドライバーズビューの視点を自動的に変更しません。

リクエスト案内
リクエスト案内時の案内方法を設定します。

音声案内・地図表示＊	リクエスト案内を音声と地図表示で案内します。
音声案内	リクエスト案内を音声のみで案内します。

信号機ジャスト案内
信号機を目印にした音声案内を行うかを設定します。

ON＊	信号機ジャスト案内の音声案内を行います。
OFF	信号機ジャスト案内の音声案内を行いません。

メモ
- 信号機が無い交差点では、この設定によらずジャスト案内を行います。
- 一般道シンプルガイドが「ON」の場合は、設定できません。

一般道シンプルガイド
通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかを設定します。

ON	ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
OFF＊	通常の音声案内を行います。

オートガイドサイレンス
ルート案内を開始した時点で、自動的にオートガイドサイレンスで案内を行うかを設定します。

ON	オートガイドサイレンスで案内を行います。
OFF＊	通常の案内を行います。

AV画面への割り込み
AV画面を表示中に割り込み表示させる内容を設定します。

交差点案内表示	交差点案内表示を割り込み表示します。
ビーコン	ビーコン情報を割り込み表示します。
オートリルート設定	オートリルート案内の情報を割り込み表示します。

メモ
- 割り込み表示させる項目は複数選択できます。項目を何も選択していない場合は、割り込み表示しません。工場出荷時は、すべて選択状態となっています。
- ビーコンは、別売のビーコンユニットまたはDSRCユニットを接続した場合に選択できます。

有料道注意地点・県境案内
有料道走行時に注意地点と県境を音声で案内するか設定します。

ON＊	注意地点と県境の音声案内を行います。
OFF	注意地点と県境の音声案内を行いません。

踏切案内
前方に踏切がある場合に音声で案内をするか設定します。

ON＊	踏切の音声案内を行います。
OFF	踏切の音声案内を行いません。

右左折専用レーン案内
前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。

ON＊	右左折専用レーンの音声案内を行います。
OFF	右左折専用レーンの音声案内を行いません。

リフレッシュ案内
2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。

ON＊	リフレッシュ案内を行います。
OFF	リフレッシュ案内を行いません。

ライト点灯案内
日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。

ON＊	ライト点灯案内を行います。
OFF	ライト点灯案内を行いません。

エコ運転評価案内
ルート案内後にエコ運転評価案内をするかを設定します。

ON＊	エコ運転評価案内を行います。
OFF	エコ運転評価案内を行いません。

エコ運転課題表示
ナビ起動時に前回のエコ運転の課題を案内するかを設定します。

ON＊	エコ運転課題表示を行います。
OFF	エコ運転課題表示を行いません。

eスタートカウンター
発進時にeスタートカウンターを表示するかを設定します。

ON＊	eスタートカウンターを表示します。
OFF	eスタートカウンターを表示しません。

駐車場監視
駐車場監視を使用するかどうかを設定します。

ON＊	駐車場監視を使用します。
OFF	駐車場監視を使用しません。

アイドリングカウンター
停車時にアイドリングカウンターを表示するかを設定します。

ON＊	アイドリングカウンターを表示します。
OFF	アイドリングカウンターを表示しません。

オートパーキングメモリー
オートパーキングメモリーの保存および保存データ（履歴）を利用してルート探索を行うかを設定します。

ON＊	オートパーキングメモリーを使用します。
OFF	オートパーキングメモリーを使用しません。

ビーコン即時表示
受信したビーコン情報、ITSスポットの5.8 GHzVICS情報から、即時に表示する情報の種類を設定します。

文字・図形・音声＊	文字情報、図形情報（ITSスポットは画像情報含む）、音声情報（ITSスポットのみ）を即時表示します。
文字・図形	文字情報または図形情報のいずれかを即時表示します。
図形	図形情報のみを即時表示します。
OFF	即時表示しません。

メモ
- 別売のビーコンユニットまたはDSRCユニットを接続した場合に選択できます。

ビーコン即時表示時間
ビーコン即時表示の表示時間を設定します。

5秒	5秒間即時表示します。
10秒＊	10秒間即時表示します。
15秒	15秒間即時表示します。

メモ
- 別売のビーコンユニットまたはDSRCユニットを接続した場合に選択できます。
- ビーコン即時表示が「OFF」の場合は、設定できません。

渋滞オートガイド
ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内するかを設定します。

ON＊	渋滞情報を自動で音声案内します。
OFF	渋滞情報を自動では音声案内しません。

渋滞情報

＊は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路
渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。

有料道・一般道＊	有料道・一般道の渋滞情報を表示します。
有料道のみ	有料道の渋滞情報のみを表示します。
一般道のみ	一般道の渋滞情報のみを表示します。
表示しない	渋滞情報を表示しません。

渋滞情報表示
渋滞情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。

ON＊	道塗り表示します。
OFF	道塗り表示しません。

メモ
- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

順調表示
渋滞していない道路情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。

ON	道塗り表示します。
OFF＊	道塗り表示しません。

メモ
- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

点滅表示
渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。

ON＊	点滅表示します。
OFF	点滅表示しません。

メモ
- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

規制表示
規制情報と規制区間を地図上に表示するかを設定します。

ON＊	規制情報と規制区間を表示します。
OFF	規制情報と規制区間を表示しません。

メモ
- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

駐車場情報マーク表示
駐車場の満空情報マークを地図上に表示するかを設定します。

ON＊	駐車場のVICS情報マークを表示します。
OFF	駐車場のVICS情報マークを表示しません。

メモ
- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

区間旅行時間表示
区間旅行時間マークを地図上に表示するかを設定します。

ON＊	区間旅行時間マークを表示します。
OFF	区間旅行時間マークを表示しません。

メモ
- 渋滞情報表示対象道路が「表示しない」の場合は、設定できません。

調整・補正

ナビゲーションの補正・調整

ナビゲーションの音量調整や自車位置修正などを行います。

音量設定をする

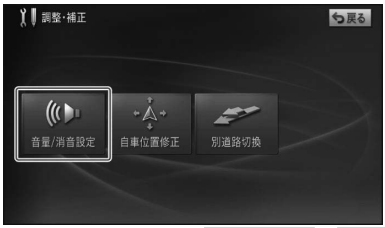
ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の受話音量と着信音量の調整、操作音のON/OFFを設定します。

注意

・操作音をOFFに設定すると、各種警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

1 メニューを押し、設定・編集－調整・補正にタッチする

2 音量/消音設定にタッチする



センターメニューの設定・編集－案内・ハンズフリー音量設定からも操作できます。

3 案内・ハンズフリー音量設定にタッチする



4 案内音量、受話音量、着信音量を調整する



＋	ナビの音声案内、ハンズフリー通話の受話音量・着信音量を大きくします。
－	ナビの音声案内、ハンズフリー通話の受話音量・着信音量を小さくします。

5 操作音のONまたはOFFにタッチする



ON	操作音を鳴らします。
OFF	操作音を鳴らしません。

メモ

・操作音の音量は、手順4で調整した各値と同じになります。

消音設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の着信時などに、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声案内やハンズフリー通話の着信を聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

消音タイミング：「電話・認識」

消音レベル：「－20ｄＢ」

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**調整・補正**にタッチする

2 **音量/消音設定**にタッチする



3 **消音設定**にタッチする



4 **消音タイミングを選択する**



ガイド・電話・認識	音声案内やハンズフリー通話の着信時、音声認識操作時にオーディオの音量を下げます。
電話・認識	ハンズフリー通話の着信時、音声認識操作時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

5 **消音レベルを選択する**



−10 dB	音量が1/3になります。
−20 dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

ガイド/ハンズフリー SP設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。

工場出荷時は「フロントL ＋フロントR 」です。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**調整・補正**にタッチする

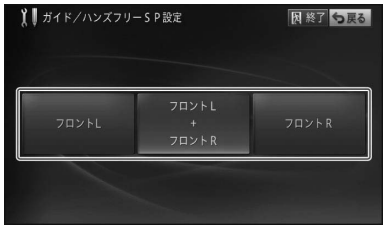
2 **音量/消音設定**にタッチする



3 **ガイド/ハンズフリー SP設定**にタッチする



4 **出力するスピーカーを選択する**



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL+フロントR	フロント左右から出力します。

フロントR	フロント右側から出力します。

自車位置を修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 メニューを押し、設定・編集ー調整・補正にタッチする

2 自車位置修正にタッチする



3 8方向矢印キーで十字カーソルを現在地に合わせ、決定にタッチする



地図（8方向矢印キー以外の部分）にタッチしてスクロールさせることもできます。

4 左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する



5 決定にタッチする

▼

自車位置が修正されます。

一般道または有料道へ自車位置を修正する

一般道と有料道が並行している道路を走行中に、異なる種別の道路へ自車位置がマップマッチングしてしまった場合は、正しい種別の道路に自車位置を修正することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー調整・補正にタッチする

2 別道路切換にタッチする



▼

異なる種別の道路へ自車位置が修正されます。

メモ

- 自車位置が修正できない場合もあります。

画質調整

画面を見る角度や映像の種類、車のライトのON/OFF状態などに応じて、画質を調整することができます。

画質を調整する

1 (メニュー)を長く押す

▼

画質調整画面が表示されます。

2 各項目を調整する





黒の濃さ	■(白)にタッチすると薄くなり、■(黒)にタッチすると濃くなります。
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。
アクティブコントラスト	ONにタッチするとアクティブコントラストが働き、OFFにタッチするとアクティブコントラストが働きません。
色温度	■(赤)にタッチすると暖色系が強くなり、■(青)にタッチすると寒色系が強くなります。
色の濃さ	淡にタッチすると淡くなり、濃にタッチすると濃くなります。
色あい	■(赤)にタッチすると赤が強くなり、■(緑)にタッチすると緑が強くなります。

メモ

- 表示している画面の種類によって、調整項目は異なります。

- 「アクティブコントラスト」は、明暗が混在するようなシーンでも部分部分でのコントラスト調整を自動で行い、色とびの少ない鮮明な映像で表示します。
- 車のライトに連動して昼(☼)と夜(☾)の設定を自動で切り換えます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼(☼)と夜(☾)で別々に設定登録できます。
- <<前ページ、>>次ページでページ送りできます。

タッチパネル調整

画面のタッチキーの位置と実際に指で触れたタッチ位置の反応にずれを感じたときなど、調整することができます。調整には画面四隅を使って行う4点調整と、画面全体を使って詳細に行う16点調整があります。

注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。
- 調整結果保存中は、本機の電源を切らないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

1 メニューを長く押す

▼

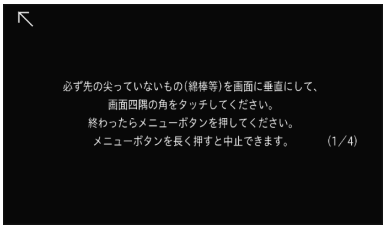
画質調整画面が表示されます。

2 メニューを長く押す

▼

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅を順にタッチする



メニューを長く押すと、中止します。

4 メニューを押す

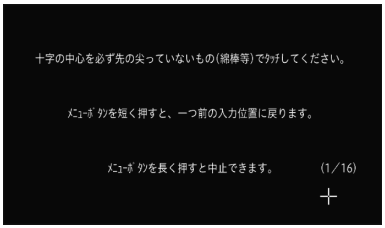
▼

調整結果が保存されます。

5 16点調整を行う場合は、メニューを押す

メニューを長く押すと、終了します。

6 画面に表示される+マークの中心を順にタッチする



メニューを押すと、ひとつ前の+マークに戻ります。

▼

すべてタッチすると調整結果が保存されます。

メニューを長く押すと、中止します。

7 メニューを長く押す

▼

調整を終了し、元の画面に戻ります。

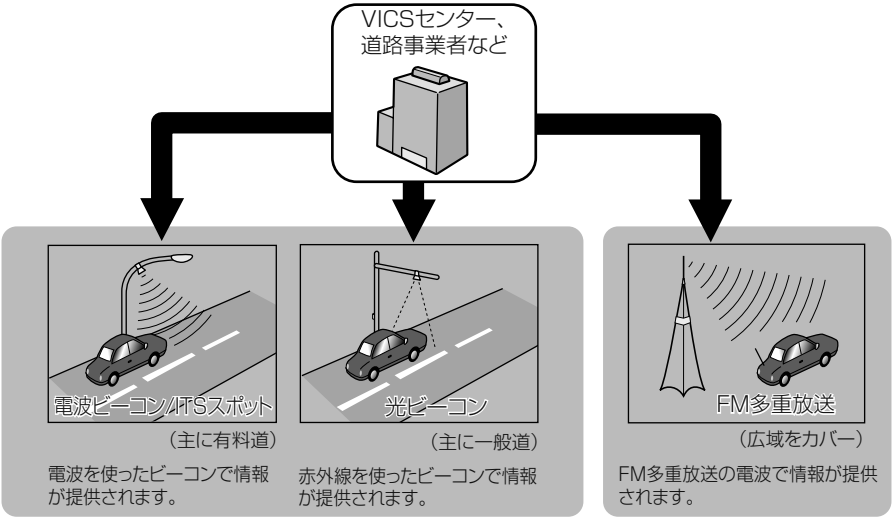
メモ

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

情報

渋滞情報の利用

本機で取得できる渋滞情報には、車載のアンテナや別売のビーコンユニットで受信するVICS情報（VICSセンターから提供）と、別売のDSRCユニットで受信する5.8 GHzVICS情報（ITSスポット（DSRC）を通じ、道路事業者などが提供）、携帯電話など通信機器を利用して、通信で受信するオンデマンドVICS情報（オンデマンドVICS専用サーバーより提供）、リアルタイムプローブ渋滞情報（リアルタイムプローブサーバーより提供）があります。オンデマンドVICS情報、リアルタイムプローブ渋滞情報については、「通信で渋滞情報を取得する」をご覧ください。



ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。本機に別売のVICS用ビーコンユニットやDSRCユニットを接続すると、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

VICS情報を利用する

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

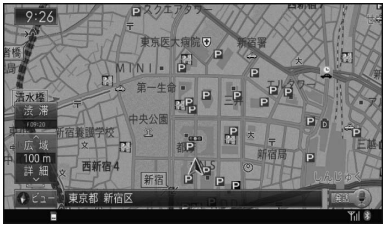
VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- ●渋滞情報（順調情報も含む）
- ●交通障害情報
- ●交通規制情報
- ●旅行時間情報
- ●駐車場情報

レベル3：地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



レベル2：簡易図形

ナビゲーションの画面上に図形情報として表示されます。



レベル1：文字

ナビゲーションの画面上に文字情報として表示されます。



メモ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

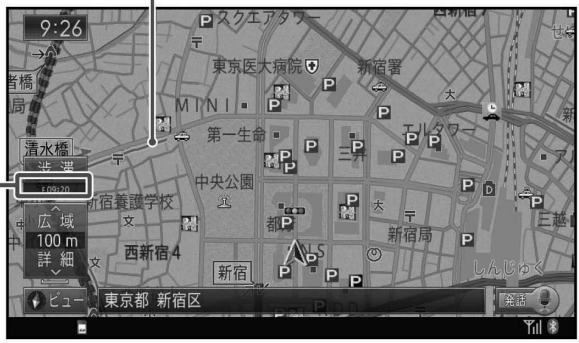
レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターやITSスポットから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

一般道への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

有料道への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖･通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重情報によるVICS情報提供時刻
B	ビーコンやITSスポットからの情報による情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--:--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→*P173の「放送局を選ぶ」*
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は、自車周辺の規制情報を文字表示と音声でお知らせします。（渋滞チェック親切案内）
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、**渋滞**に長くタッチすると、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を取得します。
- 別売のDSRCユニットを接続している場合で、ITSスポットからの情報を受信した場合は、ビーコン情報と同様に表示され、情報提供時刻が「B」に表示されます。

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。

	大型通行止め
	故障車
	作業
	路上障害
	チェーン規制
	凍結
	進入禁止
	入口制限
	通行止め・閉鎖
	事故
	工事中
	入口閉鎖
	片側交互通行
	対面通行
	車線規制
	徐行
50	速度規制（数字は制限速度）
	気象
行事	行事
	災害
	火災
	区間旅行時間
V	原因なし
P	駐車場閉
P	駐車場（空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒）

「VICSレベル3情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。本機に別売のVICS用ビーコンユニットやDSRCユニットが接続されているときは、FM多重放送とビーコンVICS情報やITSスポット情報のいずれか新しい提供時刻のみが表示されます。

一度に受信・表示できる情報について

ビーコンやITSスポット（DSRC）によるVICS情報とFM多重放送によるVICS情報、通信機器によるオンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報は同時に表示されます。同じ道の情報がビーコンやITSスポット（DSRC）とFM多重放送、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報から提供されたときは、新しい情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→*P173の「放送局を選ぶ」*

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

VICS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

1 VICSマークにカーソルを合わせ、情報にタッチする



メモ

- カーソル付近に情報が複数ある場合は、手順1の操作で一覧にタッチして、表示したい情報を選択します。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

VICS情報の表示を設定する

渋滞情報表示対象道路を設定する

渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。

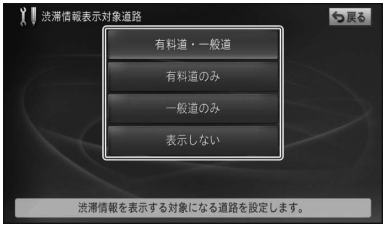
工場出荷時は「有料道・一般道」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 渋滞情報表示対象道路にタッチする



3 設定する対象にタッチする



有料道・一般道	有料道・一般道の渋滞情報を表示します。
有料道のみ	有料道の渋滞情報のみを表示します。
一般道のみ	一般道の渋滞情報のみを表示します。
表示しない	渋滞情報を表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

渋滞情報表示を設定する

渋滞情報を地図上に表示するかを設定します。

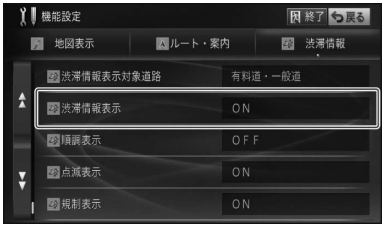
工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 渋滞情報表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	道塗り表示します。
OFF	道塗り表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

順調表示を設定する

渋滞していない道路情報を地図上に表示するかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 順調表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	道塗り表示します。
OFF	道塗り表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

点滅表示を設定する

渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。
- 渋滞情報表示が「OFF」の場合は、設定できません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 点滅表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	点滅表示します。
OFF	点滅表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

規制表示を設定する

規制情報と規制区間を地図表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 規制表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	規制情報と規制区間を表示します。
OFF	規制情報と規制区間を表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

駐車場情報マーク表示を設定する

駐車場の満空情報マークを地図表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

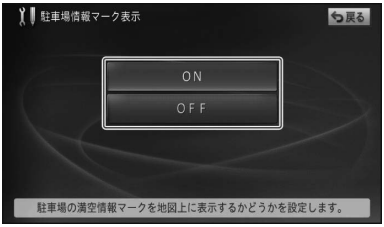
- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 駐車場情報マーク表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	駐車場のVICS情報マークを表示します。
OFF	駐車場のVICS情報マークを表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

区間旅行時間表示を設定する

区間旅行時間マークを地図表示するかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- 渋滞情報表示対象道路の設定が「表示しない」の場合は、操作できません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 区間旅行時間表示にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	区間旅行時間マークを表示します。
OFF	区間旅行時間マークを表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

ビーコン情報の自動表示

別売のVICS用ビーコンユニットまたはDSRCユニットが接続されているときは、ビーコンやITSスポットから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容を設定した時間だけ表示させることができます(ビーコン即時表示)。



表示された情報は、設定された表示時間経過後に自動的に消えます。また(NAVI)を押すか、戻るにタッチして消すこともできます。

メモ

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字・図形情報は表示されません。
- 別売のDSRCユニットを接続すると、ITSスポットからの静止画像、音声、図形または文字の5.8 GHzVICS情報が表示または音声案内されます。

ビーコン即時表示の表示内容を設定する

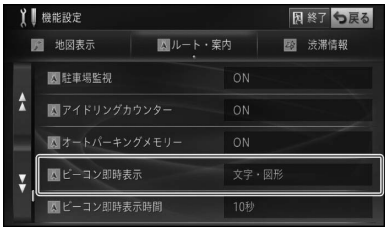
受信したビーコン情報、ITSスポットの5.8 GHzVICS情報から、即時に表示する情報の種類を設定します。

工場出荷時はビーコンのみ装備車:「文字・図形」、DSRC装備車:「文字・図形・音声」です。

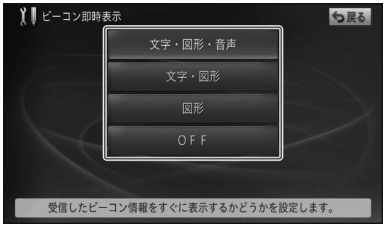
メモ
- 「文字・図形・音声」は、別売のDSRCユニットを接続した場合に操作できます。
- ITSスポットの5.8 GHzVICS情報を即時表示するには、設定を「文字・図形・音声」にしてください。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ビーコン即時表示にタッチする



3 設定する表示にタッチする



文字・図形・音声	文字情報、図形情報（ITSスポットは画像情報含む）、音声情報（ITSスポットのみ）を即時表示します。
文字・図形	文字情報または図形情報のいずれかを即時表示します。
図形	図形情報のみを即時表示します。
OFF	即時表示しません。

▼

設定内容が変更されます。

メモ
- 「文字・図形」を選択した場合、音声情報を含む情報は文字や図形も表示されません。ITSスポットのサービスではほとんどの場合音声情報を含みますので、ITSスポットのサービスを利用する場合には必ず「文字・図形・音声」を選択してください。
- OFFに設定した場合、情報は自動では表示されません。センターメニューの情報ー渋滞情報ー履歴と操作して表示します。

ビーコン即時表示の表示時間を設定する

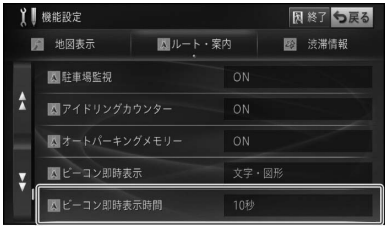
受信したビーコン情報、ITSスポットの5.8 GHzVICS情報を、即時に表示する時間を設定します。

工場出荷時は「10秒」です。

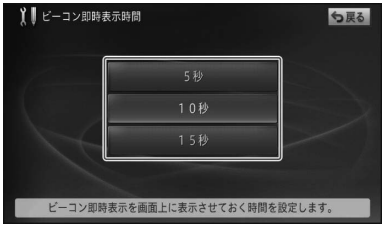
メモ
- ビーコン即時表示の設定がOFF以外のときに操作できます。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 ビーコン即時表示時間にタッチする



3 設定する時間にタッチする



5秒	5秒間即時表示します。
10秒	10秒間即時表示します。
15秒	15秒間即時表示します。

▼

設定内容が変更されます。

ルート上の渋滞情報を自動で案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内します（渋滞オートガイド）。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

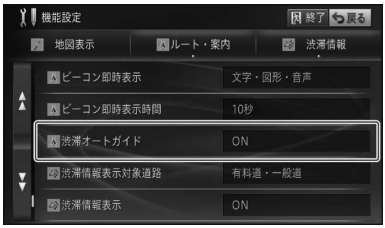
渋滞オートガイドを設定する

ルート案内時、ルート前方に渋滞が発生した場合、渋滞情報を自動的で案内するかを設定します。

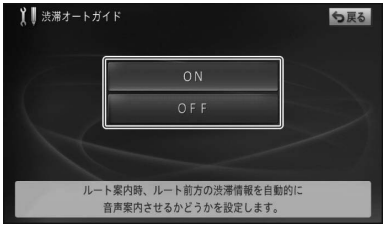
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー機能設定にタッチする

2 渋滞オートガイドにタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	渋滞情報を自動で音声案内します。
OFF	渋滞情報を自動では音声案内しません。

▼

設定内容が変更されます。

ルート上の渋滞情報を手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を文字表示と音声で案内させることができます（渋滞チェック）

1 ルート案内中に、渋滞にタッチする

▼

渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



メモ

- 5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます
- 渋滞情報がない場合は、ルート上の規制情報を表示・案内します。
- 案内中のルートがない場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
- 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、渋滞に長くタッチすると、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報※を取得することができます。
  ※リアルタイムプローブ渋滞情報の取得は、別途ユーザー登録やリアルタイムプローブ利用登録、設定操作等が必要となります。
  →P139の「通信接続設定」

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形などのVICS情報を表示・再生させることができます。

FM多重VICSの図形情報を表示する

レベル2（簡易図形）の広域情報を表示します。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする

2 図形情報にタッチする



3 見たい情報の番号にタッチする



▼



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、<や>にタッチすると、ページを送ります。先頭/最終にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次にタッチすると、見たい情報の番号を選ぶ画面に戻ります。
- 受信待ち中に選局にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。 *→P173の「放送局を選ぶ」*

FM多重VICSの文字情報を表示する

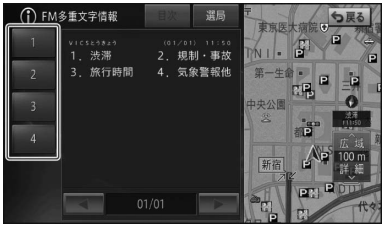
レベル1（文字）の広域情報を表示します。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする

2 文字情報にタッチする



3 見たい情報の番号にタッチする



▼



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、<や>にタッチすると、ページを送ります。先頭/最終にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次にタッチすると、見たい情報の番号を選ぶ画面に戻ります。
- 受信待ち中に選局にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。 *→P173の「放送局を選ぶ」*

FM多重VICSのセンター情報を表示する

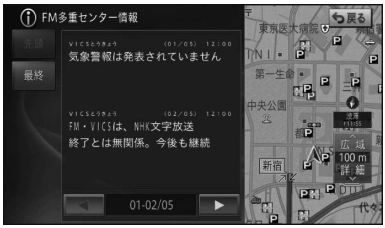
VICSセンターからの情報を表示します。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする

2 センター情報にタッチする



▼



メモ

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、<や>にタッチすると、ページを送ります。先頭/最終にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。

ビーコン情報を表示・再生する

受信したビーコン情報およびITSスポットからの情報の履歴がリスト表示されます。 履歴情報をあとから表示することができます。ITSスポットからの情報については音声情報の再生もできます。

メモ

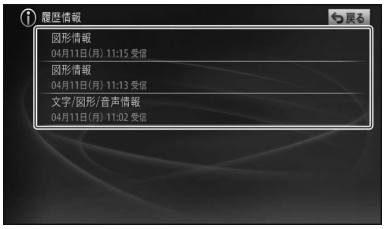
- 「ビーコン情報」は、別売のVICS用ビーコンユニットまたはDSRCユニットが接続されていて情報があるときに選択できます。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする

2 履歴取得にタッチする



3 見たい情報にタッチする



▼

ビーコン情報



ITSスポット情報



図形	図形および静止画情報を表示します。
文字	文字情報を表示します。
再生	音声情報を再生します。
停止	音声情報の再生を停止します。

放送局を選ぶ

渋滞情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする

2 放送局選択にタッチする



3 放送局を探す方法にタッチする



オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	＋、ーにタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信感度を確認する

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする



▼



Highと表示されれば受信感度が良好であることを示します。Lowと表示されたときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

各種情報の利用

本機に収録・蓄積されたいろいろな情報を確認することができます。

エコステータス詳細情報を見る

エコステータスの内容を詳しく見ることができます。

1 メニューを押し、情報ーエコステータス詳細にタッチする



▼



eスタート率	発進から5秒後の速度などによる発進評価を行い、判定します。
一定速度率	停車時を除き、1秒間の速度変化が少ない安定した走行をしている状態をいいます。
アイドリング率	エンジンがかかっていて、車速が0 km/hの状態をいいます。
平均燃費	前回の運転と今回の運転の平均燃費が表示されます。
累積平均（グラフ）	過去4回分と今回の平均燃費と累積の平均燃費が表示されます。

エコステータスの表示色について

eスタート率、一定速度率、アイドリング率、平均燃費それぞれの結果を前回の運転と比較して以下のような表示色で表示します。

- 緑色：向上した場合
- 白色：変化がない場合
- 赤色：悪化した場合

またeスタート率、一定速度率、非アイドリング率を加味した総合評価を行い、壁紙の木の絵が3段階で変化します。

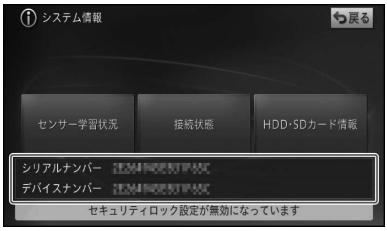
シリアルナンバーとデバイスナンバーを確認する

本機のシリアルナンバーやデバイスナンバーを確認することができます。

1 メニューを押し、情報ーシステム情報にタッチする

▼

シリアルナンバーとデバイスナンバーが表示されます。



センサー学習の状況を確認する

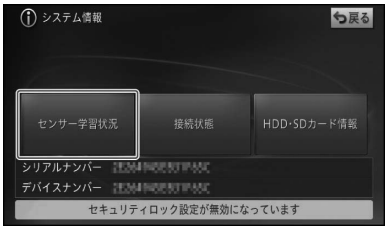
現在のセンサー学習状況を確認することができます。

注意

- 走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。
- 速度表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと異なることがあります。
- タイヤ交換やチェーン装着した場合、または悪路（雪道など）を走行してスリップした場合、タイヤの外径が変化したことを自動で検出し、センサーの距離学習を再学習し直すことがあります。

1 メニューを押し、情報ーシステム情報にタッチする

2 センサー学習状況にタッチする



▼



トリップ/パルス数/速度

現在本機が認識しているトリップ、パルス数、速度が表示されます。

メモ

- **トリップ**または**パルス数**にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。
- 本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。
- 学習度およびトリップ、パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。

センサー学習

現在の走行モード（3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード）、または「センサー初期学習中」が表示されます。

メモ

- **センサー学習**にタッチすると、**オールリセット**と**距離学習リセット**が表示されます。**オールリセット**にタッチすると、センサー学習をすべてリセットすることができます。**距離学習リセット**にタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。ナビゲーション本体の取り付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、**オールリセット**を選択してください。また、距離精度が悪い場合には、**距離学習リセット**を選択してください。→*P396の「センサー学習について」*

前後G/回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

道路に対して本機の上下の傾き（傾斜）がイラストで表現されます。

距離/方位/傾斜（3D）の学習度

距離・方位（左右方向の回転）・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

メモ

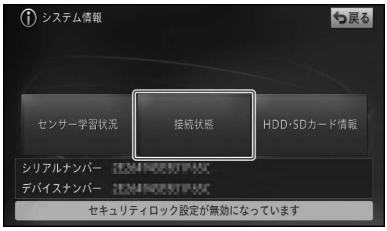
- 傾斜（3D）学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 メニューを押し、情報ーシステム情報にタッチする

2 接続状態にタッチする



▼



メモ

- **<<前ページ**、**>>次ページ**でページ送りできます。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」、車速パルスが受信できない場合は「測定不可」と表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発信音がして、数字とともにバー表示が変化します。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示され、電源電圧が測定できない場合は「測定不可」と表示されます。エンジンをかけた状態で11 V～15 Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5 V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ換わります。バック信号が検知できない場合は「測定不可」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。

GPSアンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。

測位状態

測位状態（3次元測位、2次元測位、未測位）と、測位に使われている衛星数（橙色）、受信中の衛星数（黄色）が表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。→*P403の「ナビゲーションのしくみ」*

取付位置

ナビゲーション本体の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」、設置状態に問題があるときは、「振動許容範囲外」または「取付角度許容範囲外」と表示されます。取付位置の情報取得に失敗している場合は「測定不可」と表示されます。

Bluetooth機器1・Bluetooth機器2

Bluetooth接続された機器の名称とBDアドレス、使用プロファイル名が表示されます。またナビ本体とBluetooth機器間の電波状態がイラスト表示されます。

ETC・DSRCユニット

ETCユニット（別売）またはDSRCユニット（別売）の接続状態が表示されます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」、エラーが発生したときは、エラー番号が表示されます。

車載器管理番号

車載器管理番号（ETC/DSRC共通）が表示されます。

カード有効期限

挿入されているETCカードの有効期限が表示されます。

ビーコンユニット

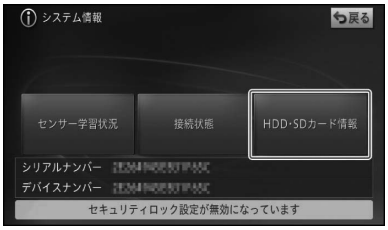
VICS用ビーコンユニット（別売）の接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。

HDD・SDカード情報を確認する

本機のHDD（ハードディスク）と、本機に挿入されているSDカードの内容を確認することができます。

1 メニューを押し、情報ーシステム情報にタッチする

2 HDD・SDカード情報にタッチする



▼



使用済みの容量（GB）と空き状態、使用の内容（ファイル数など）が表示されます。

メモ

- 本機にはSDカードのフォーマット機能はありません。専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。
  http://www.sdcard.org/jp/
  (2012年3月時点転載)

バージョン情報を確認する

地図やソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。

1 メニューを押し、情報ーバージョン情報にタッチする



▼



メモ

- データ更新にタッチすると、SDカードにダウンロードしてある情報に更新することができます。
- データ更新後、挿入されているSDカード内のデータ更新が正常に完了している場合は、各項目の後に*（アスタリスク）が表示されます。（例：プログラムバージョン*）
- <<前ページ、>>次ページでページ送りできます。

プログラムバージョン（ナビゲーション）

ナビゲーションシステムのバージョンが確認できます。

地図データ

地図データのバージョンが確認できます。

検索データ

検索データのバージョンが確認できます。

オーディオ基本操作

オーディオ基本操作

AVソース切り換えなどの基本操作について説明します。

AVソースを切り換える

CD、MSV、DVD などの音源や映像（以降、AVソース）を切り換えます。

メモ

- 接続していないAVソースや再生の準備ができていないAVソースには、切り換わりません。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

AVソース画面を表示中は、AV menuにタッチする必要はありません。



2 お好みのAVソースにタッチする



▼

選んだAVソースに切り換わります。

AVソースプレートの表示について

ナビゲーション画面（現在地画面）のときにAVソースを切り換えたり、選局・選曲などの操作を行うと、地図画面下部にAVソースプレートが表示されます。

AVソースプレートは、表示されてから約４秒間何も操作が行われないと消えます。AVソースプレートには、現在受信・再生中のAVソースの状態が表示されます。



メモ

- AVサイドビュー表示時は、AVソースプレートが表示されない場合があります。→*P35の「地図の表示方法を変える」*

AVソースをOFFにする

1 メニューを押し、AV OFFにタッチする



▼

AVソースがOFFになります。

AVを長く押して、AVソースをOFFにすることもできます。

映像画面の時計表示を設定する

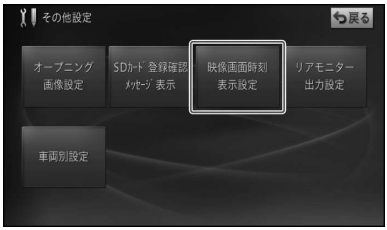
TVなどの映像画面表示時に、画面に時計を表示するかどうかを設定します。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 その他設定にタッチする



3 映像画面時刻表示設定にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	時刻表示を行います。
OFF	時刻表示は行いません。

放送受信

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオを受信する

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 FMまたはAMにタッチする

▼

ラジオのAVソース画面（プリセットチャンネルリスト）が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

3 リストから受信したい周波数や放送局にタッチする

例：FM



▲または▼にタッチして、リストのプリセットチャンネルを選択することもできます。
放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

メモ

・FMステレオ放送を受信した場合は［STEREO］が表示されます。

ユーザープリセットとエリアプリセットを切り換える

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 FMまたはAMにタッチする

3 プリセット切換にタッチする



▼

タッチするごとに、ユーザープリセットとエリアプリセットが切り換わります。
エリアプリセットでは、放送局の周波数が変更になった場合に、以下の状態になることがあります。
—放送局が受信できない
—受信した放送局と表示された放送局名が異なる

メモ

・エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。

バンドを切り換える

本機ではFM/AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー（P1 ～ P6）を使い分けることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 FMまたはAMにタッチする

3 （コントロールパネル）－バンドにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。
FM1⇔FM2
AM1⇔AM2

メモ

- 普段はFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 FMまたはAMにタッチする

3 （コントロールパネル）－BSMに2秒以上タッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。
中止にタッチすると、自動登録を中止します。

▼

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。
受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

メモ

- エリアプリセットを選択している場合でも、BSMをタッチすると自動的にユーザープリセットに切り換わります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 FMまたはAMにタッチする

3 プリセット切換にタッチして、ユーザープリセットにする

4 （コントロールパネル）－◀/▶にタッチして、登録したい周波数を選ぶ



5 登録したいプリセットの枠に2秒以上タッチする



▼

現在受信中の周波数が、選んだプリセット枠に登録されます。
◀または▶に長くタッチして指を離すと、自動で受信できる放送局を探し、タッチし続けると、周波数を連続で送ります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 交通情報にタッチする

▼

交通情報画面が表示され、前回最後に聞いていた周波数の交通情報を受信します。



3 1620 k Hzまたは1629 k Hzにタッチして、周波数を切り換える

▼

受信周波数が切り換わります。
交通情報を受信しているときに音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは前回設定した音量で聞くことができます。

テレビを見る

テレビの視聴のしかたを説明します。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- ご購入後、初めてテレビの機能を利用される場合は、miniB-CASカードの装着や、チャンネルスキャンの実行といった準備作業が必要になります。詳しくは『スタートブック』をご覧ください。また、以下の場合においても、チャンネルスキャン操作が必要になります。
  - 視聴者設定クリアをしたとき→*P203の「視聴者設定クリア」*
  - 別のエリアに移動したとき

テレビを見る

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

▼

視聴画面が表示され、前回最後に視聴していた放送局を受信します。



メモ

- テレビの音量は、他のAVソースより低いため、他のAVソースからテレビに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。*→P297の「ソースレベルアジャスター」、P310の「ソースレベルアジャスター」*
- 閉じるにタッチするとリストを消して視聴画面に切り換わります。

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンが画面に表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV（ハイビジョン放送）
	SDTV（標準画質放送）
	ワンセグ（1セグメント放送）
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	音声あり（複数の場合は右側に音声の数を示す数字が表示されます。）
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 プリセット切換にタッチする



▼

タッチするごとに、ユーザープリセットとエリアプリセットが切り換わります。
エリアプリセットでは、放送局の周波数が変更になった場合に、以下の状態になることがあります。
—放送局が受信ができない
—受信した放送局と表示された放送局名が異なる

メモ

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。また、「地域設定」をオートにしていれば、本機をお使いの地域が変更されても、自車位置情報から自動で自車のエリアリストにある放送局を表示します。
- ▮▮にタッチすると、リストを縮小表示にすることができます。また、▮▮にタッチすると、縮小表示を解除します。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局ずつ手動で登録させることができます。バンドの切り換え方法は→*P198の「バンドを切り換える」*

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 プリセット切換にタッチして、ユーザープリセットにする



5 ▭(コントロールパネル)—◀/▶にタッチして、登録したいサービスを選ぶ



▭にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。
受信できる物理チャンネルを自動的に探し、受信すると止まらせる(SEEK)には、次の方法があります。
—◀や▶を長く押す
—▲や▼に長くタッチする
—▭(コントロールパネル)—◀/▶に長くタッチする

6 登録したいプリセットの枠を2秒以上タッチする



▼

現在受信中のサービスが、選んだリストに登録されます。

メモ

- 上書き登録が可能です。登録した内容を消去する場合は、視聴者設定クリアを行ってください。→*P202の「TVの機能設定を行う」*

チャンネルを切り換える

視聴している番組を切り換えます。

プリセット済みのチャンネルを切り換える

ユーザープリセットやエリアプリセットでリスト表示されている放送局は、以下の手順で切り換えることができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 ◀または▶を押す

▼

チャンネルが切り換わります。

メモ

・手順2の後、画面にタッチしてプリセットCHの左右にある▲や▼にタッチする、もしくはリスト項目から希望のチャンネルにタッチすると、チャンネルを切り換えることができます。

3桁チャンネルを切り換える

3桁チャンネルを順に送ることができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー◀/▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

番組表の操作のしかた

本機が取得したチャンネルの、当日から最大1週間先までの電子番組表(EPG)を利用することができます。

番組表の日付を切り換える

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 番組表にタッチする



5 前日、翌日にタッチする



▼

日付が切り換わります。

終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

・番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。→*P194の「番組情報を取得する」*空欄部分にタッチするか、∧/∨/</>で空欄部分を選んで決定にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

番組表の時間を切り換える

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 番組表にタッチする



5 ∧/∨にタッチする



▼

時間が切り換わります。
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

・番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。*→P194の「番組情報を取得する」*空欄部分にタッチするか、∧/∨/</>で空欄部分を選んで決定にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

番組表の表示方法を切り換える

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 番組表にタッチする



5 切換にタッチする



▼

タッチするごとに、画面の表示が以下のように切り換わります。
4チャンネル表示→7チャンネル表示→単一チャンネル表示→4チャンネル表示に戻る
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

・番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。*→P194の「番組情報を取得する」*空欄部分にタッチするか、∧/∨/</>で空欄部分を選んで決定にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索することができます。

メモ

・検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

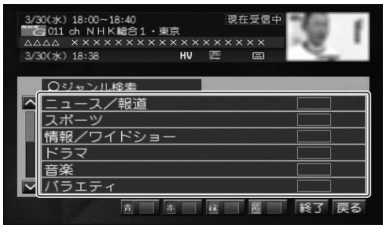
4 番組表にタッチする



5 にタッチする

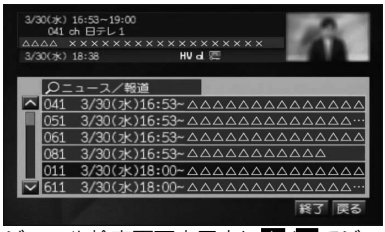


6 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



▼

そのジャンルに該当する番組が表示されます。



ジャンル検索画面表示中に∧/∨でジャンルを選び、カラーボタン(青、赤、緑、黄)にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

7 見たい番組を選んでタッチする

▼

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。
番組の情報が表示されている画面で予約にタッチすると、その番組の視聴予約ができます。詳しくは「視聴予約をする」の手順7をご覧ください。
終了にタッチすると、視聴画面に戻ります。

メモ

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。*→P194の「番組情報を取得する」*空欄部分にタッチするか、∧/∨/</>で空欄部分を選んで決定にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

視聴予約をする

見たい番組を予約しておくことができます。毎日や週間などの予約スケジュールを指定することや、予約を確認・編集したり、予約を取り消すことができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 番組表にタッチする



5 これから放送する番組枠にタッチする



▼

選んだ番組の概要が表示されます。

6 予約にタッチする



7 予約スケジュールを選んでタッチする



一回予約	選んだ番組を一回だけ予約します。
毎日予約	選んだ番組を毎日予約します。
毎週予約	選んだ番組を毎週予約します。

▼

スケジュールを選ぶとメッセージが表示されます。

8 確認にタッチする

メモ

- 放送の時間帯が重複する番組は予約できません。
- 毎日予約、毎週予約で予約されるのは、選んだ番組と同じ放送局の同じ放送時間帯です。番組の放送時間が変更になった場合などは、違う番組を受信する場合があります。
- 予約した時刻に受信可能な地域にいない場合は、受信できません。
- 予約した時刻に本機が起動していない場合は、設定した視聴予約は実行されません。
- 毎日予約、毎週予約してある番組でも、表示される番組名は、予約した際の番組名となります。
- 予約視聴開始の案内メッセージは、現在地画面およびAVメニュー以外のAVソース画面で表示されます。
- 100件まで予約できます。
- 予約した番組の放送開始時刻前になると、メッセージが表示されます。はいにタッチすると予約しておいた番組が受信されます。番組情報取得中など、別の機能を実行中ははいにタッチしても予約していた番組が受信されない場合があります。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー番組内容にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

番組内容が表示されます。



戻るまたは終了にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

予約済み番組を確認/編集する

予約済みの番組内容を確認することができます。また予約スケジュールを編集することもできます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー予約済み番組にタッチする



予約済みの番組がないときは予約済み番組にタッチできません。

にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 確認/編集にタッチする



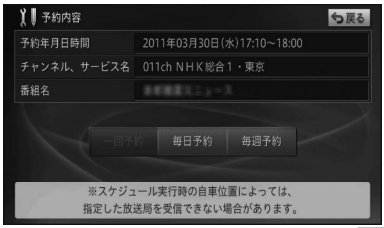
6 確認したい予約済み番組にタッチする



リスト表示中に予約している番組の時間になった場合、「一回予約」として予約されているものはリストから消えます。

▼

選んだ予約済み番組の内容が表示されます。



予約スケジュールを編集するには、一回予約、毎日予約、毎週予約の中から希望するスケジュールを選んでタッチしてください。設定を実施したメッセージが表示され、確認にタッチすると確認/編集画面に戻ります。

番組の予約を消去する

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー予約済み番組にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 消去にタッチする



6 消去したい予約済み番組にタッチする



リスト表示中に予約している番組の時間になった場合、「一回予約」として予約されているものはリストから消えます。
選んだ予約済み番組には「☑」マークが付きます。引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、選択が解除されます。

7 消去→はいにタッチする

▼

選んだ予約済み番組が消去されます。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)→番組情報取得にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼



中止にタッチすると、取得を中止します。

放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーとサービスリストに自動的に登録させることができます。バンドの切り換えかたは→*P198の「バンドを切り換える」*

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－スキャンに2秒以上タッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼



中止にタッチすると、取得を中止します。

▼

自動登録が完了すると、ユーザープリセットとサービスリストに放送局が登録されます。

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで受信状態が悪くなった場合などは、同じ放送局で別エリアの中継局が存在する場合に限り、次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 プリセット切換にタッチして、エリアプリセットにする



5 受信中の放送局名にタッチする

メモ

- 「オート放送局サーチ設定」の設定値を「中継局＋系列局」または「中継局」にしておくと、エリア内の受信状態の良い中継局に自動で切り換えることができます。→*P202の「TVの機能設定を行う」*
- エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャンをしてください。→*P194の「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」*

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

パネルタッチキーの操作

パネルタッチキーには、十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

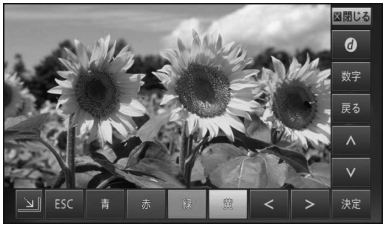
4 （コントロールパネル）－にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 にタッチする

十字パネルタッチキー



閉じる	視聴画面に戻ります。
d	データ放送画面と通常放送画面を切り換えます。
数字	数字パネルタッチキーに切り換えます。
戻る	一つ前の画面に戻ります。
∧/∨/</>	カーソルを操作します。
決定	項目を決定します。
黄、緑、赤、青	それぞれの色ボタンとして働きます。
ESC	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに使います。
	パネルタッチキーを消します。

数字パネルタッチキー



閉じる	視聴画面に戻ります。
d	データ放送画面と通常放送画面を切り換えます。
	十字パネルタッチキーに切り換えます。
戻る	一つ前の画面に戻ります。
数字キー（1～10/0、11/*、12/#）	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
	パネルタッチキーを消します。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－dにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

データ放送の画面に切り換わります。
データ放送画面では、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。
データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてからdにタッチします。

メモ

- 地域を対象としたサービス（設定した地域の天気予報や選挙速報など）を行っている場合は、「郵便番号設定」で設定した地域の情報を受信します。出荷時は、オート（自車位置）に設定されています。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕言語と表示のON/OFFを切り換えできます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページ ー字幕切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、次のように切り換わります。
字幕1→字幕2→字幕OFF→字幕1に戻る

メモ
・切り換わる内容や順序は、受信している放送によって異なります。

音声を切り換える

番組に複数の音声言語があるときに、切り換えできます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページ ー音声切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、次のように切り換わります。
第1音声→第2音声→第3音声→第1音声に戻る

メモ
・切り換わる内容や順序は、受信している放送によって異なります。

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページ ー映像切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、次のように切り換わります。
映像1→映像2→映像3→映像1に戻る

メモ
・切り換わる内容や順序は、受信している放送によって異なります。

音声多重を切り換える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページー音声多重にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、次のように切り換わります。
MAIN→SUB→MAIN＋SUB→MAINに戻る
MAIN：主音声（日本語）
SUB：副音声（外国語）
MAIN+SUB：主音声・副音声（日本語・外国語）

バンドを切り換える

本機では2つのバンド「BAND1/BAND2（DTV1/DTV2）」があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー（P1～P12）を使い分けることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページーバンドにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。
BAND1（DTV1）⇔BAND2（DTV2）

メモ

- 普段はBAND1（DTV1）を使用し、旅行先ではBAND2（DTV2）を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

ワイドモードを設定する

4：3等の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページーワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 お好みの表示方法にタッチする

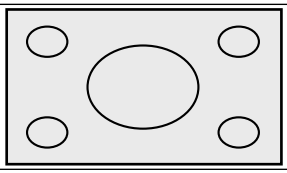


▼

表示方法が設定されます。

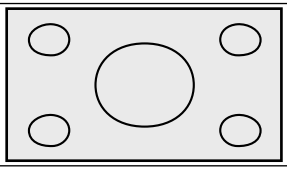
FULL（フル）

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



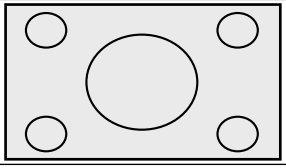
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



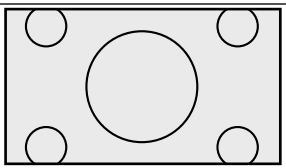
CINEMA（シネマ）

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



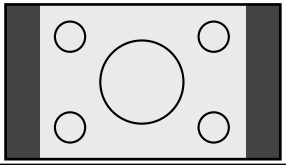
ZOOM（ズーム）

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。



メモ

- 4：3等のテレビ放送の番組でZOOM、NORMAL以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。

お知らせメッセージを表示する

本機に送られてきたメッセージを表示します。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

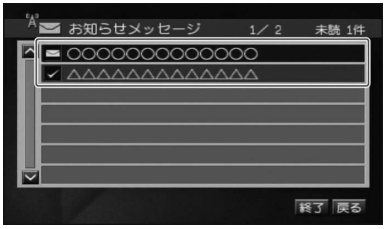
3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー次ページー次ページーお知らせメッセージにタッチする



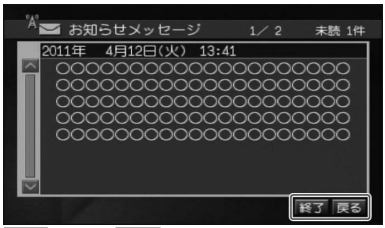
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 表示したいメッセージにタッチする



▼

選んだメッセージの内容が表示されます。



戻るまたは終了にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

メモ

- 未読メッセージがあると、画面にが表示されます。

バージョン情報を表示する

本機のソフトウェアのバージョンや、miniB-CASカードなどの情報を表示します。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DTVにタッチする

3 画面にタッチする

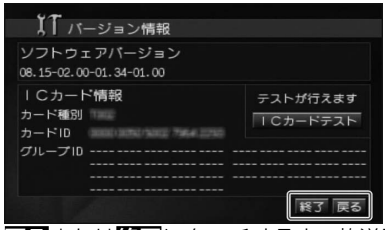
4 (コントロールパネル)ー次ページー次ページーバージョン情報にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

バージョン情報が表示されます。



戻るまたは終了にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。

メモ

- ICカードテストにタッチすると、本機に挿入したminiB-CASカードが正常に動作しているかどうか確認できます。「正常動作中」と表示されれば問題なく視聴できます。「カードエラー」と表示された場合は、miniB-CASカードに何らかの問題があるため、通常放送は視聴できません。(ワンセグ放送は視聴できます。) miniB-CASカード本体や本機への挿入状態を再確認してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

サービスリストを表示する

現在受信中のサービスをリストで表示します。

メモ

・チャンネルスキャンしていない場合、サービスは表示されません。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **DTVにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 **（コントロールパネル）ー次ページー次ページーサービスリストにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 **表示したいリスト項目にタッチする**



▼

選んだサービスが表示されます。
戻るまたは終了にタッチすると、放送画面（視聴画面）に戻ります。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **DTVにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 **（コントロールパネル）ー次ページー次ページーサービス切換にタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

別のサービスが表示されます。

TVの機能設定を行う

地上デジタルテレビ放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定メニューがあります。

メモ

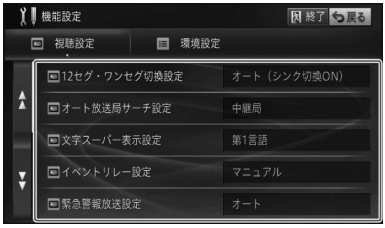
・AVソースがOFFまたは他のAVソースを選択中の場合は、設定できません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DTV設定にタッチする



3 設定する項目を選んでタッチする



メモ

・視聴設定、環境設定にタッチすると、それぞれに分類された項目がリスト表示されます。

設定内容の詳細

「視聴設定」メニュー

＊は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切換設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送（12セグ）とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。

「切換設定」

オート＊	受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り換えます。
マニュアル	通常の放送とワンセグを手動で切り換えます。

「シンク切換」

ON＊	受信状況の変化によって、12セグとワンセグの切換が発生する際に、映像、音声がスムーズに切り換わります。
OFF	受信状況の変化によって、12セグとワンセグの切換が発生する際に、映像、音声がスムーズに切り換わりません。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

中継局+系列局	自動で中継局・系列局を探します。
中継局＊	自動で中継局を探します。
OFF	中継局、系列局は探しません。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

第1言語＊	第1言語で表示します。
第2言語	第2言語で表示します。
OFF	文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

視聴中の番組が延長放送されたときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

例えば、生放送番組を視聴中に番組が延長して、次の番組の視聴予約時間になってしまったときでも、「マニュアル」に設定していれば、引き続き視聴中の番組をご覧いただけます。

オート	自動でチャンネルを切り換えます。
マニュアル*	手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送がはじまったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

オート*	自動でチャンネルを切り換えます。
マニュアル	手動でチャンネルを切り換えます。

「環境設定」メニュー

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、BAND1、BAND2でそれぞれ保存されます。

オート*	自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
マニュアル	手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、BAND1、BAND2でそれぞれ保存されます。

オート*	自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
マニュアル	手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

番組名称情報取得設定

DTV以外のAVソースのときや、「4チューナー設定」を「番組表取得/サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得するかどうかを設定します。

ON*	自動的に取得します。
OFF	自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

はい	設定をクリアします。
いいえ	設定をクリアしません。

メモ

- チャンネルおよび番組表、機能設定（視聴設定、環境設定）が消去されます。

番組表表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか全チャンネルにするかを設定します。

メインチャンネル*	メインチャンネルの番組表を表示します。
全チャンネル	全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

4つのチューナーをすべて受信性能優先とするか、受信と機能を2+2チューナーで分けるか設定します。機能とは、中継局サーチや他の放送局の番組表取得などです。

受信性能優先*	4つのチューナーをすべて受信性能優先とした設定になります。
番組表取得/サーチ優先	必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。

音楽ディスク

音楽CDを聴く

音楽CDの再生のしかたを説明します。

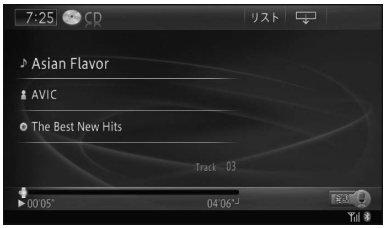
音楽CDを再生する

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **CDにタッチする**

▼

音楽CDが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 本機で再生したことのない音楽CDを挿入すると、自動的にMSV（ミュージックサーバー）への録音を開始します。
- 自動録音の設定は、ON/OFFすることができます。*→P247の「MSVの録音設定をする」*

トラックを切り換える

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **CDにタッチする**

3 **◀または▶を押す**

▼

トラックがダウン/アップします。

リストから曲を選んで再生する

リストを表示して、直接聞きたい曲を選んで再生することができます。

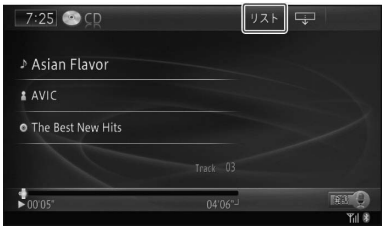
メモ

- 録音中はリストの操作ができません。録音を中止してから操作してください。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **CDにタッチする**

3 **リストにタッチする**



4 **聴きたい曲（トラック）にタッチする**



▼

選んだ曲（トラック）が再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名やアーティスト名、アルバム名などにタッチすると、現在再生中の曲を含むリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。

再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～99分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

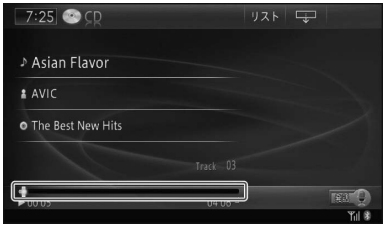
メモ

- MSV（ミュージックサーバー）に録音中の場合は、操作できません。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **CD**にタッチする

3 **タイムバーにタッチする**



▼

タッチした位置（時間）から再生されます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、2種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
（トラックリピート）	再生中のトラック（曲）をリピートします。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **CD**にタッチする

3 **（コントロールパネル）ーリピートにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート←→トラックリピート

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（トラックリピート中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるディスクリピートは、画面に表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

（ランダムON）	再生する曲をランダムに選びます。
ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **CD**にタッチする

3 **（コントロールパネル）ーランダムにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がトラックリピートの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はディスクリピートに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生など）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

早戻し/早送りする

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 CDにタッチする

3 （コントロールパネル）－◀◀または▶▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチしている間、早戻し/早送りされます。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 CDにタッチする

3 （コントロールパネル）－▶/IIにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

ROM-Audioを聴く

ROM-Audio（WMA/MP3/AAC）の再生のしかたを説明します。

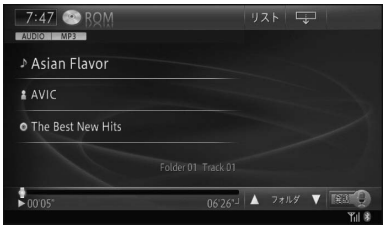
ROM-Audioを再生する

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

▼

ROM-Audioが再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

・ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。

トラックを切り換える

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **◀または▶を押す**

▼

トラックがダウン/アップします。

フォルダーを切り換える

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **▲または▼にタッチする**



▼

フォルダーがダウン/アップします。
◀または▶を長く押しても、フォルダーのダウン/アップを行います。

リストから曲を選んで再生する

リストを表示して、直接聞きたい曲を選んで再生することができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **リストにタッチする**



4 聴きたい曲（トラック）にタッチする



階層分けされたディスクの場合、一番上の階層が表示されます。
フォルダー選択などで階層を下げた場合は、**戻る**にタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で**戻る**にタッチすると、通常再生画面に戻ります。

▼

選んだ曲（トラック）が再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名やアーティスト名、アルバム名などにタッチすると、現在再生中の曲を含むリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。
- リスト表示中に**終了**にタッチすると、どの階層であっても、通常再生画面に戻ることができます。

再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

1 〔メニュー〕を押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 タイムバーにタッチする



▼

タッチした位置（時間）から再生されます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。
- VBR（可変ビットレート）のMP3を再生中は、タイムバー右下の総時間表示は「VBR」となります。また、正確な総時間が取得できないため、タッチした位置（時間）と実際の再生位置（時間）がずれる場合があります。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
（トラックリピート）	再生中のトラック（曲）をリピートします。
（フォルダーリピート）	再生中のフォルダーをリピートします。

1 〔メニュー〕を押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 （コントロールパネル）－リピートにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート→トラックリピート→フォルダーリピート→ディスクリピートに戻る

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（トラックリピート中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるディスクリピートは、画面に表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

(ランダムON)	再生する曲をランダムに選びます。
ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **(コントロールパネル)ーランダムにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がトラックリピートの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はフォルダーリピートに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生など）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

早戻し/早送りする

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **(コントロールパネル)ー◀◀または▶▶にタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチしている間、早戻し/早送りされます。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **(コントロールパネル)ー▶/IIにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

映像ディスク

DVDビデオを見る

DVDビデオの再生のしかたを説明します。

注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

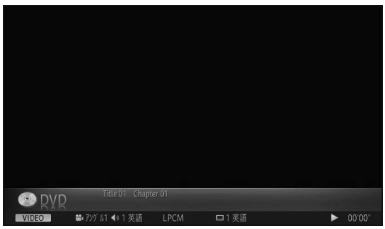
DVDビデオを再生する

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

DVDの音声と映像が再生されます。

▼



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

・ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→*P215の「ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する」*

・DVDビデオの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDビデオに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。→*P297の「ソースレベルアジャスター」、P310の「ソースレベルアジャスター」*

チャプターを切り換える

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

3 **◀または▶を押す**

▼

チャプターがダウン/アップします。

タイトルを切り換える

複数のタイトルが収録されたディスクは、タイトルを切り換えることができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 **▲または▼にタッチする**



▼

タイトルが切り換わります。
◀または▶を長く押しても、タイトルを切り換えることができます。

メモ

・閉じるにタッチすると映像画面に切り換わります。

・オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→*P227の「オートプレイを設定する」*

再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 タイムバーにタッチする



▼

タッチした位置（時間）から再生されます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
（チャプターリピート）	再生中のチャプターを繰り返します。
（タイトルリピート）	再生中のタイトルを繰り返します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）→リピートにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート→チャプターリピート→タイトルリピート→ディスクリピートに戻る

メモ

- 選んだリピート範囲は、AVソースプレートに表示されますが、通常再生であるディスクリピートはAVソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（チャプターリピート中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイの設定がONのときはリピート再生は行われません。→*P227の「オートプレイを設定する」*

ディスクメニューをダイレクトタッチで操作する

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－トップメニューまたはメニューにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 画面にタッチして操作する



メモ

- にタッチして、ディスクメニュー操作キーで操作することもできます。→*P216の「ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する」*

ディスクメニューをディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくて、ダイレクトタッチでは操作しにくいときや、文字列の一部がに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－トップメニューまたはメニューにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 にタッチする



6 ∧/∨/＜/＞にタッチして項目を選び、決定にタッチする



▼

選んだ項目が実行されます。

メモ

- にタッチすると、ディスクメニュー操作キーを消すことができます。

CMなどを飛ばして再生する

再生中の映像を一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－CMスキップまたはCMバックにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、以下のような秒数で早送り/早戻しが行われます。

CMスキップ（早送り）	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→ 30秒に戻る
CMバック（早戻し）	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→ 5秒に戻る

メモ

- ディスクや再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生する

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－▮▮▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、映像を1コマずつ送ることができます。

▶/▮▮にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のコマ送り再生はできません。
- ディスクや再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生する

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ⏭に長くタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

送り方向にスロー再生されます。スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー DOWN	1/2→1/4→1/8→1/16
スロー UP	1/16→1/8→1/4→1/2

⏯にタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

早戻し/早送りする

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ⏮または⏭にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

早戻し/早送りを行います。⏮または⏭にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを行い続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ⏯にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

ダイレクトタッチ画面を表示する

ディスクにダイレクトタッチ操作画面が収録されている場合、ダイレクトタッチ操作画面を表示します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

ダイレクトタッチ画面が表示されます。

再生を停止する

再生を停止します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－□にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生を停止します。

字幕言語を切り換える

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－次ページ－字幕切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

メモ

- パッケージについている2マークの数字が、字幕言語の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語を切り換える

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー音声切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

メモ

- パッケージについている②))マークの数字が、音声言語の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声言語の内容を表示しています。実際に再生される音声言語は、設定により表示とは異なる場合があります。

指定位置まで戻って再生する

あらかじめディスク中に戻る位置が収録されている場合、その位置まで戻って再生することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページーリターンにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

ディスクに収録されている位置まで戻り、再生をはじめます。

ワイドモードに切り換える

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「AUTO」です。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページーワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

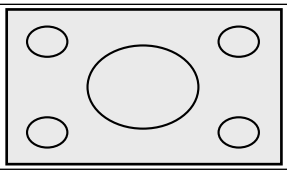
5 お好みの表示方法にタッチする



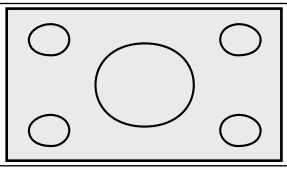
▼

表示方法が設定されます。

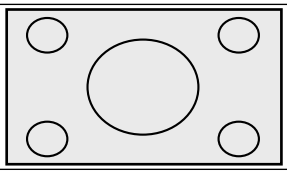
FULL（フル）
4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



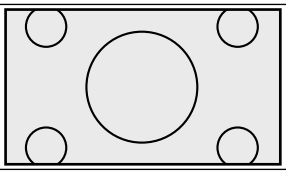
JUST(ジャスト)
画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



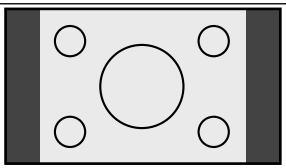
CINEMA（シネマ）
FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ZOOM（ズーム）
4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）
4：3の映像をそのまま表示します。



AUTO（オート）
DVDソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。

メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

アングルを切り換える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます（マルチアングル）。

メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー次ページーアングル切換にタッチする

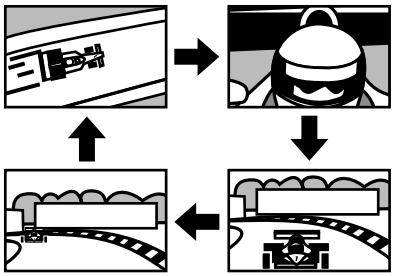
アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り換えが行えます。



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、アングルが切り換わります。



メモ

- パッケージについているマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。
→*P225の「マルチアングルを設定する」*

音声出力を切り換える

音声がリニアPCM（圧縮しない音声信号）のディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー次ページーL/R切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、出力の設定が以下のように切り換わります。
L+R→R→L→L+Rに戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。

見たい場面を指定して再生する

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー次ページー10キーサーチにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 指定する方法（サーチの種類）にタッチする



TITLE	タイトル番号を指定します。
CHAPTER	チャプター番号を指定します。
10キーモード	数字のコマンドを指定します。

6 数字キーにタッチしてサーチの種類にあわせた番号を入力し、決定にタッチする

▼

指定した場面から再生をはじめます。

ブックマークを登録する

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 （メニュー）を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ー次ページーブックマークにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時にその場面より再生されます。
消去する場合は、ブックマークに約2秒以上タッチします。

メモ

- ブックマークの登録は、ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録します。5枚を超えて新しいディスクにブックマークが登録されると、使用時期の最も古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

DVDビデオの初期設定を行う

DVDビデオの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

メモ

- 初期設定を操作中は、DVDビデオの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

基本字幕を設定する

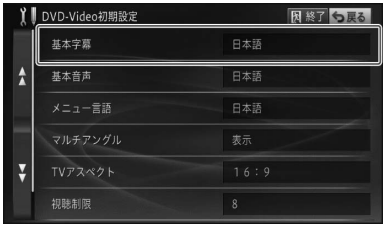
優先して表示させたい字幕言語を設定することができます（マルチ言語字幕）。

1 （メニュー）を押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

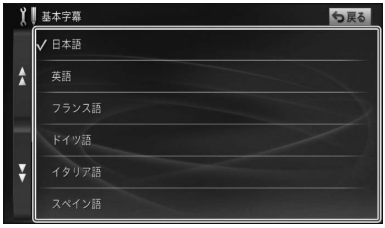
2 **DISC設定**ー**DVD-Video初期設定**にタッチする



3 **基本字幕**にタッチする



4 **日本語**、**英語**、**フランス語**、**ドイツ語**、**イタリア語**、**スペイン語**、**ポルトガル語**、**中国語**、**韓国語**、**その他**から選んでタッチする



▼

選んだ言語に設定されます。

メモ

- **その他**にタッチしたときは、言語コード表より、4桁の数字を入力します。→*P228の「言語コード表」*
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによって、設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声を設定する

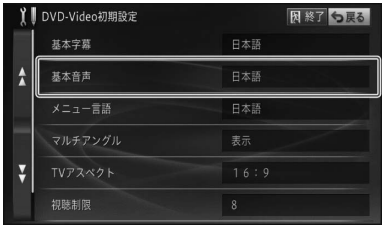
優先して聞きたい音声言語を設定することができます(マルチ言語)。

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**ソース別設定**にタッチする

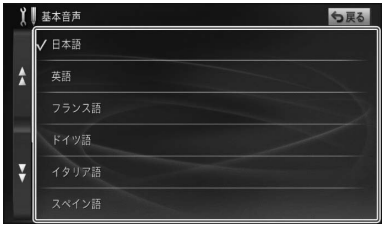
2 **DISC設定**ー**DVD-Video初期設定**にタッチする



3 **基本音声**にタッチする



4 **日本語**、**英語**、**フランス語**、**ドイツ語**、**イタリア語**、**スペイン語**、**ポルトガル語**、**中国語**、**韓国語**、**その他**から選んでタッチする



▼

選んだ言語に設定されます。

メモ

- **その他**にタッチしたときは、言語コード表より、4桁の数字を入力します。→*P228の「言語コード表」*
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによって、設定した言語が優先されない場合があります。

メニュー言語を設定する

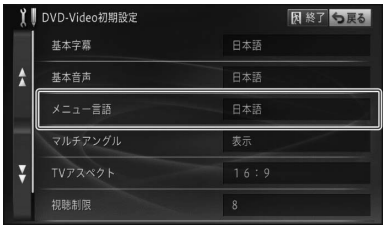
ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

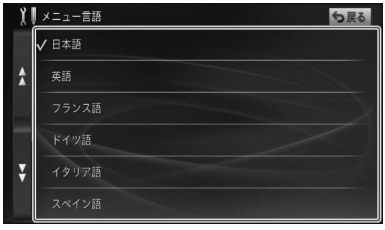
2 DISC設定ーDVD-Video初期設定にタッチする



3 メニュー言語にタッチする



4 日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチする



▼

選んだ言語に設定されます。

メモ

- その他にタッチしたときは、言語コード表より、4桁の数字を入力します。→*P228の「言語コード表」*
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによって、設定した言語が優先されない場合があります。

マルチアングルを設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーDVD-Video初期設定にタッチする



3 マルチアングルにタッチする



4 表示または非表示にタッチする



表示	アングル選択マークを表示します。
非表示	アングル選択マークを表示しません。

▼

アングル選択マークの表示/非表示が設定されます。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクトを設定する

接続したモニターのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。

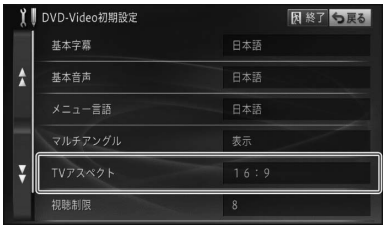
工場出荷時は「16: 9」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーDVD-Video初期設定にタッチする



3 TVアスペクトにタッチする



4 アスペクトを設定する



16: 9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16: 9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4: 3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4: 3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3 モニターの縦幅に合わせて16：9 の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。）

▼

アスペクト比が設定されます。

メモ

- 通常は16: 9 に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

視聴制限を設定する

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーDVD-Video初期設定にタッチする



3 視聴制限にタッチする



4 暗証番号を入力し、決定にタッチする



制限レベルを設定する

視聴レベルの内容は以下のとおりです。

8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します。（子供向けや一般向けディスクを再生します。）
1	子供向けのディスクのみ再生します。

▼

視聴制限が設定されます。

メモ

- 視聴制限にタッチすると、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で削除に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイを設定する

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 （メニュー）を押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーDVD-Video初期設定にタッチする



3 オートプレイにタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

▼

オートプレイが設定されます。

メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用になるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONのときはリピート再生は機能しません。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
サルボアクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621

DVD-VRを見る

DVD-VRの再生のしかたを説明します。

注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

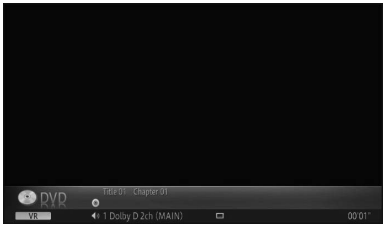
DVD-VRを再生する

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

▼

DVD-VRの音声と映像が再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

・DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。*→P297の「ソースレベルアジャスター」、P310の「ソースレベルアジャスター」*

チャプターを切り換える

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

3 **(◀)または(▶)を押す**

▼

チャプターがダウン/アップします。

タイトルを切り換える

複数のタイトルが収録されたディスクは、タイトルを切り換えることができます。

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 **▲または▼にタッチする**



▼

タイトルが切り換わります。
(◀)または(▶)を長く押しても、タイトルを切り換えることができます。

メモ

・閉じるにタッチすると映像画面に切り換わります。

リストからタイトルを選んで再生する

プレイリストまたはプログラムリストを表示して、見たいタイトルを直接選んで再生することができます。

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **DVDにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 リストにタッチする



5 見たいタイトルにタッチする



階層分けされたディスクの場合、一番上の階層が表示されます。
フォルダー選択などで階層を下げた場合は、戻るにタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で戻るにタッチすると、通常再生画面に戻ります。

▼

選んだタイトルが再生されます。

メモ

- 再生画面でタイトル名にタッチすると、現在再生中の曲を含むリストを表示します。
- モード切換にタッチすると、プレイリストとプログラムリストの表示を切り換えます。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、リストにタッチします。

再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 タイムバーにタッチする



▼

タッチした位置（時間）から再生されます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
（チャプターリピート）	再生中のチャプターを繰り返します。
♪（タイトルリピート）	再生中のタイトルを繰り返します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－リピートにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート→チャプターリピート→タイトルリピート→ディスクリピートに戻る

メモ

- 選んだリピート範囲は、AVソースプレートに表示されますが、通常再生であるディスクリピートはAVソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（チャプターリピート中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

見たい場面を指定して再生する

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－サーチにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 指定する方法（サーチの種類）にタッチする



TITLE	タイトル番号を指定します。
CHAPTER	チャプター番号を指定します。

6 数字キーにタッチしてサーチの種類にあわせた番号を入力し、決定にタッチする

▼

指定した場面から再生をはじめます。

CMなどを飛ばして再生する

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－CMスキップまたはCMバックにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、以下のような秒数で早送り/早戻しが行われます。

CMスキップ（早送り）	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→ 30秒に戻る
CMバック（早戻し）	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→ 5秒に戻る

メモ

- ディスクや再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生する

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－II▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、映像を1コマずつ送ることができます。

▶/IIにタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生する

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ II▶に長くタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

送り方向にスロー再生されます。スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー DOWN	1/2→1/4→1/8→1/16
スロー UP	1/16→1/8→1/4→1/2

▶/IIにタッチすると通常再生に戻ります。

メモ

- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

早戻し/早送りする

1 （メニュー）を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ◀◀または▶▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

早戻し/早送りを行います。◀◀または▶▶にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを行い続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 （メニュー）を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ▶/IIにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

再生を停止する

再生を停止します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－■にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生を停止します。

字幕言語を切り換える

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－次ページ－字幕切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

メモ

・ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語を切り換える

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－次ページ－音声切換にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、音声言語が切り換わります。

メモ

- [Dolby D]や[5.1ch]などの表示は、ディスクに収録されている音声言語の内容を表示しています。実際に再生される音声言語は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重を切り換える

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー次ページー音声多重にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。
MAIN＋SUB→SUB→MAIN→MAIN＋SUBに戻る

MAIN＋SUB	主・副音声(日本語＋外国語)
SUB	副音声(外国語)
MAIN	主音声(日本語)

メモ

- 「MAIN＋SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。
- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

ワイドモードに切り換える

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「AUTO」です。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 DVDにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)ー次ページーワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 お好みの表示方法にタッチする

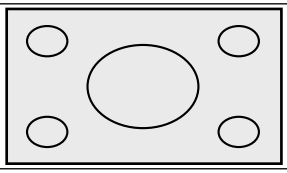


▼

表示方法が設定されます。

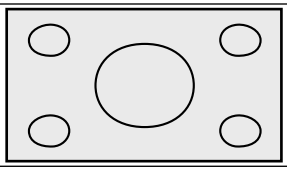
FULL（フル）

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



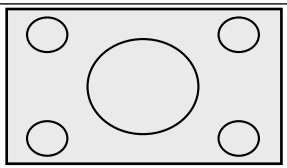
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



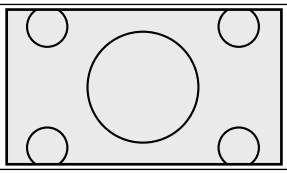
CINEMA（シネマ）

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



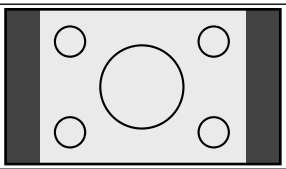
ZOOM（ズーム）

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。



AUTO（オート）

DVDソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。

メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

DVD-VRの初期設定を行う

DVD-VRの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

メモ

- 初期設定を操作中は、DVD-VRの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

テレビアスペクトを設定する

接続したモニターのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。

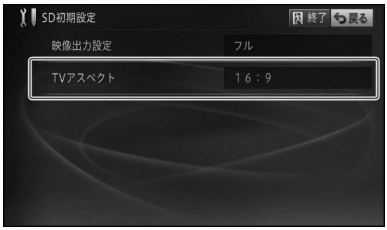
工場出荷時は「16：9」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーDVD-VR初期設定にタッチする



3 TVアスペクトにタッチする



4 アスペクトを設定する



16：9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16：9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3 モニターの縦幅に合わせて16：9 の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。）

▼

アスペクト比が設定されます。

メモ

- 通常は16：9 に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

ROM-Videoを見る

ROM-Videoの再生のしかたを説明します。

注意

・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

ROM-Videoを再生する

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

▼

ROM-Videoの音声と映像が再生されます。



ディスク挿入時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

メモ

・ROM-Videoの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからROM-Videoに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。→*P297の「ソースレベルアジャスター」、P310の「ソースレベルアジャスター」*

ファイルを切り換える

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **◀または▶を押す**

▼

ファイルがダウン/アップします。

フォルダーを切り換える

複数のフォルダーが収録されたディスクは、フォルダーを切り換えることができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 **▲または▼にタッチする**



▼

フォルダーが切り換わります。

◀または▶を長く押しても、フォルダーを切り換えることができます。

メモ

・閉じるにタッチすると映像画面に切り換わります。

リストからタイトルを選んで再生する

見たいタイトルを直接選んで再生することができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **ROMにタッチする**

3 **画面にタッチする**

4 リストにタッチする



5 見たいファイルにタッチする



階層分けされたディスクの場合、一番上の階層が表示されます。
フォルダー選択などで階層を下げた場合は、戻るにタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で戻るにタッチすると、通常再生画面に戻ります。

▼

選んだファイルが再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名などにタッチすると、現在再生中のファイルを含むリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、リストにタッチします。

再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 画面にタッチする

4 タイムバーにタッチする



▼

タッチした位置（時間）から再生されます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

ディスクリピート	再生中のディスクをリピートします。
（ファイルリピート）	再生中のファイルを繰り返します。
（フォルダーリピート）	再生中のフォルダーを繰り返します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－リピートにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
ディスクリピート→ファイルリピート→フォルダーリピート→ディスクリピートに戻る

メモ
- 選んだリピート範囲は、AVソースプレートに表示されますが、通常再生であるディスクリピートはAVソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（ファイルリピート中のファイルの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

早戻し/早送りする

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－◀◀または▶▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

早戻し/早送りを行います。◀◀または▶▶にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを行い続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－▶/IIにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

再生を停止する

再生を停止します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－■にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生を停止します。

ワイドモードに切り換える

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 ROMにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)－ワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 お好みの表示方法にタッチする

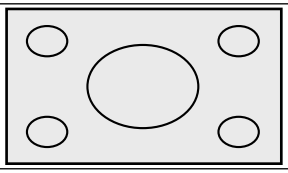


▼

表示方法が設定されます。

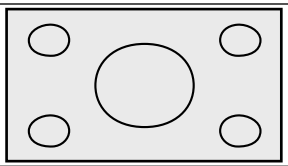
FULL（フル）

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



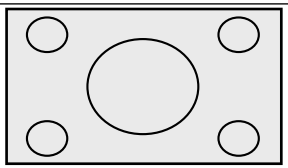
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



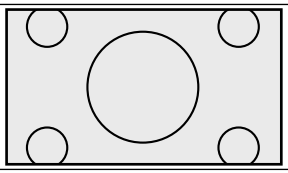
CINEMA（シネマ）

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



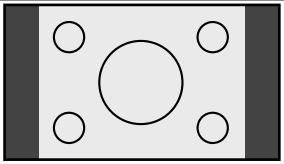
ZOOM（ズーム）

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。



メモ
・CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

ROM-Videoの初期設定を行う

ROM-Videoの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

メモ
・初期設定を操作中は、ROM-Videoの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

映像出力設定をする

ROM-Videoの映像出力の画面サイズを設定します。

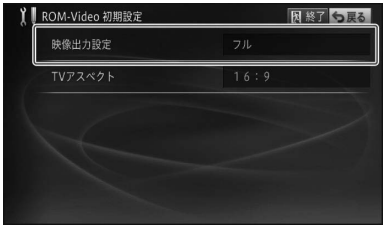
工場出荷時は「フル」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーROM-Video初期設定にタッチする



3 映像出力設定にタッチする



4 フルまたはアスペクト比固定にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのままで、長辺を画面に合わせて表示します。

▼

選んだ設定で表示されます。

メモ
・アスペクト比固定を選んだ場合は、ワイドモードの設定で「FULL（フル）」を選んでください。

テレビアスペクト

接続したモニターのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。

工場出荷時は「16：9」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 DISC設定ーROM-Video初期設定にタッチする



3 TVアスペクトにタッチする



4 アスペクトを設定する



16:9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3 モニターの縦幅に合わせて16：9 の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。）

▼

選んだ設定で表示されます。

メモ

- 通常は16:9 に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

ミュージックサーバー

音楽用CDを録音する

音楽用CD（以降CD）の楽曲をミュージックサーバー（以降MSV）に録音することができます。

CDから録音するには

本機で再生したことのないCDを挿入すると、自動的にMSVへの録音が開始されます。CDを1枚録音すると、オリジナルプレイリストが1つ作成されます。



メモ

- 自動録音をするには、あらかじめオート録音モードを「ON」に設定してください。→*P247の「MSVの録音設定をする」*
- すべての曲の録音が終わると、再生中だった曲の次の曲から通常再生が開始されます。
- 録音中に、他のAVソースに切り換えても録音は継続しています。
- 録音中は、画面下部にREC MSVが表示されます。
- **リスト**にタッチしてリスト画面を表示すると、録音の状況がわかります。未録音の曲にはRECが表示されます。（録音が完了した曲には何も表示されません。）
- CDからの録音音質は、「標準」と「高音質」を選ぶことができます。出荷時は標準に設定されています。設定の変更は録音前に行ってください。→*P247の「MSVの録音設定をする」*
- CD以外のAVソース（ラジオやDVDなど）は録音できません。
- WMA/MP3/AACなどの楽曲データを記録した媒体（CD-Rなど）から、MSVに直接録音することはできません。

録音を停止する

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 CDにタッチする

3 （コントロールパネル）－□録音停止にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

録音が停止します。
録音を再開する場合は、●録音開始にタッチします。

メモ

- すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生（ランダム再生など）、タイムバーサーチ再生、早戻し/早送りはできません。操作が必要な場合は、■録音停止にタッチして録音を中止してください。

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音音質が標準に設定されている場合、高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD録音の制限について

- 標準的なCD（44.1 kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ）以外のCDからは録音できません。

- コピーコントロールCDの録音については保証していません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-Rなど）から、MSVに録音（コピー）することはできません。また、MSVからパソコンにコピーすることもできません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。CD録音の制限（最大数）は以下のとおりです。制限を超えて録音することはできません。
- オリジナルプレイリスト数：999枚（CDは最大999枚まで）
- 1オリジナルプレイリストあたりのトラック数：99曲（CD1枚あたりの曲数は最大99曲（トラック））
- 総トラック数：最大20 000曲
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止したりして電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。

タイトル表示について

本機は、Gracenote音楽認識サービスのタイトル情報（曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど）をデータベースとして内蔵しています。挿入した音楽CDに記録されている情報が、データベースに登録されている情報と合致すると、タイトル情報が表示されます。



メモ

- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができます。→*P264の「タイトル情報の取得」*

- CD再生中画面やCDからMSV録音中画面に表示されるタイトル情報は、MSVと共通のタイトル情報を使用しています。MSVでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が1曲以上MSVに録音されていないと編集できません。→*P257の「プレイリスト/トラックの編集」*

MSVの録音設定をする

未録音のCDを再生したときに、録音を行うかどうか、および録音音質の設定を行います。

メモ

- 録音中は設定できません。

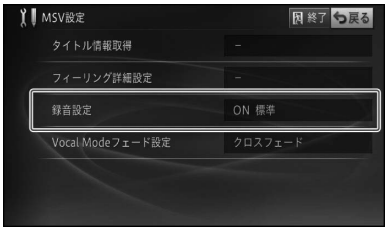
オート録音モードを設定する

録音していないCDを再生すると、自動的にMSVに録音を開始します。

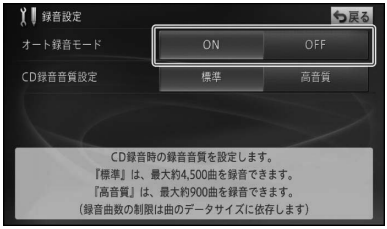
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 MSV設定ー録音設定にタッチする



3 ONまたはOFFにタッチする



ON	自動で録音します。
OFF	自動で録音しません。

▼

録音モードが設定されます。

メモ

- 「OFF」に設定した場合は、CDソースで●録音開始にタッチすることで録音を開始することができます。

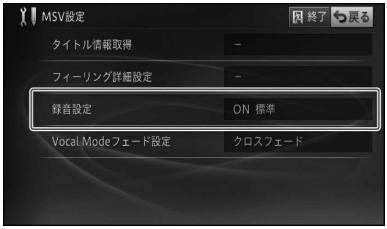
録音音質を設定する

録音音質を「標準」または「高音質」に設定できます。「高音質」はCD同等の音質で録音されますが、「標準」に比べて録音できる曲数は少なくなります。

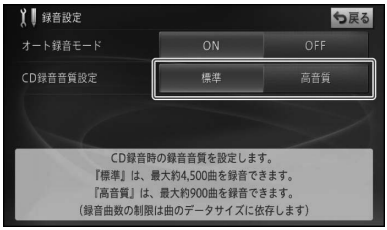
工場出荷時は「標準」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 MSV設定ー録音設定にタッチする



3 標準または高音質にタッチする



標準	標準音質で録音します。（最大約18倍速録音）
高音質	高音質で録音します。（最大約4倍速録音）

▼

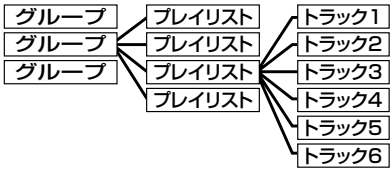
録音音質が設定されます。

MSVを聴く

ミュージックサーバー(以降MSV)に取り込んだ楽曲の再生のしかたを説明します。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループの種類について

グループ(第一階層)は、6つのカテゴリーに分類されます。

オリジナルグループ
録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音すると1つのプレイリストが作成されます。

アルバムグループ
トラックのタイトル情報のアルバム名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

アーティストグループ
トラックのタイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

ジャンルグループ
トラックのジャンル情報により自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

フィーリンググループ
トラックの曲調によってフィーリングプレイのキーワードごとに自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

マイミックス
お好みに応じて集めた楽曲が格納されているグループです。

メモ

- マイミックスのみ、2つの階層(グループ<トラック1～)で構成されます。

MSVを再生する

MSVに取り込んだ曲を再生します。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **MSVにタッチする**

▼

MSVが再生されます。



メモ

- 画像データがある場合は、再生画面に表示されます。
- 再生を中止するには、AVソースをOFFにします。

トラックを切り換える

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **MSVにタッチする**

3 **◀または▶を押す**

▼

トラックがダウン/アップします。

プレイリストを切り換える

プレイリストが複数ある場合は、プレイリストを切り換えることができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **MSVにタッチする**

3 ▲または▼にタッチする



▼

プレイリストが切り換わります。
◀または▶を長く押しても、プレイリストを切り換えることができます。

リストからトラックを選んで再生する

リストを表示して、プレイリストやトラックを直接選んで再生することができます。ここでは、表示されたグループのリスト（グループリスト）からトラックを選ぶまでを説明します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 リストにタッチする



4 グループを選んでタッチする



5 プレイリストを選んでタッチする



リスト右側のPlayにタッチすると、選んだプレイリストを先頭曲から再生します。

▼

トラックリストが表示されます。

6 トラックを選んでタッチする



▼

選んだトラックが再生されます。

メモ

- グループリストでマイミックスを選んだ場合は、プレイリストの一覧は表示されず、トラックリストが表示されます。
- 再生画面でトラック名にタッチするとトラックリストを、アーティスト名にタッチするとアーティストのプレイリストを、アルバム名にタッチするとアルバムのプレイリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、リストにタッチします。
- リスト表示中に終了にタッチする、またはグループリスト画面で戻るをタッチすると、通常再生画面に戻ることができます。

再生経過時間を指定して再生する

操作タッチキー画面に表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 タイムバーにタッチする



▼

タッチした位置（時間）から再生されます。
ボーカル位置に指定すると、曲の歌い出しから再生することができます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

グループリピート	再生中のグループをリピートします。
（トラックリピート）	再生中のトラック（曲）をリピートします。
（プレイリストリピート）	再生中のプレイリストをリピートします。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ーリピートにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
グループリピート→トラックリピート→プレイリストリピート→グループリピートに戻る

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- トラックリピート再生中にランダム再生を行うと、リピート範囲はプレイリストリピートに切り換わります。
- リピート範囲をグループリピートにした場合は、画面上にアイコンは表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

（ランダムON）	再生する曲をランダムに選びます。
ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ーランダムにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がトラックリピートの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はプレイリストリピートに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生など）やリピートの範囲を超える操作（プレイリストの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- 通常の再生リストから、グループやプレイリストを選んで再生している場合のランダム再生は、選んだグループまたはプレイリスト内で行われます。

ボーカルモード再生する

独自の技術で楽曲の1番のボーカル部分を抽出し、抽出した部分をフェードアウト/フェードインやクロスフェードでつないで再生することができます。

	クロスフェード再生します。
(ボーカルモードON)	ボーカルモード再生します。
ボーカルモードOFF	ボーカルモード再生しません。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）－Vocal Modeにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、ボーカルモード再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- 曲の特徴的な部分が検出できなかった楽曲は、曲の先頭から120秒間を再生します。
- リピートの範囲がトラックリピートの場合、再生中の曲のみをボーカルモード再生します。
- リピートの範囲がプレイリストリピートの場合、プレイリスト内の曲を対象にボーカルモード再生します。また、ランダム再生がONの場合は、プレイリスト内の曲をランダムにボーカルモード再生します。
- リピートの範囲がグループリピートの場合、グループ内の曲を対象にボーカルモード再生します。また、ランダム再生がONの場合は、グループ内の曲をランダムにボーカルモード再生します。
- お好み再生中でもボーカルモード再生ができます。

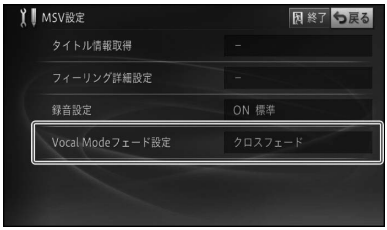
ボーカルモードフェード設定をする

工場出荷時は「クロスフェード」です。

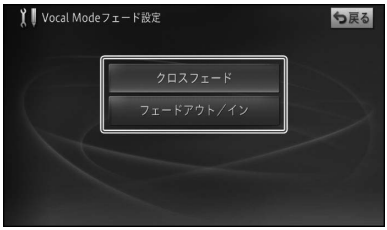
1 メニューを押し、設定・編集－ソース別設定にタッチする

2 MSV設定にタッチする

3 Vocal Modeフェード設定にタッチする



4 クロスフェードまたはフェードアウト/インにタッチする



メモ

- クロスフェードに設定していても、以下の場合はフェードアウト/インで再生されます。
  - リピートの範囲をトラックリピートに設定している場合
  - 再生可能な曲数が1曲の場合
  - フィーリングプレイ中に最後のトラックと先頭のトラック間を再生したとき
  - お好み再生中に曲調（属性）を変更したとき

マイミックスにトラックを追加する

再生中に、気に入った曲（トラック）をマイミックスというグループに登録することができます。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **MSVにタッチする**

3 **（コントロールパネル）ーマイミックスに追加に長くタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

選んだ曲がマイミックス（グループ）に登録されます。

メモ

- マイミックスには、999トラックまで登録できます。
- グループリストからマイミックスを選ぶと、お気に入りの曲を集めたマイミックスを再生することができます。

早戻し/早送りする

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **MSVにタッチする**

3 **（コントロールパネル）ー◀◀または▶▶にタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチしている間、早戻し/早送りされます。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 **メニューを押し、AV menuにタッチする**

2 **MSVにタッチする**

3 **（コントロールパネル）ー▶/Ⅱにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

フィーリングプレイで再生する

お使いになるときの気分に合わせた曲を集めて、自動的に再生する機能です。

フィーリングプレイについて

録音時に解析した曲の特徴(明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される)や、お客様が最後まで聴いた曲を学習値として記憶し、よりお客様好みの選曲をするよう成長してゆきます。なお、以下の場合はフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲

メモ

- フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調整されています。
- プレイリストをフィーリングプレイの対象外としたり、設定された曲調の変更や学習値をクリアするなど、フィーリングプレイの詳細設定を行うことができます。
- 表示されるトラックリストは、これまでの学習値（曲を最後まで聴く/フィーリング対象外に設定）を考慮した上で、曲調にマッチする曲を学習値の高いものから昇順に並べたものです。

曲調を選んで再生する

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

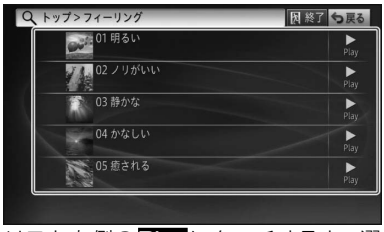
3 リストにタッチする



4 フィーリングにタッチする



5 聴きたい曲調にタッチする



リスト右側のPlayにタッチすると、選んだプレイリストを先頭曲から再生します。

▼



曲の下にはスコアが表示されます。スコアは10段階で評価され、スコアの値が多いほど曲調との一致度合いを示します。

▼

選んだリストの先頭曲が自動的に再生されます。

再生曲が選択した曲調と合わないと感じた場合

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機にその旨を学習させることができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ー UNFITにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

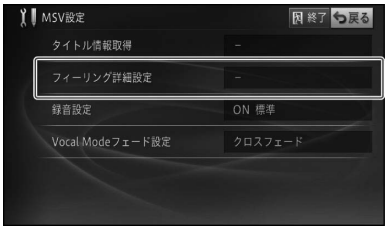
再生している曲が選択した曲調と合わないと判断し、次回以降のトラックリスト作成に反映します。再生は次のトラックに切り換わります。

フィーリング対象外設定

選んだプレイリストをフィーリング対象から外すことができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー ソース別設定にタッチする

2 MSV設定ーフィーリング詳細設定にタッチする



3 フィーリング対象外設定にタッチする



4 対象から外すプレイリストにタッチする



▼

選ばれたプレイリストには、（禁止マーク）が付き、フィーリング再生対象から外れます。
対象外設定を解除するときは、もう一度タッチします（は消えます）。

メモ

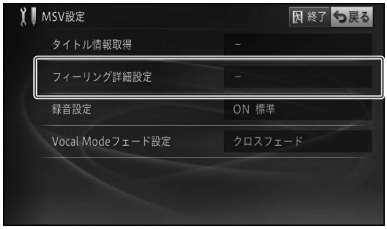
- 対象外の設定は、次にフィーリング再生するとき、またはその曲調を一通り再生したあと有効になります。

学習クリア

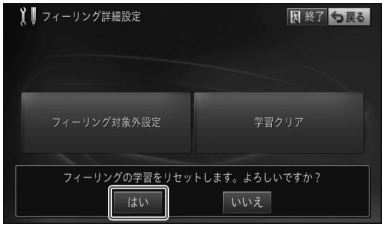
フィーリング再生の学習値をクリアします。

1 メニューを押し、設定・編集ー ソース別設定にタッチする

2 MSV設定ーフィーリング詳細設定にタッチする



3 学習クリアーはいにタッチする



▼

学習値がクリアされます。

お好み再生で再生する

現在再生中の曲と同じ種類の曲を選び出し、連続して再生します。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 お好み再生したい曲調の曲が再生されたら、プレイモードにタッチする



お好み再生中にプレイモードにタッチすると、お好み再生を止めて通常再生に戻ります。

4 お好み再生したい曲調（属性）にタッチする



♪トラックタイトル	オリジナルグループをランダムで再生します。
アーティスト名	再生中のトラックが所属するアーティストを属性に設定し、ランダムに再生します。
アルバム名	再生中のトラックが所属するアルバムを属性に設定し、リスト順に再生します。
ジャンル	再生中のトラックが所属するジャンルを属性に設定し、ランダムに再生します。
フィーリング	再生中のトラックが所属するフィーリングのキーワード（明るい、かなしいなど）を属性に設定し、ランダムに再生します。
テンポ	再生中のトラックのテンポを属性に設定し、ランダムに再生します。

メモ

- トラックタイトル以外の属性を設定中に、トラックタイトルを選択すると、選択した時点で再生曲が切り換わります。
- 楽曲の再生中に曲調（属性）を変更すると、ボーカルモードをクロスフェードに設定していても、フェードアウト/イン再生になります。
- 最初にお好み再生モードに切り換えたときは、MSVのすべての楽曲（オリジナルグループ）をランダムに再生するオールランダムモードで再生します。
- 再生中の曲にジャケット写真情報が含まれる場合、画面に表示されます
- プログレッシブJPEGには対応しておりません。

プレイリスト/トラックの編集

ミュージックサーバー（以降MSV）に録音した曲やユーザーが作成したプレイリスト/トラックの編集・削除をすることができます。

オリジナルグループのプレイリストを編集する

オリジナルグループのプレイリストでは、プレイリストの詳細情報画面から、画像編集やトラックの消去などが行えます。

プレイリストの消去

再生中のプレイリストを消去します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

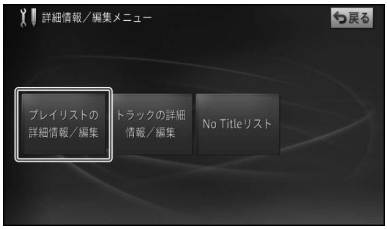
2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

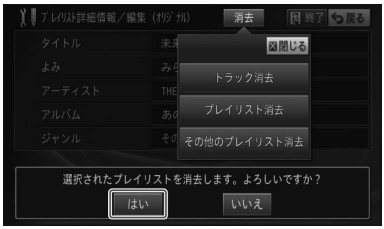
4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



5 消去にタッチする



6 プレイリスト消去ーはいにタッチする



▼

プレイリストが消去されます。

メモ

- オリジナルグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したプレイリストに含まれるトラックがマイミックスに登録されていた場合は、そのトラックも同時にマイミックスから消去されます。

トラックを選んで消去する

再生中のプレイリストからトラックを選んで消去します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

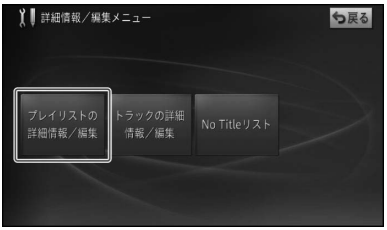
2 MSVにタッチする

3 (コントロールパネル)ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



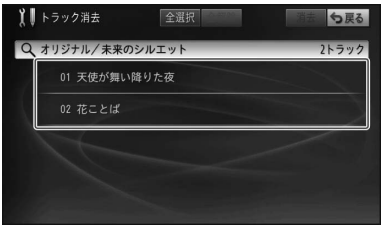
5 消去にタッチする



6 トラック消去にタッチする



7 消去するトラックを選んでタッチする



選んだトラックには☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。全解除にタッチすると、選択が解除されます。

8 消去ーはいにタッチする

▼

プレイリストから、選んだトラックが消去されます。

メモ

- オリジナルグループのプレイリストからトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがマイミックスに登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。

その他のプレイリストを消去する

オリジナルグループ内であれば、再生中ではないプレイリストも、消去することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

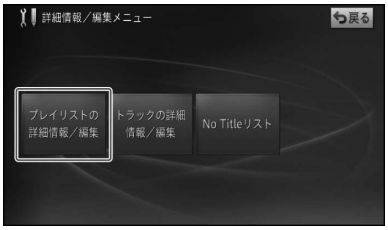
2 MSVにタッチする

3 (コントロールパネル)ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

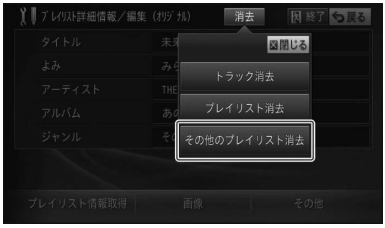
4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



5 消去にタッチする



6 その他のプレイリスト消去にタッチする



7 消去するプレイリストを選んでタッチする



8 消去ーはいにタッチする

▼

プレイリストが消去されます。

メモ

- オリジナルグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したプレイリストに含まれるトラックがマイミックスに登録されていた場合は、そのトラックも同時にマイミックスから消去されます。

プレイリストの画像を変更する

音楽CDから録音したプレイリストの画像（ジャケット写真等）を変更することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

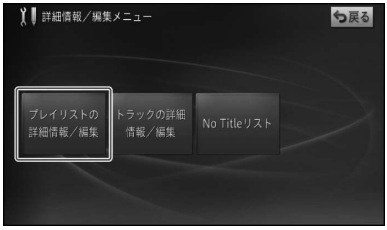
2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



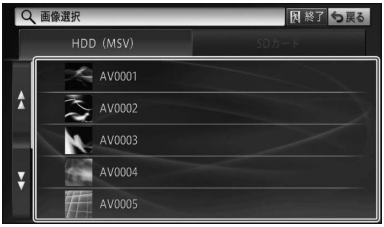
5 画像にタッチする



6 プレイリストの画像編集にタッチする



7 変更したい画像にタッチする



HDD（MSV）	本機のHDDに保存されている画像がリスト表示されます。
SDカード	SDカードに保存されている画像がリスト表示されます。

▼

画像が変更されます。

その他のプレイリストの画像を変更する

プレイリストの画像（ジャケット写真等）をHDDまたはSDカードから選んで設定することができます。

メモ

- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE Image Importer」を使用すると、パソコン内に保存されている画像を、プレイリスト画像用に編集してSDカードに保存することができます。

1 （メニュー）を押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

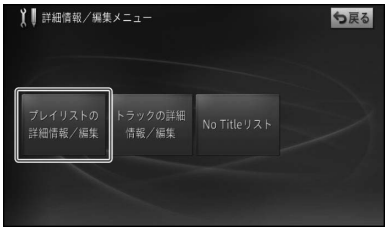
3 オリジナルグループのプレイリストを再生する

4 （コントロールパネル）ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

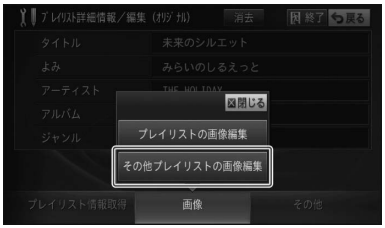
5 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



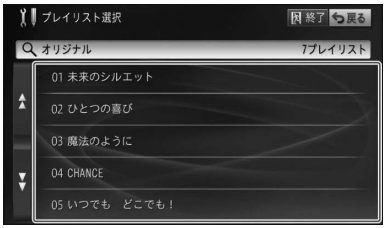
6 画像にタッチする



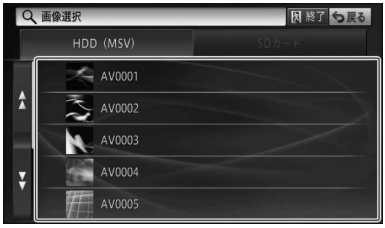
7 その他プレイリストの画像編集にタッチする



8 画像を編集するプレイリストを選んでタッチする



9 変更したい画像にタッチする



HDD (MSV)	本機のHDDに保存されている画像がリスト表示されます。
SDカード	SDカードに保存されている画像がリスト表示されます。

▼

画像が変更されます。

その他の詳細情報を表示する

再生中のプレイリストの詳細情報（MSVデータなど）を表示することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

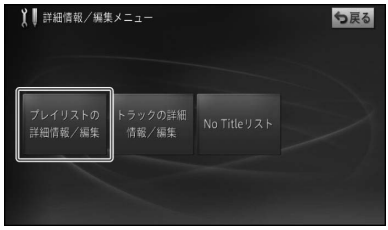
2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



5 その他にタッチする



▼



マイミックスのトラックを消去する

マイミックスからトラックを選んで消去することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 MSVにタッチする

3 マイミックスのプレイリストを再生する

4 (コントロールパネル)ー詳細情報/編集にタッチする

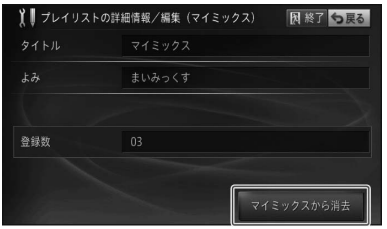


にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

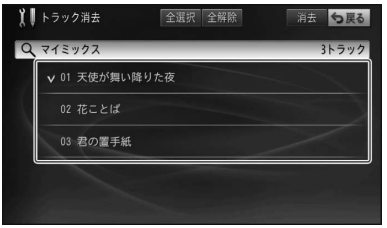
5 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



6 マイミックスから消去にタッチする



7 消去するトラックを選んでタッチする



選んだトラックには☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、選択が解除されます。

8 消去ーはいにタッチする

▼

選んだトラックが消去されます。

プレイリストの詳細情報を表示する

アーティスト、アルバム、ジャンルのプレイリストでは詳細情報を表示することができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

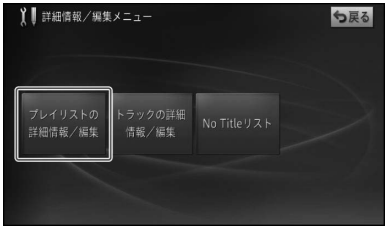
2 MSVにタッチする

3 (コントロールパネル)ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



▼

再生中の曲の詳細情報が表示されます。

トラックを編集する

再生中のトラックの詳細情報を表示して編集することができます。

トラックを消去する

再生中のトラックを消去することができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

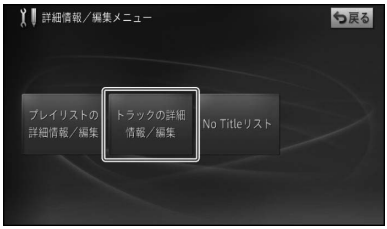
2 MSVにタッチする

3 (コントロールパネル)ー詳細情報/編集にタッチする

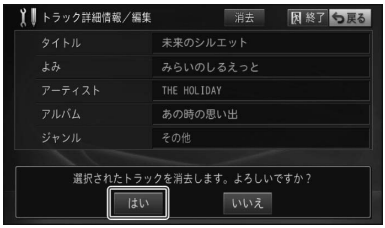


にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 トラックの詳細情報/編集にタッチする



5 消去ーはいにタッチする



▼

トラックが消去されます。

メモ

- オリジナルグループのプレイリストからトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがマイミックスに登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。

タイトル情報の取得

本機内蔵のGracenote音楽認識サービスでタイトル情報を取得できなかったときや、タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示されなかったときは、録音完了後、タイトル情報の再取得操作を行うことで、タイトルを表示させることができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDやMSVの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストのよみ
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル

No Title表示について

CDの再生画面に「No Title」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった

タイトル情報が複数候補あった場合は、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

タイトル候補が複数見つかったためタイトル表示できなかった場合は、再度本機内蔵のGracenote音楽認識サービスを検索し、タイトル候補を表示させて選ぶことができます。また、本操作でタイトル候補が見つからなかった場合は、手動または自動で通信による検索を行います。通信機能の利用準備が整っていない場合はメッセージが表示され、処理は中断されます。あらかじめ、通信機能の利用準備を行っておくことをお勧めします。→*P139の「通信接続設定」*

メモ

- 専用サーバーから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。

トラックの詳細画面から取得する

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

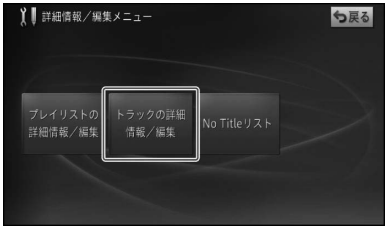
2 MSVにタッチする

3 (コントロールパネル)→詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

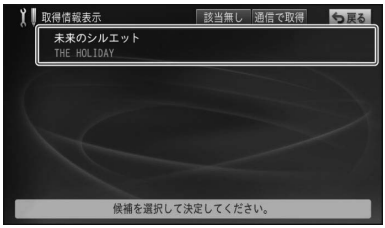
4 トラックの詳細情報/編集にタッチする



5 プレイリスト情報取得にタッチする



6 タイトルを選んでタッチする



メモ

- **該当無し**にタッチすると、タイトルを設定せずに詳細情報画面に戻ります。
- **通信で取得**にタッチすると、専用サーバーと通信で検索が行われ、結果がリスト表示されます。
- タイトルが見つからなかったプレイリストは、No Titleリストに登録しておき、あとから通信で一括で取得することができます。

プレイリストの詳細情報画面から取得する

オリジナルグループのプレイリスト詳細情報画面で行うことができます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

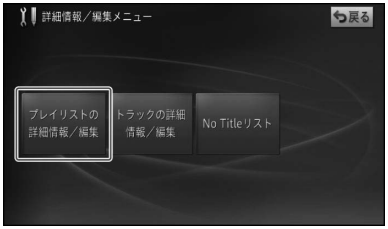
2 MSVにタッチする

3 (コントロールパネル)ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

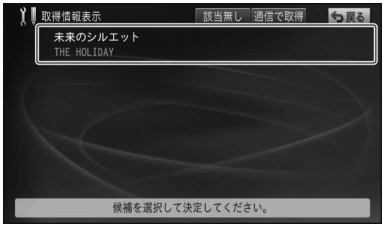
4 プレイリストの詳細情報/編集にタッチする



5 プレイリスト情報取得にタッチする



6 タイトルを選んでタッチする



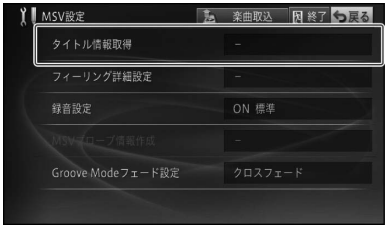
メモ

- **該当無し**にタッチすると、タイトルを設定せずに詳細情報画面に戻ります。
- **通信で取得**にタッチすると、専用サーバーと通信で検索が行われ、結果がリスト表示されます。
- タイトルが見つからなかったプレイリストは、No Titleリストに登録しておき、あとから通信で一括で取得することができます。

MSV設定画面から取得する

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

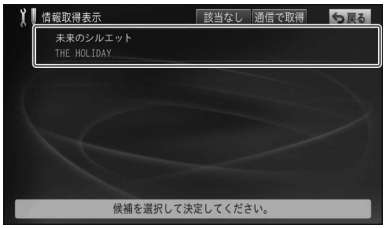
2 MSV設定ータイトル情報取得にタッチする



3 タイトルを取得するプレイリストにタッチする



4 タイトルを選んでタッチする



メモ

- **該当無し**にタッチすると、タイトルを設定せずに詳細情報画面に戻ります。
- **通信で取得**にタッチすると、専用サーバーと通信で検索が行われ、結果がリスト表示されます。

No Titleリストのタイトル情報を取得する

No Titleリストに登録されたプレイリストのタイトル情報を通信で一括取得します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

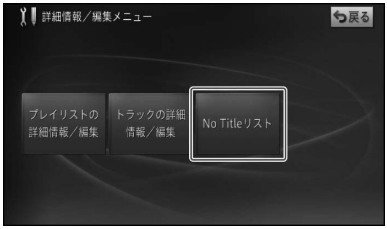
2 MSVにタッチする

3 （コントロールパネル）ー詳細情報/編集にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 No Titleリストにタッチする



5 通信で一括取得ーはいにタッチする



▼

通信が開始され、取得結果が表示されます。

メモリーメディア

SD/USBを使う

本機に接続したSDカード/USBメモリー内の音楽ファイル（WMA/MP3/AAC/WAV）やSDカード内の映像ファイル（MPEG4/H.264/WMV）の再生のしかたを説明します。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
  - SDカード：最大容量32 GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDメモリーカード規格/SDHCメモリーカード規格に対応
  - USBメモリー：最大容量16 GB、ファイルシステムFAT32/16
- 本機で再生するSDカード内の映像ファイルの解像度は、720×480以下となります。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。 ビットレートの上限値は以下の通りです。
  - MPEG-4 Video: 4 Mbps
  - H.264/AVC: 2 Mbps
  - WMV (VC-1): 384 kbps
- 地図データ更新時に、AVソースをSDに選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ更新完了後、再度AVソースをSDにして再生を再開させてください。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- USBメモリーを接続するためには、別売のUSB接続ケーブルが必要です。

音楽ファイルや映像ファイルを再生する

操作方法はSD、USB共通です。ここでは、SDを例に説明します。
映像ファイルの再生は、SDソースのみ対応しています。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

▼

SDカードに保存された音楽ファイルや映像ファイルが再生されます。



フォルダーを切り換える

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

3 ▲または▼にタッチする



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。

▼

フォルダーが切り換わります。
◀または▶を長く押すと、フォルダーのダウン/アップを行います。

メモ

- ◀または▶を押すと、ファイルのダウン/アップを行います。

リストからファイルを選んで再生する

リストを表示して、再生したいファイルを直接選ぶことができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

3 リストにタッチする



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。

4 再生したいフォルダーまたはファイルにタッチする



階層分けされている場合、一番上の階層が表示されます。
フォルダー選択などで階層を下げた場合は、戻るにタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で戻るにタッチすると、通常再生画面に戻ります。

▼

選んだフォルダーまたはファイルが再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名などにタッチすると、現在再生中のファイルを含むリストを表示します。
- リスト画面は約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、リストにタッチします。

再生経過時間を指定して再生する

操作画面に表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時間）を指定して再生することができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

3 タイムバーにタッチする



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。

▼

タッチした位置（時間）から再生されます。

メモ

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

リピート再生する

リピート再生の範囲は、3種類から選ぶことができます。

メディアリピート	通常の再生状態です。再生中のメディアをリピートします。
（ファイルリピート）	再生中のファイル（曲）をリピートします。
（フォルダーリピート）	再生中のフォルダーをリピートします。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

3 (コントロールパネル)→リピートにタッチする



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
メディアリピート→ファイルリピート→フォルダーリピート→メディアリピートに戻る

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(ファイルリピート中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- リピート範囲をメディアリピートにした場合は、画面上にアイコンは表示されません。

ランダム再生する

選んだリピートの範囲内で、再生する曲をランダムに選び続けます。

本機能は、音楽ファイル再生時のみ有効となります。

(ランダムON)	再生する曲をランダムに選びます。
ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

3 (コントロールパネル)→ランダムにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、ランダムのON/OFFが切り換わります。

再生モードを切り換える

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

3 (コントロールパネル)→ビデオまたはミュージックにタッチする



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

ビデオ	音楽ファイル再生時に表示され、タッチすると映像ファイルの操作画面に切り換わります。
ミュージック	映像ファイル再生時に表示され、タッチすると音楽ファイルの操作画面に切り換わります。

▼

映像ファイルまたは音楽ファイルの操作画面に切り換わります。

メモ

- **ビデオ**と**ミュージック**は、映像ファイルまたは音楽ファイルがSDカードに入っていないと選択できません。

早戻し/早送りする

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **SDにタッチする**

3 **(コントロールパネル)－◀◀または▶▶にタッチする**



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。

にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチしている間、早戻し/早送りされます。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **SDにタッチする**

3 **(コントロールパネル)－▶/Ⅱにタッチする**



SDカードの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。

にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

ワイドモードに切り換える

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

本機能は、映像ファイル再生時のみ有効となります。

❗注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 SDにタッチする

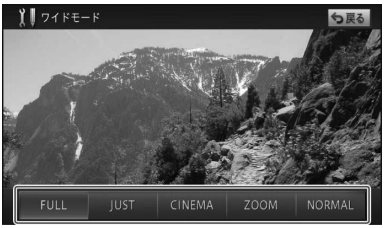
3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）ーワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 お好みの表示方法にタッチする

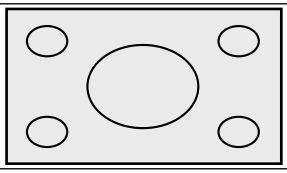


▼

表示方法が設定されます。

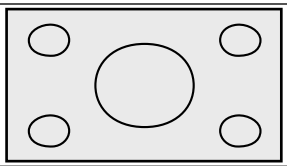
FULL（フル）

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



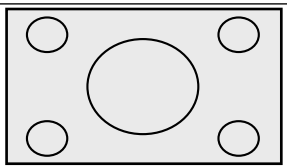
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



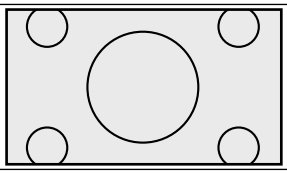
CINEMA（シネマ）

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



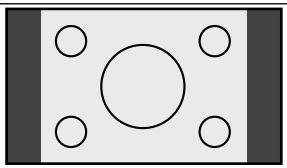
ZOOM（ズーム）

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。



メモ
・CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

SDの初期設定を行う

SDの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

映像出力を設定する

SDの映像出力の画面サイズを設定します。

工場出荷時は「フル」です。

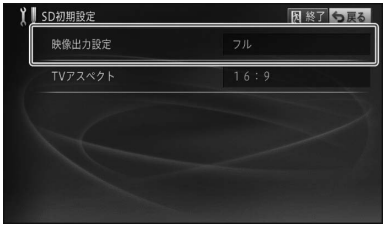
メモ
・初期設定を操作中は、SD映像の再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 SD設定ーSD初期設定にタッチする



3 映像出力設定にタッチする



4 フルまたはアスペクト比固定にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのままで、長辺を画面に合わせて表示します。

メモ
・アスペクト比固定を選んだ場合は、ワイドモードの設定で「FULL（フル）」を選んでください。

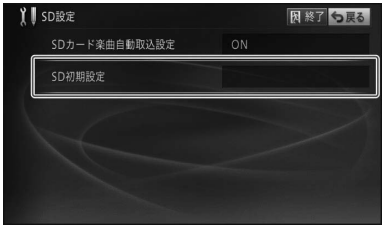
テレビアスペクトを設定する

接続したモニターのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。

工場出荷時は「16：9」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 SD設定ーSD初期設定にタッチする



3 TVアスペクトにタッチする



4 アスペクトを設定する



16:9	ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の横幅を4：3モニターの横幅に合わせて16：9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16：9で収録された画像の縦幅を4：3 モニターの縦幅に合わせて16：9 の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。）

▼

選んだ設定で表示されます。

メモ

・通常は16:9 に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

iPodを使う

iPodを使う

本機に接続したiPodの再生のしかたを説明します。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- iPodを接続するためには、別売のUSB接続ケーブルと別売の変換コード(USB-iPod)が必要です。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応したiPodが必要となります。
- iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。(映像再生中にiPodを一度外して再度接続した場合など) STOP状態になってもiPodの機能を再び利用することは可能ですが、動作の一部に制限があります。
- ご使用前に、お持ちのiPodソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応iPodおよび制限事項については、販売店へご確認ください。

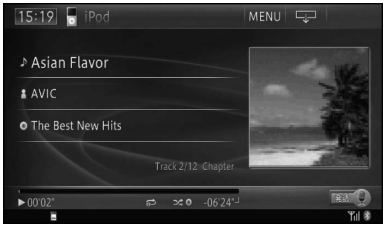
iPodを再生する

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **iPodにタッチする**

▼

iPodが再生されます。



iPod接続時は、上記操作を行わなくても自動的に再生を開始します。

3 **(コントロールパネル)→ビデオまたはミュージックにタッチする**



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

iPodミュージック再生中はiPodビデオのリストに切り換わります。
iPodビデオ再生中はiPodミュージックのリストに切り換わります。

iPodミュージックとiPodビデオを切り換える

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **iPodにタッチする**

チャプターまたはソング/ファイルを切り換える

1 **(メニュー)を押し、AV menuにタッチする**

2 **iPodにタッチする**

3 **◀または▶を押す**

▼

チャプターがある場合は、そのダウン/アップを行います。チャプターがない場合は、ソング(もしくはビデオファイル)のダウン/アップを行います。

メモ
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲や映像は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。

聴きたい曲や見たい映像を探す

あらかじめ、iPodミュージックまたはiPodビデオの操作画面に切り換えてください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 MENUに長くタッチする



4 カテゴリーにタッチする



表示されるリストは約30秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、MENUに長くタッチします。
お使いのiPodによって、リストに表示されるカテゴリーは異なります。

5 曲や映像を絞り込み、聴きたい曲や見たい映像にタッチする



▼

選んだ曲や映像が再生されます。

メモ
- iPodで表示されるリストの並び順と、本機で表示されるリストの並び順は一致しない場合があります。
- いったん絞り込み操作を行った後は、MENUにタッチすると最後に絞り込んだリストを表示します。
- iPodミュージックの再生画面でアーティスト名またはアルバム名にタッチすると、再生中のアーティスト名または、アルバム名を先頭にしてリスト表示します。ただし、お使いのiPodにより、再生中のアーティスト名またはアルバム名が先頭に表示されない場合があります。
- お使いのiPodにより、リスト表示に時間がかかる場合があります。その場合は、MENUにタッチしてリストを表示させてください。
- iPodビデオの再生画面でトラック名、アーティスト名、アルバム名のいずれかにタッチすると最後に絞り込んだリストを表示します。

リピート再生する

繰り返し再生の範囲は、2種類から選ぶことができます。

ALL(リピートオール)	すべての曲や映像を繰り返し再生します。
(リピートワン)	現在再生中の曲や映像のみ繰り返し再生します。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 (コントロールパネル)→リピートにタッチする



iPodの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
リピートオール←→リピートワン

シャッフル再生する

再生する順番をシャッフルします。シャッフル再生は、3種類から選ぶことができます。

シャッフルOFF	再生する曲の順番を変えません。
(シャッフルソング)	再生する曲の順番を変えます。
(シャッフルアルバム)	再生するアルバムの順番を変えます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 (コントロールパネル)→シャッフルにタッチする



iPodの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。
シャッフルOFF→シャッフルソング→シャッフルアルバム→シャッフルOFFに戻る

メモ

- シャッフル設定を有効にしていると、ビデオ機能が正しく動作しないことがあります。

早戻し/早送りする

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ◀◀または▶▶にタッチする



iPodの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

早戻し/早送りを行います。iPodの映像ファイルの場合は、◀◀または▶▶にタッチし続けると、キーから指を離しても早戻し/早送りを行い続けます。もう一度タッチすると、通常再生に戻ります。
◀または▶を長く押しても、早戻し/早送りを行えます。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）－ ▶/IIにタッチする



iPodの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。一時停止中または停止中は再生を再開します。

ワイドモードに切り換える

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

本機能は、映像ファイル再生時のみ有効となります。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 画面にタッチする

4 (コントロールパネル)→ワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 お好みの表示方法にタッチする

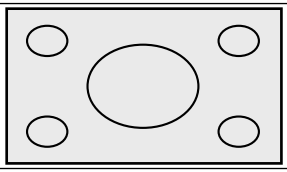


▼

表示方法が設定されます。

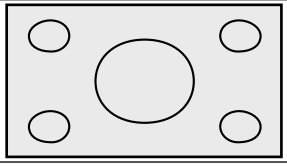
FULL（フル）

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



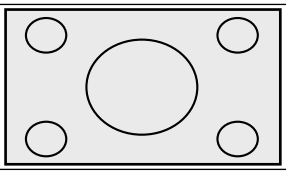
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



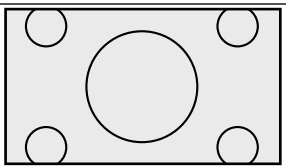
CINEMA（シネマ）

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



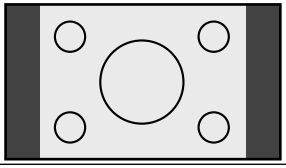
ZOOM（ズーム）

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。



メモ

- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

コントロール/アプリモードを設定する

コントロール/アプリモードをONにする事でiPod本体で操作を行うモードとなります。iPodからの操作を行う事で、動画、インターネットラジオ等のアプリケーションの映像、音楽をナビゲーションから出力することが可能になります。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- コントロール/アプリモードの設定を「ON」にして、ビデオを再生しても映像が出力されない場合は、iPod本体の出力設定をご確認いただくか、iPodを再接続してください。

・コントロール/アプリモードで出力できるものは、アプリケーションに依存します。詳しくは、アプリケーション開発会社にお問い合わせください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 iPodにタッチする

3 （コントロールパネル）ーコントロール/アプリモードにタッチする



iPodの映像ファイル再生時は、画面にタッチして操作タッチキーを表示してから操作してください。
にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

ON/OFFが切り換わります。

OFF	本機からiPod を操作することができます。
ON	iPod本体から操作することができます。

メモ

・コントロール/アプリモードの設定をONにすると、**リピート**、**シャッフル**は選べません。また、接続されたiPodの機種によっては、その他の機能も動作しない場合があります。

iPodの初期設定を行う

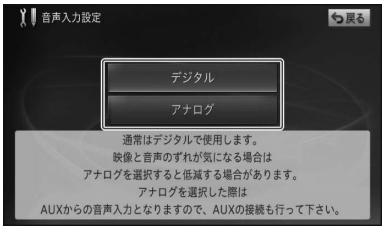
ビデオ再生時に映像と音声のずれが気になる場合に設定をします。本機能は、iPod未接続状態の場合のみ有効です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 iPod設定ー音声入力設定にタッチする



3 デジタルまたはアナログにタッチする



デジタル	通常はこちらの設定でお使いください。
アナログ	映像と音声のずれが気になる場合に選択してください。

Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioを使う

本機にワイヤレス接続したBluetooth Audio 機器内の音楽データの再生のしかたを説明します。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	特殊操作	情報表示
A2DP	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver.1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver.1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver.1.4	○	△	△	△

○：対応　△：一部対応　×：非対応

メモ

- 上記表で「○」になっていても、ご使用のBluetooth Audio機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。
- Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audioを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AudioをOFFにし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。
- A2DP＋AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。→*P139「Bluetooth機器を登録する」*
登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー/Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生がはじまります。

メモ

- 本機に登録されていないBluetooth Audio機器は、接続することができません。
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器のすべてのプロファイルを切断してから接続してください。

Bluetooth Audioを再生する

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

▼

自動的にBluetooth Audio機器と接続を行い、再生がはじまります。



（コントロールパネル）－▶にタッチしても、再生できます。

メモ

- Bluetooth Audio機器によっては、2回目以降は自動接続される場合があります。
- Bluetooth Audio機器によっては、再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
- A2DP接続のみの場合は▶などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
- A2DP＋AVRCP Ver.1.3またはA2DP＋AVRCP Ver.1.4で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。（Bluetooth Audio機器によっては表示されない場合もあります。）また、AVRCP Ver.1.4では、リストからの選曲操作が可能です。
- 何らかの理由により再生がはじまらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生がはじまると再表示されます。
- サンプリング周波数が異なる楽曲間で切り換わる時に、ノイズが聞こえる場合があります。

トラックを切り換える

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 ◀または▶を押す

▼

トラックがダウン/アップします。

グループを切り換える

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 ▲または▼にタッチする



▼

グループが切り換わります。
◀または▶を長く押しても、グループのダウン/アップを行えます。

聴きたい曲を探す

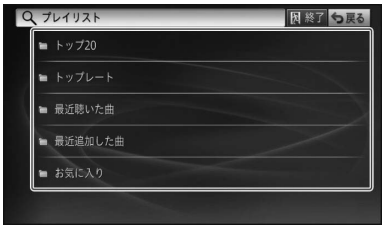
1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 リストにタッチする



4 曲を絞り込む



接続中Bluetooth Audio機器の状態によって、リストに表示される内容は異なります。
フォルダー選択などで階層を下げた場合は、戻るにタッチすると階層を戻すことができます。一番上の階層で戻るにタッチすると、通常再生画面に戻ります。

▼

選んだ曲が再生されます。

メモ

- 再生画面でトラック名やアーティスト名、アルバム名などにタッチすると、現在再生中の曲を含む再生範囲内のリストのみを表示します。
- A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や、異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCPで接続した場合は、トラック番号、トラック名、アーティスト名、アルバム名、再生時間/全体時間/再生状態、バッテリー状態、リピート/ランダム状態が表示される場合があります。
- A2DP+AVRCPで接続した場合は、電池の残量アイコンまたは充電中アイコンが表示される場合があります。
- 再生時間、トラック番号は、接続した機器のものと異なる場合があります。
- 接続した機器によっては、本機画面上で再生中であっても、音声が出ない場合があります。接続した機器の製造元にお問い合わせください。

リピート再生する

この操作は、A2DP+AVRCPで接続した場合に利用できます。繰り返し再生の範囲は、4種類から選ぶことができます。

リピートOFF	通常の再生状態です。
(トラックリピート)	再生中のトラック（曲）をリピートします。
(グループリピート)	再生中のグループを繰り返します。
ALL (オールリピート)	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 (コントロールパネル)→リピートにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。
リピートOFF→トラックリピート→グループリピート→オールリピート→リピートOFFに戻る

メモ

- 接続した機器により、リピート再生ができない場合や、操作・再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（トラックリピート中の選曲操作など）を行うと、リピート範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるリピートOFFは、画面には表示されません。

ランダム再生する

再生する曲をランダムに選び続けます。

ランダムOFF	再生する曲をランダムに選びません。
(グループランダム)	グループ内で、再生する曲をランダムに選びます。
(オールランダム)	すべての曲から、再生する曲をランダムに選びます。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 (コントロールパネル)ーランダムにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチするごとに、ランダムの範囲が以下のように切り換わります。
ランダムOFF→グループランダム→オールランダム→ランダムOFFに戻る

メモ

- 接続した機器により、リピート再生ができない場合や、操作・再生範囲が異なる場合があります。
- 通常再生であるランダムOFFは、画面には表示されません。

早戻し/早送りする

早戻し/早送りを行います。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 (コントロールパネル)ー◀◀または▶▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

タッチしている間、早戻し/早送りされます。

メモ

- Bluetooth Audio機器によっては、早戻し/早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP接続のみの場合は早戻し/早送りは操作できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

再生を一時停止する

一時停止を行います。

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 (コントロールパネル)ーIIにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

再生中は一時停止します。

メモ

- A2DP接続のみの場合はIIなどの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

手動で再生する

1 (メニュー)を押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 （コントロールパネル）－▶にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

一時停止中は再生を再開します。

メモ

- A2DP接続のみの場合は▶などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。

Bluetooth Audio機器を接続する

本機に登録済みのBluetooth Audio機器をAVプロファイルで接続します。

メモ

- Bluetooth Audio機器を接続するには、あらかじめ本機に接続するBluetooth Audio機器を登録しておく必要があります。→*P139の「Bluetooth機器を登録する」*
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、ナビから接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器のすべてのプロファイルを切断してから接続してください。
- はじめて本機と接続するBluetooth Audio機器の場合は、Bluetooth Audio機器側より接続してください。2回目以降の接続は、以下の手順で行うことができます。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 （コントロールパネル）－ナビから接続にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

▼

Bluetooth Audio機器との接続が完了します。

メモ

- お使いのBluetooth Audio機器によっては、機器側での操作が必要になります。詳しくは、お使いの機器の説明書をご覧ください。
- 接続が完了すると、画面に接続できた機器のデバイス名/ アドレス（AVメニュー表示中）および接続状態が表示されます。
- 接続中に接続解除にタッチすると、接続を解除することができます。再度接続する場合は、ナビから接続にタッチします。
- Bluetooth Audio機器によっては、ナビから接続にタッチしても接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器から接続してください。

Bluetooth Audio機器を切り換える

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 Bluetooth Audioにタッチする

3 (コントロールパネル)ー接続解除にタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

4 「接続状態」が「接続待機」になったら、Bluetooth Audio機器を切り換える

▼

以降の操作は、→*P141の「Bluetooth機器を切り換える」*を参照してください。

AUXを使う

AUX（外部機器）を使う

本機に接続したポータブルプレーヤーなどの外部映像機器の再生のしかたを説明します。

メモ

- 本機と外部映像機器の接続には、別売ケーブルが必要です。下記のご利用状況に応じてケーブルをご用意ください。
  - 外部映像機器とiPodを両方お使いになる場合：別売のiPod用USB変換ケーブル（AV用）が必要です。
  - RCAの外部映像機器をお使いになる場合：別売の映像・音声変換ケーブル（別売）が必要です。
  - RCA接続端子をコンソール等に取り付ける場合：別売の外部入力端子（映像/音声）をご用意しております。
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

AUX設定をする

AUXをお使いになる場合は、あらかじめAUX設定を行う必要があります。

工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーソース別設定にタッチする

2 AUX設定ー入力設定にタッチする



3 ONにタッチする



外部機器を使用しない場合は、OFFに設定します。

▼

外部機器の使用が可能になります。

AUXを再生する

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 AUXにタッチする

▼

AUXが再生されます。



ワイドモードに切り換える

4：3等の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

工場出荷時は「FULL」です。

注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 メニューを押し、AV menuにタッチする

2 AUXにタッチする

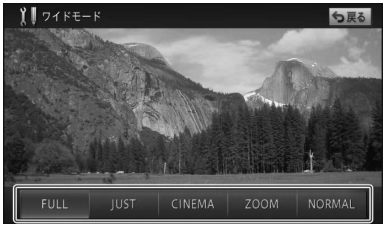
3 画面にタッチする

4 （コントロールパネル）→ワイドモードにタッチする



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

5 お好みの表示方法にタッチする

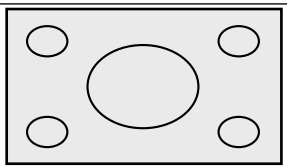


▼

表示方法が設定されます。

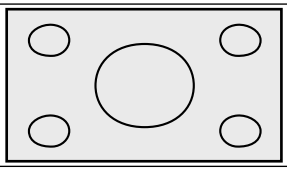
FULL（フル）

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



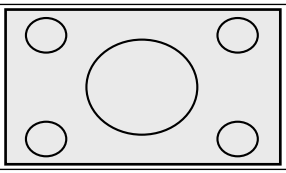
JUST(ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



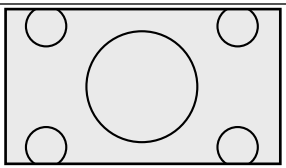
CINEMA（シネマ）

FULLとZOOMの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



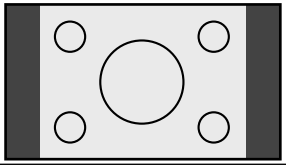
ZOOM（ズーム）

4：3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上に重なって表示されるものに適しています。



NORMAL（ノーマル）

4：3の映像をそのまま表示します。



メモ

・CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。

音質の設定・調整

オーディオ設定

本機では、お好みに合わせてオーディオの音質を設定することができます。

メモ

- オーディオ設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定が「OFF」に設定されている場合は、各種設定を行うことができます。→*P156の「消音設定をする」*
- 走行中では操作できない設定項目があります。

車形を選択する

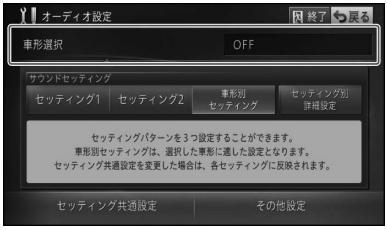
車形に適したオーディオ設定を呼び出し、車形別セッティングに反映します。

メモ

- Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、設定できません。
- 車形選択で呼び出される項目は、下記内容となります。
  - グラフィックイコライザー（車形別補正ON時有効）
  - タイムアライメント
  - スピーカー設定
  - スピーカー出力レベル
  - カットオフ
- この操作を行うと、セッティング1とセッティング2の各設定が初期化されます。

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

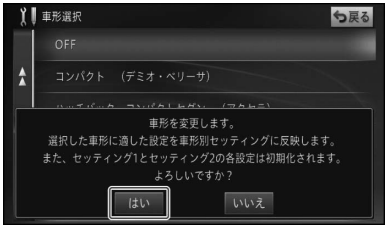
2 車形選択にタッチする



3 車形にタッチする



4 はいにタッチする



▼

車形別セッティングに反映されます。

セッティング共通設定を行う

3つ（セッティング1、セッティング2、車形セッティング）のセッティングパターンに対し、以下の項目が共通で設定できます。

- フェーダー/バランス
- ソースレベルアジャスター
- ASL（オート・サウンド・レベライザー）
- ダイナミックレンジコントロール
- サウンドフィールドコントロール
- サウンドレトリバー

メモ

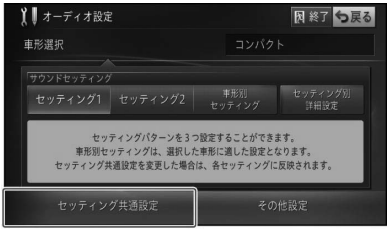
- Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、設定できません。
- 「サウンドフィールドコントロール」および「サウンドレトリバー」は、どちらか片方を設定すると、もう片方は設定不可となります。

フェーダー/バランス

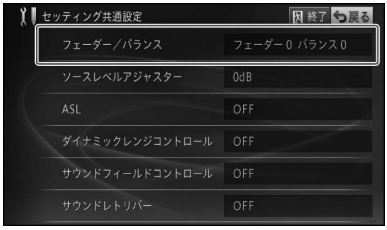
前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

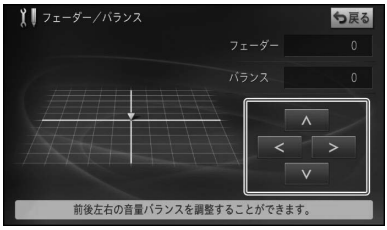
2 セッティング共通設定にタッチする



3 フェーダー/バランスにタッチする



4 ∧、∨、<、>にタッチして、前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

ソースレベルアジャスター

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。

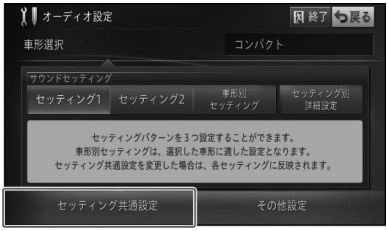
工場出荷時は「0 dB」です。

メモ

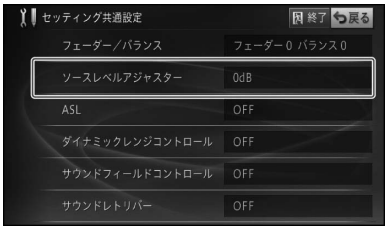
- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
  - CD/ROM-Audio/ROM-Video
  - DVD-Video/DVD-VR
  - AM/交通情報
  - SD/USB

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング共通設定にタッチする



3 ソースレベルアジャスターにタッチする



4 ＋または－にタッチする



メモ

・－8 dB～＋8 dBの範囲で2 dBごとに調整できます。

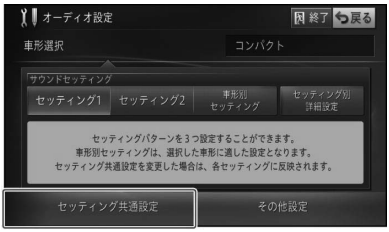
ASL（オート・サウンド・レベライザー）

ASLは、走行速度に応じて音量をリアルタイムに補正し、快適な聴き心地を保ちます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング共通設定にタッチする



3 ASLにタッチする



4 お好みの感度にタッチする



感度にタッチすると色が変わり、選択（ON）されたことを示します。設定できるレベルは、LOW、MID LOW、MID、MID HIGH、HIGHです。設定を解除するときはOFFにタッチします。

メモ

・車速信号入力線を接続している際に機能します。
・本機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調整してください。
・ASLに連動して案内音量・操作音量・受話音量・着信音量の音量も変化します。

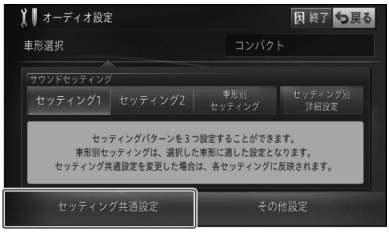
ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音の幅です。この幅を圧縮することで、音量を下げて楽しむ場合に小さな音も聞き取りやすくすることができます。

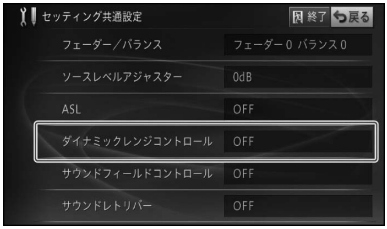
工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

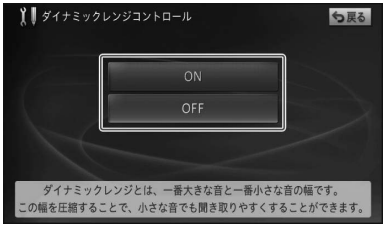
2 セッティング共通設定にタッチする



3 ダイナミックレンジコントロールにタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



サウンドフィールドコントロール

車室内にリアルな音場を再現することができ、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

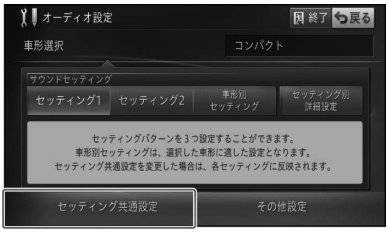
工場出荷時は「OFF」です。

メモ

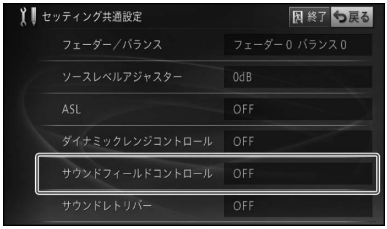
・サウンドレトリバーの設定がOFFのときのみ、この設定ができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング共通設定にタッチする



3 サウンドフィールドコントロールにタッチする



4 設定したい音場を選んでタッチする



JAZZ	ジャズクラブの音場を再現します。ライブ録音の音声に最適です。
STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
CLUB	クラブの音場を再現します。残響音の響きが少ないので、ビートの効いた音楽などに最適です。
OFF	音場設定をOFFにします。

サウンドレトリバー

圧縮音楽の音質補正機能です。MSV、SD、USB、iPod、ROM-Audioなどに記録された圧縮音楽を再生するときに効果的です。圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」はデジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生することができます。

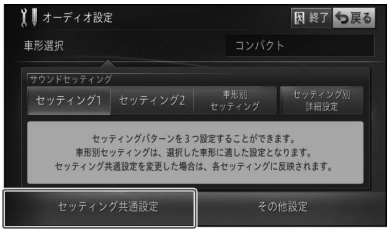
工場出荷時は「OFF」です。

メモ

・サウンドフィールドコントロールの設定がOFFのときのみ、この設定ができます。

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

2 セッティング共通設定にタッチする



3 サウンドレトリバーにタッチする



4 MODE1またはMODE2にタッチする



MODE1	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
MODE2	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。
OFF	音質補正設定を解除します。

メモ

・地上デジタルテレビ、FM、AM、交通情報受信中の場合、およびドルビーデジタル音声の場合には効果が得られません。

セッティング別詳細設定を行う

セッティングパターンを3つ（セッティング1、セッティング2、車形別セッティング）作成することができます。

セッティングパターン1および2で、設定変更が可能な項目は以下になります。

- リスニングポジション
- グラフィックイコライザー
- タイムアライメント
- スピーカー設定
- スピーカー出力レベル
- カットオフ

車形別セッティングで、設定変更が可能な項目は以下になります。

- リスニングポジション
- グラフィックイコライザー

メモ

・Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、設定できません。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2または車形別セッティングにタッチする



▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 リスニングポジションにタッチする



5 お好みのポジションにタッチする



フロントR	右ハンドル車の運転席、または左ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
フロントL	左ハンドル車の運転席、または右ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
フロント	同乗者が助手席にいるときの設定です。
オール	同乗者が後部座席にいるときの設定です。
OFF	設定を解除します。

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（Custom）からイコライザーカーブを選ぶことができます。

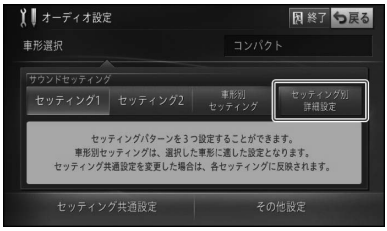
工場出荷時は「Flat」です。

メモ

- 交通情報受信中は、いったん強制的に「OFF」になります。
- 設定した調整値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2または車形別セッティングにタッチする



▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 グラフィックイコライザーにタッチする



5 お好みの設定（ファクトリーカーブ）にタッチする



Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
Powerful	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
Vocal	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
Superbass	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
Custom	Flat/Powerful/Natural/Vocal/Superbassをベースにして周波数選択/レベル調整を行った設定値になります。

メモ

- 車形別補正にタッチすると、車形別設定の補正を反映するかしないか（ON/OFF）を設定できます。車形設定が未設定の場合は選択できません。→*P296の「車形を選択する」*

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かく補正することができます。

メモ

- 交通情報を受信しているときは、調整できません。

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2または車形別セッティングにタッチする



▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 グラフィックイコライザーにタッチする



5 補正したいファクトリーカーブを選び、詳細設定にタッチする



6 補正する周波数を選び、∧、∨にタッチしてレベルを補正する



50 Hz、80 Hz、125 Hz、200 Hz、315 Hz、500 Hz、800 Hz、1.25 kHz、2 kHz、3.15 kHz、5 kHz、8 kHz、12.5 kHz から周波数を選べます。
±0を基準に±6段階の範囲で調整できます。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。

この設定は、リスニングポジションをフロントLもしくはフロントRに設定しているときのみ可能です。

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2にタッチする



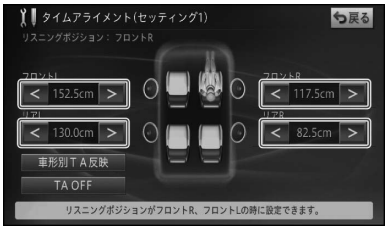
▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 タイムアライメントにタッチする



5 各スピーカーの＜または＞にタッチして設定する



▼

タッチするごとに、スピーカーからの距離が0 cm～500.0 cmの間で2.5 cm単位で切り換わります。

TA OFF/TA OFF解除	設定を有効/無効にします。
車形別TA反映	車形設定の設定値が反映されます。

メモ

- 車形別TA反映は、車形設定が未設定の場合は選択できません。→*P296の「車形を選択する」*

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

各スピーカーの工場出荷時は以下のとおりです。

フロント：「LARGE」

リア：「LARGE」

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2にタッチする



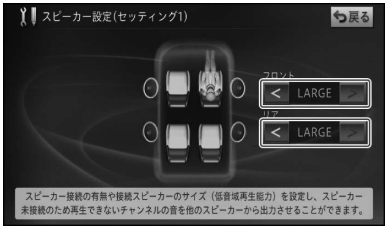
▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 スピーカー設定にタッチする



5 各スピーカーの＜または＞にタッチして設定する



▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

フロント	SMALL⇔LARGE
リア	LARGE⇔SMALL⇔OFF

メモ

- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。

スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100 Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。

工場出荷時は「0 dB」です。

メモ

・スピーカー設定でOFFにしたスピーカーは操作できません。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2にタッチする



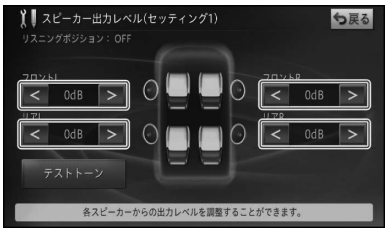
▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 スピーカー出力レベルにタッチする



5 設定したいスピーカーの、＜または＞にタッチして設定する



▼

タッチするごとに、スピーカーの出力が－24 dB～＋10 dBの間で切り換わります。

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調整し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2にタッチする



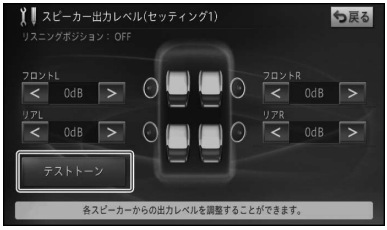
▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

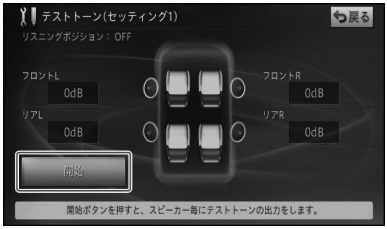
4 スピーカー出力レベルにタッチする



5 テストトーンにタッチする

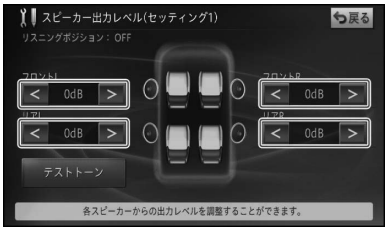


6 開始にタッチする



約2秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。
フロントL→フロントR→リアR→リアL→フロントLに戻る
テストトーン出力中のスピーカーには、<、>が表示され、調整が可能になります。

7 <または>にタッチする



▼

タッチするごとに、スピーカーの出力が−24 dB ～+ 10 dBの間で切り換わります。このモードで調整した出力レベルは、スピーカー出力レベル設定で調整したレベルと同じ値になります。

メモ

- スピーカー設定で「OFF」にしたスピーカーは飛び越されます。
- 停止にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。
- 戻るにタッチすると、スピーカー出力レベル設定画面に戻ります。

カットオフ

複数のスピーカーを接続している場合、それぞれのスピーカーから出力される周波数帯域を設定することができます。

工場出荷時の設定は、スピーカー設定の設定値によって異なります。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 セッティング1またはセッティング2にタッチする



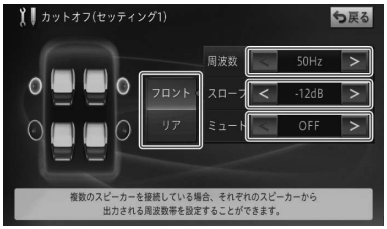
▼

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

4 カットオフにタッチする



5 設定したいスピーカーにタッチし、＜または＞にタッチして設定する



▼

タッチするごとに、以下のように切り換わります。

周波数	50 Hz⇔63 Hz⇔80 Hz⇔100 Hz⇔125 Hz⇔160 Hz⇔200 Hz
スロープ	-18 dB⇔-12 dB⇔-6 dB
ミュート	OFF⇔ON

メモ

・スピーカー設定で「OFF」にしているスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」に設定しているスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。

・選択したスピーカーのミュートをONにすると、周波数、スロープは設定できません。また、設定画面を抜けると、ミュートの設定値は自動的にOFFに戻ります。

設定したセッティングをコピーする

セッティング別詳細設定で行った設定内容を他のセッティングパターンにコピーしたり、車形別セッティングをセッティング1または2にコピーすることができます。

メモ

・Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、設定できません。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 セッティング別詳細設定にタッチする



3 コピー元となるセッティングを選んで、設定コピーにタッチする

例：セッティング1選択時



4 はいにタッチする



▼

セッティング1の設定値がセッティング2にコピーされます。

メモ

- コピーされた設定値をもとに、カスタム設定を行うこともできます。

セッティングパターンを切り換える

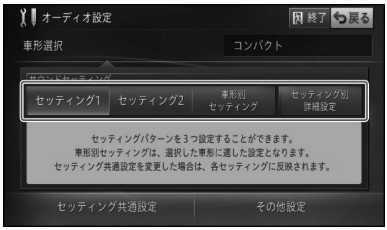
セッティング別詳細設定で登録したセッティングパターンを切り換えます。

メモ

- Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、設定できません。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

2 切り換えたいセッティングパターンにタッチする



▼

選択したセッティングパターンに切り換わります。

メモ

- 車形別セッティングに切り換えたい場合は、車形の設定を行ってください。→*P296の「車形を選択する」*

デジタルアッテネーター

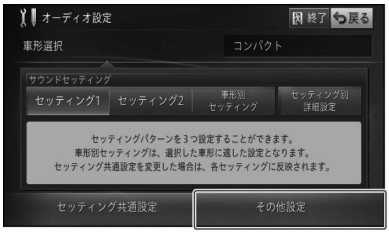
イコライザーカーブなどの調整による音の歪みを低減します。通常はHIGHで使用することを推奨します。ノイズが気になる場合はLOWにします。

メモ

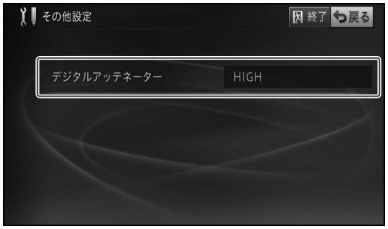
- Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、設定できません。
- AVソースがOFFのときのみ、デジタルアッテネーターの設定ができます。

1 メニューを押し、設定・編集ーオーディオ設定にタッチする

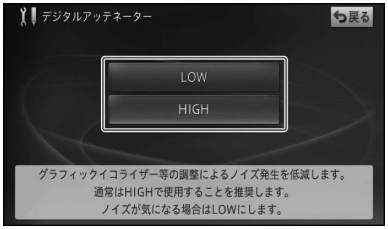
2 その他設定にタッチする



3 デジタルアッテネーターにタッチする



4 LOWまたはHIGHにタッチし、設定を切り換える



Bose®サウンドシステム設定

Bose®アダプタを本機に接続する場合に設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- Bose®サウンドシステム設定を行うには、AVソースをOFFにしてください。
- Bose®サウンドシステム設定を変更すると、オーディオ設定が工場出荷時の状態に戻ります。
- Bose®サウンドシステム設定は、お車にマツダ純正Bose®アダプタが装備されている場合のみ正しく作動します。お持ちのお車がBose®仕様かどうかは、お近くの販売店でご確認ください。
- Bose®サウンドシステム設定を「ON」にしている時は、下記項目以外のオーディオ設定は無効になります。
  - フェーダー/バランス
  - ソースレベルアジャスター

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 その他設定にタッチする



3 車両別設定にタッチする



4 Bose®サウンドシステム設定にタッチする



5 ONまたはOFFにタッチする



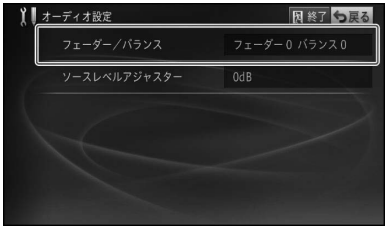
ON	Bose®アダプタを接続します。
OFF	Bose®アダプタを接続しません。

フェーダー/バランス

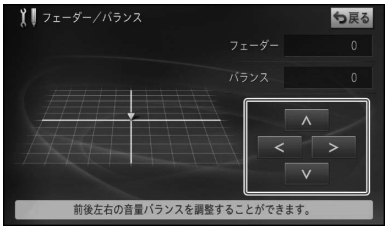
前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

2 フェーダー/バランスにタッチする



3 ∧、∨、<、>にタッチして、前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

ソースレベルアジャスター

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。

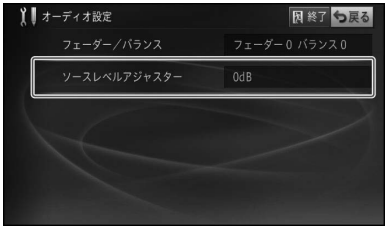
工場出荷時は「0 dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
  - CD/ROM-Audio/ROM-Video
  - DVD-Video/DVD-VR
  - AM/交通情報
  - SD/USB

1 メニューを押し、設定・編集→オーディオ設定にタッチする

2 ソースレベルアジャスターにタッチする



3 +または−にタッチする



メモ

- −8 dB～+8 dBの範囲で2 dBごとに調整できます。

その他の機能

音声操作機能

音声によるナビゲーション機能とAV機能の操作などを行うことができます。
音声で操作するときは、本機に発話を正しく認識させる必要があります。以下のポイントに留意しながら操作してください。

メモ

・ナビゲーションの状態によっては、説明どおりにならない場合があります。また、操作途中で問い合わせの音声案内がされる場合があります。その場合は、音声案内に従って操作を続けてください。

発話を正しく認識させるには

オーディオの音量を設定する

音声操作中のオーディオの音量や音声操作時の消音設定を行うことができます。→*P156の「消音設定をする」*

音声認識語を正しく発音する

音声認識語を正しく、はっきりと発話してください。にごらない音をにごって発話すると、正しく認識されない原因になります。また、読みかたのルール（音声認識語）に従わない発話も正しく認識されないことがあります。

はっきりと明瞭に発話する

早口になったり、口ごもったりしないように、はっきりと明瞭に発話してください。大きな声を出す必要はありません。

自動車の窓は閉めておく

風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になるため、自動車の窓は必ず閉めてください。

音声案内中は発話しない

本機から案内の音声や応答メッセージが出ているときは、発話しないでください。

基本的な音声操作のしかた

工場出荷時は、類似コマンド表示機能がONに設定されています。→*P314の「類似コマンド表示機能について」*も併せてご覧ください。

操作をはじめるとき

発話にタッチして、音声認識語を発話してください。

直前の操作を取り消したいとき

“違う”または“戻る”と発話してください。直前の画面に戻り、発話待ちの状態になります。

メモ

・誤認識された場合も同じ操作で取り消しできます。取り消した認識語は一時的に認識候補から外されるため、次回操作時に正しく認識されやすくなります。

操作を途中でやめたいとき

“中止する”と発話してください。音声操作前の画面に戻ります。

NAVIを押すと、音声操作を中止して現在地画面になります。

複数の候補があるとき

同じヨミの施設名称が2つ以上あるときは、候補がリスト表示されます。目的の施設名称にタッチして選択してください。

発声の特徴を学習させる

音声操作を利用する際、ドライバーの発声の特徴を自動的に学習して、認識率を向上させることができます。（音声認識話者学習）

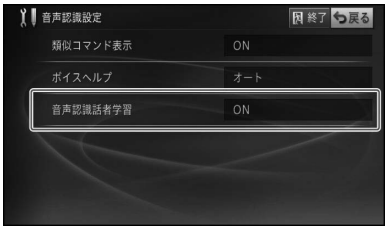
音声認識話者学習を設定する

1 **メニュー**を押し、**設定・編集**ー**システム設定**にタッチする

2 **音声認識設定**にタッチする



3 音声認識話者学習にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



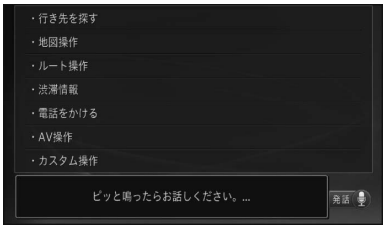
ON	発声の特徴を学習し、学習したデータを音声認識に使用します。
OFF	発声の特徴は学習せず、すでに学習したデータも音声認識には使用しません。

メモ

- ①ON→②OFF→③ONと設定を切り換えた場合でも、①で学習したデータは継続して使用されます。ただし、①と③で使用者が異なる場合は、いったん音声認識話者学習の設定を初期化する必要があります。→*P146の「設定初期化」*

発話できる言葉がわからないとき

発話できる言葉（音声認識語）の一覧をボイスヘルプとして表示させることができます。ボイスヘルプの項目が1画面で表示できないときは複数のページに表示されます。その場合、“次のページ”、“前のページ”と発話するか、タッチ操作でページを送ることができます。



ボイスヘルプに表示された音声認識語を発話することで、音声操作を行うことができます。操作に慣れるまでは、安全な場所に停車して、ボイスヘルプに表示された音声認識語を発話してください。

メモ

- 類似コマンド表示機能との同時使用はできません。工場出荷時は、類似コマンド表示がONに設定されています。OFFに設定してから操作してください。→*P314の「類似コマンド表示機能について」*
- 以下の画面からの操作では、ボイスヘルプを認識しても一覧を表示せずに、発話可能な音声認識語を読み上げるだけの場合があります。
  - スクロール停止中画面
  - 音声操作で周辺検索した場合の検索結果画面
- 走行中はボイスヘルプは表示されません。“ボイスヘルプ”と発話すると、発話できる音声認識語がアナウンスされます。（停車中でもアナウンスされます。）
- ボイスヘルプに表示される言葉以外にも、発話できる音声認識語があります。

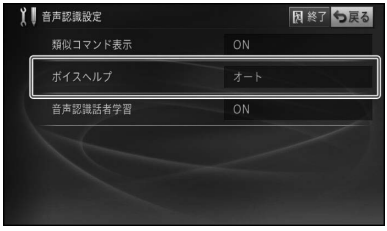
ボイスヘルプを設定する

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

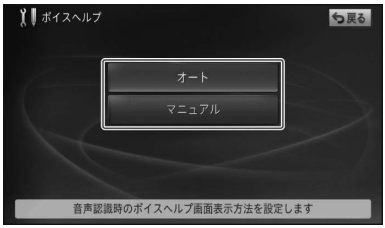
2 音声認識設定にタッチする



3 ボイスヘルプにタッチする



4 オートまたはマニュアルにタッチする



オート	発話にタッチしたときにボイスヘルプの一覧を表示します。
マニュアル	発話にタッチしたときには、ボイスヘルプの一覧を表示しません。“ボイスヘルプ”と発話して、一覧を表示します。

類似コマンド表示機能について

発話された言葉から、本機が認識した音声認識語とその音声認識語に近い言葉をリスト表示し、リストから最適な音声認識語を選ぶことで誤認識を軽減し、音声案内の操作をスムーズにすることができます。（類似コマンド表示）



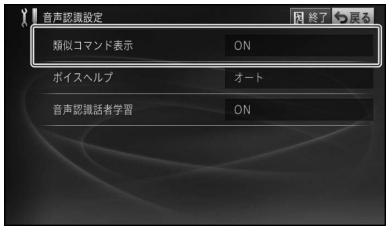
類似コマンド表示を設定する

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 音声認識設定にタッチする



3 類似コマンド表示にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	類似コマンド表示を使用します。
OFF	類似コマンド表示を使用しません。

ナビゲーションの音声操作

ナビゲーション機能を音声で操作するときは、それぞれの場合で以下の音声認識語を発話します。

名称で探す

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“めいしょう”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、施設の名称を発話する

▼

該当する地点が地図表示されます。

4 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

目的地までのルートが探索されます。

メモ

- “○○へいく”、“○○へたちよる”、“○○へでんわをかける”、“○○のちずをみる”というように連続して発話することができます。

- “○○けんのしせつ”と発話することで、都道府県を指定して施設を探すことができます。*→P317の「住所で探すときの都道府県名の発話のしかた」*
- “めいしょう”に続けて、登録地名や検索履歴名を発話することもできます。

住所で探す

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“じゅうしょ”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を発話する

都道府県名と市区町村名は、分けて発話することもできます。

4 「ピッ」と音が鳴ったら、残りの住所を発話する

▼

該当する地点が地図表示されます。

5 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

目的地までのルートが探索されます。

メモ

- 音声操作でルートを探索した場合は、探索されるルートは1本となります。
- 住所検索途中で代表地点を表示したい場合は“しゅようぶ”と発話してください。
- リストに表示される「/」以降の文字は続きの住所の情報を表します。
  例：長崎県島原市の住所を検索した場合、①「島原市/住所」と②「島原市/番地」と表示され、続きの住所(町名)を発話したい場合は①、番地を発話したい場合は②を選択します。

電話番号で探す

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“でんわばんごう”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、電話番号を発話する

▼

該当する地点が地図表示されます。

4 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

目的地までのルートが探索されます。

メモ

- 電話番号は分けて発話することも、続けて発話することもできます。分けて発話する場合は、電話番号の種類に合わせて、以下のように発話します。
  - 一般電話番号：「市外局番＋市内局番＋残りの番号」
  - フリーダイヤル：「0120＋次の3桁＋残りの3桁」
  - ナビダイヤル：「0570＋次の3桁＋残りの3桁」
  - その他の電話番号：「000、010以外の0＊0＋次の4桁＋残りの4桁」

検索履歴から探す

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“けんさくりれき”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、検索履歴名を発話する

▼

該当する地点が地図表示されます。

4 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

目的地までのルートが探索されます。

メモ

- “さいきんさがしたばしょ”と発話することもできます。
- 発話できる検索履歴名は、一番新しいものから25件までとなります。

登録地から探す

メモ
・ヨミが入力されている登録地が対象となります。

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“とうろくち”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、登録地名を発話する

▼

該当する地点が地図表示されます。

4 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

目的地までのルートが探索されます。

メモ
・発話できる登録地名は、最近検索した、追加・編集した登録地から100件です。
・“○○へいく”、“○○へたちよる”、“○○へでんわをかける”、“○○のちずをみる”というように連続して発話することができます。

周辺で探す

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“しゅうへんしせつ”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、“コンビニ”と発話する

▼

該当する地点が地図表示されます。

4 発話にタッチし、「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

目的地までのルートが探索されます。

メモ
・“コンビニ”などのジャンル名の代わりに“セブンイレブン”などのサブジャンル名を発話することもできます。
・発話→“しゅうへんのコンビニ”などのように発話することもできますが、発話→“コンビニ”では操作できません。
・ルート案内中は、ルート周辺を優先して探します。
・“もくてきちしゅうへんの○○”で目的地周辺の施設を検索することもできます。

自宅へ帰るルートを探索する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“じたくへかえる”と発話する

▼

自宅までのルートが探索されます。

自宅へ立ち寄るルートを探索する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“じたくへたちよる”と発話する

▼

自宅に立ち寄るルートが探索されます。

カーソル位置を目的地にする

1 目的地の場所に地図をスクロールさせる

2 発話にタッチする

3 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへいく”と発話する

▼

カーソル位置を目的地としてルートが探索されます。

カーソル位置に立ち寄る

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここへたちよる”と発話する

▼

カーソル位置を立寄地としてルートが探索されます。

場所を探したあとの音声操作

音声で場所を探したあとは、以下の音声認識語を発話して、操作することができます。

“ここへいく”	選択している施設を目的地として新規にルートを探索できます。
“たちよる”	選択している施設に最初に立ち寄る立寄地を追加します。ルート案内中でない場合は、操作できません。
“ちずをみる”	選択している施設を中心とした地図を表示します。
“でんわをかける”	選択している施設に電話をかけます。周辺検索や電話番号検索の場合は、操作できません。

周辺検索では、次の音声認識語も発話することができます。

“じしゃしゅうへんでさがす”	自車周辺を中心に検索し直します。
“ルートしゅうへんでさがす”	ルート周辺を中心に検索し直します。
“ここをとうろくする”	選択している施設または場所を登録します。
“マップクリップ”	選択している施設情報（緯度経度など）をマップクリップで表示します。
“まえのしせつ”	前の施設が表示されます。
“つぎのしせつ”	次の施設が表示されます。

名称で探すときに発話できる施設のジャンル

施設名で場所を探すときは、次のジャンルの施設名を発話できます。

全国で検索可能なジャンル

ヨットハーバー、フェリーターミナル、空港、遊園地、リゾート施設、ゴルフ場、スキー場、名所・旧跡、城・城跡、宿泊施設（ホテル、ビジネスホテル、旅館の一部）

隣々接県まで検索可能なジャンル

駅名、高速施設、キャンプ場、動物園、植物園、水族館、公園、プラネタリウム・天文台、野球場、プール、博物館、美術館、カー用品店、観光牧場、劇場・ホール、展示場、峠、灯台、温泉、海水浴場、公営ギャンブル場、スケート場、競技場、映画館、資料館、道の駅

施設名称の発話のしかた

施設の名称を発話するときは、正式名称で発話するのが原則ですが、「東京国際空港」と「羽田空港」のように、通称が広く一般に使われている場合は、どちらで発話しても受け付けられます。

周辺で探すときに発話できるジャンル

周辺施設を探すときは、次のジャンル名やサブジャンル名または法人名を発話できます。

ジャンル名やサブジャンル名または法人名が発話できるジャンル

コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、駐車場、ファミリーレストラン、ファストフード、カー用品店、ATM（“エーティーエム”）、家電店、ホームセンター、宿泊施設、カーディーラー、自動車修理・整備、レンタカー、バイク販売店、その他車・交通、スーパーマーケット、ディスカウントストア、デパート、衣料品店、おもちゃ屋、ベビー用品店、携帯電話販売店、スポーツ用品店、リサイクルショップ、薬局、その他　買う、病院、学校、都市銀行、地方銀行、第2地方銀行、その他金融機関、その他　生活、ペットと楽しむ施設、味覚狩り、巡礼、その他　遊ぶ・泊まる、回転寿司店、喫茶店・カフェ、その他 食べる
ATMのサブジャンル名を直接発話する場合は、“周辺の○○銀行ATM”と発話してください。

ジャンル名のみのジャンル

駅、トイレ、ショッピングモール、郵便局、身障者用トイレのある宿泊施設、サウナ・健康ランド、ゴルフ場、ゴルフ練習場、キャンプ場、公園、水族館、動物園、遊園地、映画館、ボウリング場、体育館・アリーナ、トレーニングセンター、身障者用トイレのあるレストラン、寿司屋、うどん・そば店、パスタ店、ラーメン店、カレー店、中華料理店、焼肉・韓国料理店、追加データ

住所で探すときの都道府県名の発話のしかた

都道府県名を発話するときは、名称をそのまま発話するのが原則ですが、“千葉県”と発話しても「滋賀県」や「佐賀県」などに認識されてしまうときは、“関東の千葉県”などと、地方名を都道府県名の前に付けて発話することもできます。

地方名	都道府県名
北海道の～	北海道
東北の～	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東の～	茨城県、栃木県、山梨県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
信越の～	新潟県、長野県
中部の～	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
北陸の～	富山県、石川県、福井県
東海の～	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

地方名	都道府県名
近畿の～	三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国の～	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国の～	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州の～	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄の～	沖縄県

現在地を表示する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“げんざいち”と発話する

▼

現在地の地図が表示されます。

目的地の地図を表示する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“もくてきちのちずをみる”と発話する

▼

目的地の地図が表示されます。

自宅の地図を見る

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“じたくのちずをみる”と発話する

▼

自宅の地図が表示されます。

地図スケールを変更する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“しょうさい”または“こういき”と発話する

▼

地図が縮小または拡大されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“○○メータースケール”(例:“にひゃくメータースケール”)

メモ

- 10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 kmスケールが発話できます。

地図の表示方法を変更する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“スカイビュー”と発話する

▼

スカイビュー表示に切り換わります。
以下の音声認識語も発話できます。
“ノーマルビュー”、“ツインビュー”、“ドライバーズビュー”、“えーぶいサイドビュー”、“ハイウェイモード”

地図方位を変更する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ノースアップ”または“ヘディングアップ”と発話する

▼

地図方位が切り換わります。

ターゲットマップを設定する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“もじかくだい”と発話する

▼

文字拡大表示に切り換わります。
以下の音声認識語も発話できます。
“どうろじゅうし”、“つうじょうひょうじ”

100mスケール一方通行を表示/非表示にする

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ひゃくメータースケールいっぽうつうこうひょうじ”と発話する

▼

100mスケールで一方通行のマークを表示します。
以下の音声認識語も発話できます。
“ひゃくメータースケールいっぽうつうこうひひょうじ”

ボトルネック踏切マークを表示/非表示する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ボトルネックふみきりマークをひょうじ”と発話する

▼

100mスケールでボトルネック踏切マークを表示します。
以下の音声認識語も発話できます。
“ボトルネックふみきりマークをひひょうじ”

登録したスケールにする

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“とうろくスケールにする”と発話する

▼

登録してある地図スケールに切り換わります。

現在地またはカーソル位置を登録する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ここをとうろくする”と発話する

▼

現在地またはカーソル位置が登録されます。

条件を変えてルートを再探索する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“すいしょう”と発話する

▼

推奨条件でルートが探索されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“かんせんゆうせん”、“べつルート”、“ゆうりょうひょうじゅん”、“ゆうりょうかいひ”、“フェリーひょうじゅん”、“フェリーゆうせん”、“フェリーかいひ”、“エコゆうせん”、“エコさいゆうせん”、“じかんさいゆうせん”

ルートを確認する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ルートプロフィール”と発話する

▼

ルートプロフィールが表示されます。

立寄地を先送りする

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“たちよりちおくり”と発話する

▼

立寄地を送ります。

次の案内地を確認する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“つぎのあんないち”と発話する

▼

次の案内地が案内されます。

ルートを消去する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ルートしょうきょ”と発話する

▼

案内中のルートが消去されます。

乗降ICの指定を解除する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“いりぐちでぐちしていかいじょ”と発話する

▼

乗降ICの指定が解除されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“いりぐちしていかいじょ”、“でぐちしていかいじょ”

一般道または有料道に自車位置を修正する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“じしゃいちしゅうせい”と発話する

▼

自車位置が修正されます。

VICS情報を見る

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“えふえむずけいじょうほう”と発話する

▼

VICS情報が表示されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“えふえむもじじょうほう”、“さいしんのびーこんりれきじょうほう”

VICS放送局を変更する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“びっくすほうそうきょく”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、VICSの放送局名を発話する

▼

VICS放送局が変更されます。

渋滞情報を確認する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“じゅうたいチェック”と発話する

▼

渋滞情報が案内されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“じゅうたいあんない”、“つぎのじゅうたい”、“じゅうたい”

渋滞情報を取得する

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“リアルタイムプローブじゅうたいじょうほう”と発話する

▼

リアルタイムプローブ渋滞情報が案内されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“オンデマンドびっくすじょうほう”、“じゅうたいじょうほうをしゅとくする”、“オンデマンドびっくす”

電話をかける

メモ

- 携帯電話が接続され、通話可能なときに操作できます。

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“でんわをかける”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、“でんわばんごうでかける”と発話する

4 「ピッ」と音が鳴ったら、電話番号を発話する

▼

発話にタッチすると、電話が発信されます。
以下の音声認識語も発話できます。
“とうろくちへでんわをかける”、“メモリダイヤルでかける”、“リダイヤル”、“○○（登録地名称）へでんわをかける”、“じたくへでんわをかける”

メモ

- 電話番号は分けて発話することも、続けて発話することもできます。分けて発話する場合は、電話番号の種類に合わせて、以下のように発話します。
  - 一般電話番号：「市外局番＋市内局番＋残りの番号」
  - フリーダイヤル：「0120＋次の3桁＋残りの3桁」
  - ナビダイヤル：「0570＋次の3桁＋残りの3桁」
  - その他の電話番号：「000、010以外の0＊0＋次の4桁＋残りの4桁」

カスタム操作をする

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“カスタムボタンそうさ”と発話する

3 「ピッ」と音が鳴ったら、各コマンドを発話する

ショートカットコマンドから発話する

ショートカットコマンドで、以下の音声認識語が発話できます。

“カスタムボタンダイレクト”、“カスタムボタンリスト○（1 ～ 10）”、“マルチワードけんさくでさがす”、“ジャンルでさがす”、“じゅうしょでさがす”、“でんわばんごうでさがす”、“しゅうへんしせつをさがす”、“りれき・とうろくちからさがす”、“ちてんをとうろくする”、“しゅうへんけんさくマークをおん/おふする”、“えふえむたじゅうずけいじょうほう”、“えふえむたじゅうもじじょうほう”、“さいしんのビーコンりれきじょうほう”、“てんきよほう”、“センサーがくしゅうじょうきょう”、“エコステータスしょうさい”、“ルートじょうほう”、“べつルートたんさく”、“ロゴマークをおん/おふする”、“おんりょうせってい”

設定コマンドから発話する

設定コマンドで、以下の音声認識語が発話できます。

“ひゃくメータースケールいっぽうつうこうひょうじをおん/おふする”、“ちずほういをきりかえる”、“ハイウェイサイドマップをきりかえる”、“シティマップをおん/おふする”、“ロゴマークひょうじスケールをきりかえる”、“ボトルネックふみきりマークひょうじをおん/おふする”、“オートリルートせっていをきりかえる”、“オートフリーズームをきりかえる”、“じゅうたいじょうほうひょうじたいしょうどうろをきりかえる”、“じゅんちょうひょうじをおん/おふする”、“じょうほうウィンドウをきりかえる”、“げんざいちじょうほうをきりかえる”、“じゅうたいじょうほうれんぞくしゅとくせっていをおん/おふする”

カスタマイズ専用コマンドから発話する

カスタマイズ専用コマンドで、以下の音声認識語も発話できます。

“カスタムボタンリストをひょうじする”、“ターゲットマップをきりかえる”、“とうちゃくよそうじこくひょうじをきりかえる”、“ガイドサイレンスをおん/おふする”、“おんせいあんないをおん/おふする”、“じしゃいちをべつどうろにしゅうせいする”、“じしゃほういをはんてんする”、“ハイウェイモードでぐちしせつひょうじ”、“ハイウェイモードえすえー/ぴーえーしせつおくり”、“リクエストあんない”、“ミュートをおん/おふする”

オーディオの音声操作

オーディオ機能を音声で操作するときは、それぞれの場合で以下の音声認識語を発話します。

メモ

- 本機と組み合わせた製品の音声操作はできません。操作できる音声認識語については、ボイスヘルプでご確認ください。→*P313の「発話できる言葉がわからないとき」*
- お使いの製品によって、認識できる音声認識語は異なります。

AVソースを切り換える

メモ

- AVソースの切り換えは、本機内蔵機能のみ発話できます。また切り換え可能な状態になっていないAVソースには切り換えられません。

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、AVソース名を発話する

▼

発話したAVソースの再生が開始されます。
以下の音声認識語が発話できます。
“DVD（ディーブイディー）”、“MSV（エムエスブイ）”、“ROM（ロム）”、“CD（シーディー）”、“AM（エーエム）”、“FM（エフエム）”、“こうつうじょうほう”、“DTV（ディーティーブイ）”、“AUX（エーユーエックス）”、“iPod（アイポッド）”、“Bluetooth Audio（ブルートゥース　オーディオ）”、“USB（ユーエスビー）”、“SD（エスディー）”

メモ

- 各AVソースの操作は、そのAVソースに切り換わっているときのみ操作できます。→*P180の「AVソースを切り換える」*

AVソースをOFFにする

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、“ソースオフ”と発話する

▼

AVソースがOFFになります。

画面の切り換えを行う

1 発話にタッチする

2 「ピッ」と音が鳴ったら、切り換えたい画面名称を発話する

▼

画面が切り換わります。
以下の音声認識語が発話できます。
“ナビがめん”

地上デジタルテレビの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“○○○（放送局名）”、“つぎのチャンネル”、“まえのチャンネル”、“プリセット○○”、“サービスきりかえ”、“バンドきりかえ”

メモ

- 地上デジタルテレビ以外のAVソースの時に放送局名を発話すると、地上デジタルテレビの放送局が優先されて呼び出されます。

ラジオの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“○○○（放送局名）”、“まえのほうそうきょく”、“つぎのほうそうきょく”、“プリセット○○”、“バンドきりかえ”

DVDビデオの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“チャプターアップ”、“チャプターダウン”、“タイトルアップ”、“タイトルダウン”

ROMの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“ファイルアップ”、“ファイルダウン”、“トラックアップ”、“トラックダウン”、“フォルダーアップ”、“フォルダーダウン”

CDの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“トラックアップ”、“トラックダウン”

ミュージックサーバーの操作

通常再生時

以下の音声認識語が発話できます。
“トラックをさがす”、“○○○（プレイリスト名称）”、“ジャンル”、“オリジナル”、“マイミックス”、“アルバム”、“アーティスト”、“トラックをさがす”、“マイミックスについか”、“トラックアップ”、“トラックダウン”、“プレイリストアップ”、“プレイリストダウン”、“フィーリング”、“おこのみさいせい”、“プレイモード”、“ボーカルモード”、“ボーカルモードをかいじょする”、“つうじょうさいせい”

メモ

- グループのヨミ（例：“オリジナル”）を発話しただけでは再生は行われません。発話したグループに含まれるプレイリストのヨミも発話することで、再生が開始されます。
- “トラックを探す”を発話しただけでは再生は行われません。続けてトラックのヨミを発話することで、再生が開始されます。ヨミが登録できるのはCD録音コンテンツのみです。
- 音声認識で発話できるミュージックサーバーのプレイリスト名は、最近聴いた、登録した、編集した曲が含まれるプレイリストから1 000件です。トラックは、現在再生中のプレイリストのうち、最近聴いた、編集した曲から100件です。
- “フィーリング”発話後は、“あかるいきょく”、“ノリがいいきょく”、“しずかなきょく”、“かなしいきょく”、“いやされるきょく”が発話できます。

お好み再生時

以下の音声認識語が発話できます。
“ジャンル”、“アーティスト”、“アルバム”、“フィーリング”、“テンポ”、“ソング”、“オール”

Bluetooth Audioの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“トラックアップ”、“トラックダウン”、“グループアップ”、“グループダウン”

iPodの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“ソングアップ”、“ソングダウン”、“コントロール／アプリモード”、“コントロール／アプリモードをおんにする”、“コントロール／アプリモードをかいじょする”、“コントロール／アプリモードをおふにする”

SDの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“トラックアップ”、“トラックダウン”、“ファイルアップ”、“ファイルダウン”、“フォルダーアップ”、“フォルダーダウン”、“ミュージック”、“ビデオ”

USBの操作

以下の音声認識語が発話できます。

“トラックアップ”、“トラックダウン”、“ファイルアップ”、“ファイルダウン”、“フォルダーアップ”、“フォルダーダウン”

カスタム機能

よく使う機能をカスタムボタンに設定して、すばやく実行できる機能です。カスタム機能には、カスタムボタンダイレクト（1機能ダイレクト実行）とカスタムボタンリスト（10機能リスト選択）の2種類があります。

カスタムボタンを使う

カスタムボタンダイレクト、カスタムボタンリストを使って機能を実行します。

カスタムボタンダイレクトを使う

1 Cを押す

▼

設定された機能が実行されます。

メモ

・カスタムボタンに「MUTEをON/OFFする」以外の機能が割り当てられている場合は、AVソース画面やメニュー画面などから操作しても機能しません。地図画面から操作してください。

カスタムボタンリストを使う

1 Cを長く押す

▼

カスタムボタンリストが表示されます。

2 機能を選んでタッチする



▼

選んだ機能が実行されます。

カスタムボタンダイレクトを設定する

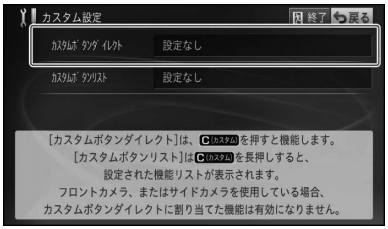
カスタムボタンダイレクトには、1機能を設定することができます。

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

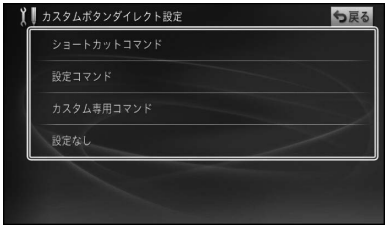
2 カスタム設定にタッチする



3 カスタムボタンダイレクトにタッチする



4 設定したい機能のグループにタッチする



5 設定したい機能にタッチする



▼

選んだ機能がカスタムボタンダイレクトに設定されます。

カスタムボタンリストを設定する

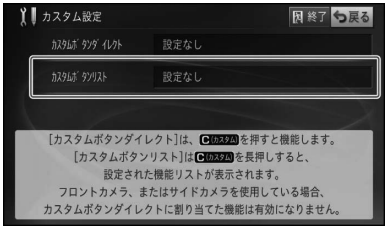
カスタムボタンリストには、最大10機能を設定することができます。

1 メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする

2 カスタム設定にタッチする



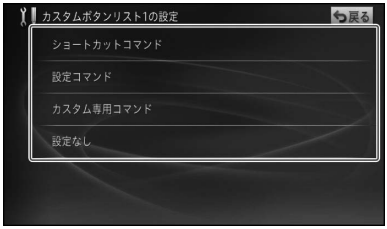
3 カスタムボタンリストにタッチする



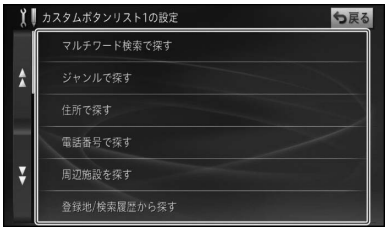
4 機能を割り付けたい番号にタッチする



5 設定したい機能のグループにタッチする



6 設定したい機能にタッチする



▼

選んだ機能がカスタムボタンリストの選んだ番号に設定されます。引き続き機能を設定することができます。

カスタム設定できる機能(コマンド)一覧

設定できるコマンドは、ショートカットコマンド、設定コマンド、カスタム専用コマンドがあり、それぞれのコマンドで設定できる機能を選択します。

ショートカットコマンド

ショートカットコマンドで設定できる機能は、以下の通りです。

- マルチワード検索で探す
- ジャンルで探す
- 住所で探す
- 電話番号で探す
- 周辺施設を探す
- 登録地/検索履歴から探す
- 地点を登録する
- 周辺検索マークをON/OFFする
- FM多重図形情報
- FM多重文字情報
- 最新のビーコン履歴情報
- 天気予報
- センサー学習状況
- エコステータス詳細
- ルート情報
- 別ルート探索
- ロゴマークをON/OFFする
- 音量設定

設定コマンド

設定コマンドで設定できる機能は、以下の通りです。

- 100 mスケール一方通行表示をON/OFFする
- 地図方位を切り換える
- ハイウェイサイドマップを切り換える
- シティマップをON/OFFする
- ロゴマーク表示スケールを切り換える
- ボトルネック踏切マーク表示をON/OFFする
- オートリルート設定を切り換える
- オートフリーズームを切り換える
- 渋滞情報表示対象道路を切り換える
- 順調表示をON/OFFする
- 情報ウィンドウを切り換える
- 現在地情報を切り換える
- 渋滞情報連続取得設定をON/OFFする

カスタム専用コマンド

カスタム専用コマンドで設定できる機能は、以下の通りです。

- カスタムボタンリストを表示する
- ターゲットマップを切り換える
- 到着予想時刻表示を切り換える
- 音声案内をON/OFFする
- 自車位置を別道路に修正する
- 自車方位を反転する
- ハイウェイモード出口施設表示
- ハイウェイモードSA/PA施設送り
- リクエスト案内
- ガイドサイレンスをON/OFFする
- MUTEをON/OFFする
- メール送信設定(新規)
- メール送信設定(確認/編集)
- 連続録画を開始/停止する
- イベント録画をする・インデックスをつける

メモ

・「メール送信設定(新規)」、「メール送信設定(確認/編集)」は、フォトリモ@ナビ対応携帯電話を接続したときに表示され、カスタムキーにメール送信機能を割り当てたり、割り当てた内容を確認・編集することができます。

フロントカメラ・サイドカメラを使う場合

本機に別売のフロントカメラ/サイドカメラを接続し、カメラの入力設定(→*P354の「フロントカメラの入力設定をする」*)をONに設定した場合は、カスタム設定に関わらず、Ⓒを押すと、フロントカメラまたはサイドカメラ映像を表示します。カメラの入力設定をOFFに設定すると、カスタム設定で割り当てた機能を再び使うことができます。

メモ

・フロントカメラ/サイドカメラ使用中の場合でも、カスタム設定自体は行うことができます。割り当てた機能が有効になるのはカメラの入力設定をOFFにした時点からとなります。

その他の機器

DSRCユニット

別売のDSRCユニットを接続すると、ETC機能に加え、ITSスポットサービスの利用および取得した情報の案内などが可能になります。

メモ

- 本機は、料金決済サービス（ICクレジットカード決済）には対応しておりません。
- DSRCユニットとETCユニットは同時に接続できません。DSRCユニットとVICS用ビーコンユニットは、同時に接続して利用できます。
- ETCカードが挿入（認証）されているときは、画面下部にETCアイコンが表示されます。
- ICカードが挿入されているときは、画面下部にICアイコンが表示されます。
- DSRCユニットにETCカードやICカードを挿入した場合は、以下のようなメッセージが案内されます。
  - ETCカードを認証しました。
  - ICカードを認証しました。このカードではETCは利用できません。

5.8 GHzVICSサービスについて

5.8 GHzVICSサービスでは、従来のレベル1からレベル3に加えて、静止画像や音声によっても情報が提供されます。ドライバーは次のような情報を利用できます。

安全運転支援情報

- 前方障害物情報
- 渋滞末尾情報
- 前方状況情報（画像/音声）
- など

道路交通情報（ダイナミックルートガイダンス）

- 道路交通情報
- 前方情報（ハイウェイラジオ）
- カーナビゲーションのルート探索に利用する渋滞情報
- など

メモ

- 5.8 GHzVICS情報を即時表示するには、ビーコン即時表示設定を「文字・図形・音声」にしてください。→*P168の「ビーコン即時表示の表示内容を設定する」*
- 5.8 GHzVICSサービスはITSスポットサービスの主要なサービスの一つで、主に高速道路上において提供されます。また道路交通情報の提供では、従来のVICS情報よりも広域の情報が提供され、高速道路を使った遠距離走行での走行ルート選択がしやすくなります（ダイナミックルートガイダンス）。

5.8 GHzVICS情報を受信したとき

5.8 GHzVICS情報を受信すると、次のような動作を行います。

案内情報を受信したとき

案内情報（一般情報/ 優先情報/ 最優先情報）を受信すると、自動的に画面や音声で案内されます。

表示例：



メモ

- ビーコン即時表示が「文字・図形・音声」に設定されていない場合は、自動表示されません。→*P168の「ビーコン即時表示の表示内容を設定する」*
- 受信した情報に再生条件（走行方位、サービス速度、有効距離など）が設定されている場合、再生条件を満たしていないと即時案内されない場合もあります。また、指定された場所まで移動すると表示される情報もあります。またナビゲーションの他の機能が優先され即時案内されない場合や案内を中断する場合もあります。

- 受信する情報は、図形情報または静止画像、文字情報、音声情報があります。2種類以上の情報を受信した場合、図形情報→文字情報→音声情報の優先順位で表示されます。音声情報を含む図形情報または静止画像、文字情報の場合には、図形情報または静止画像、文字情報を表示しながら音声も再生します。
- 受信した情報（即時案内で表示されなかった情報を含む）は、後から確認することができます。→*P172の「ビーコン情報を表示・再生する」*

渋滞情報を受信したとき

受信した渋滞情報は、VICSレベル3表示、渋滞考慮ルート探索、オートリルート案内などに使用されます。

メモ

- VICS レベル3 情報提供時刻表示は、Bマークで表示されます。

情報接続サービス（地域観光情報など）について

ITSスポットの情報接続サービス提供エリア内では、施設から提供されるさまざまな情報をオンデマンドで表示し利用することができます。

ITSスポットの情報提供サービスエリア内で情報ページのURLを受信すると、「DSRC情報接続エリアに入りました。」という音声案内とメッセージが約4秒間表示され、情報の利用が可能になります。

1 メニューを押し、情報→DSRC情報接続サービスにタッチする



▼

DSRC通信によりインターネット接続され、本機のブラウザが起動してサービスから受信したURLの情報ページが表示されます。最初の情報ページが表示されたら、以降はそれぞれの情報ページ内のボタンをタッチパネル操作することで次の情報ページの閲覧をすることができます。

表示中の情報ページの更新操作ができます。

表示をしたページ間での進む/戻る操作ができます。※

情報ページのURLを表示します。



表示された情報ページ内のボタン(リンクボタン)を操作することで次の情報ページが表示されます。

※ 前の情報ページに戻りたい場合、通常は情報ページ内の戻るボタンで操作を行いますが、情報ページ内の戻るボタンが無い場合や、情報ページ内の戻るボタンを操作しても戻りたいページに戻れない場合には、この進む/戻る操作を行ってください。

コントロールパネルを表示する

コントロールパネルを使用すると、情報接続サービスを利用する上で便利な機能の利用や各種設定を行うことができます。

1 メニューを押し、情報ー DSRC 情報接続サービス にタッチする

2 （コントロールパネル）にタッチする



▼



にタッチすると、コントロールパネルを閉じます。

情報ページの利用を終了する

情報ページの利用を終了するときは、コントロールパネルを表示して終了操作を行ってください。

1 メニューを押し、情報ー DSRC 情報接続サービス にタッチする

2 （コントロールパネル）ー終了にタッチする



メモ

- NAVIを押して終了することもできます。

- 情報ページの利用終了後、そのITSスポット情報接続サービス提供エリア内から車両を移動せずにエリア内に駐車していると、自動的に同じ情報ページのURLを受信し、音声案内とメッセージが表示され、再び情報の利用が可能になります。再び情報接続サービスを利用する場合は、手順1の操作を行ってください。ただし、ITSスポット情報接続サービス提供エリアによっては、同じ情報接続サービスを利用することができない場合もございます。その場合は、一旦ITSスポット情報接続サービス提供エリアの外に車両を移動し、再び提供エリア内に入ることで利用が行えるようになります。
- 情報ページの利用を終了せずにITSスポット情報接続サービス提供エリアの外に車両を移動すると、ネットワークが切断された旨を知らせるメッセージが表示されます。NAVIを押すか、情報ページの利用を終了してください。

履歴を表示する

過去に閲覧した情報ページの履歴情報をリスト表示します。また、ITSスポットの情報接続サービス提供エリア内であれば、履歴情報リストからその情報ページを開くことができます。

1 メニューを押し、情報ー DSRC 情報接続サービス にタッチする

2 （コントロールパネル）ー履歴ー表示にタッチする



3 表示したい履歴にタッチする



▼

選んだ情報ページを表示します。

メモ

- 履歴情報リストの閲覧はITSスポット情報接続サービス提供エリア内でなくても行えます。
- 履歴情報リストから情報ページを開くことは、ITSスポットの情報接続サービス提供エリア内で情報接続中であるか情報接続が可能なときにしか行えません。情報接続切断中に履歴の情報ページを開くときには手順3の操作時に自動的に情報接続を行いますが、情報接続が行えないときは「ネットワークエラーです。」と表示されます。
- 履歴は10件まで保存されます。10件を超えた場合は、最も古い履歴を削除し、新しい履歴を保存します。
- 履歴には過去に利用した他のITSスポット情報接続サービス提供エリアでの利用の履歴も含まれますが、他のITSスポット情報接続サービス提供エリアでの履歴の情報ページについては、サービス提供側の仕組みによって接続および表示ができない場合があります。

履歴を消去する

過去に閲覧した情報ページの履歴情報を消去します。

1 メニューを押し、情報ー DSRC情報接続サービス にタッチする

2 （コントロールパネル）ー履歴ー消去にタッチする

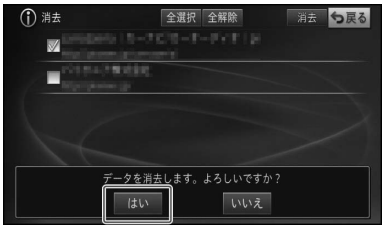


3 消去したい履歴にタッチする



チェックボックスにタッチすると☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

4 消去ーはいにタッチする



▼

選んだ履歴情報が消去されます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

ブックマークに登録する

ブックマークとは、現在表示している情報ページのアドレスを登録する機能です。

お気に入りの情報ページをブックマークに登録しておくと、ITSスポットの情報接続サービス提供エリア内であれば、ブックマークリストから情報ページを開くことができます。

1 メニューを押し、情報ー DSRC情報接続サービス にタッチする

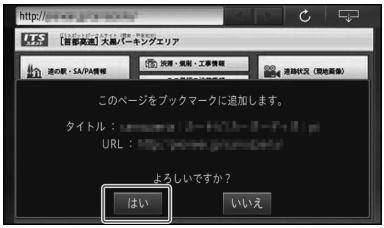
2 目的の情報ページで（コントロールパネル）ーブックマークー追加にタッチする



▼

ブックマークに登録されます。

3 はいにタッチする



4 確認にタッチする



メモ

- ブックマークは最大50件まで登録できます。
- 登録できるタイトルの長さは31文字、URLの長さは512文字までです。

ブックマークを表示する

ブックマークに登録した情報ページを表示します。

1 メニューを押し、情報－DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）－ブックマーク－表示にタッチする



3 表示したい情報ページにタッチする



▼

選んだ情報ページを表示します。

メモ

- ブックマークリストの閲覧や編集はITSスポット情報接続サービス提供エリア内でなくても行えます。
- ブックマークリストから情報ページを開くことは、ITSスポットの情報接続サービス提供エリア内で情報接続中であるか情報接続が可能なときにしか行えません。情報接続切断中にブックマークの情報ページを開くときには手順3の操作時に自動的に情報接続を行いますが、情報接続が行えないときは「ネットワークエラーです。」と表示されます。
- ブックマークを登録したITSスポット情報接続サービス提供エリアを出てからもそのブックマークは保持されますが、他のITSスポット情報接続サービス提供エリア内でそのブックマークを表示する場合、サービス提供側の仕組みによって接続および表示ができない場合があります。

ブックマークを編集する

登録したブックマークの情報を編集することができます。

1 メニューを押し、情報－DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）－ブックマーク－編集にタッチする



3 編集したいブックマークにタッチする



4 タイトルまたはURLにタッチする



タイトル	登録したブックマークのタイトルを編集します。
URL	登録したブックマークのURLを編集します。

5 編集内容を入力し、入力終了にタッチする

▼

変更した内容が登録されます。

メモ

・編集できるタイトルの長さは31文字、URLの長さは512文字までです。

ブックマークを消去する

登録したブックマークを消去します。

1 メニューを押し、情報ーDSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）ーブックマークー消去にタッチする

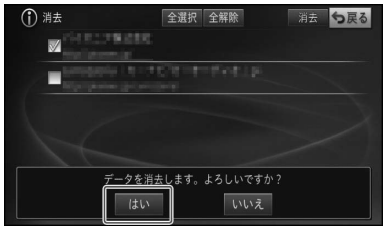


3 消去したいブックマークにタッチする



チェックボックスにタッチすると☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

4 消去ーはいにタッチする



▼

選んだブックマークが消去されます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

ページメモに保存する

閲覧中の情報ページの情報をページメモに保存しておくと、DSRCエリア外でも保存した情報を見ることができます。

1 メニューを押し、情報ーDSRC情報接続サービスにタッチする

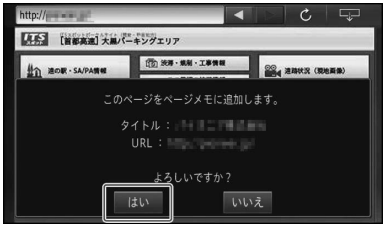
2 目的の情報ページで（コントロールパネル）ー[ページメモ]ー[追加]にタッチする



▼

ページメモに保存されます。

3 [はい]にタッチする



4 [確認]にタッチする



メモ

- ページメモは最大50件まで保存できます。
- 登録できるタイトルの長さは31文字までです。
- 画像やhttps://（SSLによる暗号化）の情報ページは保存できません。また、画像が保存されないことによって情報ページのレイアウトが元のレイアウトと異なる場合があります。

ページメモを表示する

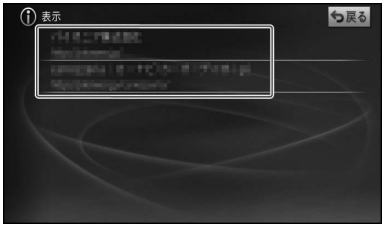
保存したページメモを表示します。

1 [メニュー]を押し、[情報]ー[DSRC情報接続サービス]にタッチする

2 （コントロールパネル）ー[ページメモ]ー[表示]にタッチする



3 表示したいページメモにタッチする



▼

選んだページメモを表示します。

ページメモを編集する

登録したページメモのタイトルを編集することができます。

1 [メニュー]を押し、[情報]ー[DSRC情報接続サービス]にタッチする

2 （コントロールパネル）ー[ページメモ]ー[編集]にタッチする



3 編集したいページメモにタッチする



4 編集内容を入力し、入力終了にタッチする

▼

変更した内容が登録されます。

メモ

・編集できるタイトルの長さは31文字までです。

ページメモを消去する

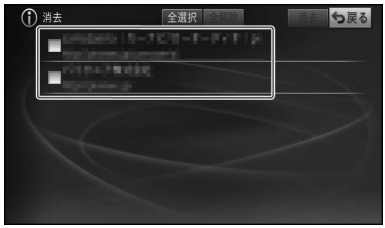
登録したページメモを消去します。

1 メニューを押し、情報ー DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）ーページメモー消去にタッチする

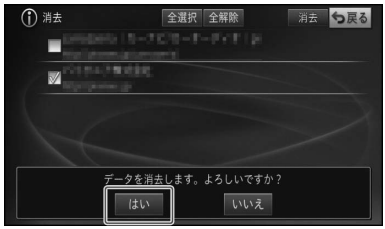


3 消去したいページメモにタッチする



チェックボックスにタッチすると☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

4 消去ーはいにタッチする



▼

選んだページメモが消去されます。
全選択にタッチしてすべて選択することができます。全解除にタッチすると、すべての選択が解除されます。

ページ内検索をする

表示中の情報ページ内の文字列（キーワード）を検索します。

1 メニューを押し、情報ー DSRC情報接続サービスにタッチする

2 目的の情報ページで（コントロールパネル）ーページ内検索ー新規検索にタッチする



3 検索したい内容を入力し、検索にタッチする



検索文字列	検索する文字列を入力します。
単語単位検索	英字単語単位で検索するかどうか指定します。
大文字小文字区別	大文字と小文字を区別して検索するかどうか指定します。

▼

検索結果が情報ページのテキストの中にハイライトで表示されます。
検索後の情報ページで（コントロールパネル）にタッチすると、前を検索/次を検索/検索終了が操作できます。

ページ情報を表示する

閲覧中の情報ページのページ情報を表示します。

1 メニューを押し、情報－DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）－ページ情報－情報表示にタッチする



▼

ページ情報を表示します。

メモ

- 表示されるページ情報は、タイトル、URL、受信日時、種類、サイズ、セキュリティです。
- https://（SSLによる暗号化）の情報ページでは表示できません。

サーバー証明書を表示する

表示中のSSL（暗号化機能）を用いた情報ページのサーバー証明書を表示します。

1 メニューを押し、情報－DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）－ページ情報－サーバー証明書にタッチする



3 項目を選んでタッチする

▼

サーバー証明書が表示されます。

文字サイズを変更する

情報ページに表示される文字のサイズを変更できます。

1 メニューを押し、情報－DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）－表示切換－文字サイズ変更にタッチする



3 大または中または小にタッチする



▼

選んだ文字サイズで表示されます。

メモ

- 工場出荷時は「中」です。
- コンテンツの文字の指定方法によっては設定が適用されず、文字サイズが変わらない場合があります。

文字コードを変更する

本機は、閲覧中の情報ページの文字に使われている文字コードの種類を自動的に認識して表示します。正しく表示されない場合に限り、本機能を使って正しく表示できるように文字コードを変更してください。

1 メニューを押し、情報ーDSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）ー表示切換ー文字コード変更にタッチする



3 変更したい文字コードを選んでタッチする



▼

選んだ文字コードで表示されます。

表示設定を変更する

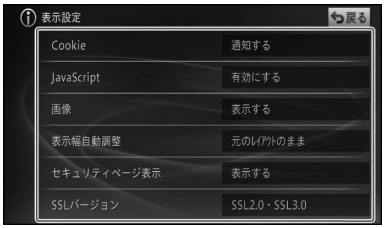
用途や使用状況に合わせて表示設定を変更できます。

1 メニューを押し、情報ーDSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）ー設定ー表示設定にタッチする



3 項目を選び、設定を行う



表示する情報を制限したり、表示方法を変更したい場合に設定してください。通常は工場出荷時の状態のままご利用いただけます。設定を変更すると、正しく表示されなくなる場合がありますので、ご注意ください。

設定内容の詳細

＊は工場出荷時の設定です。

Cookie

受信する	無条件にCookie情報を受信します。受信したCookie情報はファイルへ保存されます。
受信しない	Cookie情報を受信しません。
通知する＊	Cookie情報受信時にユーザーに通知し、受信許可をすればCookie情報がファイルへ保存されます。

JavaScript

有効にする＊	コンテンツ内のJavaScriptを有効にします。
無効にする	コンテンツ内のJavaScriptを無効にします。

画像

表示する＊	コンテンツ内の画像を表示します。
表示しない	コンテンツ内の画像を表示しません。

表示幅自動調整

画面幅に合わせる	横幅を画面サイズに合わせます。上下スクロールのみで画面を表示します。
元のレイアウトのまま＊	横幅を画面サイズに合わせません。上下左右スクロールで画面を表示します。

セキュリティページ表示

表示する＊	セキュリティありページを表示します。
表示しない	セキュリティありページを表示しません。

SSLバージョン

SSL2.0：ON＊/OFF
SSL3.0：ON＊/OFF
TLS1.0：ON/OFF＊

メモ

・SSLバージョンは、セキュリティページ表示が「表示しない」の場合は、設定できません。

Cookieを消去する

受信したCookie情報を消去します。

1 メニューを押し、情報－DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）－設定－Cookie全消去にタッチする



3 はいにタッチする



▼

Cookie情報が消去されます。

ルート証明書を表示する

あらかじめ本機に収録されているルート証明書を表示します。

1 メニューを押し、情報ー DSRC情報接続サービスにタッチする

2 （コントロールパネル）ー設定ールート証明書にタッチする



3 項目を選んでタッチする

▼

ルート証明書が表示されます。

ETCサービスの利用について

ETCカードまたはETC一体型クレジットカードを挿入すると、ETCサービスを利用することができます。→*P340の「ETCユニット」*

アップリンク機能を設定する

5.8 GHzVICSサービスにおいて提供される情報の作成や道路管理などの目的で、個人情報にはあたらない範囲で、本機やDSRCユニット、車両の情報が通信で路側機に送信され、道路事業者などの道路管理者に提供されることがあります。この機能が活用されることにより、より充実した道路交通情報や安全運転支援情報の提供などサービス向上が期待されています。なお、走行履歴や挙動履歴など一部の情報については本機能をONすることにより送信されます。提供される情報および本機能をONにすることにより送信される情報については、*『DSRCユニットの取扱説明書』*の道路管理者からのお知らせとお願いをご覧ください。

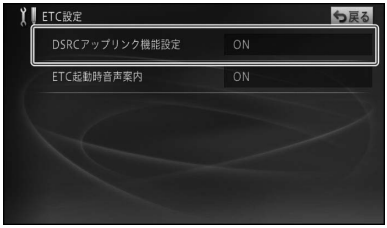
工場出荷時は「ON」です。

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

2 ETC/DSRC設定にタッチする



3 DSRCアップリンク機能設定にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	アップリンクします。
OFF	アップリンクしません。

▼

アップリンク機能の設定が完了します。

ETCユニット

別売のETCユニットを接続すると、ETCサービスを利用することができます。また、本機ではETCに関連する情報案内やETC利用履歴の表示ができます。

メモ

・別売のDSRCユニットを接続して、ETCサービスを利用することもできます。

ETC関連の情報案内について

次のような情報案内がされるようになります。

ETCカード・エラー関連音声案内

“ETCカードを入れてください。”

“ETCカードを認証しました。”

“ETCカードを確認してください。”

“ETCが登録されていません。”

ETCカード有効期限切れ関連音声案内

“ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。”

“ETCカードの有効期限が切れています。”

予告ビーコン通過時音声案内

“ETCが利用可能です。”

“ETCが利用できません。”

“ETCが利用可能です。速度を落としてお進みください。”

“ETCが利用できません。徐行してください。”

ETCレーン通過時音声案内

“ETCが利用できません。停車してください。”

料金所通過時音声案内

“料金は○○円でした。”

“ETC利用料金が○○円割引されました。”

“料金は登録されていません。”

メモ

・ETCカードが挿入（認証）されているときは、画面下部にETCアイコンが表示されます。

・料金所通過時は、現在地画面にETC利用料金が表示されます。

ETC利用履歴を確認する

ETCカードに記録された利用履歴データを表示することができます。履歴は、新しいものから最大100件まで表示することができます。

1 メニューを押し、情報にタッチする

2 ETC利用履歴にタッチする



▼



メモ

・利用履歴画面に表示されるICやランプなどの施設名称は正しく表示されなかったり、IC番号で表示されることがあります。

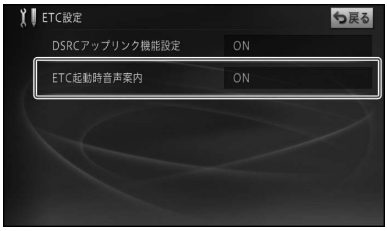
ETC起動時音声案内を設定する

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 ETC/DSRC設定にタッチする



3 ETC起動時音声案内にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	起動時音声案内を行います。
OFF	起動時音声案内を行いません。

▼

ETC起動時音声案内の設定が完了します。

ETCカード有効期限切れ通知について

本機に接続した別売のETCユニットまたは、DSRCユニットにETCカードが挿入された場合、ETCのカード情報により、メッセージ表示と音声案内が行われます。

通常時の例

メッセージ	ETCが利用可能です。
音声案内	ETCカードを認証しました。

有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。
音声案内	ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。

有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ	ETCカードの有効期限が切れています。
音声案内	ETCカードの有効期限が切れています。

携帯電話（ハンズフリー）

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短に終了するようにしてください。

ハンズフリー通話ご使用時について

ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

エコーを軽減するには

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする→*P344の「通話中メニューの操作」*
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する→*P157の「ガイド/ハンズフリーSP設定をする」*

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーの仕組み上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中は、通話中メニューが表示され、受話音量を調整することができます。
- 携帯電話によっては、一部の機能が制限される場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店でご確認ください。

電話を受ける

電話がかかってくると、電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。

1 着信時に通話にタッチする



電話に出ることができ、通話中メニューが表示されます。

メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤルに登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます（登録地とメモリダイヤルの電話番号が同じときは、登録地の名称が表示されます）。
- 1つの電話番号が複数の登録地に登録されている、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- データ通信とハンズフリー通話が同時に使用できる機種に関して、Bluetoothを使用してのデータ通信時に着信があった場合、次のいずれかの動作になります。（ご使用の電話機によって動作が異なります）
  - ナビは着信動作になる（データ通信も並行して行える）
  - ナビは着信動作になる（データ通信は通話終了までできない）
  - ナビは着信動作になる（データ通信は強制終了する）
  - ナビで着信が検知できない（携帯機本体で着信音が鳴ります）

- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできますが、携帯電話によってはハンズフリー通話ができない場合もあります。
- AVソースのBluetooth Audioをご使用中に電話がかかってきた場合、Bluetooth Audioの再生が一時中断されます。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。携帯電話を直接操作して電話をかけることもできます。

電話番号を入力して電話をかける

1 (メニュー)を押し、携帯電話にタッチする

2 ダイヤル発信にタッチする



3 電話番号を入力し、発信にタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

1 (メニュー)を押し、携帯電話にタッチする

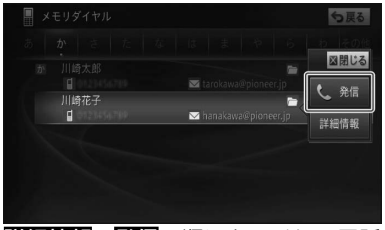
2 メモリダイヤルにタッチする



3 相手先を選んでタッチする



4 発信ーはいにタッチする



詳細情報ー発信の順にタッチして電話をかけることもできます。電話番号が複数登録されている場合は、かけたい番号を選びます。

▼

相手先に電話が発信されます。

メモ

- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換えると、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- メモリダイヤルの読み込み方法は、*P344の「メモリダイヤルを読み込む」*をご覧ください。

発着信履歴から電話をかける

本機と携帯電話を接続していたときの発信、着信（不在着信含む）履歴を表示し、電話をかけることができます。

1 (メニュー)を押し、携帯電話にタッチする

2 発着信履歴にタッチする



3 発信履歴、着信履歴、不在着信を選んでリストを切り換え、相手先を選んでタッチする



4 発信－はいにタッチする



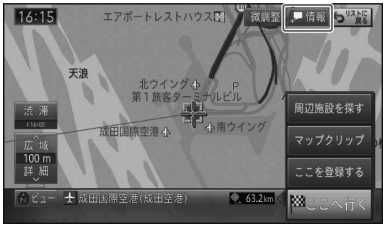
▼

相手先に電話が発信されます。

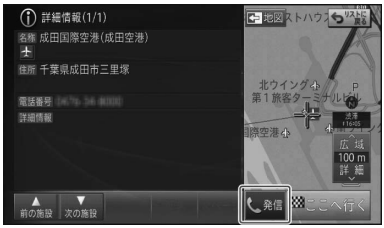
地図に登録された電話番号に電話をかける

検索した施設の詳細情報に電話番号が登録されている場合、その電話番号に電話をかけることができます。

1 施設を探して、情報にタッチする



2 発信にタッチする



▼

施設の詳細情報に登録されている電話番号に電話が発信されます。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリーのON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



＋、－	受話音量を調節できます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリー ON（OFF）	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。
閉じる	通話中メニューを閉じます。

メモ

- 閉じるにタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の［　］にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- ハンズフリー機能をOFFにすると、携帯電話機能が使用できなくなる場合があります。

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込ませる必要があります。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メモリダイヤルにタッチする



4 読み込みにタッチする



5 携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する

6 確認にタッチする

▼

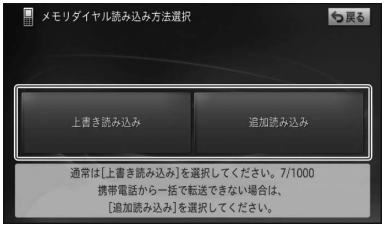
メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。**いいえ**にタッチすると、メモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができるようになります。

メモ

- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作（携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります）が必要です。
- PBAP接続に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。お使いの携帯電話によっては自動で全件転送（上書き）されます。また、お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては、携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリダイヤル読み込み済みの場合

すでに本機にメモリダイヤルデータを読み込んである場合は、以下の画面が表示されますので、**上書き読み込み**または**追加読み込み**にタッチして、読み込み方法を選択してください。



メモ

- PBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メモリダイヤルにタッチする



4 消去にタッチする



5 消去したいデータにタッチする



- 選んだデータには☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
- **全選択**にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

6 消去ー**はい**にタッチする

▼

選んだデータが消去されます。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルは消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換えると、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。

発着信履歴を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 発信履歴消去、着信履歴消去、不在着信履歴消去から選んでタッチする



4 消去したいデータにタッチする



- 選んだデータには☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
- **全選択**にタッチしてすべて選択することができます。**全解除**にタッチすると、すべての選択が解除されます。

5 消去ー**はい**にタッチする

▼

選んだデータが消去されます。

メモ

- 現在接続中の携帯電話の発着信履歴のみ消去することができます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も自動的に削除されます。

フォトリモ@ナビ対応携帯電話

本機にフォトリモ@ナビ対応携帯電話をBluetooth接続すると、現在地や目的地の地点情報および到着予想時刻をメールで送信したり、携帯電話から地点情報や画像を転送して目的地や登録地に設定することができます。

メモ

- 本機と携帯電話を接続する前、もしくは接続後に未読メールや不在着信がある場合は、地図画面上に以下のアイコンが表示されます。
  - –：未読メールあり
  - –：不在着信あり
- 携帯電話側で未読メールや不在着信を確認すると、画面上のアイコンは消えます。
- フォトリモ@ナビ対応携帯電話については、お買い上げの販売店でご確認ください。

フォトリモ@ナビのメール送信機能を操作する

フォトリモ@ナビ対応携帯電話を接続すると、現在地や目的地の地点情報や到着予想時刻情報を付加したメールを送信することができます。

メモ

- はじめて本機能をご利用になる場合は、はじめに送信先やタイトル、本文の登録・編集作業を行ってください。→*P349の「リストを登録・編集する」*

メールを送信する

タイトルや本文を定型文より選択して、メールを送信します。付加情報（現在地、目的地、到着予測時刻）を添付して送信することもできます。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 メールにタッチする



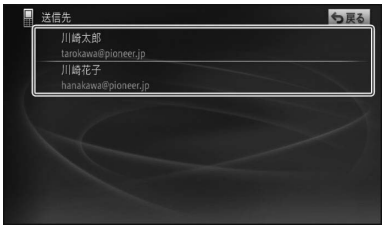
3 新規作成にタッチする



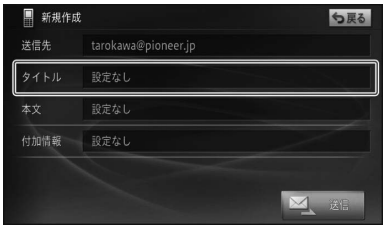
4 送信先にタッチする



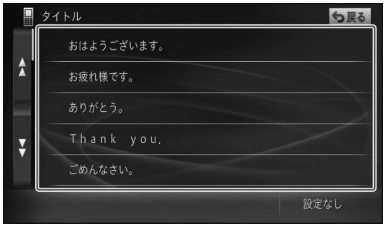
5 リストから送信先を選んでタッチする



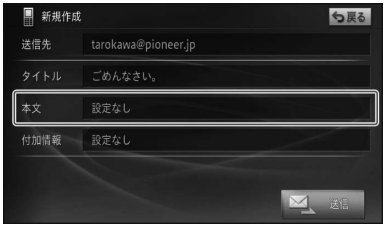
6 タイトルにタッチする



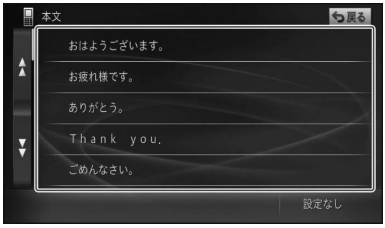
7 リストからタイトルを選んでタッチする



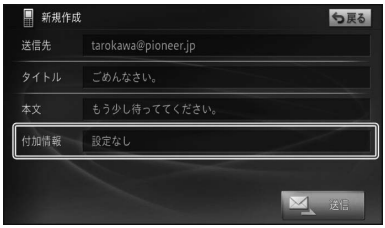
8 本文にタッチする



9 リストから本文を選んでタッチする



10 付加情報にタッチする



11 添付する付加情報を選んでタッチし、戻るにタッチする



選んだデータには☑チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

現在地	現在地の情報が添付されます。
目的地	ルート案内中の目的地や案内地の情報が添付されます。
到着予想時間	目的地や案内地への予想到着時刻の情報が添付されます。

12 送信ーはいにタッチする

▼

メールが送信されます。

【件名】おはようございます。
到着予想時刻をお伝えします。

現在地：渋谷駅付近
次の立寄地：花子さん宅
到着予想時刻：05/05 07:00 頃
目的地：成田国際空港
到着予想時刻：05/05 08:30 頃

送信時刻：05/05 06:00

現在地：渋谷駅付近
http://www……
次の立寄地：花子さん宅
http://www……
目的地：成田国際空港
http://www……

メモ

- 目的地および到着予想時刻の情報は、ルート案内中の場合のみ付加されます。
- 目的地を選択した場合、案内中のルートに次の立寄地がある場合は目的地に加えて次の立寄地の情報も付加されます。
- 地点情報は、名称に加えてMapFanのURL情報も付加され、受信側でそのURLにアクセスすることで該当地点の地図表示が可能です。

メールを再送信する

直前に送ったメールを現在地・到着時刻などの付加情報を自動的に最新（再送信する時点のもの）状態に書き換えて、再送信することができます。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 メールにタッチする



3 再送信にタッチする



4 送信ーはいにタッチする



▼

メールが送信されます。

リストを登録・編集する

送信先やタイトル、本文をあらかじめ登録・編集しておき、リストから選択できるようにします。

送信先を登録・編集する

メールの送信先を、メモリダイヤルから選択して、送信先リストに登録します。→*P344の「メモリダイヤルを読み込む」*

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メールにタッチする



4 送信先にタッチする



5 新規作成にタッチする



既存の送信先を選んだ場合は、ポップアップメニューの編集にタッチしてください。
新規作成できる送信先は10件までです。上限に達している場合は新規作成が選べません。不要な送信先を削除してから操作してください。

6 登録する送信先にタッチし、確定にタッチする



詳細にタッチすると、リスト項目の詳細情報を表示することができます。

▼

リスト項目にタッチすると、選んだ送信先がリストに登録されます。

送信先を削除する

登録した送信先を削除します。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メールにタッチする



4 送信先にタッチする



5 削除する送信先にタッチし、削除にタッチする



▼

選んだ送信先が削除されます。

タイトルを登録・編集する

タイトルを作成して、リストに登録します。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メールにタッチする



4 タイトルにタッチする



5 新規作成にタッチする



既存の定型文を選んだ場合は、ポップアップメニューの編集にタッチしてください。
新規作成できるタイトルは20件までです。上限に達している場合は新規作成が選べません。不要なタイトルを削除してから操作してください。

6 タイトルを入力し、入力終了にタッチする



全角50文字まで入力できます。

▼

作成したタイトルがリストに登録されます。

タイトルを削除する

登録したタイトルを削除します。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メールにタッチする



4 タイトルにタッチする



5 削除するタイトルにタッチし、削除にタッチする



▼

選んだタイトルが削除されます。

本文を登録・編集する

本文を作成して、リストに登録します。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メールにタッチする



4 本文にタッチする



5 新規作成にタッチする



既存の定型文を選んだ場合は、ポップアップメニューの**編集**にタッチしてください。
新規作成できる本文は20件までです。上限に達している場合は**新規作成**が選べません。不要な本文を削除してから操作してください。

6 本文を入力し、入力終了にタッチする



100文字まで入力できます。

▼

作成した本文がリストに登録されます。

本文を削除する

登録した本文を削除します。

1 メニューを押し、携帯電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メールにタッチする



4 本文にタッチする



5 削除する本文にタッチし、削除にタッチする



▼

選んだ本文が削除されます。

フォトリモ@ナビ 地点情報送信機能を使う

フォトリモ@ナビ対応携帯電話から地点情報（最大6地点）を本機へ転送して、ルートの目的地（1地点）や立寄地（最大5地点）としたり、登録地として登録したりすることができます。

メモ

- 地点情報を転送するときに、フォトリモ@ナビ対応携帯電話側のメニューで地点登録を行うか目的地に設定します。目的地に設定したときに送信したデータがフォトリモ@ナビVer.1.1対応で、なおかつ複数地点が含まれているデータであった場合に、その複数地点を目的地や立寄地としたルートが探索可能です。（フォトリモ@ナビVer.1.0では、複数地点に非対応）詳しくは、フォトリモ@ナビ対応携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話対応のフォトリモ@ナビのバージョンによって、携帯電話側、本機側とも操作が異なります。
- 本機とBluetooth接続していないときに転送処理を行うと、予約転送モードとなります。次回本機と接続したときに、本機が走行画面を表示したタイミングで自動転送されます。
- 転送は、走行画面のときに行われます。走行画面以外のときは、操作できません。またBluetooth接続をしていない場合に操作したときは、予約転送モードとなり、Bluetooth接続した後に走行画面を表示したときに自動転送されます。
- フォトリモ@ナビ対応携帯電話の操作については、フォトリモ@ナビ対応携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

目的地に設定されているとき

1 フォトリモ@ナビ対応携帯電話を操作して、地点情報を本機に転送する

▼



ルート探索が開始されます。

メモ

- フォトリモ@ナビVer.1.0対応画像が転送されると、目的地が登録地に登録されます。フォトリモ@ナビVer.1.1対応画像の場合は、携帯電話側の設定にしたがって動作します。
- 案内中ルートがある場合は、確認のメッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、ルート探索が開始されます。

登録地に設定されているとき

1 フォトリモ@ナビ対応携帯電話を操作して、地点情報を本機に転送する

▼



地点データは登録地に登録されます。

フロントカメラを使う

本機に別売のフロントカメラを接続して、車の前方の映像を画面に表示させることができます。

フロントカメラの入力設定をする

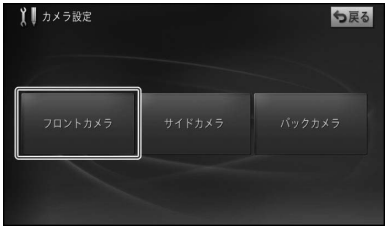
工場出荷時は「OFF」です。

1 (メニュー)を押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 カメラ設定にタッチする



3 フロントカメラにタッチする



4 フロントカメラ入力にタッチする



5 ONまたはOFFにタッチする



ON	フロントカメラ映像を画面に表示します。
OFF	フロントカメラ映像を画面に表示しません。

▼

フロントカメラの入力が設定されます。

フロントカメラ映像を表示する

注意

- フロントカメラの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

1 (C)を押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

フロントカメラ映像⇔サイドカメラ映像



メモ

- カメラ映像を解除するには、(メニュー)または(NAVI)または(AV)または(⏏)を押します。
- シフトレバーがリバース（R）位置にあるときは、フロントカメラ映像には切り換わりません。
- サイドカメラを接続していない場合は、サイドカメラ映像には切り換わりません。
- シフトレバーをリバース（R）の位置にするとバックカメラ映像に切り換えられます。シフトレバーを他のギアに切り換えると、元の画面に切り換わります。

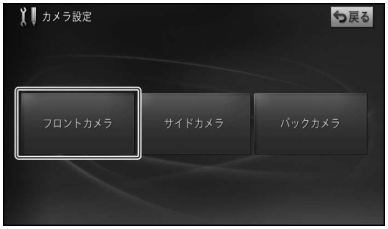
フロントカメラの画質を調整する

1 メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする

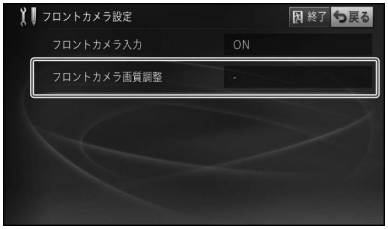
2 カメラ設定にタッチする



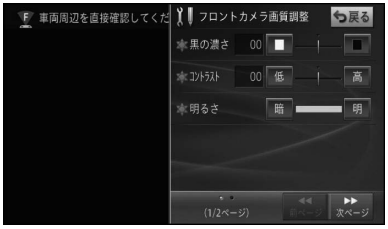
3 フロントカメラにタッチする

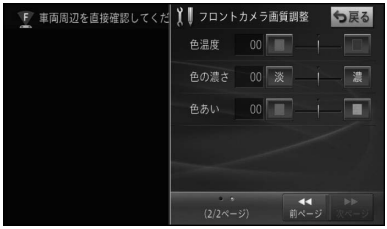


4 フロントカメラ画質調整にタッチする



5 それぞれの項目を設定する





黒の濃さ	■(白)にタッチすると薄くなり、■(黒)にタッチすると濃くなります。
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。
色温度	■(赤)にタッチすると暖色系が強くなり、■(青)にタッチすると寒色系が強くなります。
色の濃さ	淡にタッチすると淡くなり、濃にタッチすると濃くなります。
色あい	■(赤)にタッチすると赤が強くなり、■(緑)にタッチすると緑が強くなります。

サイドカメラを使う

本機に別売のサイドカメラを接続して、車の左右の映像を画面に表示させることができます。

サイドカメラの入力設定をする

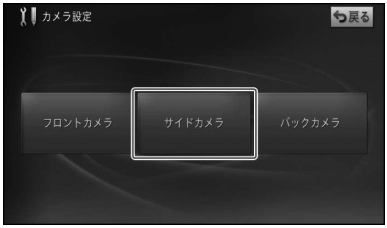
工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする

2 カメラ設定にタッチする



3 サイドカメラにタッチする



4 サイドカメラ入力にタッチする



5 ONまたはOFFにタッチする



ON	サイドカメラ映像を画面に表示します。
OFF	サイドカメラ映像を画面に表示しません。

▼

サイドカメラの入力が設定されます。

サイドカメラ映像を表示する

注意

- サイドカメラの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

1 Cを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

フロントカメラ映像⇔サイドカメラ映像



メモ

- カメラ映像を解除するには、メニューまたはNAVIまたはAVまたは⏏を押します。
- フロントカメラを接続していない場合は、フロントカメラ映像には切り換わりません。
- シフトレバーをリバース（R）の位置にするとバックカメラ映像に切り換えられます。シフトレバーを他のギアに切り換えると、元の画面に切り換わります。

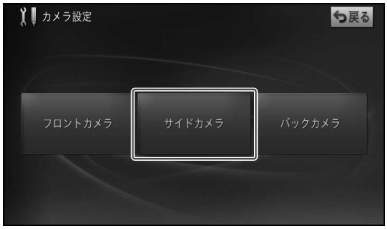
サイドカメラの画質を調整する

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

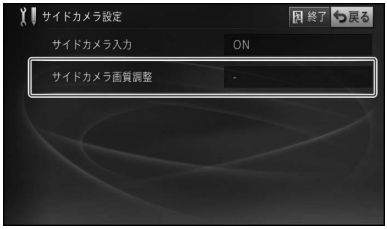
2 カメラ設定にタッチする



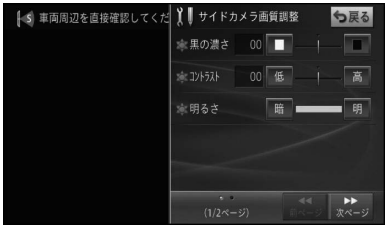
3 サイドカメラにタッチする

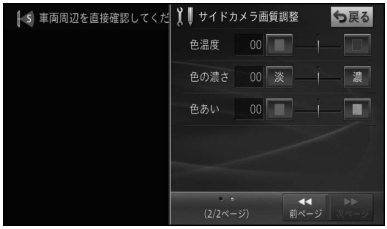


4 サイドカメラ画質調整にタッチする



5 それぞれの項目を設定する





黒の濃さ	■(白)にタッチすると薄くなり、■(黒)にタッチすると濃くなります。
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。
色温度	■(赤)にタッチすると暖色系が強くなり、■(青)にタッチすると寒色系が強くなります。
色の濃さ	淡にタッチすると淡くなり、濃にタッチすると濃くなります。
色あい	■(赤)にタッチすると赤が強くなり、■(緑)にタッチすると緑が強くなります。

バックカメラ

本機に別売のバックカメラを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。

注意

・設定は車の移動や停車を伴います。周囲の安全、交通法規に十分ご留意ください。

バックカメラの入力設定をする

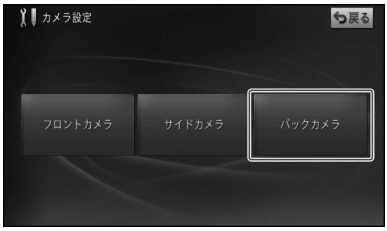
工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする

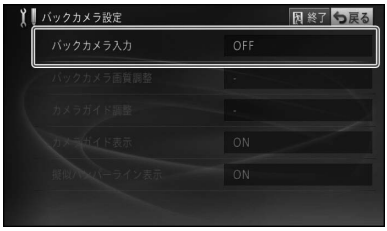
2 カメラ設定にタッチする



3 バックカメラにタッチする



4 バックカメラ入力にタッチする



5 ONまたはOFFにタッチする



ON	バックカメラ映像を画面に表示します。
OFF	バックカメラ映像を画面に表示しません。

▼

バックカメラの入力が設定されます。

カメラガイド表示を設定する

工場出荷時は「OFF」です。

メモ

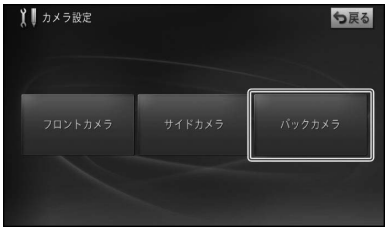
・バックカメラ入力が「ON」になっていないと、設定できません。→*P358の「バックカメラの入力設定をする」*

1 メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする

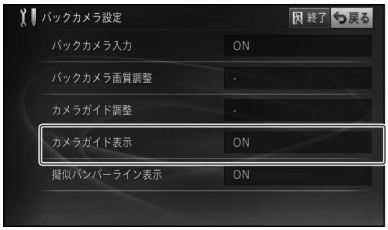
2 カメラ設定にタッチする



3 バックカメラにタッチする



4 カメラガイド表示にタッチする



5 ONまたはOFFにタッチする



ON	カメラガイドを表示します。
OFF	カメラガイドは表示しません。

▼

カメラガイドの表示が設定されます。

カメラガイドを調整する

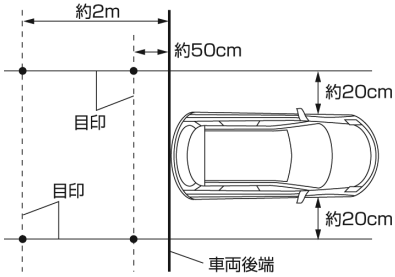
注意

- カメラガイド線を調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチをOFFにしてエンジンを停止してください。

メモ

- あらかじめカメラガイドの表示を「ON」にしておいてください。→*P358の「カメラガイド表示を設定する」*

1 車両の幅＋両側約20 cm、車両後端から後ろ側へ＋約50 cmと＋約2 mの位置にガムテープなどで目印をつける



2 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

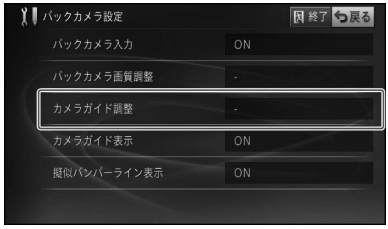
3 カメラ設定にタッチする



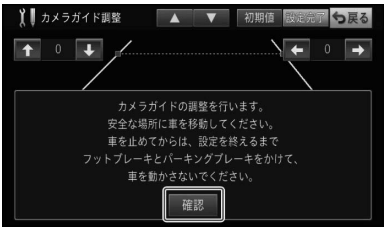
4 バックカメラにタッチする



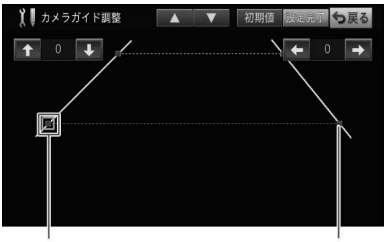
5 カメラガイド調整にタッチする



6 確認にタッチする



7 カーソル位置を選択してポイントを調整する



初期値	ポイントの位置が工場出荷時に戻ります。
設定完了	設定を保存して、手順5の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順5の画面に戻ります。
▲/▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L)⇔赤(R)⇔緑(L)⇔緑(R)の順にカーソル位置を変更します。
↑/↓/←/→	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

擬似バンパーラインを表示する

バックカメラ映像画面にリアのバンパーラインを擬似的に表示させるかどうかを設定します。

工場出荷時は「ON」です。

メモ

- バックカメラ入力が「ON」になっていないと、設定できません。→*P358の「バックカメラの入力設定をする」*

1 メニューを押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

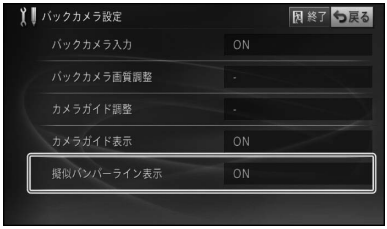
2 カメラ設定にタッチする



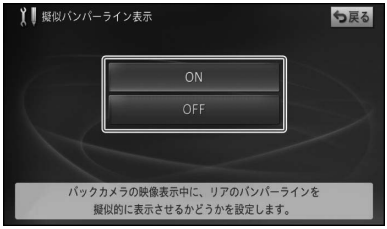
3 バックカメラにタッチする



4 擬似バンパーライン表示にタッチする



5 ONまたはOFFにタッチする



ON	バックカメラ映像画面に擬似バンパーラインを表示します。
OFF	バックカメラ映像画面に擬似バンパーラインを表示しません。

▼

擬似バンパーラインの表示設定がされます。

バックカメラ映像を表示する

シフトレバーをリバース（R）の位置にすると、後方の画面に切り換わります。

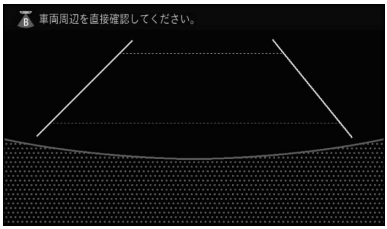
注意

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 シフトレバーをリバース（R）にする

▼

バックカメラの映像が表示されます。



シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面表示は元の表示に切り換わります。

メモ

- バックカメラを正常に動作させるためには、バック信号入力線の接続が必要です。
- 擬似バンパーライン表示を「ON」に設定している場合は、バックカメラの映像表示中に擬似バンパーラインが表示されます。→*P360 の「擬似バンパーラインを表示する」*
- バックカメラの映像表示中に(メニュー)または(NAVI)または(AV)または(▲)を押すと、バックカメラ映像を解除します。
- サイドカメラ接続中で、かつ、サイドカメラ設定「ON」の場合は、(C)を押すとサイドカメラに切り換えられます。もう一度(C)を押すと、バックカメラ映像に戻ります。

バックカメラの画質を調整する

メモ

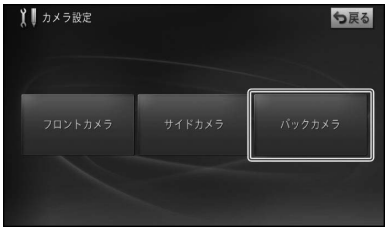
- 走行中は、操作できません。

1 (メニュー)を押し、設定・編集ーシステム設定にタッチする

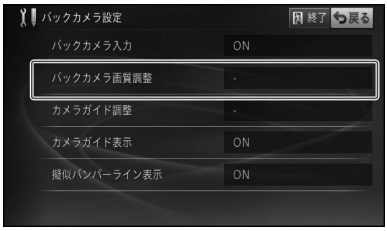
2 カメラ設定にタッチする



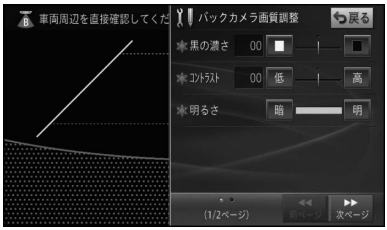
3 バックカメラにタッチする

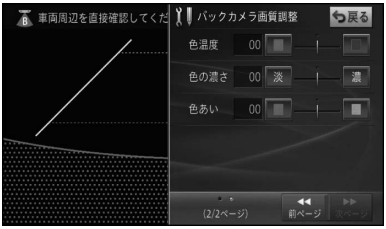


4 バックカメラ画質調整にタッチする



5 それぞれの項目を設定する





黒の濃さ	■(白)にタッチすると薄くなり、■(黒)にタッチすると濃くなります。
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。
色温度	■(赤)にタッチすると暖色系が強くなり、■(青)にタッチすると寒色系が強くなります。
色の濃さ	淡にタッチすると淡くなり、濃にタッチすると濃くなります。
色あい	■(赤)にタッチすると赤が強くなり、■(緑)にタッチすると緑が強くなります。

リアモニター

別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニター出力設定をする

本機に接続したリアモニターを使用できるように設定します。

メモ

・AVソース再生中は、操作できません。

1 メニューを押し、設定・編集→システム設定にタッチする

2 その他設定にタッチする

3 リアモニター出力設定にタッチする



4 ONまたはOFFにタッチする



ON	リアモニターに映像を表示します。
OFF	リアモニターに映像を表示しません。

メモ

・リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。またその程度は、接続されるモニターによっても異なります。

リアモニターに表示される映像について

DTV	○
DVD	○
ROM-Video	○
iPodビデオ	○
SDの映像ファイル	○
AUX	○
ナビゲーション	×
フロントカメラ	×
サイドカメラ	×
バックカメラ	×
AVソース画面	×

メモ

・リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力には、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設定してください。

著作権保護された番組を視聴する際のご注意

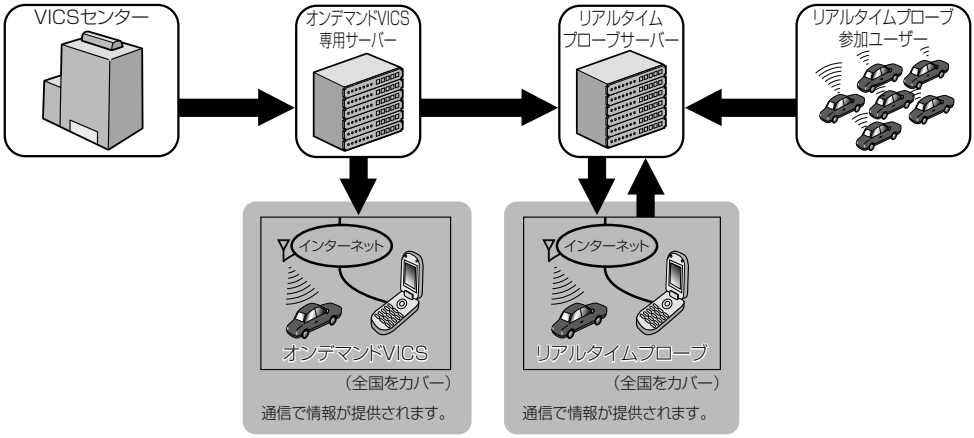
著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。

通信

通信で渋滞情報を取得する

通信で取得できる渋滞情報には、オンデマンドVICS情報とリアルタイムプローブ渋滞情報があり、それぞれ専用サーバー（オンデマンドVICSサーバー、リアルタイムプローブサーバー）から提供されます。

※リアルタイムプローブはパイオニア株式会社が提供するサービスです。



専用サーバー経由で全国のVICS情報をオンラインで受信できます。

専用サーバー経由で全国のVICS情報とリアルタイムプローブ参加ユーザーからの渋滞情報を合わせてオンラインで受信できます。

オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、本機に接続された通信機器からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得する機能です。取得できる情報はビーコン情報と同じ種類の情報で、地図に表示したり、ルート探索、到着予想時刻などに反映することができます。

メモ

- オンデマンドVICSをお使いになるときは、本機と通信機器との接続が必要となります。*→P139の「通信接続設定」*
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。道路交通情報データは、財団法人　日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人　道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報について

リアルタイムプローブとは、ご利用登録いただいた各お客様から提供される情報（走行履歴など）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「リアルタイムプローブ渋滞情報」として取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報な

ど）で、ルート探索、到着予想時刻などに反映することができます。

メモ

・リアルタイムプローブをお使いになるときは、本機に通信機器を接続し、リアルタイムプローブ設定を行う必要があります。→*P367の「リアルタイムプローブの設定をする」*

リアルタイムプローブの設定をする

リアルタイムプローブをご利用になるには、お客様登録および初期登録を行い、プローブ情報送信設定を「ON」にする必要があります。

初期登録をする

お客様の情報をサーバーに登録します。

メモ

・専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*

1 メニューを押し、設定・編集ープローブ設定にタッチする

2 初期登録にタッチする



▼

通信が開始され、専用サーバーに接続されます。

3 初期登録にタッチする

4 ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、決定にタッチする

▼

初期登録が完了します。

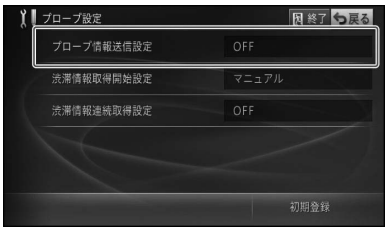
プローブ情報送信設定を行う

プローブ情報送信の有無（ON/OFF）を設定します。

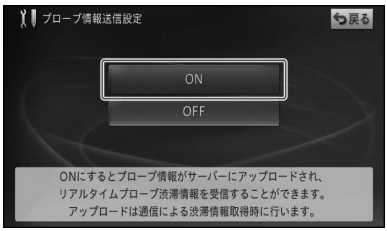
工場出荷時は「OFF」です。

1 メニューを押し、設定・編集ープローブ設定にタッチする

2 プローブ情報送信設定にタッチする



3 ONにタッチする



メモ

・OFFにタッチすると、プローブ情報の送信を行わないため、リアルタイムプローブは利用できません。

・ON からOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報消去の確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合ははい、キャンセルする場合はいいえにタッチしてください。

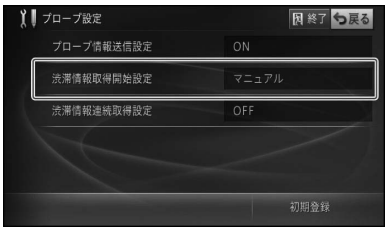
渋滞情報取得開始設定をする

渋滞情報を自動で取得するか手動で取得するか（オート/マニュアル）を設定します。

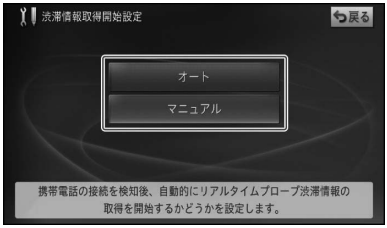
工場出荷時は「マニュアル」です。

1 メニューを押し、設定・編集ープローブ設定にタッチする

2 渋滞情報取得開始設定にタッチする



3 オートまたはマニュアルにタッチする



オート	本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報の取得を行います。
マニュアル	地図画面の渋滞に長くタッチするか、メニューを押し、情報ー渋滞情報ー情報取得にタッチして、渋滞情報を取得します。

メモ

- オートを選ぶと、確認メッセージが表示されます。設定を実行する場合ははい、キャンセルする場合はいいえにタッチしてください。

渋滞情報連続取得設定をする

渋滞情報の連続取得の有無（ON/OFF）を設定します。

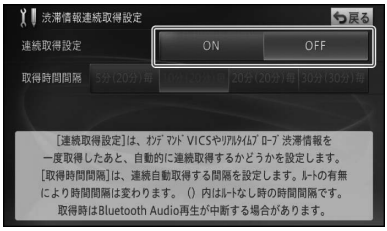
工場出荷時は「OFF」、取得時間間隔：「10分（20分）毎」です。

1 メニューを押し、設定・編集ープローブ設定にタッチする

2 渋滞情報連続取得設定にタッチする

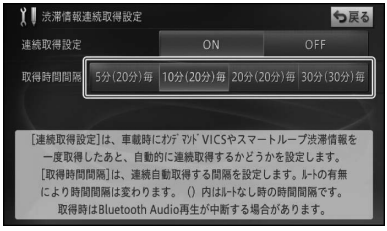


3 ONまたはOFFにタッチする



ON	情報の取得を一定間隔で行います。
OFF	連続取得は行いません。

4 取得時間間隔を選んでタッチする



5分(20分)毎	ルートの有無にかかわらず、5分間隔で情報を取得します。
10分(20分)毎	ルート案内中は10分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔で情報を取得します。
20分(20分)毎	ルートの有無にかかわらず、20分間隔で情報を取得します。

30分(30分)毎	ルートの有無にかかわらず、30分間隔で情報を取得します。

メモ

- 「渋滞情報連続取得設定」が「OFF」の場合は、取得時間間隔は設定できません。
- 専用サーバーの状態によっては、設定した取得時間間隔通りに動作しない場合があります。

取得タイミングと連続取得の取得動作について

取得タイミングと連続取得の関係は、以下のようになります。

情報取得開始：オート、情報連続取得：ON

本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報の取得を行い、以降一定間隔で連続取得します。

情報取得開始：オート、情報連続取得：OFF

本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報の取得を行い、以降は手動取得操作を行った時点で取得します。

情報取得開始：マニュアル、情報連続取得：ON

手動取得操作を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。

情報取得開始：マニュアル、情報連続取得：OFF

手動取得操作を行った時点のみ取得します。

メモ

- 渋滞情報連続取得のON/OFF設定は、(メニュー)を押し、情報－渋滞情報－連続取得にタッチして切り換えることもできますが、OFFからONに切り換えた場合の最初の情報取得は、情報取得にタッチして手動で行ってください。

渋滞情報を手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから、以下の操作を行います。

1 渋滞に2秒以上タッチする

(メニュー)を押し、情報－渋滞情報－情報取得にタッチしても、通信によるオンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報の取得を行うことができます。

▼

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を取得します。



メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報とFM多重放送/ビーコンによるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面に表示します。

渋滞情報を自動で取得する

プローブ設定で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておくと、本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、１度だけ自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。また「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておくと、通信可能な状態のときは一定の間隔で情報を受信します。

メモ

- リアルタイムプローブ渋滞情報を取得する際には、走行履歴などのお客様の情報が専用サーバーへ送信されます。
- 渋滞情報連続取得設定のON/OFF は、渋滞情報画面の連続取得 にタッチして切り換えることもできますが、OFFからONに切り換えた場合の最初の情報取得は、手動で行ってください。
- 情報取得の間隔は変更することができます。*→P367の「リアルタイムプローブの設定をする」*

通信で取得した渋滞情報の地図表示について

リアルタイムプローブ渋滞情報の表示（点線）は、VICS情報の地図表示（実線）と区別され表示されます。

一般道への表示

渋滞	赤色の点線（白い縁取り）
混雑	橙色の点線（白い縁取り）
順調	空色の点線（白い縁取り）

有料道への表示

渋滞	赤色の点線（青い縁取り）
混雑	橙色の点線（青い縁取り）
順調	空色の点線（青い縁取り）



情報提供時刻表示

O	オンデマンドVICSによる情報提供時刻
R	リアルタイムプローブによる情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態

メモ

・「渋滞情報連続取得設定」がONの場合は、情報提供時刻表示の背景が反転表示されます。→*P368の「渋滞情報連続取得設定をする」*

通信で受信した渋滞情報の提供時刻を確認する

渋滞情報画面では、受信した情報の提供時刻の確認と連続取得の状態を確認できます。

1 メニューを押し、情報ー渋滞情報にタッチする





渋滞情報連続取得設定がONの場合は、取得状態（動作中または停止中）が表示されます。

お好みワード検索

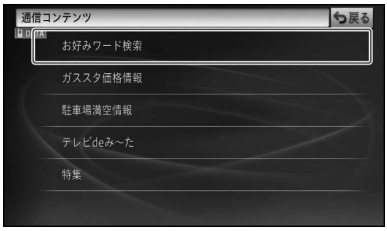
専用サーバーの情報を利用して、お好みワード検索を行うことができます。

メモ

- 専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*
- 表示されるデータやメニューの内容は、サーバー側によって管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。

お好みワードで検索する

1 メニューを押し、通信コンテンツ→お好みワード検索にタッチする



2 キーワードを入力し、検索にタッチする



複数のキーワードを使って検索する場合は、キーワード間をスペースで区切って入力してください。

3 リストから項目を選んで、情報にタッチする



4 地図にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、P入口が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- ▲前の施設、▼次の施設にタッチすると、施設を送ることができます。
- 前の結果を取得、次の結果を取得にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。
- 情報にタッチすると、選択中の施設の詳細情報画面を表示します。→*P66の「詳細情報を見る」*
- 詳細情報が複数ページある場合は、次ページにタッチして表示を切り換えます。
- 並べ替えにタッチすると、リスト項目を一致順、近い順で並べ替えることができます。
- 一致順は、「名称」「ヨミ」を含む検索で、結果が1 000件未満の場合に選択できます。
- 近い順の場合は、自車位置周辺の半径約10 kmまたは30 kmの範囲から検索を行い、表示します。
- 画像データがある場合は、画像にタッチすると表示します。
- 電話番号データを収録している場合は、発信にタッチすると電話をかけることができます。

特集

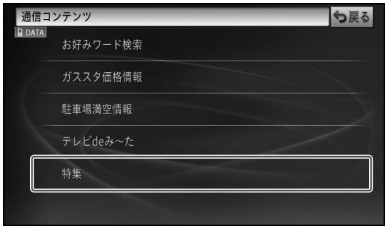
専用サーバーの情報を利用して、旬の観光情報を利用することができます。

メモ

- 専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*
- 表示されるデータやメニューの内容は、サーバー側によって管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。

特集された情報を取得する

1 メニューを押し、通信コンテンツ→特集にタッチする



2 リストから探したい項目を選んで、情報にタッチする



3 地図にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 前の結果を取得、次の結果を取得にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。
- 情報にタッチすると、選択中の施設の詳細情報画面を表示します。→*P66の「詳細情報を見る」*
- 詳細情報が複数ページある場合は、次ページにタッチして表示を切り換えます。
- 画像データがある場合は、画像にタッチすると表示します。
- 電話番号データを収録している場合は、発信にタッチすると電話をかけることができます。
- 特集の更新は不定期です。

テレビdeみ〜た

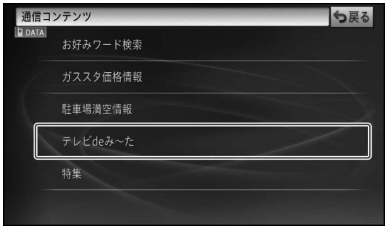
専用サーバーの情報を利用して、テレビで紹介されたスポット情報を利用することができます。

メモ

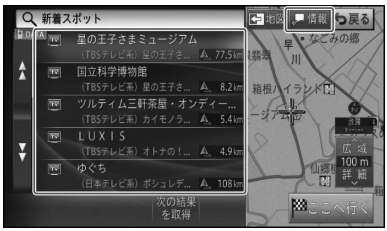
- 専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*
- 表示されるデータやメニューの内容は、サーバー側によって管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。

テレビで紹介されたスポットを探す

1 メニューを押し、通信コンテンツ→テレビdeみ〜たにタッチする

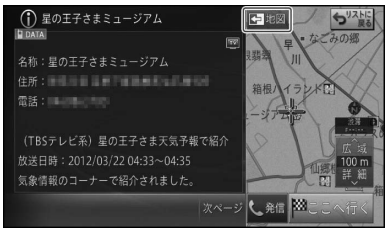


2 さらにリストから探したい項目を絞り込み、情報にタッチする



選んだ項目に対応したリストに切り換わります。**放送曜日から探す**にタッチした場合は、曜日を選択して検索します。**キーワード(番組名ほか)から探す**にタッチした場合は、番組名などのキーワードを入力して検索します。

3 地図にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- ▲前の施設、▼次の施設にタッチすると、施設を送ることができます。
- 前の結果を取得、次の結果を取得にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。
- 情報にタッチすると、選択中の施設の詳細情報画面を表示します。→*P66の「詳細情報を見る」*
- 詳細情報が複数ページある場合は、次ページにタッチして表示を切り換えます。
- 電話番号データを収録している場合は、発信にタッチすると電話をかけることができます。
- スポット情報の更新は、1日3回です（更新のタイミングは、予告なく変更される場合があります）。

駐車場満空情報

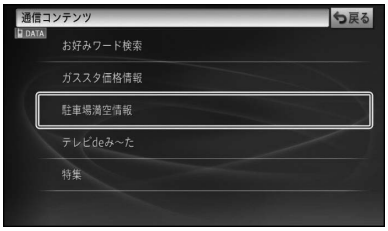
専用サーバーの情報を利用して、空いている駐車場を探すことができます。

メモ

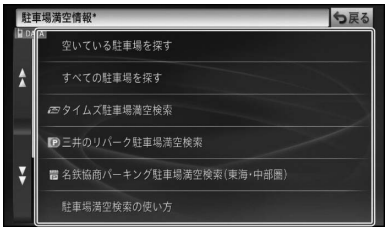
- 専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*
- 表示されるデータやメニューの内容は、サーバー側によって管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。

駐車場満空情報を取得する

1 メニューを押し、通信コンテンツ→駐車場満空情報にタッチする



2 リストから、探し方を選んでタッチする



3 目的の施設にタッチする



4 地図にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 半径約16 kmが検索対象となります。
- ▲前の施設、▼次の施設にタッチすると、施設を送ることができます。
- 前の結果を取得、次の結果を取得にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。
- 情報にタッチすると、選択中の施設の詳細情報画面を表示します。→*P66の「詳細情報を見る」*
- 詳細情報が複数ページある場合は、次ページにタッチして表示を切り換えます。
- 選んだ施設に駐車場データが複数収録されている場合やオートパーキングメモリーによる駐車場履歴が複数ある場合は、P入口が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えます。
- 駐車場満空情報は、燃費推定/車両情報で設定された車両情報(車種・車両寸法)を考慮して表示されます。→*P137の「その他車両情報を設定する」*
- 駐車場満空情報は、情報の種類により、旗マークが色分け表示されます。
  - 青色：オートパーキングメモリー
  - 赤色：駐車場ポイント

ガススタ価格情報

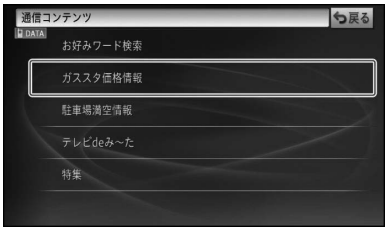
専用サーバーの情報を利用して、価格の安いガソリンスタンドを探すことができます。

メモ

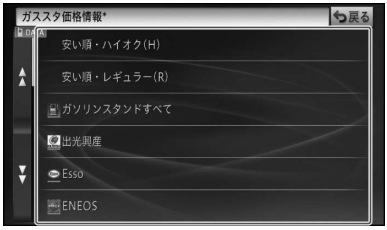
- 専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*
- 表示されるデータやメニューの内容は、サーバー側によって管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。

ガススタ価格情報を取得する

1 メニューを押し、通信コンテンツ→ガススタ価格情報にタッチする



2 リストから、探し方を選んでタッチする



3 目的の施設にタッチする



4 地図にタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作を参照してください。→*P21の「ショートカットメニューの操作」*

メモ

- 半径約16 kmが検索対象となります。
- ▲前の施設、▼次の施設にタッチすると、施設を送ることができます。
- 前の結果を取得、次の結果を取得にタッチすると、リストに表示されていない情報を取得できます。
- 情報にタッチすると、選択中の施設の詳細情報画面を表示します。→*P66の「詳細情報を見る」*
- 詳細情報が複数ページある場合は、次ページにタッチして表示を切り換えます。
- ガソリンスタンドの名称、住所、電話番号、ガソリン価格、併設されている施設情報（セルフサービス、24 時間営業、コンビニ/ 売店あり、コーヒーショップあり、ファストフードあり）が表示されます。
- データが取得できていないときは、情報は表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証はありません。
- ガソリン価格は燃料の種類別に表示され、情報の鮮度によって色分け表示されます。
  - 橙色：24時間以内の情報
  - 青色：7日以内の情報
  - 白色：8日以上前の情報

天気予報

専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます。また、スカイビュー、ドライバーズビュー、ツインビューの表示では、空の色が天気予報に応じて変化します。

メモ

- 気象情報を取得する場合は、本機が通信可能な状態となっている必要があります。→*P139の「通信接続設定」*
- 天気予報の情報は、NAVI OFFICEを使って取得し、SDカード経由で本機に取り込むこともできます。

気象情報を取得する

1 メニューを押し、情報ー天気予報にタッチする

2 情報取得にタッチする



▼

気象情報の取得を開始します。

メモ

- 取得した天気予報の予報時刻を現在地画面の下部に表示します。また、ルート設定時は目的地付近、ルート設定がない時は現在地付近の予報を表示します。（予報の右のチェッカーフラッグが目的地付近を示します。現在地付近の場合は自車マークとなります。）ただし、該当する天気予報のデータがない場合は、表示されません。
- サーバー側から緊急のメッセージがあるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。

天気予報を表示する

1 メニューを押し、情報ー天気予報にタッチする

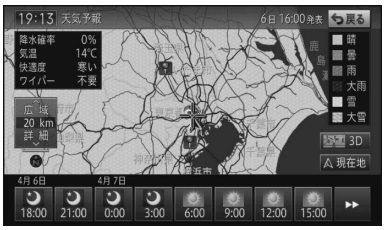
2 情報表示にタッチする



3 天気予報にタッチする



▼



メモ

- 予報時刻にタッチして予報時刻を切り換えることができます
- 快適度は「暑い」、「やや暑い」、「快適」、「やや寒い」、「寒い」、「＊＊＊＊」（不明の場合）の6段階で表示されます。
- ワイパーは「間欠」、「連続」、「高速」、「不要」、「＊＊＊」（不明の場合）の5段階で表示されます。

週間天気予報情報を見る

一週間の予報を見ることができます(週間天気予報)。

1 メニューを押し、情報ー天気予報にタッチする

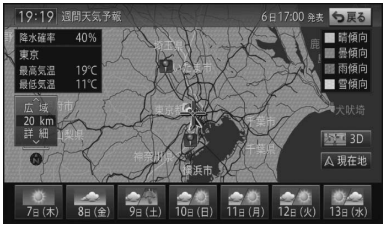
2 情報表示にタッチする



3 週間天気予報にタッチする



▼



メモ

- 予報日にタッチして予報日を切り換えることができます。
- 地図上には代表地点が■(明るい赤)で表示されます。十字カーソルが代表地点付近(20km以内)にある場合のみ、最高気温、最低気温が表示されます。翌日の降水確率、気温は表示されません。

アメダス情報を見る

降水量、積雪量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選んで情報画面を表示します。

1 メニューを押し、情報ー天気予報にタッチする

2 情報表示にタッチする



3 アメダス情報にタッチする



▼



降水量	降水量を画面に表示します。
積雪量	積雪量を画面に表示します。
風向・風速	風向・風速を画面に表示します。
気温	気温を画面に表示します。
日照時間	日照時間を画面に表示します。

セキュリティロック

セキュリティロックとは、パスワードを使って本機が起動しないようロックをかける機能です。ロックがかかるのは、バッテリー交換時、製品取り外し時です。

メモ

- 専用サーバーに接続するには、あらかじめ通信接続設定を行ってください。→*P139の「通信接続設定」*
- 表示されるデータやメニューの内容は、サーバー側によって管理されているため、本書の内容と異なる場合があります。
- セキュリティロックのご利用には、あらかじめユーザー登録が必要です。
- セキュリティロックの設定作業中は、本機の電源をOFF しないでください。

セキュリティロックを設定する

セキュリティロックの設定を有効、もしくは無効にすることができます。ここで利用するニックネームとパスワードは、ユーザー登録時に設定されたものを使います。

1 メニューを押し、設定・編集ー システム設定にタッチする

2 セキュリティロック設定にタッチする

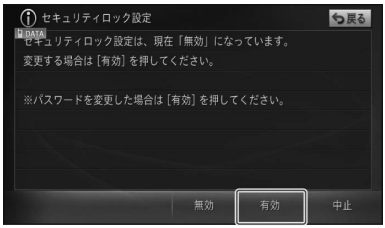


3 確認にタッチする

▼

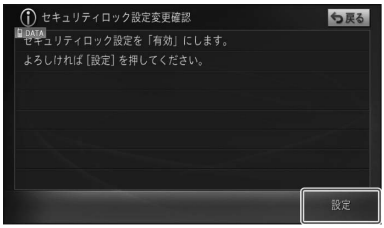
以降画面の指示に従い、ニックネームとパスワードを入力する。

4 有効にタッチ



ここで無効にタッチすると、セキュリティロックの設定を無効にできます。

5 設定にタッチする



▼

セキュリティロックが設定されます。

セキュリティロックが働いた場合の操作

セキュリティロック機能が働いた場合、本機を起動させると、以下の画面が表示されます。ロック解除は、以降の手順で行ってください。

1 セキュリティロック設定で使用したパスワードを入力し、入力終了にタッチする



2 確認にタッチする



▼

ナビゲーションが起動します。

メモ

- パスワードを忘れた場合は、下記にお問い合わせください。
- 受付：月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
- 土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
- （日曜・祝日・当社休業日を除く）
- セキュリティロック解除に関するお問い合わせ専用
- フリーコール：0120-403-677

困ったときは

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲（−10℃〜＋60℃）があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
画面に何も表示されない。	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。→*P17の「画面を一時的に消す（ナビスタンバイ）」*
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
バッテリー交換後、本機を起動したらパスワード入力画面になっている。	セキュリティロックが動作している。	設定したパスワードを入力して、ロックを解除してください。→*P379の「セキュリティロックが働いた場合の操作」*
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーです。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーです。	取扱説明書で設定や接続状態を確認してください。
Bluetoothを使って携帯電話と接続できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	接続したい携帯電話を本機に機器登録してください。→*P139の「Bluetooth機器を登録する」*
	接続する携帯電話を変えた。	接続したい携帯電話に切り換えてください。→*P141の「Bluetooth機器を切り換える」*

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
測位誤差が大きい。	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。→*P396の「センサー学習について」*

症状	原因	処置
自車位置が正しくない。	自車位置がずれている。	GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	NAVIを押して、現在地画面にしてください。
地図の向きが変わらない(自車マークが上でない方向に向かう)。	地図の向きがノースアップになっています。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。→*P40の「地図の向きを変える」*
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。→*P156の「音量設定をする」*
地図上にVICS情報が表示されない。	VICS情報受信中です。	VICS情報は、受信から地図表示まで数分かかることがあります。表示されるまでお待ちください。
	VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。→*P173の「放送局を選ぶ」*
	表示設定がOFFになっている。	表示設定をONにしてください。 ・渋滞情報表示対象道路→*P166の「渋滞情報表示対象道路を設定する」* ・渋滞情報表示→*P166の「渋滞情報表示を設定する」* ・規制表示→*P167の「規制表示を設定する」*
ハンズフリー通話時に、通話相手側でエコー（残響音）が大きく聞こえる。	通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。	エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
テレビやDVDなどの映像が見られない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音が出ない。	オーディオの音量が0になっている。	音量を調整してください。
音声案内時やハンズフリー通話の着信、音声操作時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。	消音設定がされている。	消音するタイミングや消音レベルを調整してください。→*P156の「消音設定をする」*

症状	原因	処置
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	ディスクは1枚しか入れられません。入っているディスクを取り出してから、新たなディスクを入れてください。
モニターにナビゲーション画面が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	NAVIを押して、画面を切り換えてください。→*P16の「画面の切り換えかた」*
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。→*P297の「フェーダー/バランス」*、*P309の「フェーダー/バランス」*
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	電波状況の良い場所に移動するなどしてください。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→*P185の「放送局を手動で登録する」*
FMは受信するが、AMが受信できない。受信感度が悪い。	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。→*P397の「再生できるディスクの種類」*
	カメラが動作している。	カメラ動作中は、一時的に再生が停止します。カメラを解除すると、再生が再開されます。
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください→*P227の「オートプレイを設定する」*
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→*P227の「オートプレイを設定する」*
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。→*P226の「視聴制限を設定する」*

症状	原因	処置
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります（故障ではありません）。
⃠（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作である。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□（再生停止）にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM（WMA/MP3/AAC）

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。*→P397の「再生できるディスクの種類」*
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。

症状	原因	処置
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

MSV（ミュージックサーバー）

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。→*P246の「CD録音の制限について」*
録音したプレイリストのタイトルが「CD-日付 時刻」で表示されている。	タイトル候補が複数あったり、タイトル情報が本機に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。→*P264の「タイトル情報の取得」*
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	Bluetooth機器登録をしていない。	Bluetooth機器を本機に登録してください。→*P139の「Bluetooth機器を登録する」*
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→*P264の「タイトル情報の取得」*

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。

症状	原因	処置
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→*P194の「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」*
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局（チャンネル）に切り換えてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。→*P202の「オート放送局サーチ設定」*
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→*P194の「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」*
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。画面に  が表示されているときは、ワンセグ放送に切り換えできます。→*P201の「サービスを切り換える」*
	車両に電波シールドガラスが使われている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	miniB-CASカードを挿入していない。	miniB-CASカードを挿入してください。
	miniB-CASカードの表裏を間違えて挿入している。	miniB-CASカードを正しい向きで挿入してください。
	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー） ・双方向通信を使うデータ放送 ・ワンセグのデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
データ放送画面に切り換えられない。**映像切換**、**音声切換**、**字幕切換**、**音声多重**のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、**サービス切換**にタッチします。→*P201の「サービスを切り換える」*
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、**サービス切換**にタッチします。→*P201の「サービスを切り換える」*

SD/USB

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
SDカードに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ（差分情報のみ）の更新中である。	地図データ（差分情報）更新中は、AVソース（SDのみ）がOFFになります。地図データ（差分情報のみ）の更新完了後、再度AVソース（SD）を選択し、再生を再開してください。
WMA/MP3/AAC/WAVファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC/WAVファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ファイル名やフォルダー名を指定して、再生順を指定することはできず、SDカードやUSBメモリーに書き込んだ順番で再生されます。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL：http://www.sdcard.org/jp/ (2012年3月時点転載)

iPod

症状	原因	処置
接続できない。	お使いのiPodが本機に対応していない。	販売店へご確認ください。
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。	ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。
	接続したiPodとの認証に失敗した。	再度、接続して認証を行ってください。

Bluetooth Audio

症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth機器登録をしていない。	Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。→*P139の「Bluetooth機器を登録する」*
	登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー電話機能のみを使用する設定になっている。	Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。→*P141の「Bluetooth機器を切り換える」*
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.0以下である。	プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。→*P284の「Bluetooth Audioを使う」*
リストが表示できない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.3以下である。	リスト表示は、Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver.1.4以上の場合のみ操作可能です。

リアモニター

症状	原因	処置
リアモニターを接続したのに、リアモニターに映像が映らない。	リアモニターの出力設定を行っていない。	出力設定をONにしてください。→*P363の「リアモニター出力設定をする」*

メッセージと対処方法

本機の画面にメッセージが表示されたときは、以下の内容をご確認ください。

ナビゲーション共通項目

メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機は以下のSDカードに対応しています。 最大容量32 GB、ファイルシステムFAT32/16、SDHC対応
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
ロック解除に失敗しました。	パスワードが間違っている可能性があります。	パスワードを再確認して、もう一度操作してください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
付近にルート探索対象道路がありません。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	途中に立寄地を設定してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
日時データが無いため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。 *→P403の「ナビゲーションのしくみ」*
自車位置修正できませんでした。	自車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	自車位置修正可能な道路（一般道路と有料道路が並行しているような道路）を走行時に操作してください。

渋滞情報

メッセージ	原因	処置
リアルタイムプローブ渋滞情報が取得できませんでした。	リアルタイムプローブ渋滞情報を取得できていない。	時間や場所をずらしてから、再度受信してください。*→P366の「通信で渋滞情報を取得する」*

通信

メッセージ	原因	処置
回線の接続に失敗しました。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。
サーバーへの接続に失敗しました。	何らかの原因により通信接続を切断（タイムアウト）した。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。
データ通信タイムアウトが発生しました。	何らかの原因により通信接続を切断（タイムアウト）した。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。
データ通信エラーが発生しました。	何らかの原因により通信接続を切断（タイムアウト）した。	しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。

Bluetooth

メッセージ	原因	処置
携帯電話が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話との接続に失敗しました。	何らかの原因により携帯電話との接続が失敗している。	携帯電話を接続してください。
携帯電話が使用できません。	接続中の携帯電話がDUN（ダイヤルアップネットワーク）に非対応または、携帯電話を待ち受け画面にしないとDUN通信が利用できない機種の可能性がある。	接続中の携帯電話のDUN対応状況をお調べいただくか、携帯電話を待ち受け画面にしてください。
通信機器が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
通信機器が使用できません	接続中の通信機器が故障している可能性がある。	他の通信機能が利用可能かお試しください。他の通信機能も利用できない場合は、通信機器を変更するか、修理してください。
現在接続はできません。	接続しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。	データ通信終了後、再度操作してください。
現在削除はできません。	使用中のBluetooth機器を削除しようとした。	Bluetooth機器の使用を中止してから、削除してください。→*P141の「Bluetooth機器を切り換える」*
現在登録はできません。	登録しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。	データ通信終了後、再度操作してください。→*P139の「Bluetooth機器を登録する」*

SDカード

メッセージ	原因	処置
このＳＤカードは本機では使用できません。	SDカードが正しくフォーマットされていません。	パソコン機器でFAT32でフォーマットを行ってください。

携帯電話

メッセージ	原因	処置
読み込みができませんでした。接続を確認してもう一度やり直してください。	携帯電話側のメールアドレスや電話番号が登録されているメモリダイヤルが存在しない。	携帯電話のメモリダイヤルを確認してください。

音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
このCDは録音できません。	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	録音可能なディスクに交換してください。
録音再生エラーが発生しました。CDの通常再生に切り換えます。	何らかの原因で録音ができないとき。	ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	録音曲数が上限（トラック20 000曲まで）に達している。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。→*P257の「プレイリスト/トラックの編集」*
プレイリスト数が上限に達しているため、これ以上録音（登録）できません。	CDから録音したプレイリストの数が999個に達している。	CDから録音したプレイリストは999個までしか作成できません。聴かなくなったプレイリストなどを削除してください。→*P257の「プレイリスト/トラックの編集」*
録音中は再生できません。	CD録音中にコントロールパネルを操作しようとした。	録音中はコントロールパネルの操作ができません。録音が終了するのを待つか、録音を中止してから切り換えてください。→*P246の「録音を停止する」*
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→*P397の「再生できるディスクの種類」*
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクに汚れがないか確認してください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクに汚れがないか確認してください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→*P397の「再生できるディスクの種類」*

映像ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は“2”です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。→*P397の「再生できるディスクの種類」*

メッセージ	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→*P397の「再生できるディスクの種類」*
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクに汚れがないか確認してください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクに汚れがないか確認してください。
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→*P397の「再生できるディスクの種類」*

MSV（ミュージックサーバー）

メッセージ	原因	処置
ハードディスク容量不足のため、録音（登録）できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。→*P257の「プレイリスト/トラックの編集」*
プレイリスト数が上限に達しているため、これ以上録音（登録）できません。	プレイリストの数が999個に達している。	プレイリストは999個までしか作成できません。聴かなくなったプレイリストなどを削除してください。→*P257の「プレイリスト/トラックの編集」*
データの保存に失敗しました。	低温のため、HDDにデータが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
録音（登録）曲数の制限を超えたため、これ以上は録音（登録）できません。	録音曲数が上限（トラック20 000曲まで）に達している。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。→*P257の「プレイリスト/トラックの編集」*

iPod

メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチをOFF/ONし、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。
絞込みに失敗しました。	何らかの原因で絞込みができない。	エンジンスイッチをOFF/ONし、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。
コントロール/アプリモードに対応していません。	接続したiPodがコントロール/アプリモードに対応していない。	コントロール/アプリモードに対応した機種で、接続してください。また、ビデオ再生するためには、iPod本体側のTV出力をONにしないと映像がナビ画面より出力されません。

メッセージ	原因	処置
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にiPodビデオの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

地上デジタルテレビ

メッセージ	原因	処置
DTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。*→P194の「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」*
同時間帯に既に予約が設定されています。	他の番組を予約した時間帯に別の番組を予約しようとしている。	同じ時間帯に重複して予約することはできません。
これ以上予約を設定できません。不要な予約を消去してください。	可能予約数を超える予約を行おうとしている。	予約できる件数は100件までです。必要なくなった予約などを消去してください。*→P191の「視聴予約をする」*
アンテナ接続エラーの可能性があります。	地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。	お買い上げの販売店にご相談ください。

Bluetooth Audio

メッセージ	原因	処置
接続対象機器が未設定のため、操作できません。	Bluetooth機器を登録していない。	接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。*→P288の「Bluetooth Audio機器を接続する」*
AV機器との接続に失敗しました。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能が「オフ」になっている。	接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。*→P288の「Bluetooth Audio機器を接続する」*

SD/USB

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。	本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。*→P400の「再生できるファイルとメディアの種類」*

付録

センサー学習について

本機の3Dハイブリッドセンサーが走行状況(距離/方位/傾斜(3D))を検知して、その結果を学習しています。学習された結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積され、走行を重ねるごとに測位精度が高くなります。

センサー学習状態のリセットが必要な場合

以下の場合は、センサー学習状態のリセットが必要になります。

オールリセットが必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

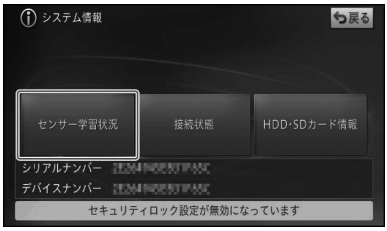
距離学習リセットが必要な場合

- タイヤを交換したあと、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

1 メニューを押し、情報ーシステム情報にタッチする

2 センサー学習状況にタッチする



3 センサー学習ーオールリセットまたは距離学習リセットにタッチする



4 はいにタッチする

▼

センサー学習がリセットされます。

付録

再生できるディスクの種類

CDやDVDなどのディスクをお使いになる場合は、以下の内容をよくご確認いただき、本機で再生できるディスクをお使いください。

再生できるディスクの種類とマーク

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



CD



- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW DL（2層式）（ビデオモード/VRモード）で記録されたディスクにも対応しています。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AACファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生がはじまるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生がはじまるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）

- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM-Audio）とMPEG-4(ROM-Video)のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されます。再生メディアの切り換えはできません。
①CD→②ROM-Audio→③ROM-Video
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC規格）で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD/AVCRECに非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD/AVCREC規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVD面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面にキズが付く場合があります。キズが付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②)))	音声言語の数
2	字幕言語の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類
2 ALL	再生可能な地域番号（リージョンコード） 本機が対応する地域番号は「2」です。マーク内に「2」や「ALL」と記載されたディスクを再生できます。

ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

ディスクの構成についてよくご確認の上、ご利用ください。

DVDビデオ

DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生することができます。

	コーデック	拡張子	対応メディア			
			 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBデバイス	 SDカード
音楽	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	—	—	○	○
映像	MPEG-4	.avi	○	○	—	○
		.mp4/.m4v	—	—	—	○
	H.264	.mp4/.m4v	—	—	—	○
	WMV	.wmv	—	—	—	○

○：対応　—：非対応

メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media PlayerVer.7以降を使用してエンコードすることができます。
- MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下のとおりです。

対応音声コーデック一覧

		WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数		8 kHz ～ 48 kHz	8 kHz ～ 48 kHz	8 kHz ～ 48 kHz	16 kHz ～ 48 kHz
ビットレート	CBR	5 kbps ～ 320 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	—
	VBR	48 kbps ～ 192 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	8 kbps ～ 320 kbps	
量子化ビット数		16	16	16	16

メモ

- エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 下記形式には対応していません。
  - Windows Media Audio 9 Professional
  - Windows Media Audio 9 Lossless（可逆圧縮）
  - Windows Media Audio 9 Voice
- ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン（v1, v2）のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3（i MP3 interactive）フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- 本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生がはじまるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

対応映像コーデック一覧

	MPEG-4 Video	H.264 /AVC	WMV（VC-1）
プロファイル	Advanced Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度（ピクセル）@ 最大フレームレート	720×480@30 fps	720×480@30 fps	720×480@30 fps
最大ビットレート（平均値/ピーク値）※1	4 Mbps/8 Mbps	2 Mbps/4 Mbps	384 kbps/-

※1 再生可/ 不可は、平均ビットレートで判断します。

メモ

- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下のとおりです。

		映像ファイルフォーマット		
		AVI（.avi）	MP4（.mp4/.m4v）	ASF（.wmv）
音声コーデック	None	○	○	○
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—
	AC3	○	—	—
映像コーデック	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV（VC-1）	—	—	○

○：対応　—：非対応

ナビゲーションのしくみ

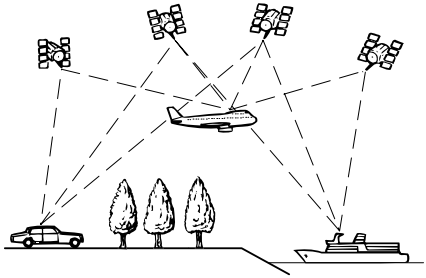
ナビゲーションのしくみについて説明します。

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

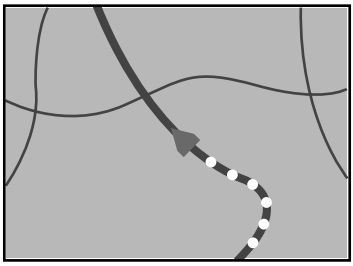
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



- 本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

メモ

- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

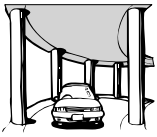
次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

—車載のテレビで56チャンネル（UHF）を受信している。

—GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

有料道を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなることがあります。

低速時の自車位置精度について

車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

駐車場マップについて

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムでは、位置精度が確保できない（上り下りの測位ができないなど）ため、正常に動作しません。
- 以下のような走行状況では、駐車場マップに切り換わらないことがあります。

—しばらく右左折せずに長距離走行したあとに進入した場合

—U ターンするような方向で進入した場合

—バック信号が接続されていない場合

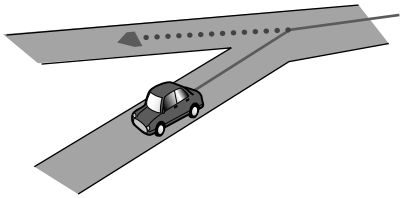
—時速数km程度の低速で車速パルスが出力されない車種の場合

—収録されていない駐車場経由で進入した場合

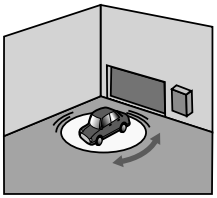
—新設された入口から入場した場合

その他の誤差について

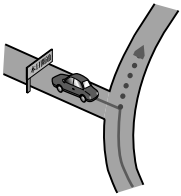
- 角度の小さなY字路を走った場合。



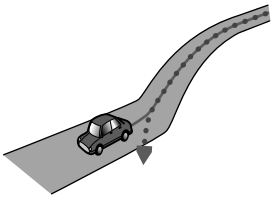
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



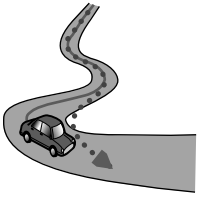
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



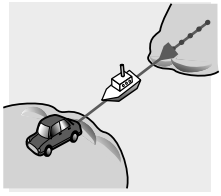
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。



- ヘアピンカーブが続いた場合。



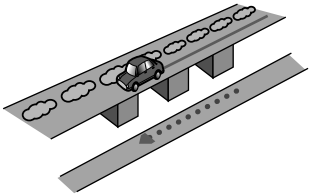
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



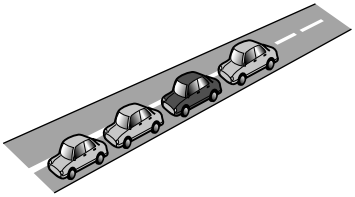
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



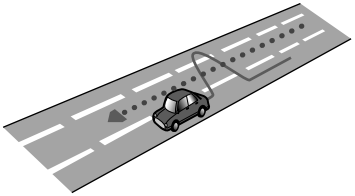
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



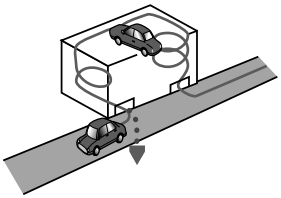
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



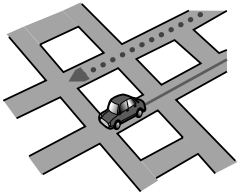
- 蛇行運転をした場合。



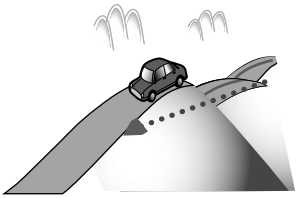
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



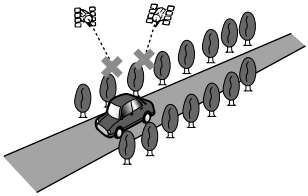
- 碁盤の目状の道路を走った場合。



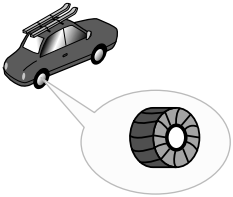
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



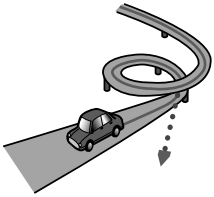
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



- ループ橋などを通った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行しはじめた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

その他の情報

本機に収録されたデータベースやルート探索時の注意点について説明します。

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。そのような場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「タウンページ」のデータと、訪問宅（個人宅）のデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村レベルの代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗降IC（インターチェンジ）指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。
- ※「大きな交差点」とは、細街路（100 mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150 m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- ETC利用による各種料金割引サービスには対応しておりません。
- 特殊な料金体系の有料道では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道上に目的地や出発地を設定したときは、有料道を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

目的地、立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するかどうかの確認メッセージが表示されます。新しいルートを引くまで、規制は無視されます。

VICS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- 有料道の高架下の一般道を走行中に、有料道のビーコンを受信することがあります。
- ビーコンアンテナの前に金属などの遮蔽物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどは、ビーコンを受信できないことがあります。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送・ビーコンにより提供されるVICS情報に関することは、（財）VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）

電話番号：0570-00-8831

（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3562-1719（全国）

また、VICS の最新情報やFM 多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。
URL：http://www.vics.or.jp/

シティマップ（詳細市街地図）収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積95% 以上（466 都市）

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亘理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、川北町、野々市市、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手市、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、みよし市、四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、

糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積80% 以上（64 都市）

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、桜川市、宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀞町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊橋市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

整備面積50% 以上（158 都市）

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠間市、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑳市、いすみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ケ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菰野町、大津市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、糸島市、古賀市、みやま市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積50% 未満（646 都市）

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前

市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、富士川町、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、さつま町、姶良市、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道を経由したあとにその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能）。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

- 3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）
- 4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）
- 3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）
- 16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）
- 3号神戸線（中之島西出入口）⇔16号大阪港線（波除出入口）

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 09－193 M1）「©2011財団法人日本デジタル道路地図協会」2011年3月発行を使用。

- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。（承認番号）小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平10. 近公. 第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。（測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度知都発第170号）
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。（承認番号 15大木建第734号）
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。（承認番号 16堀第5417号）
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。（承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認）
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。（承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認）
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。（承認番号:18東デ共041号）
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。（承認番号）18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画（1/2,500）を使用して調製したものです。（承認番号 平成17年津山市使用承認第5号）
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。（承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認）
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。（承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認）
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。（承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認）
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。（承認番号平成18年5月2日18建第107号）
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。（承認番号 H18東温都第174号）
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認）
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認）
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。（長都政第477号 平成18年3月28日承認）
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。（承認番号 18森政第5-5号）
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。（承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号）
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。（承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号）
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認）
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認）
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。（承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認））

- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図（1/5,000）を使用し調製したものである。{承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)}
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。（承認番号 森整第993号・平成19年2月14日）
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。（承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである（承認番号林18-1 平成18年12月5日）。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである（承認番号林18-2 平成19年3月7日）。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号 使18-1号 平成18年12月8日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。（承認番号 使18-3号 平成19年3月8日）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平18 林振第360号）
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。（承認番号）平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。（承認番号　平19総使、第24号-10号）
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。（測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認　平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。（承認番号　平19総使、第247号-10号）
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。（承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認）
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ（18国地部公発第334号）を使用したものである。（承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認）
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。（承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平19 林振第404号）
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。（承認番号）平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。（承認番号）平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号 平18 林振第497号）
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。（承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認）
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。（承認番号）H22　幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第180号　平成22年9月28日）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。（承認番号　平23情使、第43号-10号）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。（承認番号　平19　林振第246号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。（承認番号　平23情使、第283号-10号）

・この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号

交通規制データについて

・本製品に使用している交通規制データは、2011年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。

・この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道料金データについて

・本製品に使用している有料道路の料金データは2012年3月末までの調査で2012年4月14日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。2012年1月1日実施の距離別料金制については現金車料金のみの対応とする。

VICSサービスエリアについて

・本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(北見方面)(旭川方面)(札幌方面)(釧路方面)(函館方面)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

・VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

放送局リストのデータについて

・放送局名リストは2011年11月調査時点のものです。

訪問宅(個人宅)電話番号データについて

・訪問宅(個人宅)電話番号データは、日本ソフト販売(株)の2011年9月号のデータを使用しております。訪問宅(個人宅)電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります(音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています)。

渋滞予測データについて

・渋滞予測機能の情報は、インクリメントP株式会社からの提供です。

・渋滞予測データはリアルタイムプローブでアップロードされたプローブ情報を統計処理して作成されています。そのため、プローブ情報がアップロードされていない道路の渋滞予測考慮は行われません。

ボトルネック踏切データについて

・ボトルネック踏切は、国土交通省鉄道局が2006年～2007年に行った踏切交通実態総点検の結果を元に、2011年9月に独自調査を行ったものを使用しています。2012年3月末までに廃止される踏切の情報を反映しています。

その他情報提供元

・NTT情報開発株式会社(2011年9月現在のタウンページデータ)(音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています)

・(財)交通事故総合分析センター(ITARDA)の1999年年度の高速道路事故多発地帯データを使用しています。

・(株)IMJモバイル(2011年10月現在の駐車場データ)

・おすすめグルメデータは、株式会社昭文社提供のデータ(2011年9月時点)を使用しています。

メモ

・収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

索引

五十音順

あ行

アイドリングカウンター 31, 50
開かずの踏切 47
圧縮音楽 300
アップリンク 339
サウンドレトリバー 300
アメダス 378
アルバムグループ 249
アローガイド 84, 150
アングル 221
暗証番号 227
安全運転支援情報 328
案内音量 130
案内開始画面 70
アーティストグループ 249
イコライザーカーブ 301
一時停止 208, 211, 218, 233, 240, 253, 271, 279, 287
一方通行表示 40
入口ポイント 120
イルミネーションカラー 126
インジケーター 18
インテリジェントリルート 75
イージーセットアップ 130
右左折専用レーン案内 45
上書き読み込み 345
営業時間考慮 407
映像出力 273
映像出力設定 242
エコ最優先 96
エコ指数 83
エコステータス 48, 72, 83, 174
エコ優先 78
エコー 342
エリアプリセット 184, 187, 189
お好み再生 256
音楽CD 206
音楽ファイル 268
音声案内 44
音声言語 219, 234
音声出力 222
音声多重 197, 235
音場 299
音量 156
オートアングルチェンジ 39
オートハイウェイモード 46, 47
オートパーキングメモリー 90
オートフリーズーム 85
オートプレイ 227
オートリルート案内 88, 89
オート録音モード 247
オープニング画像 128

か行

回転速度計 175
ガイドサイレンス 74
ガイドサイレンスアングル 87
ガイド/ハンズフリーSP 157
外部映像機器 292
学習クリア 255
学習ルート 149
学習ルート探索 79
過去プランリスト 106
画質を調整する 159
ガススタ価格情報 376
カスタム機能 324
カスタム操作 321
カスタムボタンダイレクト 324
カスタムボタンリスト 325
カットオフ 306
簡易図形 163
簡易ハイブリッドシステム 403
漢字変換 25
幹線優先 78
カード有効期限 176
気象情報 377
規制表示 167
機能設定 202
基本音声 224
基本字幕 223
曲調 254
緊急情報 166
禁止マーク 398
近隣情報表示 33
キーワード 58
区間旅行時間 168
グラフィックイコライザー 301
グループ 116
グループリスト 250
傾斜計 175
携帯電話 342
言語コード表 228
現在地情報表示 48
検索データ 177
検索履歴 65
高音質 248
効果音 116

高精度3Dハイブリッドシステム 403
交通規制データ 414
交通情報 186
誤差 404
コピーガード機能付きCD 397
コピーコントロールCD 247
コマ送り再生 217, 232

さ行

再生 214, 229, 238
再送信 349
再探索 96
サイドマップリスト 18, 43
サウンドフィールドコントロール 299
サウンドレトリバー 300
残響音 342
時間最優先 96
自局番号 345
自車位置修正 158
自宅 110
視聴制限 226
視聴予約 191
シティマップ 38
シティマップ境界 38
字幕言語 219, 234
車載器管理番号 176
車速パルス 176
シャッフル再生 278
ジャンル 61
ジャンルグループ 249
週間天気予報 378
渋滞オートガイド 170
渋滞情報 79, 149
渋滞情報表示 166
渋滞情報表示対象道路 166
渋滞チェック親切案内 164
渋滞末尾情報 328
渋滞予測 414
主音声 235
受信感度 173
出発地 99
受話音量 130
順調表示 166
消音 156
消音タイミング 157
消音レベル 157
詳細情報 66
情報ウィンドウ 48
情報取得 377
情報接続サービス 329
初期登録 367
自立航法 403
信号機ジャスト案内 86
振動ジャイロセンサー 403
シンプルガイド 73, 86
新ルート 96
スカイシティマップ 38
スケール 35
スケールゲージ 35
スピーカーサイズ 305
スピーカー出力レベル 305
スピーカー設定 304
スマートIC 80
スロー再生 217, 232
制限レベル 227
セキュリティロック 379
接続解除 288
接続状態 175
セッティング共通設定 297
セッティング別詳細設定 300
前後G 175
センサー学習 174, 396
センサー学習状況 175
センターメニュー 19
前方障害物情報 328
前方状況情報 328
専用サーバー 366
セーフティインフォメーション 44
走行軌跡 32, 123
操作音 130
送信先 349
測位状態 176
属性 256
速度 175
ソースレベルアジャスター 297, 310

た行

滞在時間 99
タイトル 350
タイトル情報 264
タイトル表示 247
ダイナミックレンジ 298
ダイナミックレンジコントロール 298
タイムアライメント 303
ダイレクトスケールキー 35
ダイレクトタッチ 218
タウンページデータ 407
立寄地 97
タッチパネル調整 160
探索条件 70
テレビ 187
地図色 31

地図スケール 42
地図データ 177
地点 110
地点情報 353
地点情報送信機能 353
着信音量 130
着信履歴 346
チャンネルスキャン 194
駐車場監視情報 48
駐車場情報マーク 167
駐車場ポイントリンク 58
駐車場満空情報 375
駐車場履歴 90
追加読み込み 345
ツインビュー左画面アングル 36
通信機器 139
通信接続設定 139
通話中メニュー 344
定型文 347
停止 219, 234, 240
ディスク 397
ディスクメニュー操作キー 216
出口情報 54
デジタルアッテネーター 308
テストトーン 305
デモ走行 93
テレビアスペクト 226, 237, 242, 273
天気予報 377
電源電圧 176
電子番組表 189
点滅表示 167
電話を受ける 342
データ放送 196
到着予測時刻 82
登録地マーク簡易表示 113
時計表示 181
ドライバーズビューサイドマップアングル 37
ドライブプラン 106
トラックリスト 250
取付位置 176
トリップ 175

な行

ナビから接続 288
ナビスタンバイ 17
日時 100
燃費推定 131
ヘディングアップ 40

は行

ハイウェイサイドマップ 36
ハイウェイモード 53
ハイウェイモードサイドマップアングル 37
バックカメラ 358
バック信号 176
発信者番号通知サービス 342
発信履歴 346
発着信履歴 343
発話 312
早送り 208, 211, 218, 233, 240, 253, 271, 278, 287
早戻し 208, 211, 218, 233, 240, 253, 271, 278, 287
パラメーター設定 131, 134, 136
パルス数 175
パレンタルロック 226
番組情報 194
番組表 189
阪神高速道路 411
ハンズフリー通話 342
バンド 184, 198
バージョン情報 177
ビデオフォーマット 397
ビューメニュー 20
ビーコン情報 168, 172
ビーコン即時表示 168
ビーコンユニット 162
ファクトリーカーブ 302
フィーリンググループ 249
フィーリング対象外 255
フィーリングプレイ 254
フェーダー/バランス 297, 309
フォトリモ@ナビ 20
フォトリモ@ナビ 347
付加情報 347
副音声 235
不在着信 346
ブックマーク 223
踏切案内 44
プライベートマッピング 114
プランリスト 106
プレイリスト 229, 250
プログラムバージョン（ナビゲーション） 177
プログラムリスト 229
プログレッシブJPEG 256
フロントカメラ 354
ボイスヘルプ 313
放送局リスト 414
方面案内 46
ポップアップメニュー 18
ボトルネック踏切 47
本文 351

ボーカル位置 251
ボーカルモード 252

ま行

マイミックス 249, 253
マップクリエイター 103
マップクリエイター道路 103
マップクリップ 67
マップマッチング 403
マルチアングル 221, 225
マルチ音声 219, 234
マルチ言語 224
マルチ言語字幕 223
マルチ字幕 219, 234
マルチワード検索 58
道塗り 72, 93, 94
ミュージックサーバー 249
メニュー言語 225
メモリダイヤル 344
メモリダイヤルを消去 345
メール 347
メール送信機能 347
文字の入力 22
元ルート 96
モード切換 230

や行

有料道注意地点・県境案内 44
有料道料金データ 414
ユーザープリセット 184, 187, 189
予測変換 25
予報時刻 377
ヨミ 111
予約転送モード 353

ら行

ライト点灯案内 45
ラジオ 184
ランダム再生 207, 211, 251, 270, 286
リアルタイムプローブ 367
リスニングポジション 301
リピート再生 207, 210, 215, 230, 239, 251, 269, 277, 286
リフレッシュ案内 45
リアモニター 363
履歴情報 172
類似コマンド表示 314
ルートを消去 77
ルート情報 77
ルートスクロール 92
ルート探索基準 71, 149
ルート探索条件 78
ルート地図 93
ルートプロフィール 92
ルート編集 77
ルート誘導 87, 151
録音 246
録音音質 248
録音設定 247
録音の制限 246
ロゴマーク 40
ロゴマーク表示スケール 41

わ行

ワイドモード 198, 220, 235, 241, 272, 279, 292
割り込み表示 16

数字・アルファベット順

数字

16点調整 160
18倍速録音 248
2Dマーク 113
2カ国語放送 235
2次元測位 403
3Dマーク 115
3次元測位 403
4点調整 160
4倍速録音 248
5.8 GHzVICSサービス 328

A

A2DP 284
ASL 298
AUX 292
AV menu 19
AVCHD 398
AVCREC 398
AVRCP 284
AVサイドビューアングル 37
AV情報 48
AVソースプレート 180
AVプロファイル 284

B

Bluetooth 139
Bluetooth Audio 284
Bluetoothプロファイル 139

C

CD 206

D

DDCD 397
DRM 268, 400
DSRC情報接続サービス 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337, 339
DSRCユニット 162, 328
DVD-VR 229
DVD-VRの初期設定 237
DVDビデオ 214
DVDビデオの初期設定 223
DualDisc 398

E

EPG 189
ETC一体型クレジットカード 339
ETCカード 339
ETCサービス 339
ETC利用履歴 340
ETCレーン案内表示 76
eスタートカウンター 31, 51

G

GPS 403
GPSアンテナ 176
Gracenote音楽認識サービス 247, 264

I

iPod 276
iPodの初期設定 281

M

MPEG2 400
MPEG4 400
MSV 249
m3u 401

N

NAVI menu 19
NTSC 397
No Title表示 264
No Titleリスト 266

R

ROM-Audio 209
ROM-Video 238
ROM-Videoの初期設定 242

S

SD 268
SDの初期設定 273
SDカード 268

U

USB 268
USBメモリー 268

V

VICSサービスエリア 414
VICS情報 53
VICSセンター 409
VICSマーク 165

W

Windows Media Player 400

ナビゲーション & オーディオブック

C9P9 V6 650

製品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店までお願い致します。

製品の操作等に関しましては、下記までお問い合わせください。

パイオニア相談窓口

電話番号：**0120-988-072**

PHS、携帯電話、一部のIP電話などからは下記番号へおかけください。

一般電話：**044-572-8909**（有料）

受付時間　月曜～土曜　9：30～12：00、 13：00～ 17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

パイオニア株式会社
〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号

© パイオニア株式会社 2012

< NVH-0228ZM >　　< KAMFF > < 12E00000 > < CRA4561-A >